

市民意識調査、青少年アンケート 結果報告書

令和元年 1 1 月

朝霞市

目次

第1部 朝霞市市民意識調査結果	1
I 調査の概要.....	2
1. 調査の目的	4
2. 調査の方法	4
3. 集計・分析のための地区区分	4
4. 調査項目	4
5. 回収結果.....	4
6. 報告書の見方	5
7. 分析のポイント	6
8. 回答者の属性	7
II 回答結果	15
1. 朝霞市の「住みよさ」について	16
2. 日頃の地域との関わりについて	23
3. 市政について	48
4. 市の全般的な取組について	62
5. まちづくりへの市民の参加について	81
6. これからのまちづくりについて	88
7. 自由記述.....	97
資料：調査票	99
第2部 朝霞市青少年アンケート結果	118
I 調査の概要.....	119

1. 調査の目的	120
2. 調査の方法	120
3. 集計・分析のための地区区分	120
4. 調査項目	120
5. 回収結果	120
6. 報告書の見方	120
7. 回答者の属性	122
Ⅱ 回答結果	127
1. 朝霞市について日頃感じていること	128
2. これからのまちづくりについて	141
3. 地域との関わりについて	153
4. 自由記述	181
資料：調査票	184

第1部 朝霞市市民意識調査結果

I 調査の概要

1. 調査の目的

この市民意識調査は令和3年度（2021年度）から5年間のまちづくりの指針となる「第5次朝霞市総合計画後期基本計画」を策定するに当たって、まちづくりに対する市民の意向を把握し、基礎資料として活用するために行ったものである。

2. 調査の方法

①調査対象 市内居住の18歳以上の男女（平成31年4月1日時点での満年齢）

②対象者数 3,000人

③抽出方法 住民基本台帳（令和元年7月1日現在）から無作為抽出

④調査方法 郵送配布、郵送回収

⑤調査期間 令和元年7月16日送付、8月9日締切

3. 集計・分析のための地区区分

A地区	大字上内間木、大字下内間木
B地区	朝志ヶ丘、北原、田島、西原、浜崎、宮戸
C地区	大字台、大字根岸、岡、仲町、根岸台
D地区	泉水、西弁財、東弁財、三原
E地区	青葉台、幸町、栄町、膝折町、本町、溝沼、陸上自衛隊朝霞駐屯地

4. 調査項目

①朝霞市の「住みよさ」について

②日頃の地域との関わりについて

③市政について

④市の全般的な取組について

⑤まちづくりへの市民の参加について

⑥これからのまちづくりについて

⑦自由記述

5. 回収結果

①調査票発送数 3,000票

②有効回収数 1,098票

③有効回収率 36.6%

6. 報告書の見方

①集計について

比率は、全て百分率（%）で表し、小数点第 2 位以下を四捨五入して算出している。このため、比率の合計が 100.0%にならない場合がある。

また、集計上の無回答とは、無回答及び無効回答の合算票数を示している。

②用語の取り扱いについて

図表及び文章中で、選択肢の文言を一部省略して用いている。

③設問ごとの集計の基数

グラフや図表で、“n=1,098” や（1,098）と表記してあるのは集計の基数である。全員が回答すべき設問では 1,098 となるが、回答者が限定される場合は、この数を下回る。

④意識調査の信頼性

住民基本台帳から無作為抽出による調査を行っているため、調査結果には統計上の誤差が生じることがある。今回の単純集計の場合の標本誤差（信頼度を 95%とした場合）は、下の式により求められる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \cdot \frac{P(1-P)}{n}}$$

N : 母集団の数

n : 基数（サンプル数）

P : 回答率

下表のように、今回の市民意識調査では、母集団の数を 118,239 人（令和元年 7 月 1 日現在の市内居住の 18 歳以上の男女）として有効回収数（サンプル数=1,098 票）から標本誤差を計算すると、±3.0%以内になる（信頼度 95%とした場合）。

⑤加重平均値の算出方法（結果は 64 ページ以降に掲載）

加重平均値は、以下の計算式で求めた。

$$\text{加重平均} = \frac{A \times 2 + B \times 1 + C \times 0 + D \times (-1) + E \times (-2)}{(\text{無回答を除く回答総数})}$$

＜満足度＞	＜重要度＞	＜ポイント＞
A：「満足している」	「重要である」	2 ポイント
B：「ある程度満足している」	「どちらかといえば重要である」	1 ポイント
C：「わからない」	「わからない」	0 ポイント
D：「やや不満である」	「あまり重要でない」	-1 ポイント
E：「不満である」	「重要でない」	-2 ポイント

※回答者が全員「満足している」「重要である」であれば、2.0 ポイントとなり、全員が「ある程度満足している」「どちらかといえば重要である」であれば、1.0 ポイントとなる。

7. 分析のポイント

本調査の分析の視点は、以下の通りである。

①経年比較

これまでに実施した意識調査と経年比較を行う。

※昭和 59 年度、平成元年度、平成 6 年度、平成 11 年度、平成 16 年度、平成 22 年度、平成 25 年度、令和元年度実施。

②年代、居住年数、地区による比較

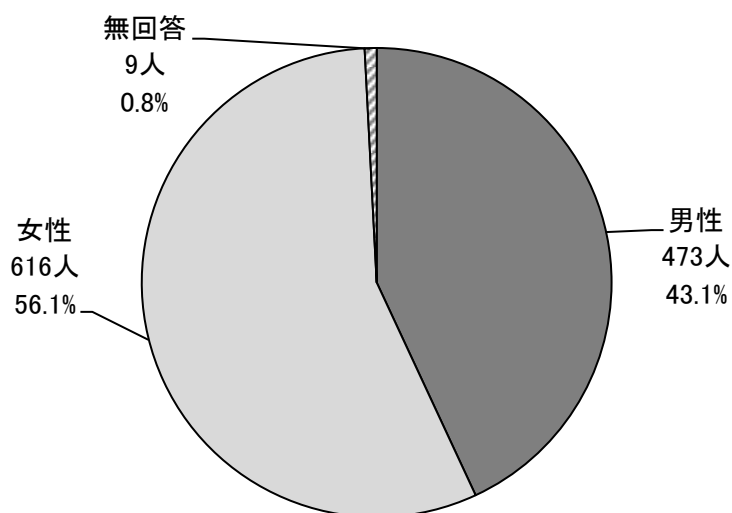
③第5次朝霞市総合計画前期基本計画の取組に対する満足度・重要度評価

8. 回答者の属性

F1 あなたの性別は。

回答者の性別は、「女性」の割合が 56.1%、「男性」の割合が 43.1%となっている。

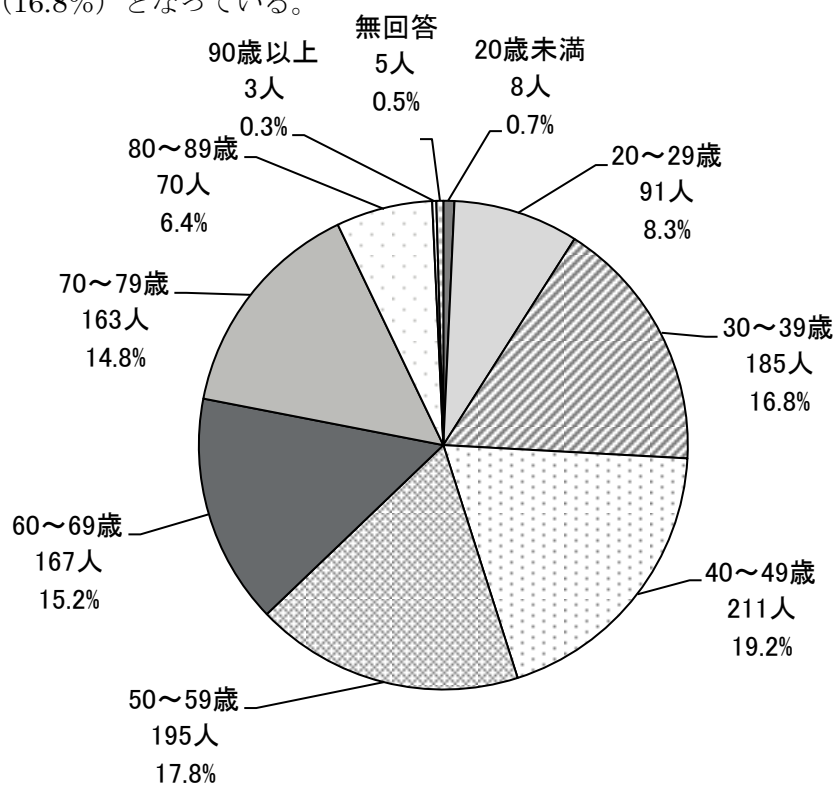
n=1,098



F2 あなたの年齢は。

回答者の年代は、「40～49 歳」の割合が 19.2%で最も高く、続いて「50～59 歳」(17.8%)、「30～39 歳」(16.8%) となっている。

n=1,098



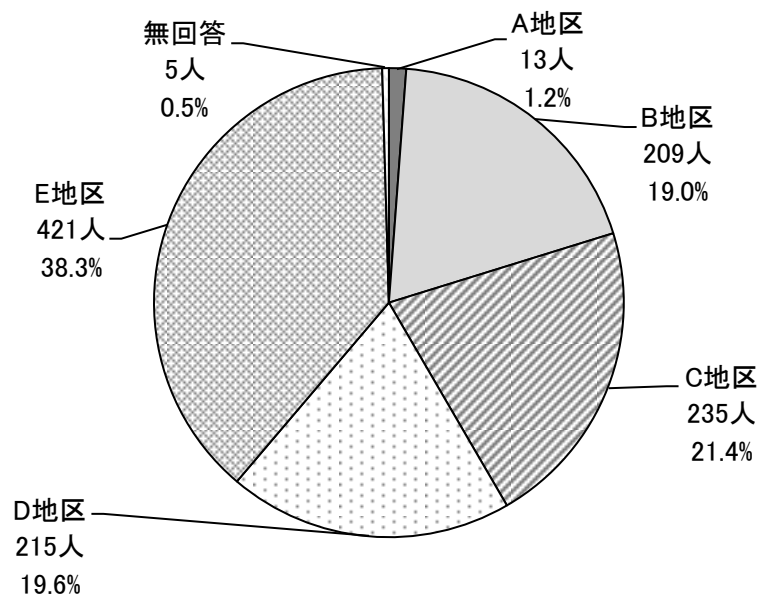
F3 あなたの住まいはどの地区ですか。

住んでいる地区は、「E地区」の割合が38.3%で最も高く、続いて「C地区」(21.4%)、「D地区」(19.6%)、「B地区」(19.0%)、A地区(1.2%)となっている。

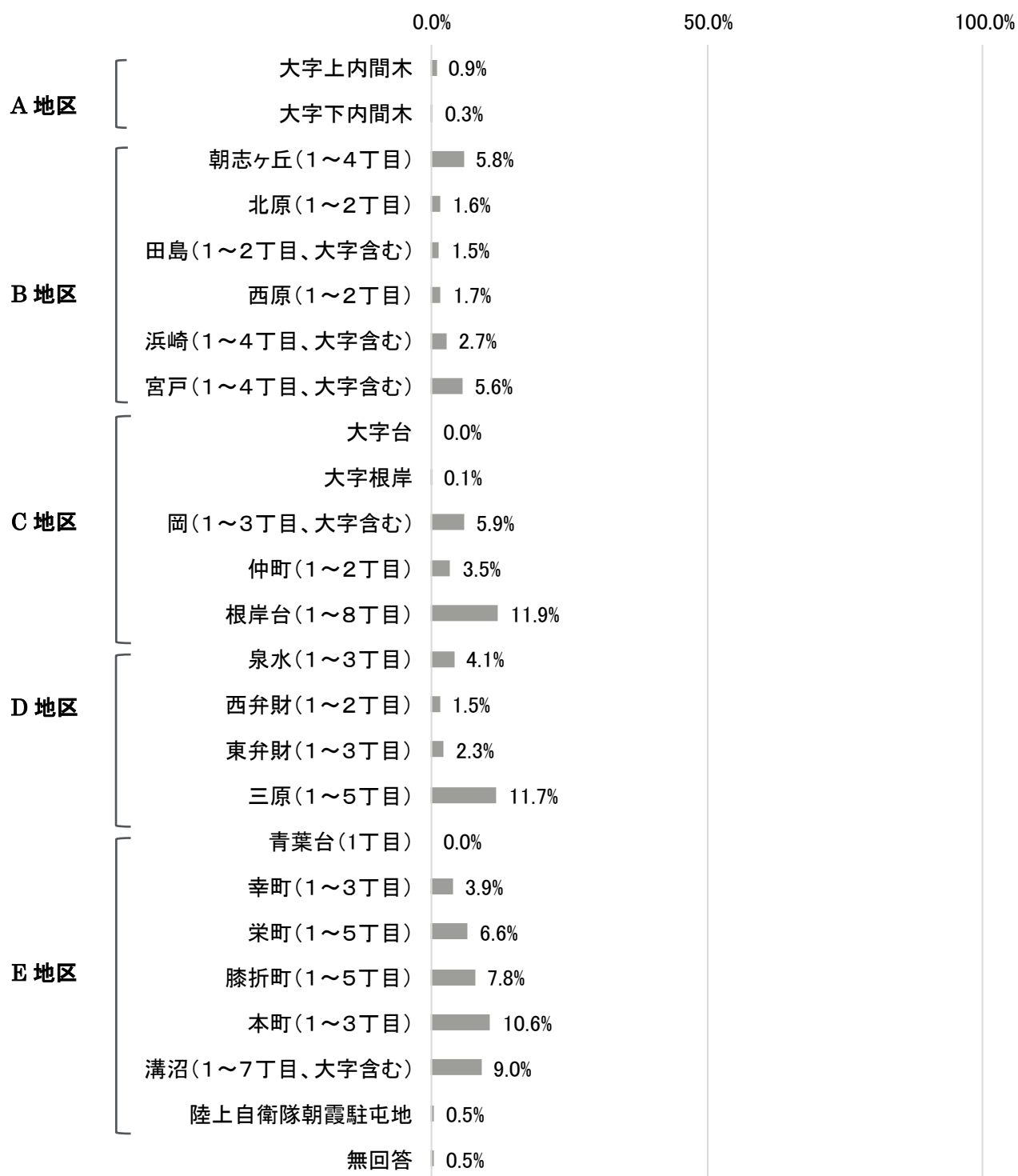
町(丁)・大字別でみた住んでいる地区は、「根岸台」の割合が11.9%で最も高く、続いて「三原」(11.7%)、「本町」(10.6%)となっている。

※地区区分については、4ページ「3. 集計・分析のための地区区分」参照。

n=1,098



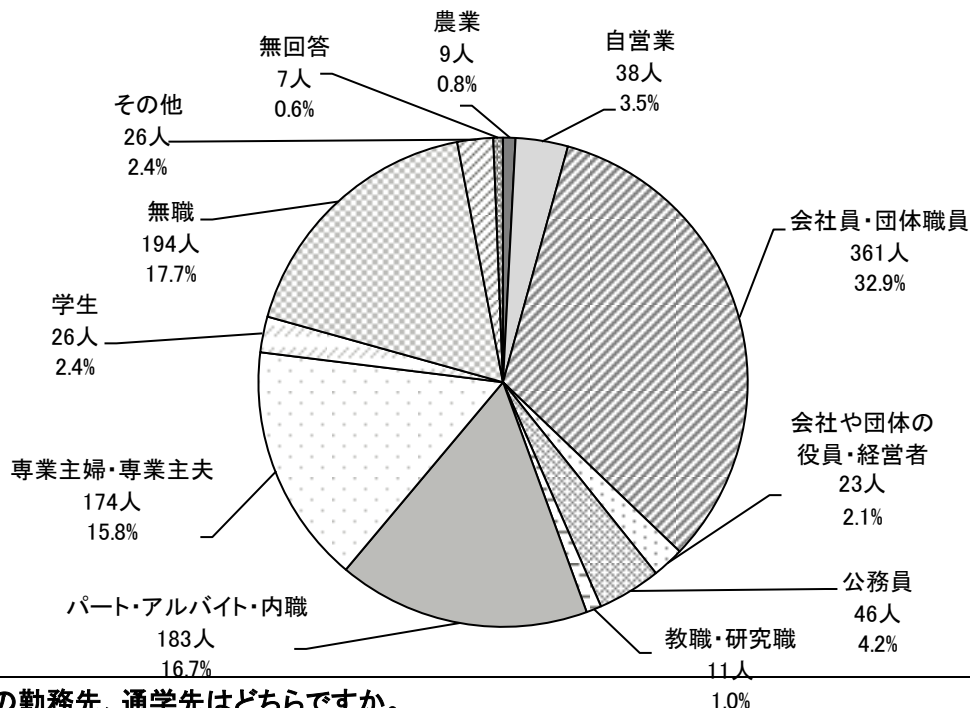
【町（丁）・大字別居住地区】



F4 あなたの主な職業・就業形態等は。

回答者の職業は、「会社員・団体職員」の割合が 32.9%で最も高く、続いて、「無職」(17.7%)、「パート・アルバイト・内職」(16.7%)、「専業主婦・専業主夫」(15.8%)となっている。

n=1,098

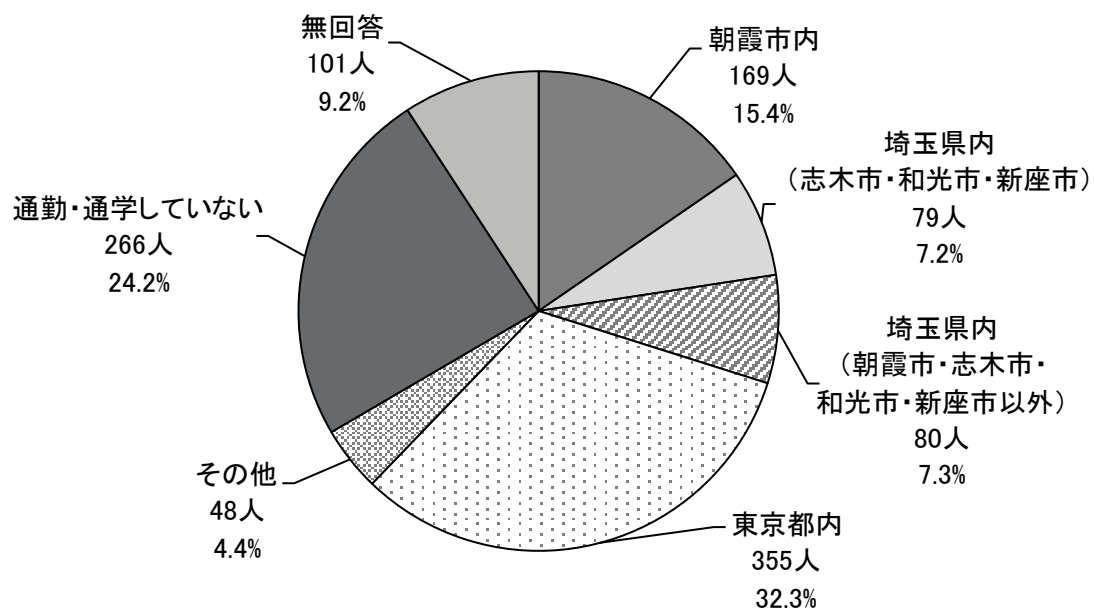


F5 あなたの勤務先、通学先はどちらですか。

回答者の勤務先、通学先は、「東京都内」の割合が 32.3%で最も高く、続いて、「通勤・通学していない」が 24.2%、「朝霞市内」(15.4%)、「埼玉県内(朝霞市・志木市・和光市・新座市以外)」(7.3%)となっている。

また、朝霞市内を含めた“埼玉県内”は 29.9%となっている。

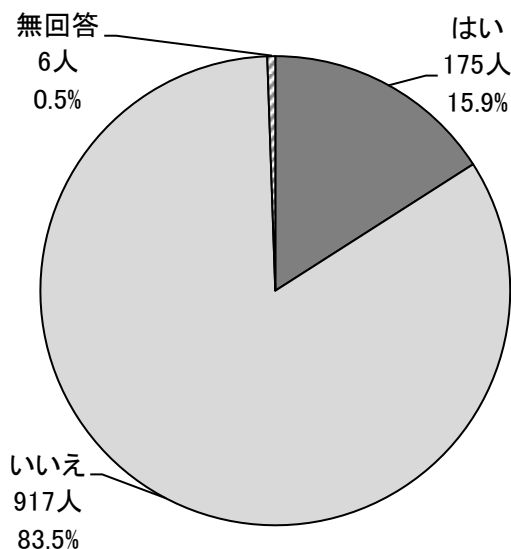
n=1,098



F6 あなたは、生まれた時、または幼少の頃から朝霞市にお住まいですか。

生まれた時から朝霞市に住んでいるかどうかについては、「はい」の割合が 15.9%、「いいえ」の割合が 83.5%となっている。

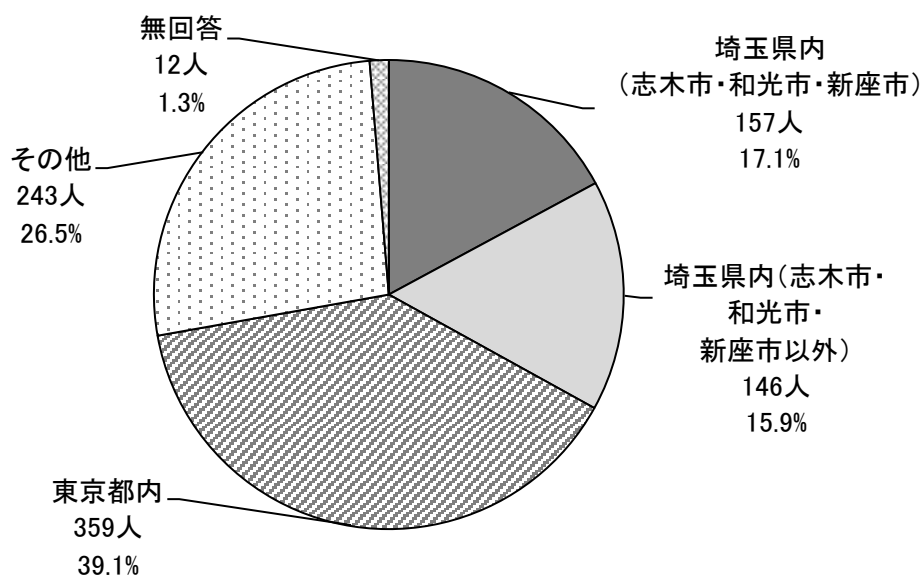
n=1,098



F7 F6で「いいえ」と回答された方にお聞きます。朝霞市に住む以前はどちらにお住まいでしたか。

市外から転入してきた回答者の以前の住まいは、「その他」を除くと、「東京都内」の割合が 39.1%で最も高く、続いて「埼玉県内（志木市・和光市・新座市）」（17.1%）、「埼玉県内（志木市・和光市・新座市以外）」（15.9%）となっている。

n=917

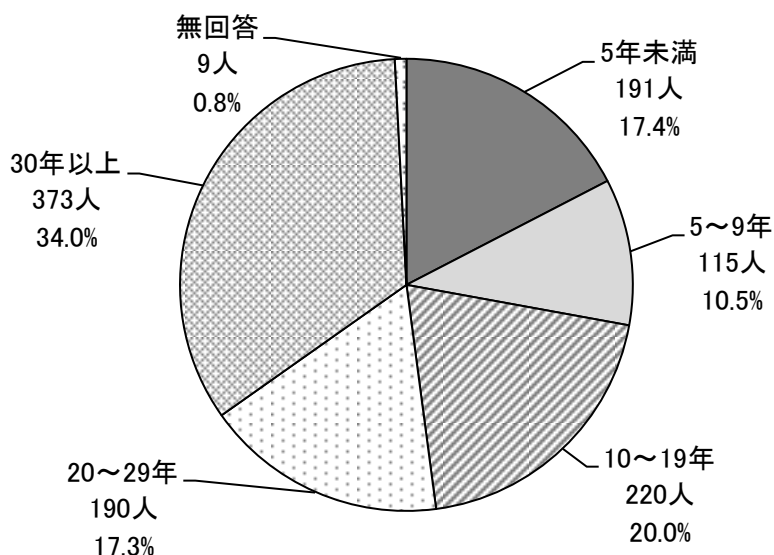


F8 あなたは、朝霞市にお住まいになってどれくらいになりますか。

朝霞市に住んでいる年数は、「30 年以上」の割合が 34.0%で最も高く、続いて「10～19 年」(20.0%)、「5 年未満」(17.4%) となっている。

また、「5 年未満」(17.4%)、「5～9 年」(10.5%) を合わせた“10 年未満”の割合が 27.9%となっている。

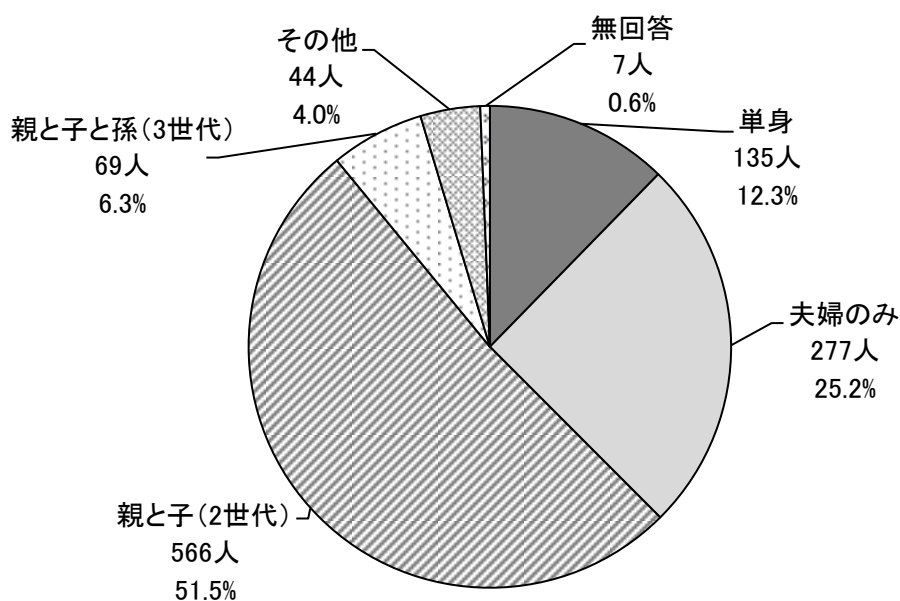
n=1,098



F9 あなたの同居している世帯・家族の構成は。

家族構成は、親と子（2 世代）の割合が 51.5%で最も高く、続いて「夫婦のみ」(25.2%)、「単身」(12.3%) と続いている。

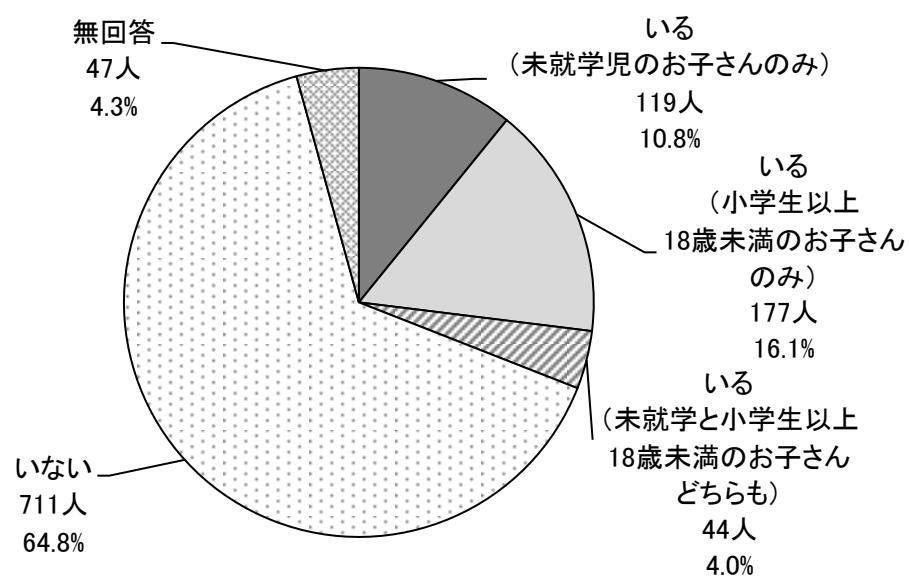
n=1,098



F10 あなたと同居している世帯・家族の中に 18 歳未満のお子さんはいいますか。

同居している世帯・家族の中に 18 歳未満のお子さんがあるかどうかについては、「いない」の割合が 64.8%で最も高く、続いて「いる（小学生以上 18 歳未満のお子さんのみ）」（16.1%）、「いる（未就学児のお子さんのみ）」（10.8%）となっている。

n=1,098



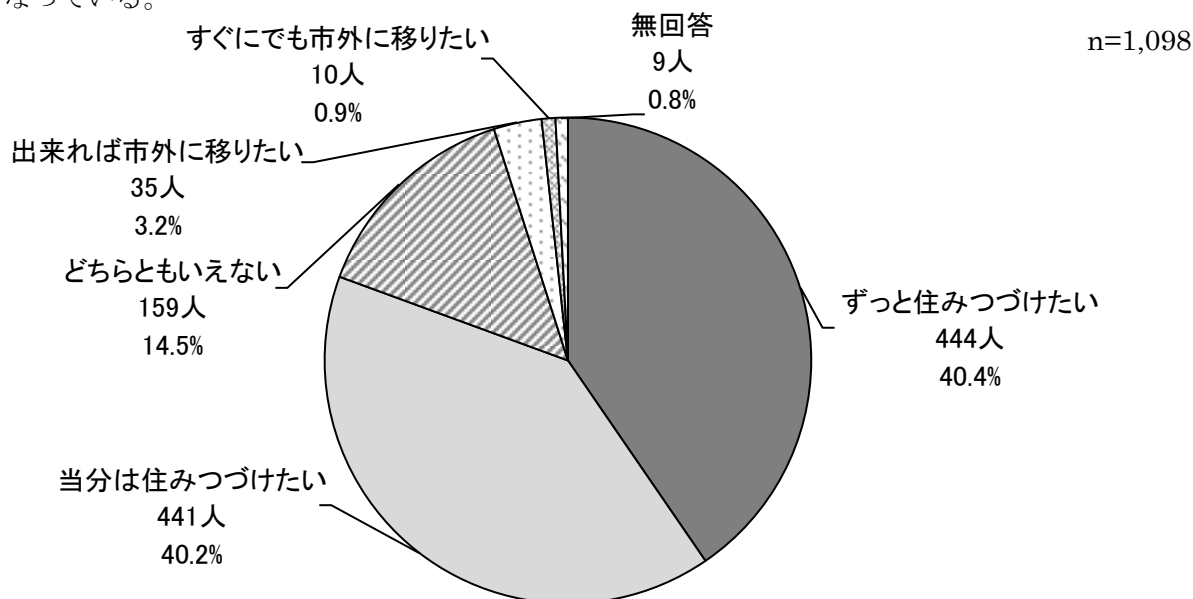
II 回答結果

1. 朝霞市の「住みよさ」について

問1 あなたは、これからも朝霞市に住みつづけたいと思いますか。次の中から1つ選んでください。

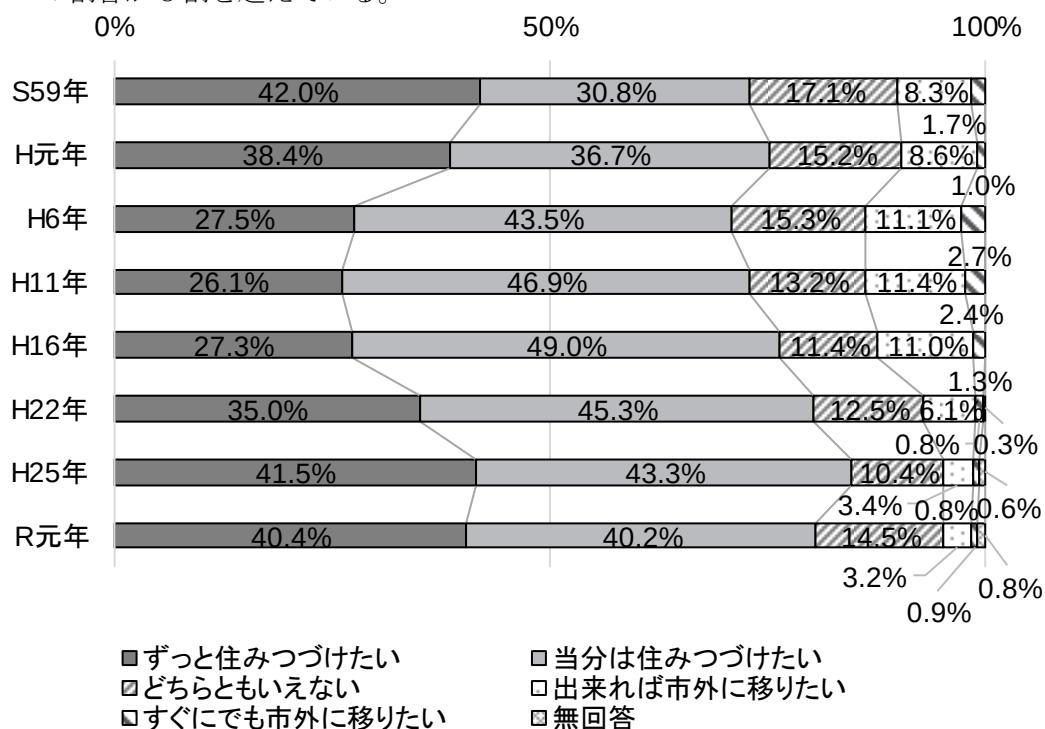
<全体>

朝霞市への定住意向は、「ずっと住みつづけたい」(40.4%)、「当分は住みつづけたい」(40.2%)を合わせた“住みつづけたい”の割合が80.6%となっている。一方、「出来れば市外に移りたい」(3.2%)、「すぐにでも市外に移りたい」(0.9%)を合わせた“住みつづけたくない”の割合は4.1%となっている。



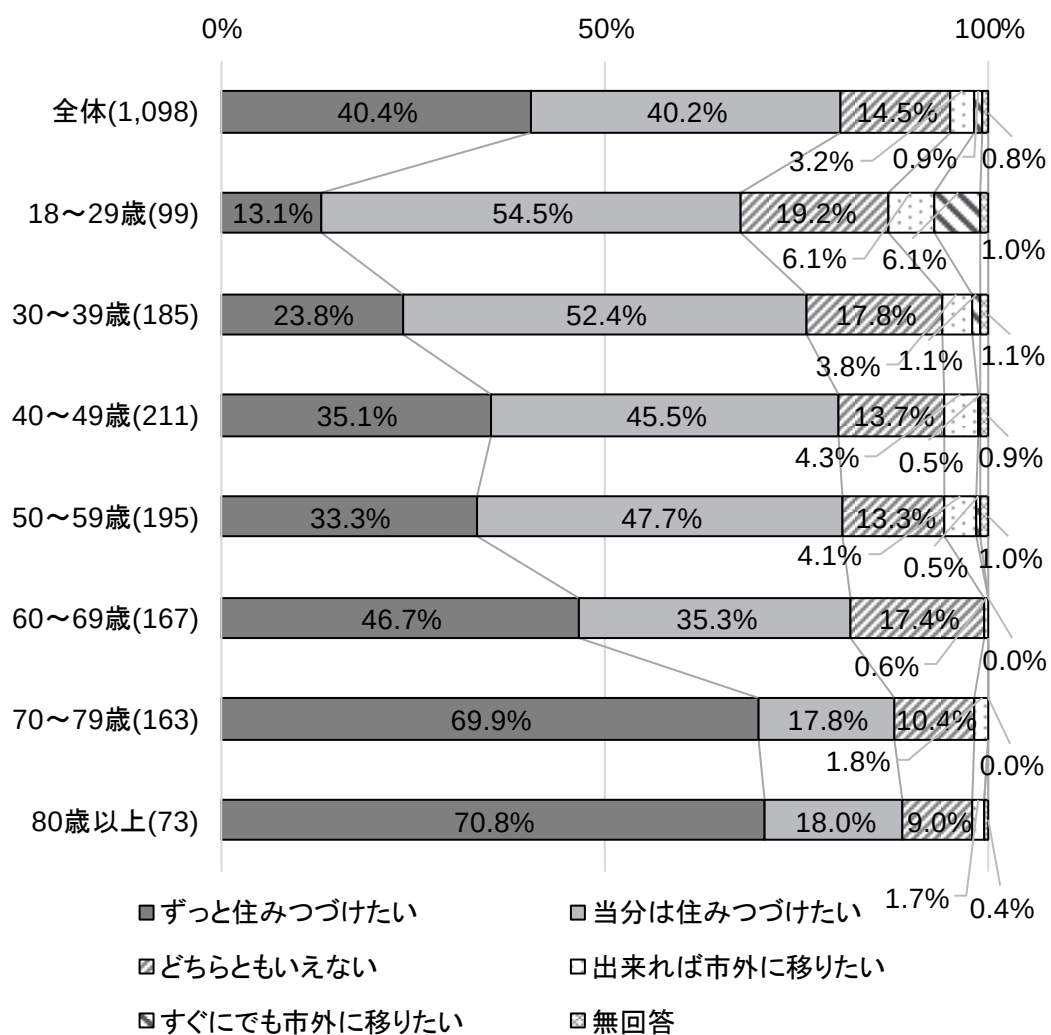
<経年比較>

平成22年以降、「ずっと住みつづけたい」、「当分は住みつづけたい」を合わせた“住みつづけたい”の割合が8割を超えている。



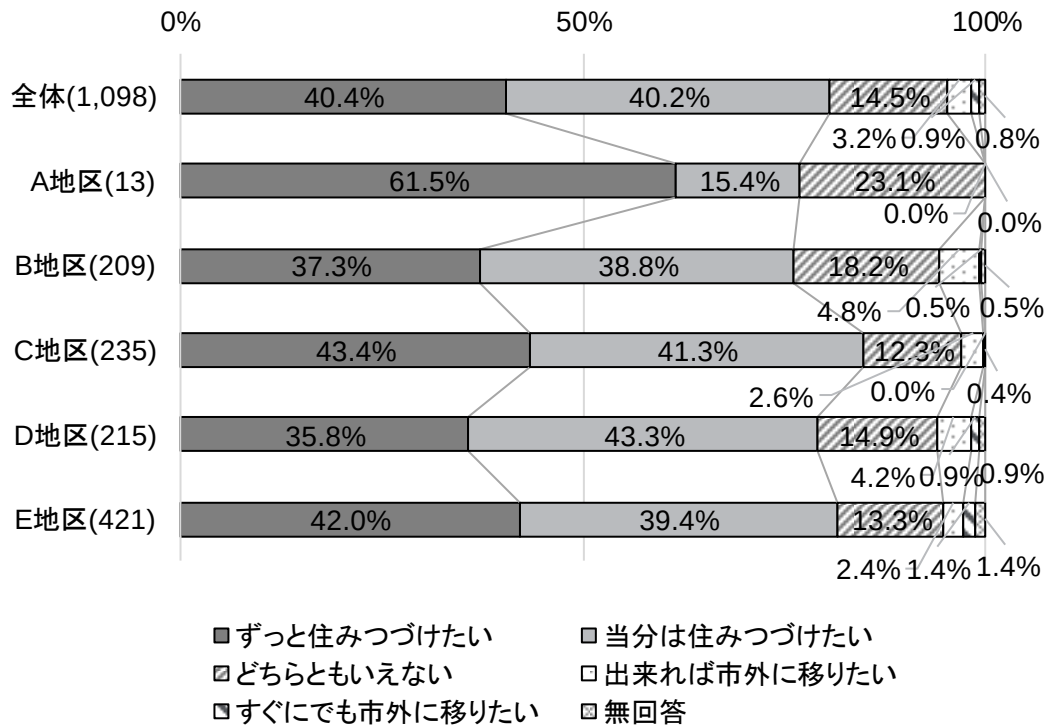
<年代>

年代が高い方が、「ずっと住みつづけたい」の割合が高くなる傾向にある。



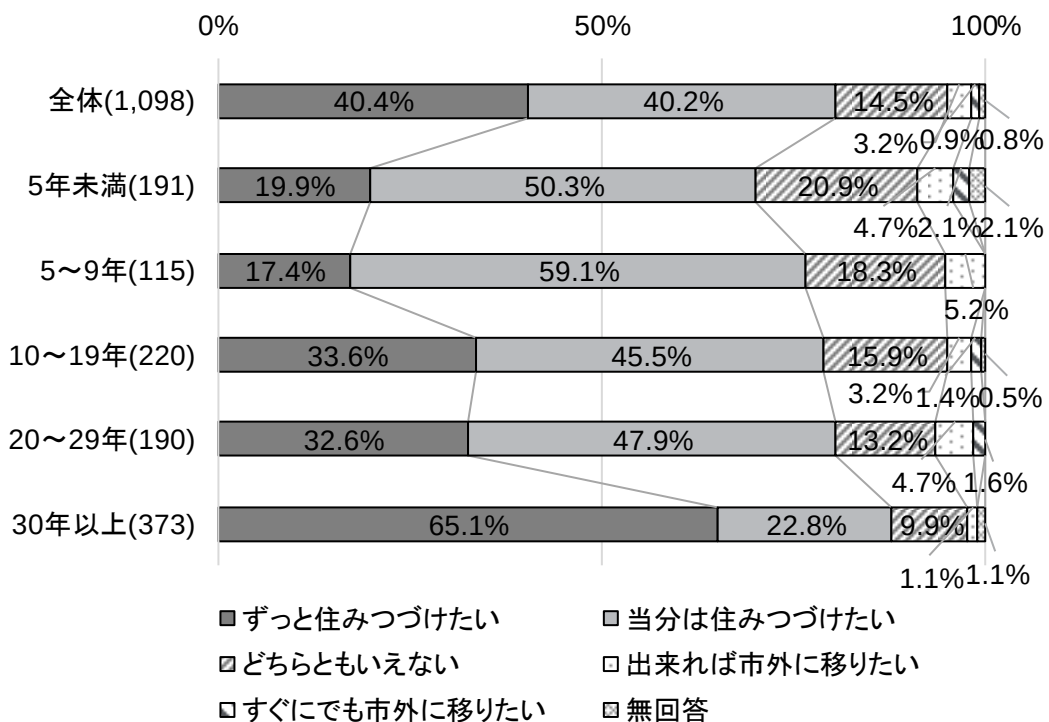
<居住地区>

“A地区”では「ずっと住みつづけたい」の割合が高い。



<居住年数>

居住年数が長い方が、「ずっと住みつづけたい」の割合が高くなる傾向にある。



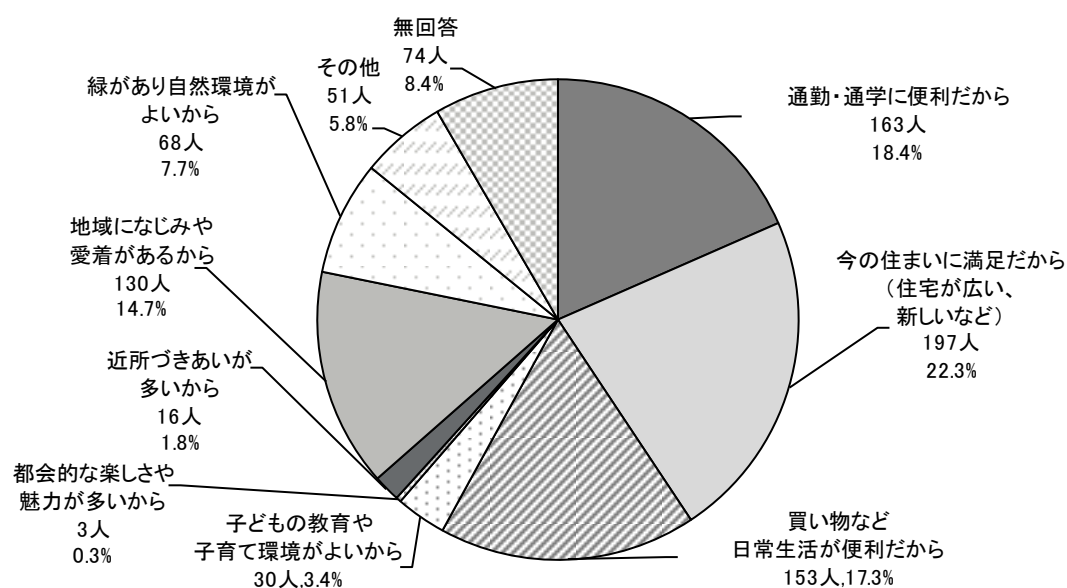
問2 問1で「ずっと住みつづけたい」「当分は住みつづけたい」を選んだ方にお聞きます。あなたが朝霞市に住みつづけたいとお考えになった理由を、次の中から1つ選んでください。

＜全体＞

住みつづけたい理由は、「今の住まいに満足だから（住宅が広い、新しい）」の割合が 22.3%で最も高く、続いて「通勤・通学に便利だから」（18.4%）、「買い物など日常生活が便利だから」（17.3%）、「地域になじみや愛着があるから」（14.7%）となっている。

「その他」には、「交通の便が良い」、「子供たちが近くに住んでいる」などの記述があった。

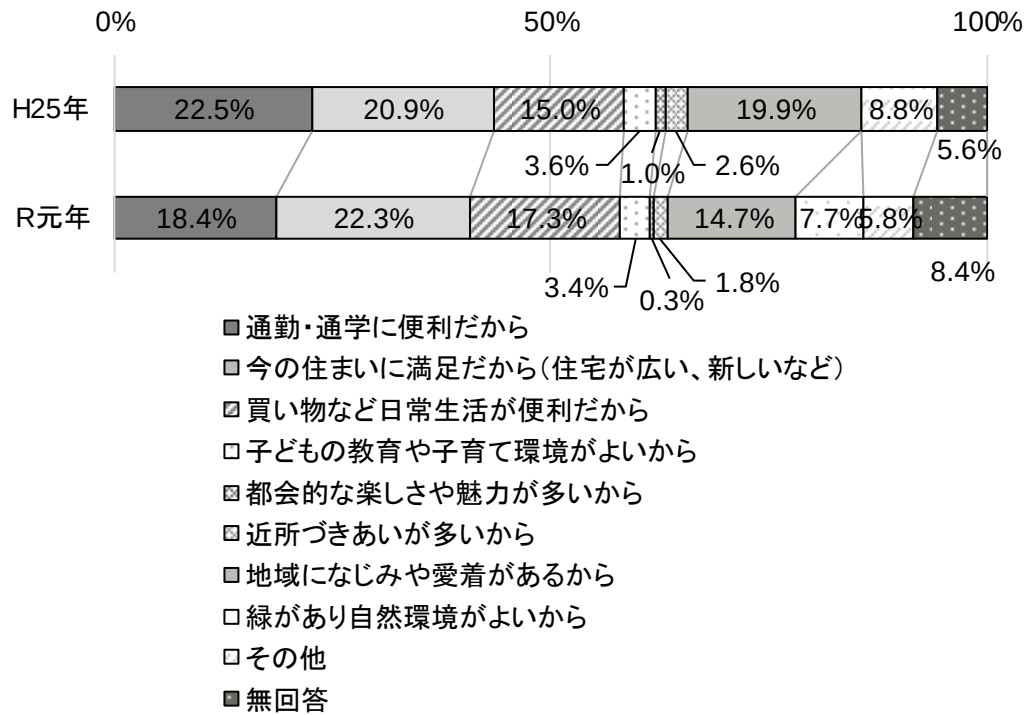
n=885



＜経年比較＞

「今の住まいに満足だから（住宅が広い、新しいなど）」、「買い物など日常生活が便利だから」が増加している一方で、「通勤・通学に便利だから」、「地域になじみや愛着があるから」は減少している。

※選択肢「緑があり自然環境がよいから」は、令和元年に追加したため、経年比較の対象外としている。



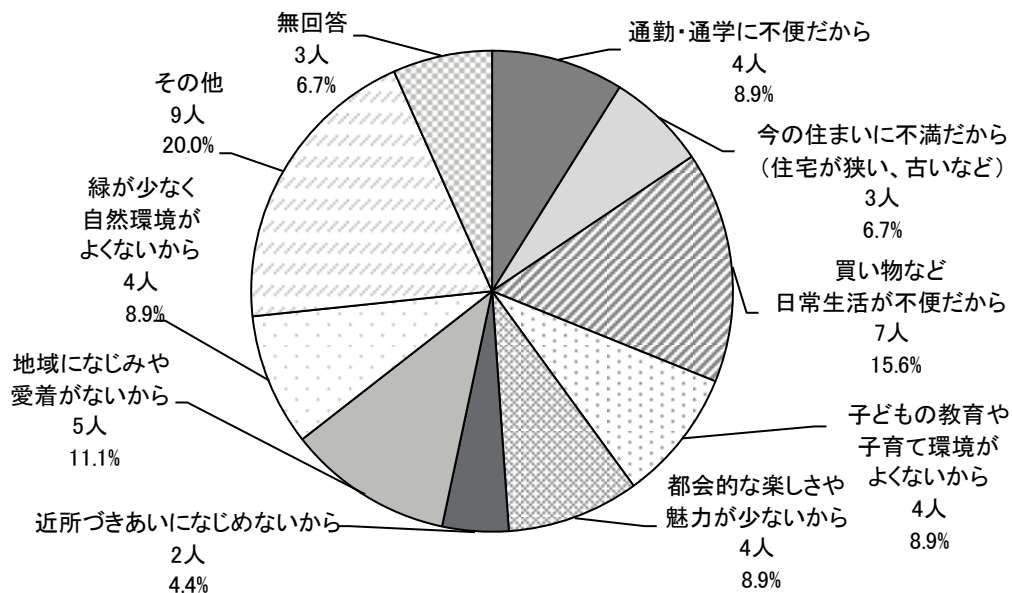
問3 問1で「出来れば市外に移りたい」「すぐにでも市外に移りたい」を選んだ方にお聞きします。あなたが市外に移りたいとお考えになった理由を、次の中から1つ選んでください。

<全体>

市外に移りたい理由は、「買い物など日常生活が不便だから」の割合が15.6%で最も高く、続いて「地域になじみや愛着がないから」(11.1%)となっている。

「その他」には、「ポイ捨て、歩きタバコが多く環境が悪い」、「保育園に入れない」などの記述があった。

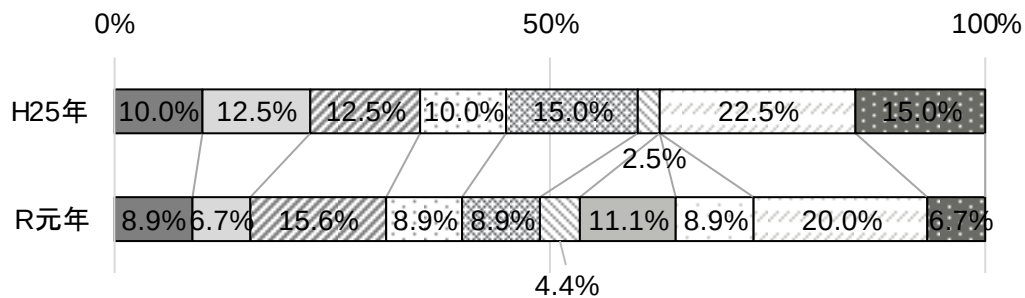
n=45



＜経年比較＞

「買い物など日常生活が不便だから」、「地域になじみや愛着がないから」、「近所づきあいになじめないから」が増加している一方で、「通勤・通学に不便だから」、「今の住まいに不満だから（住宅が狭い、古いなど）」、「子どもの教育や子育て環境がよくないから」、「都会的な楽しさや魅力が少ないから」は減少している。

※選択肢「緑が少なく自然環境がよくないから」は、令和元年に追加したため、経年比較の対象外としている。



- 通勤・通学に不便だから
- 今の住まいに不満だから(住宅が狭い、古いなど)
- ▨ 買い物など日常生活が不便だから
- 子どもの教育や子育て環境がよくないから
- ▨ 都会的な楽しさや魅力が少ないから
- 近所づきあいになじめないから
- ▨ 地域になじみや愛着がないから
- 緑が少なく自然環境がよくないから
- その他
- 無回答

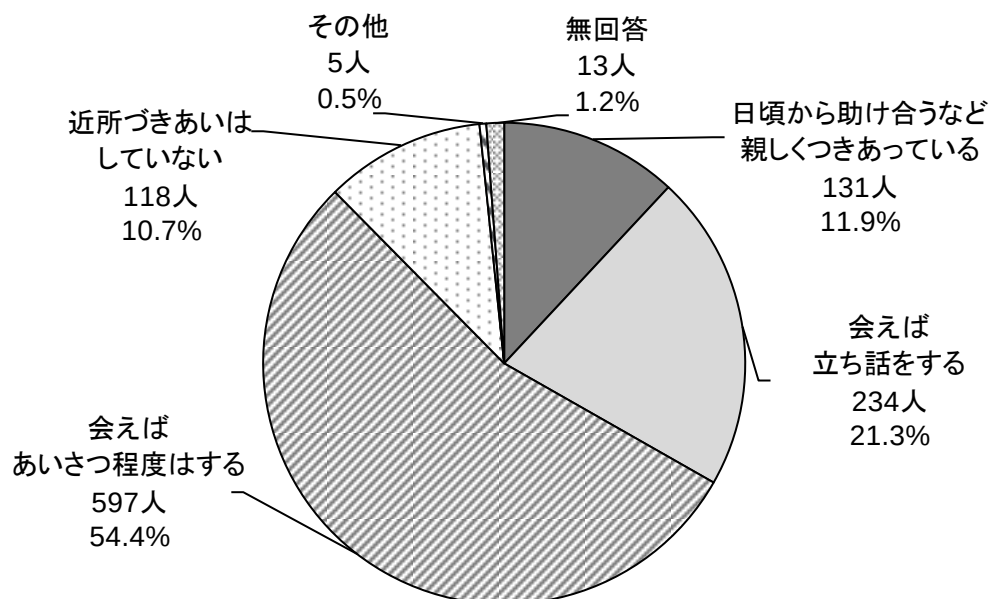
2. 日頃の地域との関わりについて

問 4 あなたは日頃、近所の方とどのようなおつきあいをしていますか。次の中から1つ選んでください。

<全体>

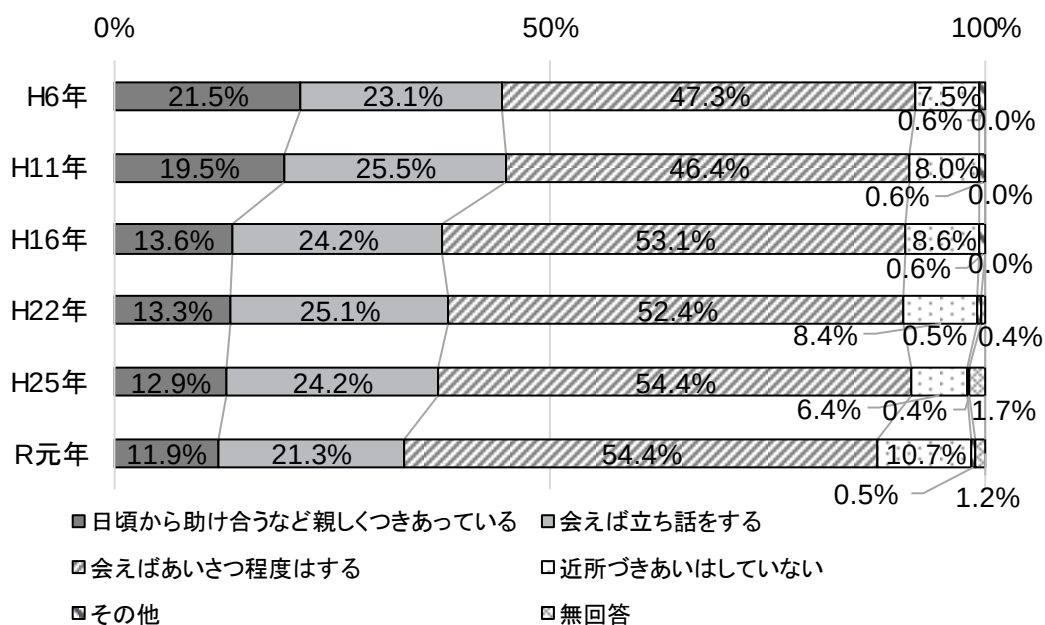
近所との日頃の付き合いは、「会えばあいさつ程度はする」の割合が 54.4%で最も高く、続いて「会えば立ち話をする」(21.3%)、「日頃から助け合うなど親しくつきあっている」(11.9%)となっている。

n=1,098



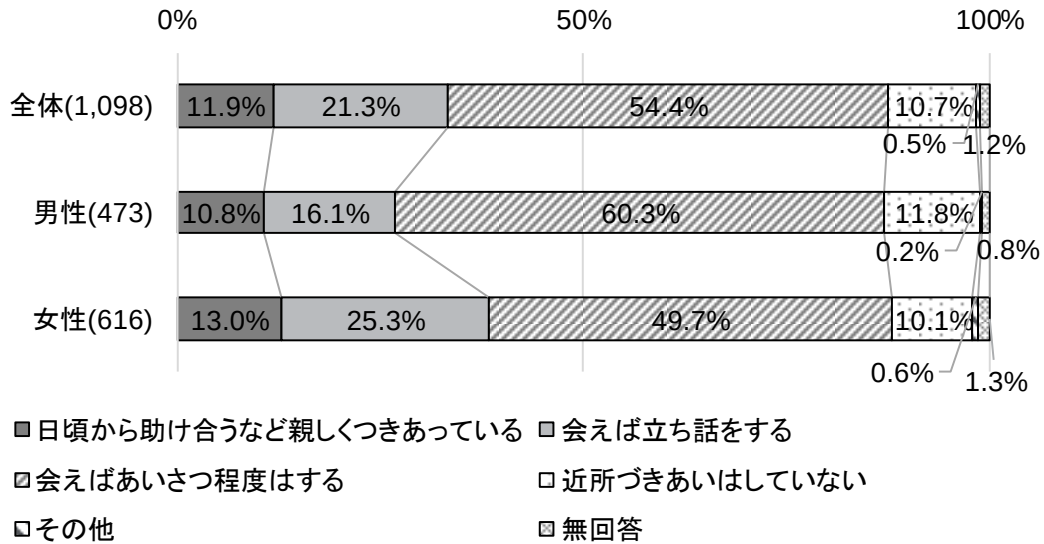
<経年比較>

「近所づきあいしていない」の割合は、平成 11 年以降ほぼ横ばいで推移していたが、令和元年に増加している。



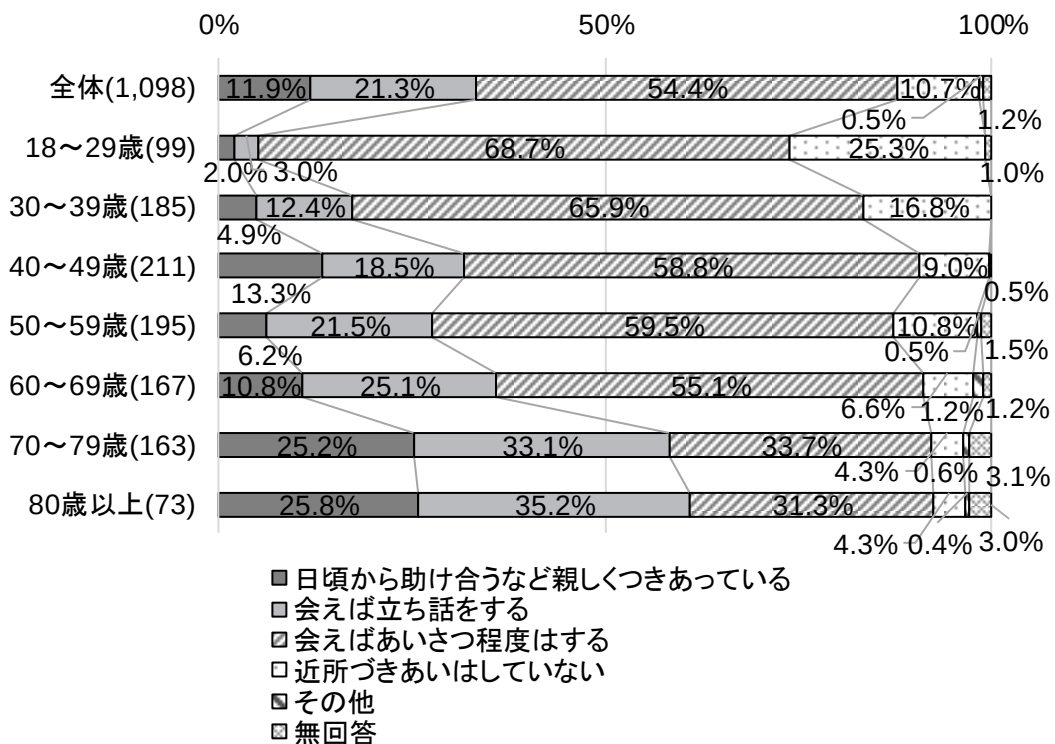
<性別>

女性の方が、「日頃から助け合うなど親しくつきあっている」と「会えば立ち話をする」の割合が高い。



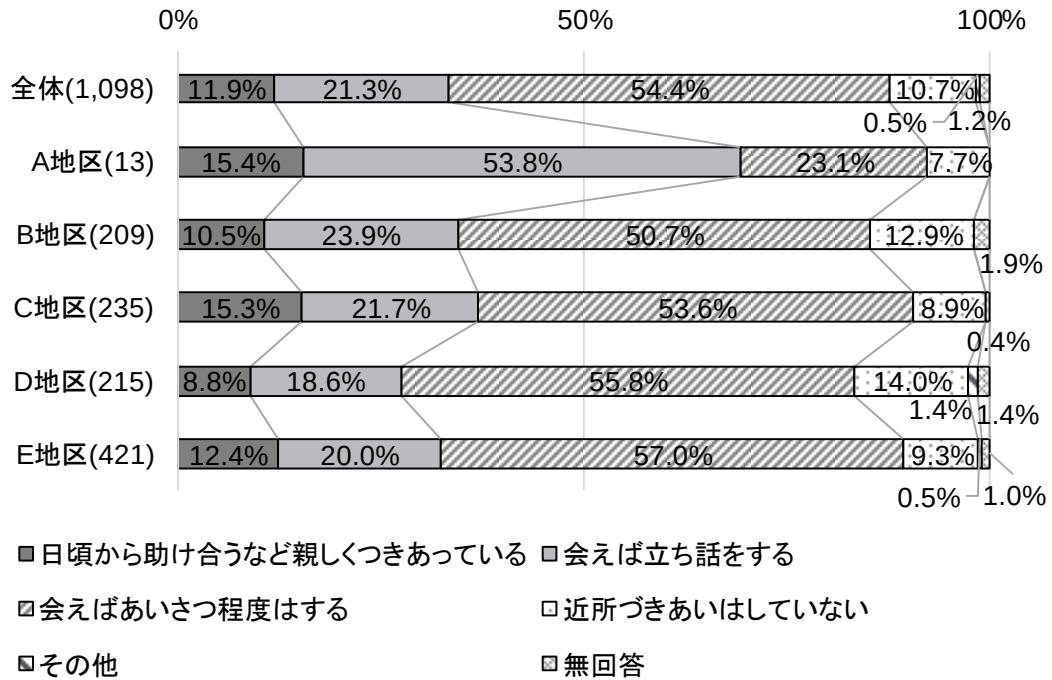
<年代>

年代が高い方が、「日頃から助け合うなど親しくつきあっている」と「会えば立ち話をする」の割合が高くなる傾向にある。“80歳以上”では、「日頃から助け合うなど親しくつきあっている」と「会えば立ち話をする」の割合が比較的高く7割を超えている。“18～29歳”では、「近所づきあいはいはしていない」の割合が比較的高く2割を超えている。



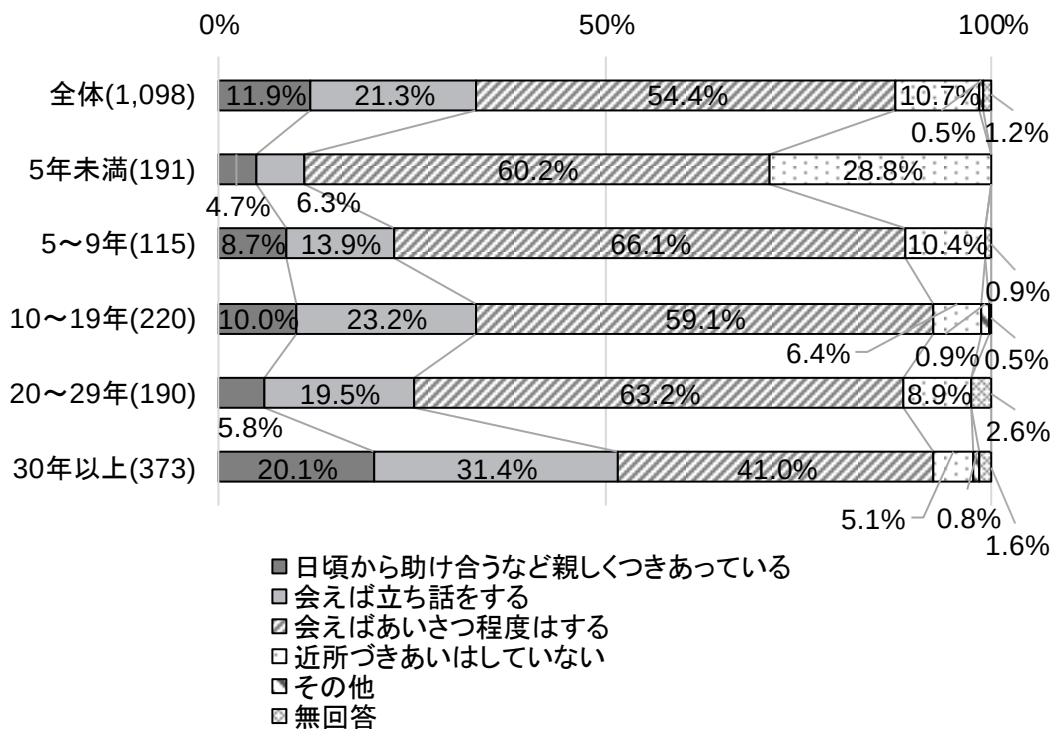
<居住地区>

“A 地区”では「日頃から助け合うなど親しくつきあっている」と「会えば立ち話をする」の割合が比較的高い。



<居住年数>

年数が長い方が、「日頃から助け合うなど親しくつきあっている」と「会えば立ち話をする」の割合が高くなる傾向にある。“30年以上”では、「日頃から助け合うなど親しくつきあっている」と「会えば立ち話をする」の割合が比較的高く5割を超えている。



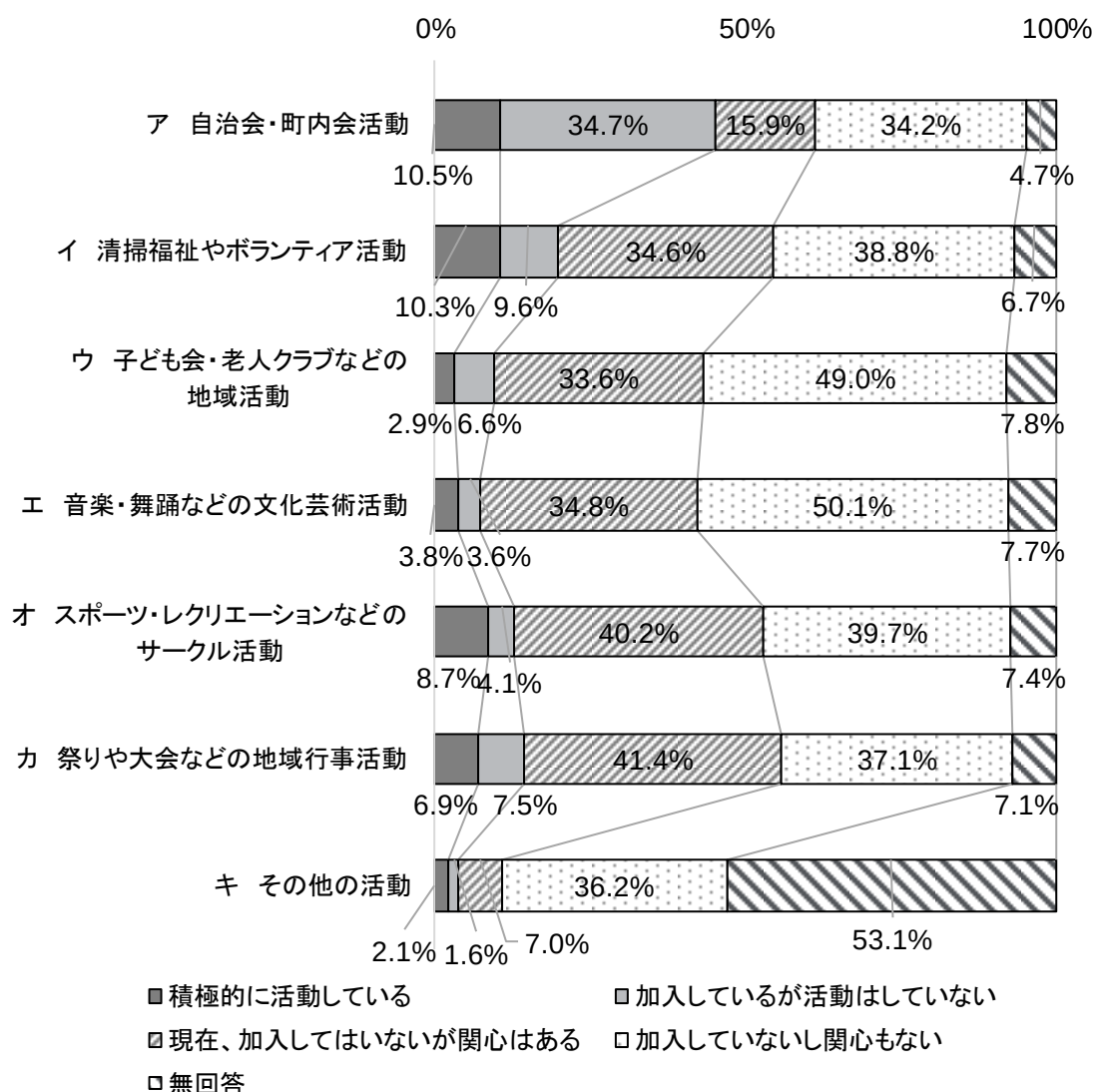
問 5 あなたは日頃、地域の自治会・町内会やボランティア団体などで、コミュニティ活動を行っていますか。次の活動(ア～キ)それぞれについて1つずつ選んでください。

<全体>

コミュニティ活動への参加は、「積極的に活動している」の割合は「自治会・町内会活動」が 10.5% で最も高く、続いて「清掃福祉やボランティア活動」(10.3%) となっている。また、「加入しているが活動はしていない」の割合も「自治会・町内会活動」が 34.7% で最も高い。

「現在、加入してはいないが関心はある」の割合は「祭りや大会などの地域行事活動」が 41.4% で最も高く、続いて「スポーツ・レクリエーションなどのサークル活動」(40.2%)、「音楽・舞踊などの文化芸術活動」(34.8%) となっている。

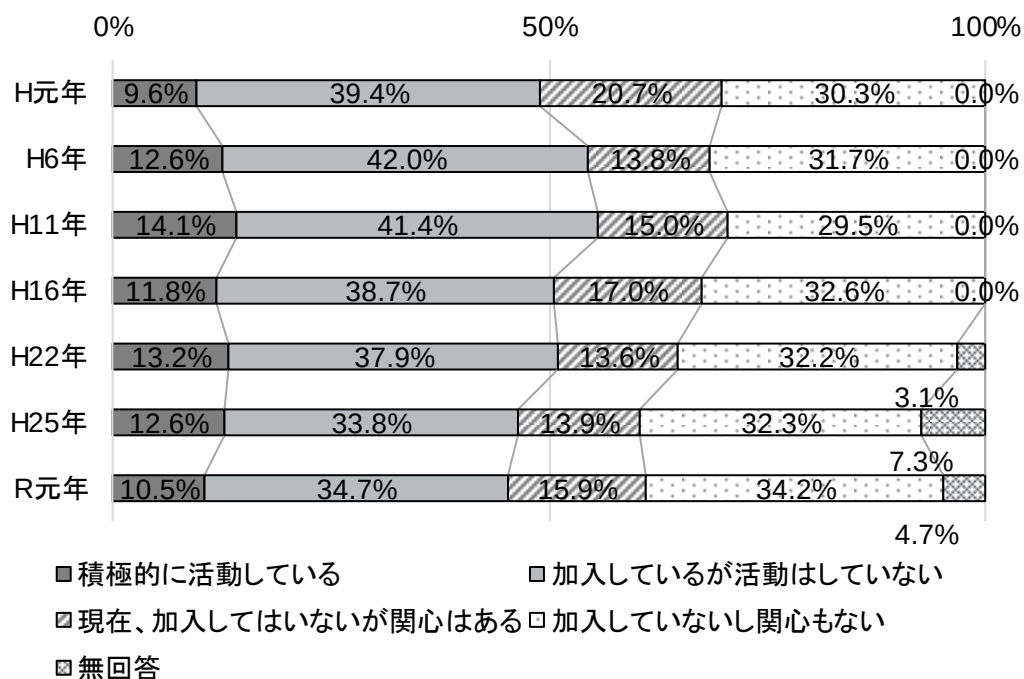
n=1,098



ア 自治会・町内会活動

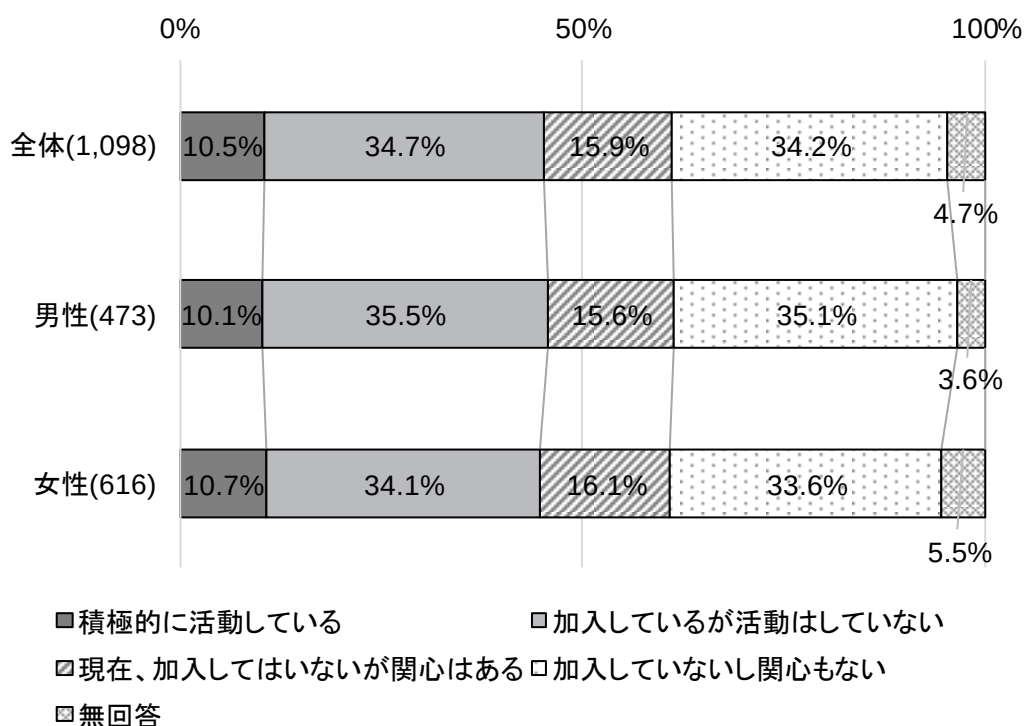
<経年比較>

「積極的に活動している」の割合は平成 22 年以降、「加入しているが活動はしていない」の割合は平成 11 年以降、減少傾向にある。一方、「現在、加入してはいるが関心はある」の割合は令和元年、増加に転じている。



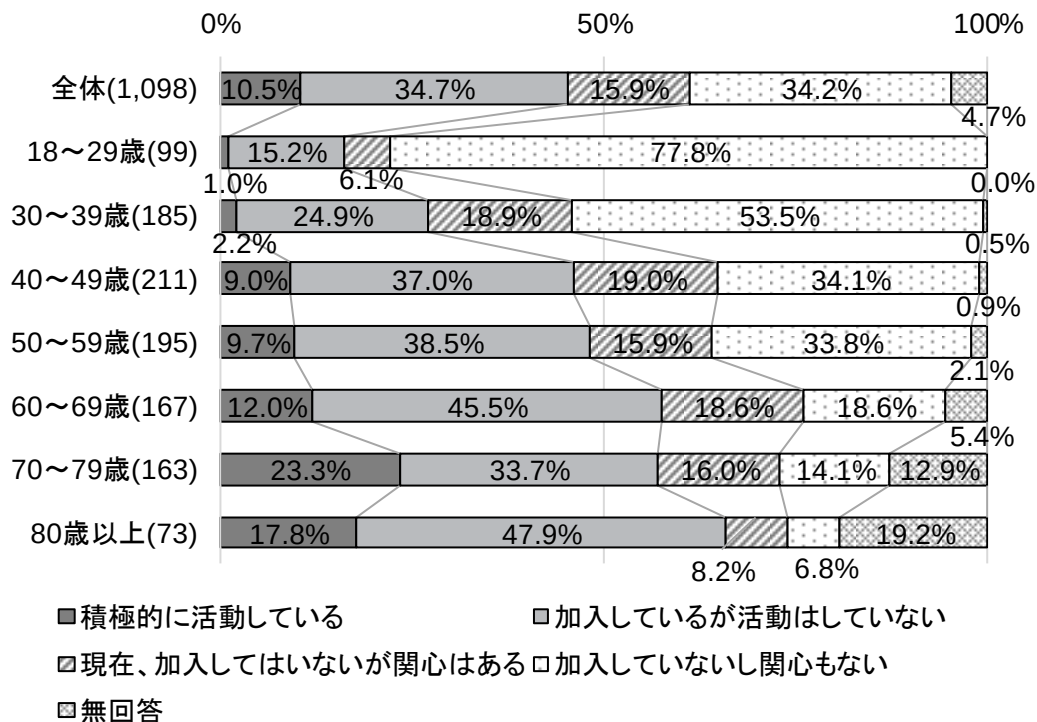
<性別>

性別での特徴は見られない。



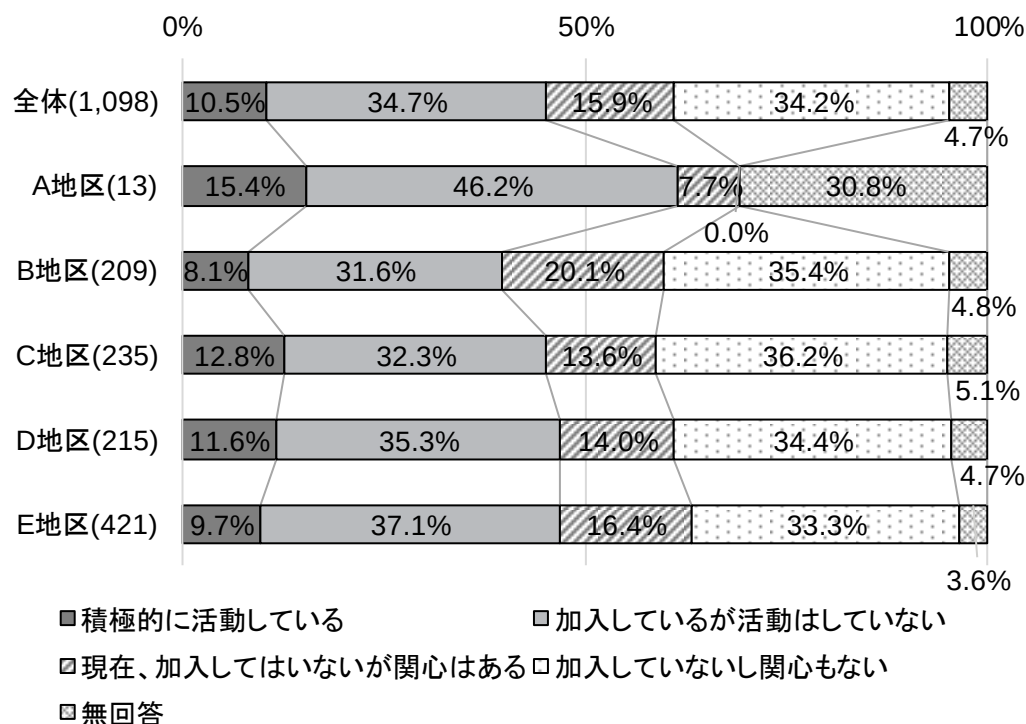
<年代>

年代が高い方が、「積極的に活動している」の割合が高くなる傾向にある。“18～29 歳”では「加入していないし関心もない」の割合が比較的高く 7 割を超えている。



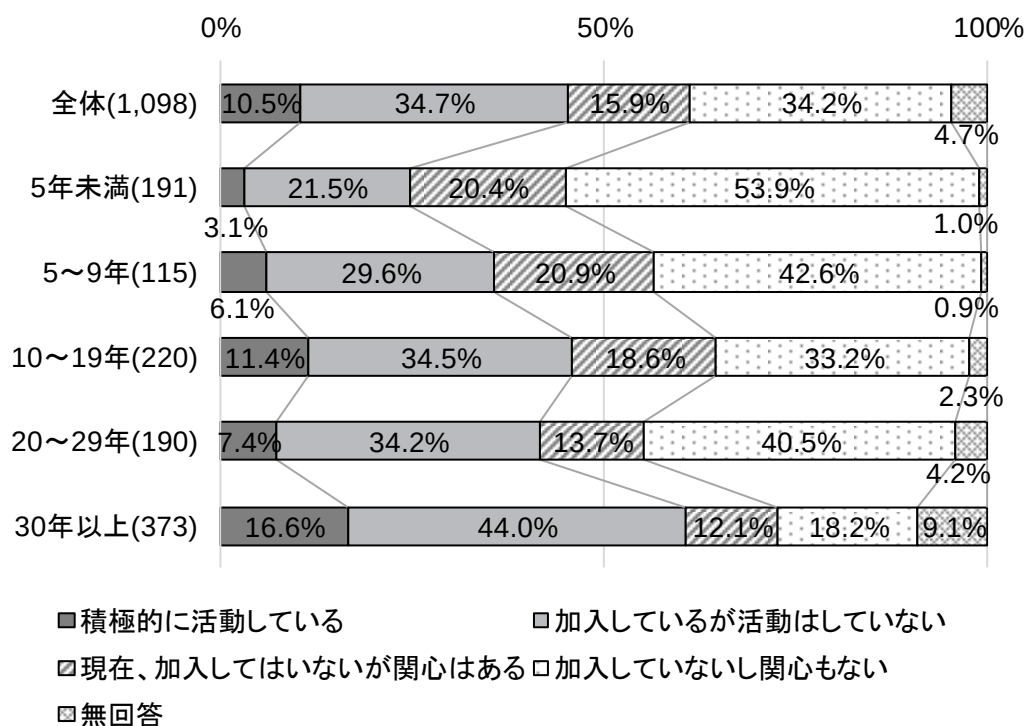
<居住地区>

“A 地区”では「積極的に活動している」と「加入しているが活動はしていない」を合わせた“加入している”割合が比較的高く 6 割を超えている。



<居住年数>

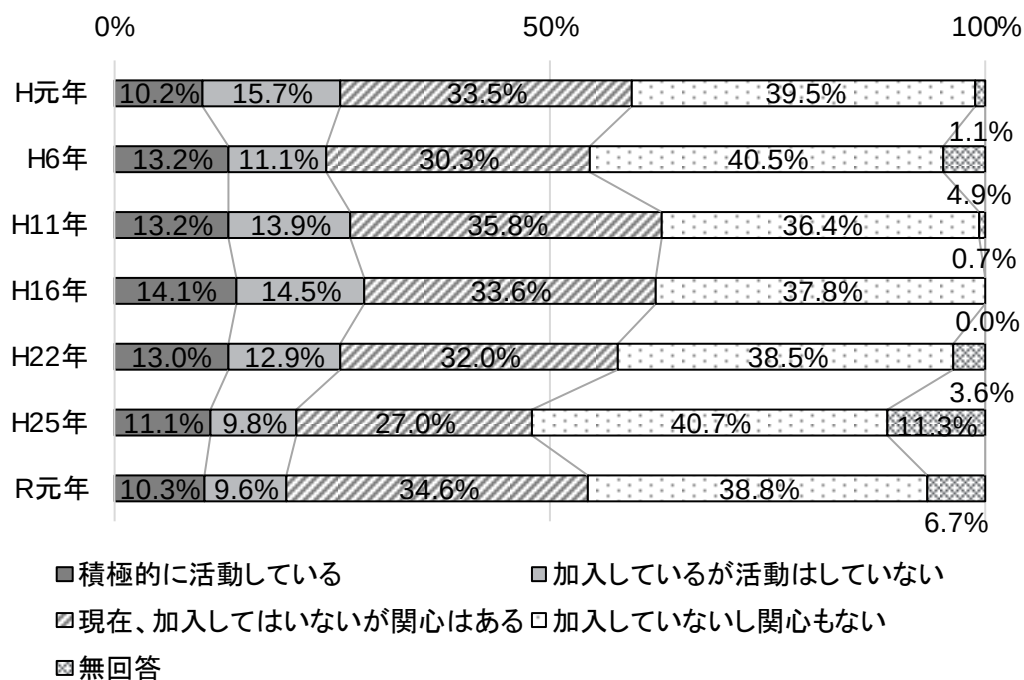
年数が長い方が、「加入しているが活動はしていない」の割合が高くなる傾向にある。“5年未満”では、「加入していないし関心もない」の割合が比較的高く5割を超えている。



イ 清掃奉仕や福祉ボランティア活動

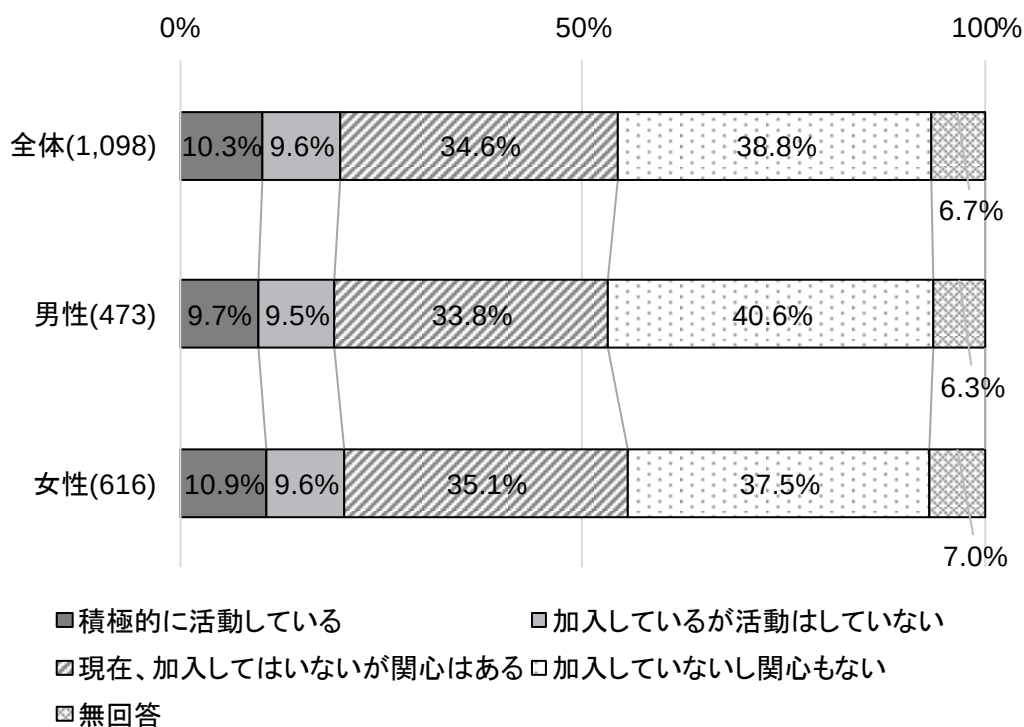
<経年比較>

「積極的に活動している」、「加入しているが活動はしていない」の割合は平成16年以降、減少している。一方、「現在、加入してはいないが関心はある」の割合は令和元年、増加に転じている。



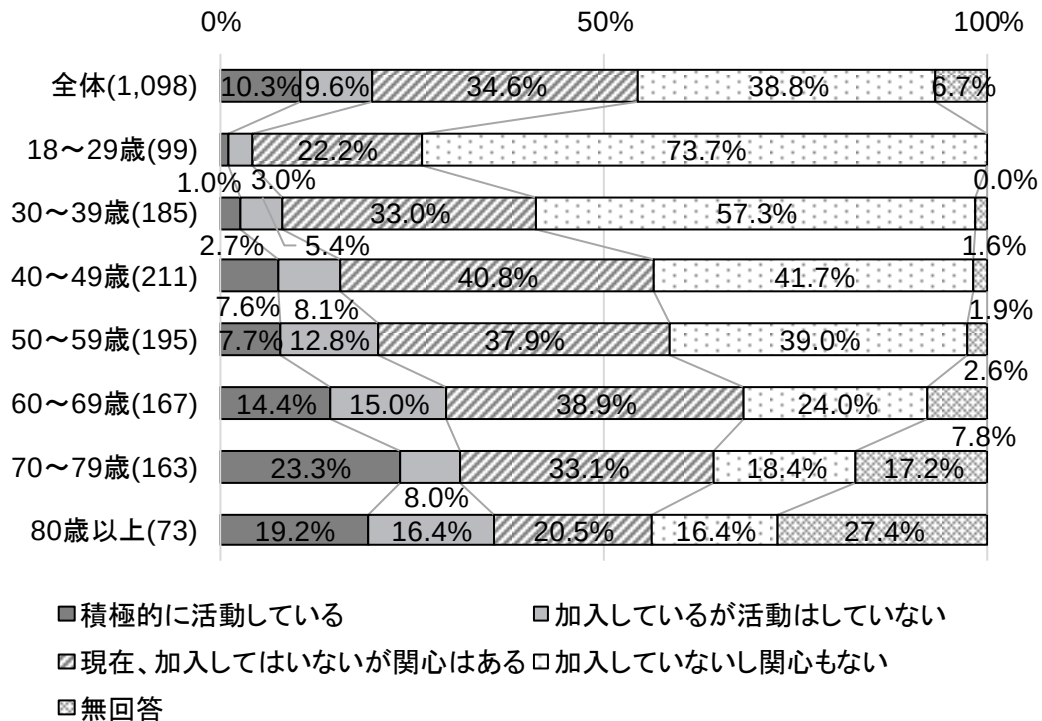
<性別>

性別での特徴は見られない。



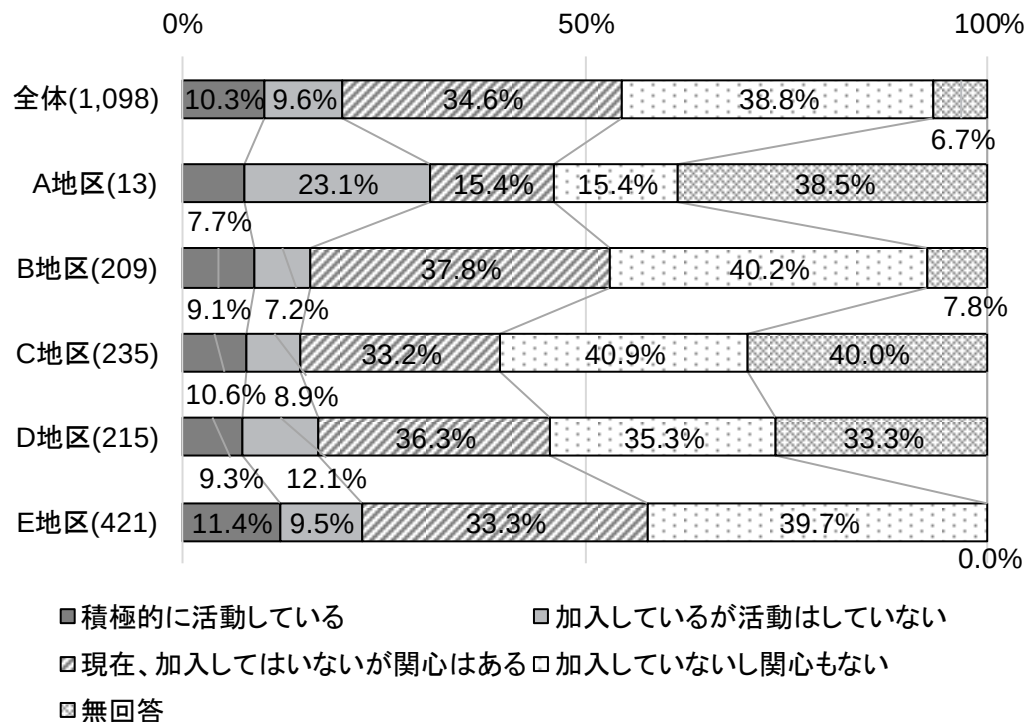
<年代>

年代が高い方が、「積極的に活動している」の割合が高くなる傾向にある。“18～29 歳”では「加入していないし関心もない」の割合が比較的高く 7 割を超えている。



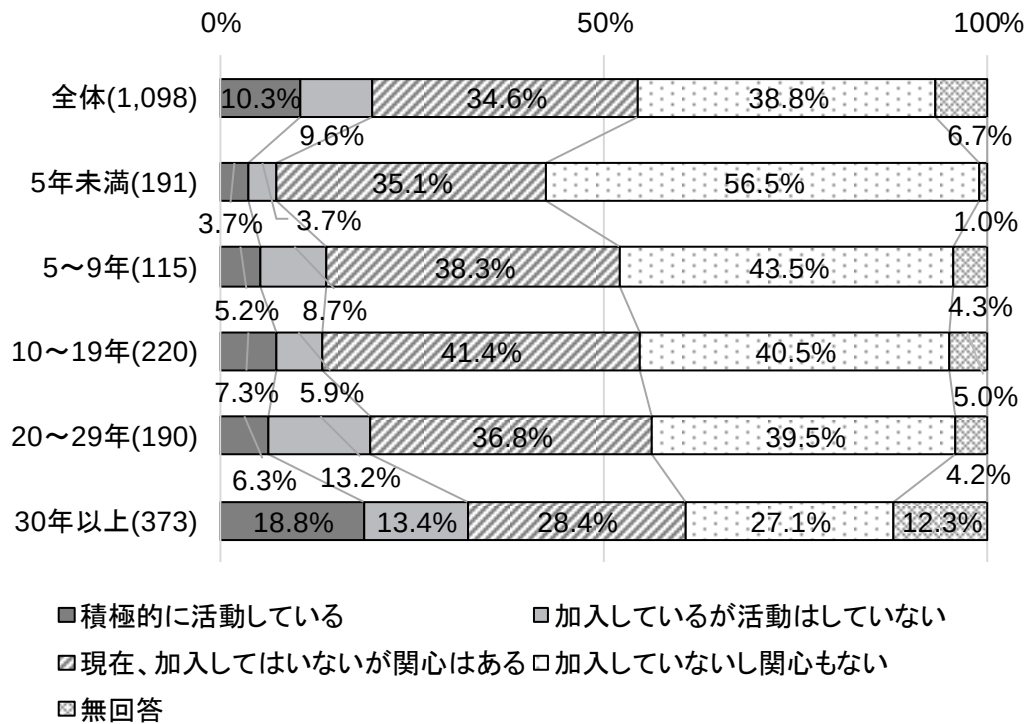
<居住地区>

“A 地区”では「積極的に活動している」と「加入しているが活動はしていない」を合わせた“加入している”割合が比較的高く 3 割を超えている。



＜居住年数＞

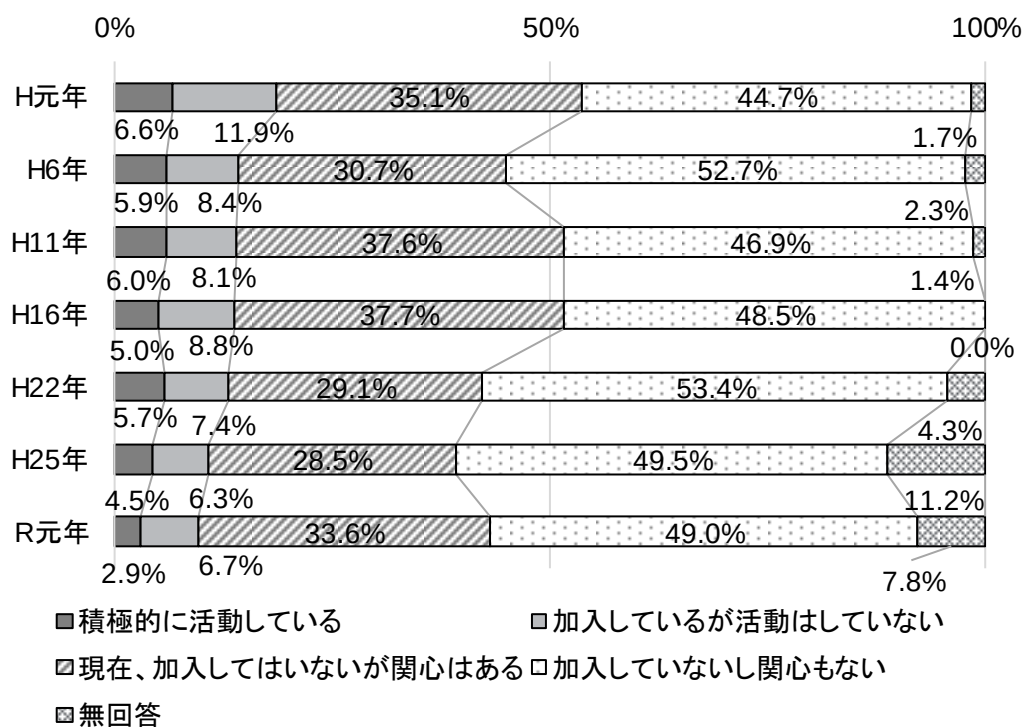
年数が長い方が、「積極的に参加している」と「加入しているが活動はしていない」を合わせた“加入している”割合が高くなる傾向にある。“5 年未満”では、「加入していないし関心もない」の割合が比較的高く 5 割を超えている。



ウ 子ども会・老人クラブなどの地域活動

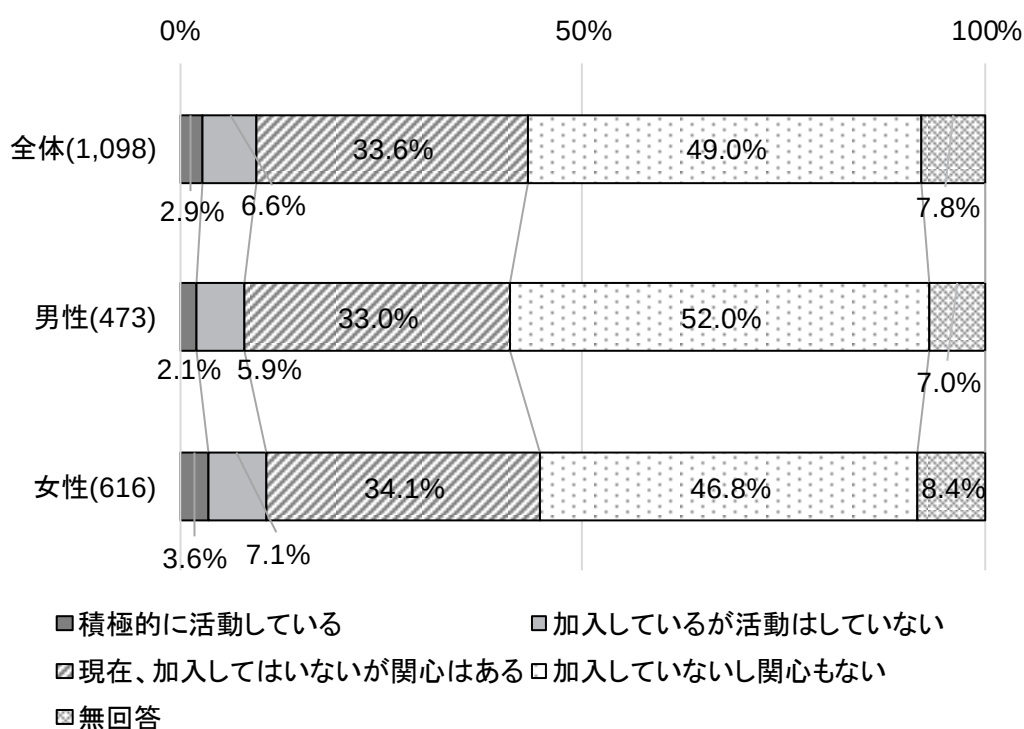
<経年比較>

「積極的に活動している」の割合は平成 22 年以降、減少している。一方、「現在、加入してはいないが関心はある」の割合は令和元年、増加に転じている。



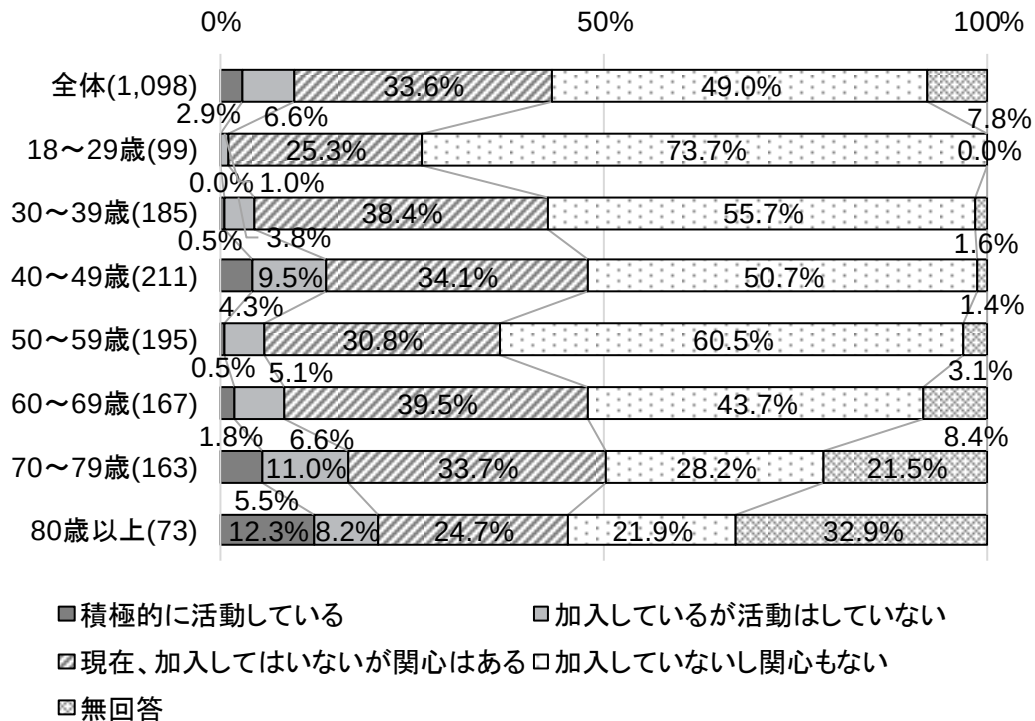
<性別>

性別での特徴は見られない。



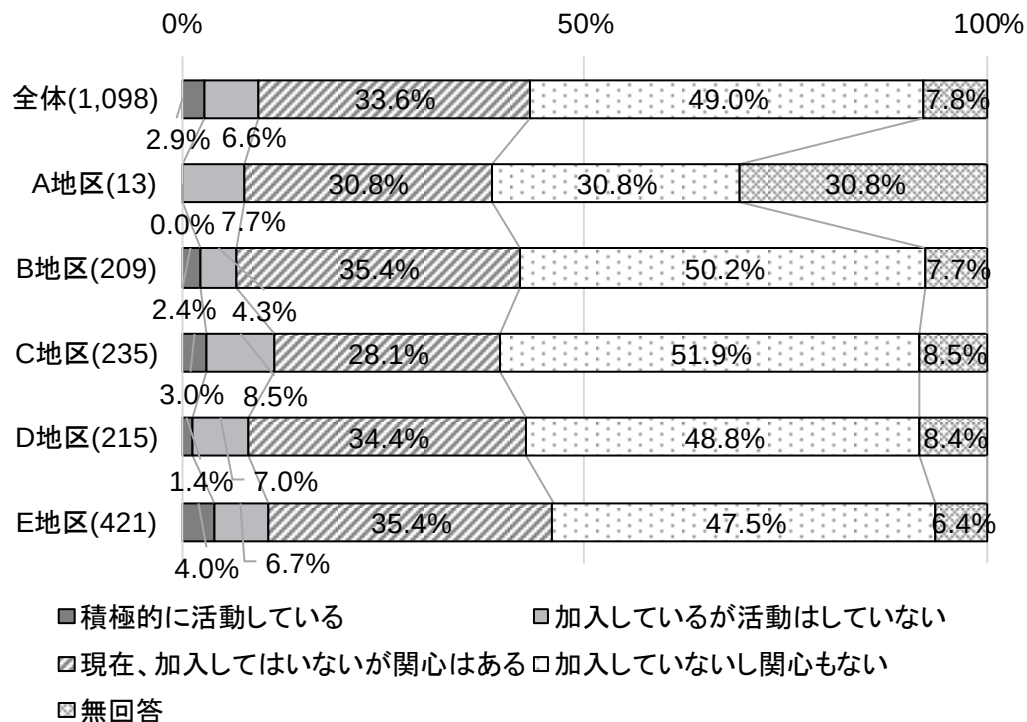
<年代>

年代が高い方が、「積極的に活動している」の割合が高くなる傾向にある。“18～29 歳”では「加入していないし関心もない」の割合が比較的高く 7 割を超えている。



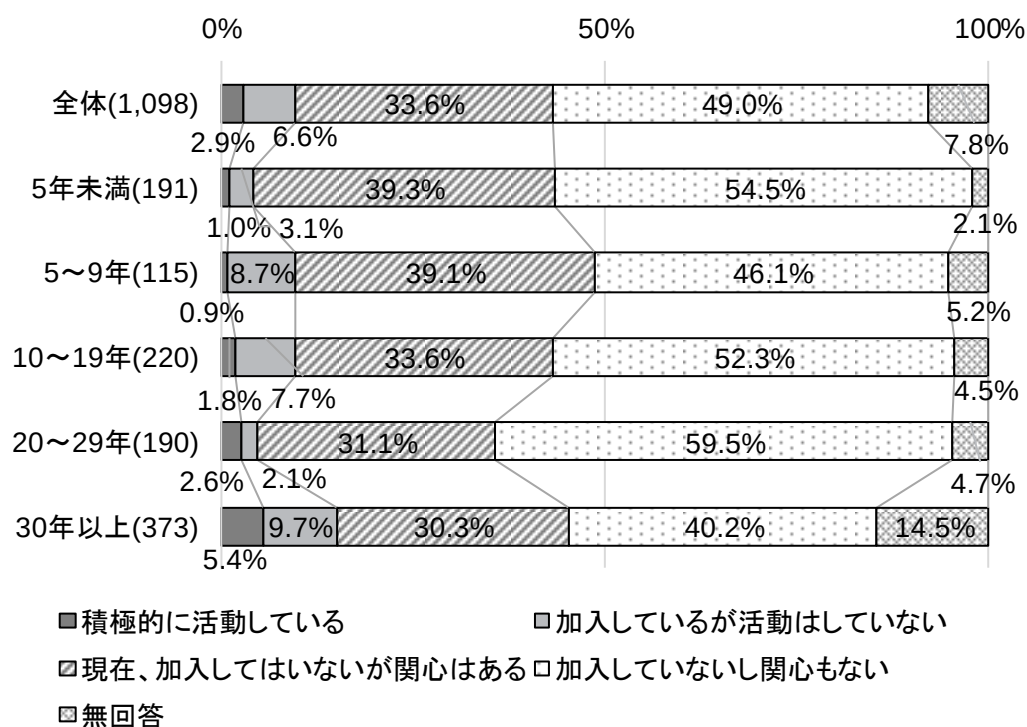
<居住地区>

“A 地区”では「加入していないし関心もない」の割合が比較的低く 3 割台である。



<居住年数>

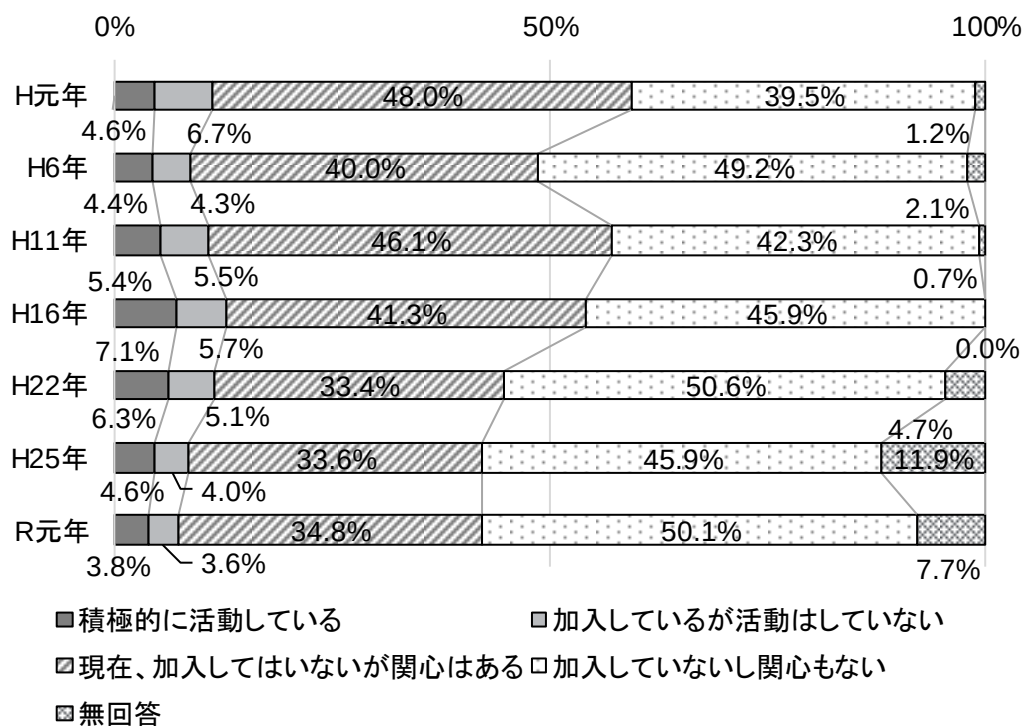
年数が長い方が、「積極的に活動している」の割合が高くなる傾向にある。



エ 音楽・舞踊などの文化芸術活動

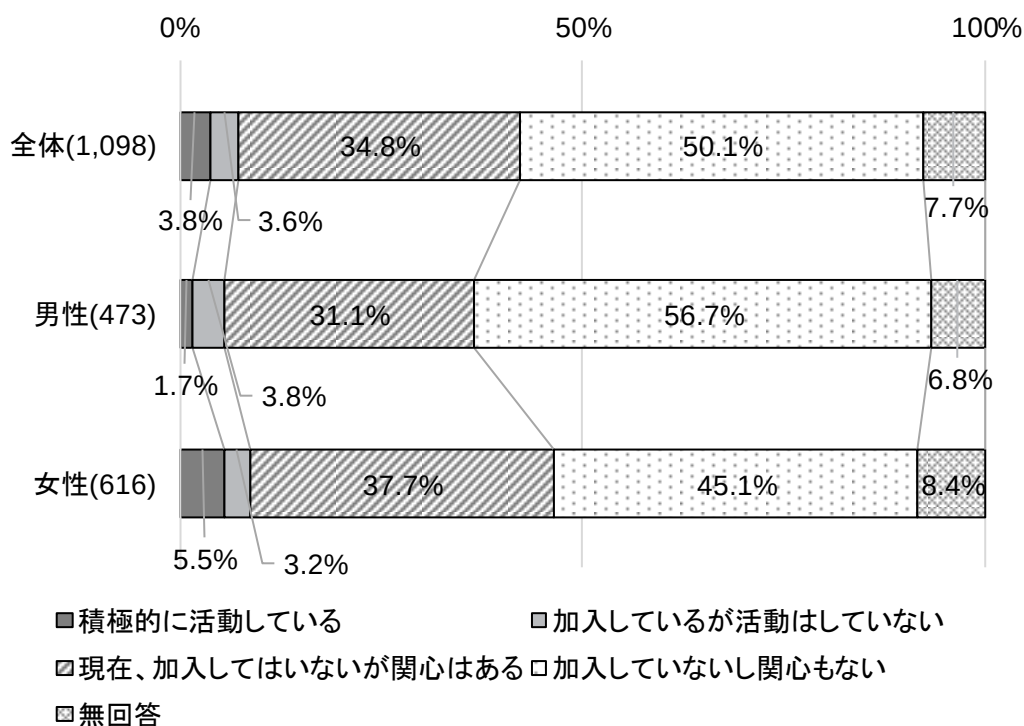
<経年比較>

「積極的に活動している」、「加入しているが活動はしていない」の割合は平成16年以降、減少している。



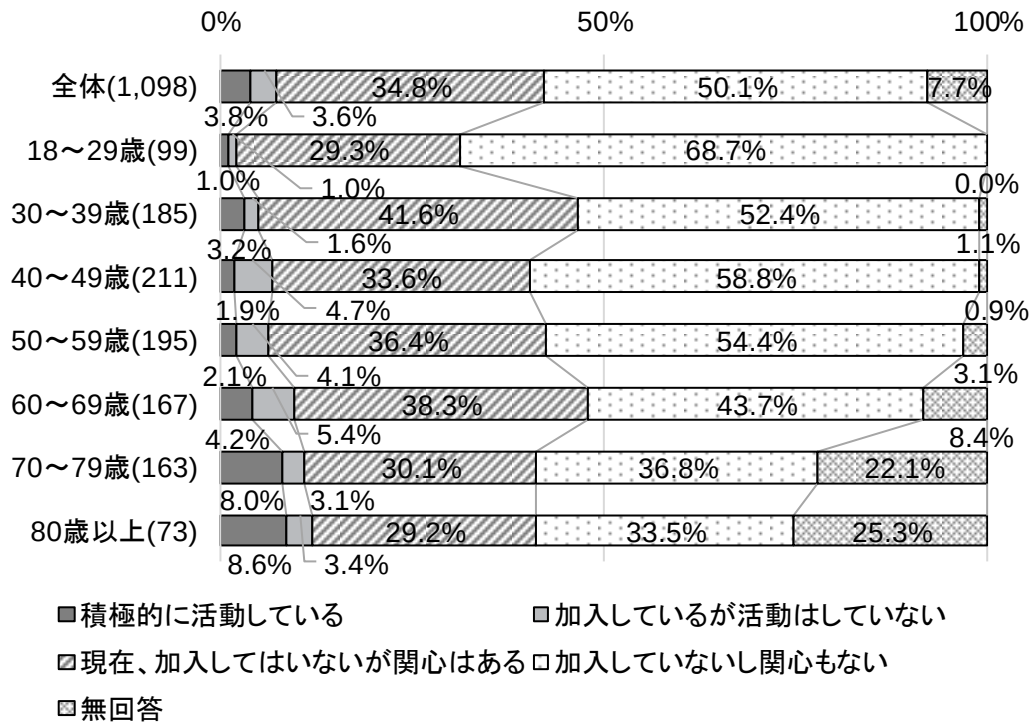
<性別>

女性の方が、「積極的に参加している」の割合が高い。



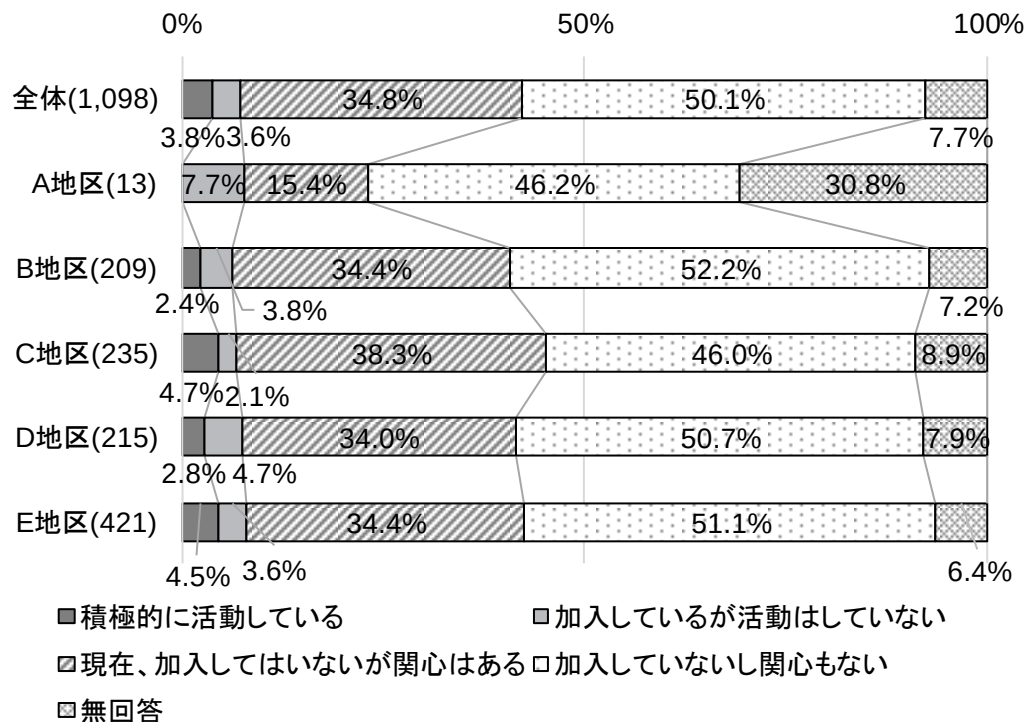
<年代>

年代が高い方が「積極的に活動している」と「加入しているが活動していない」を合わせた“加入している”割合が高くなる傾向にある。“18～29歳では「加入していないし関心もない」の割合が比較的高く7割近くに上っている。



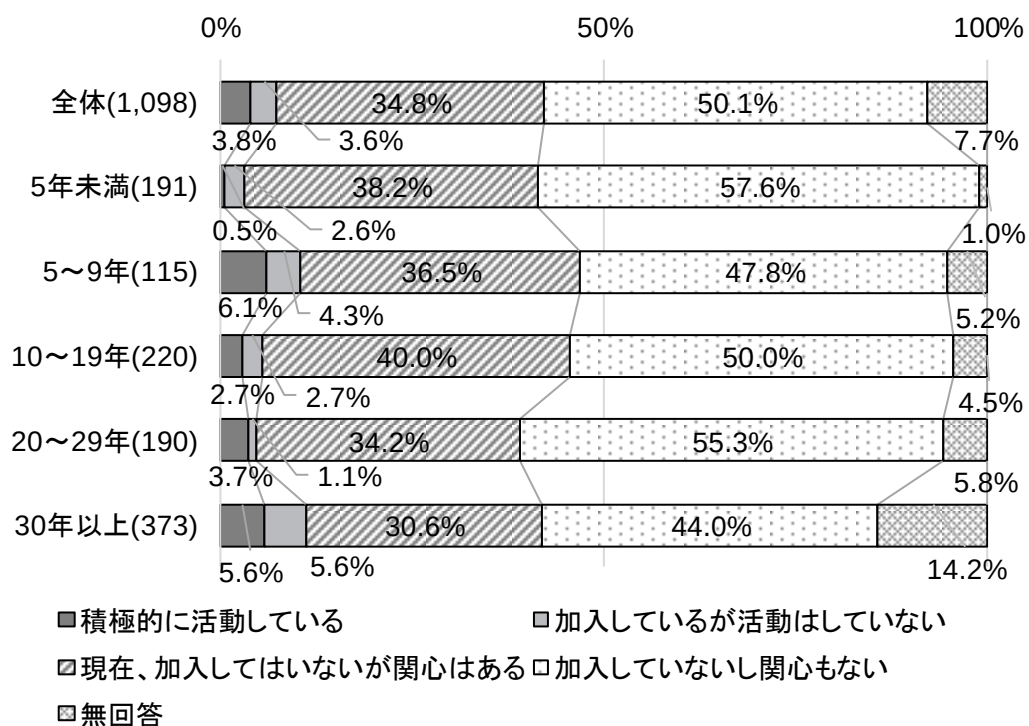
<居住地区>

“A地区”では「現在、加入してはいないが関心はある」の割合が比較的低い。



<居住年数>

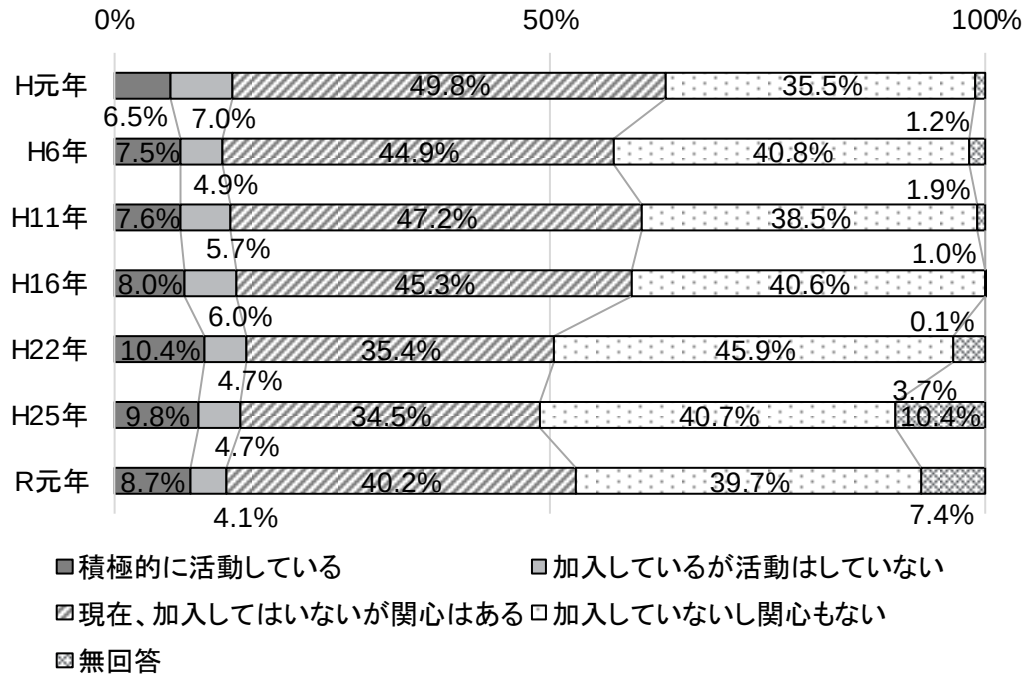
年数での特徴は見られない。



オ スポーツ・レクリエーションなどのサークル活動

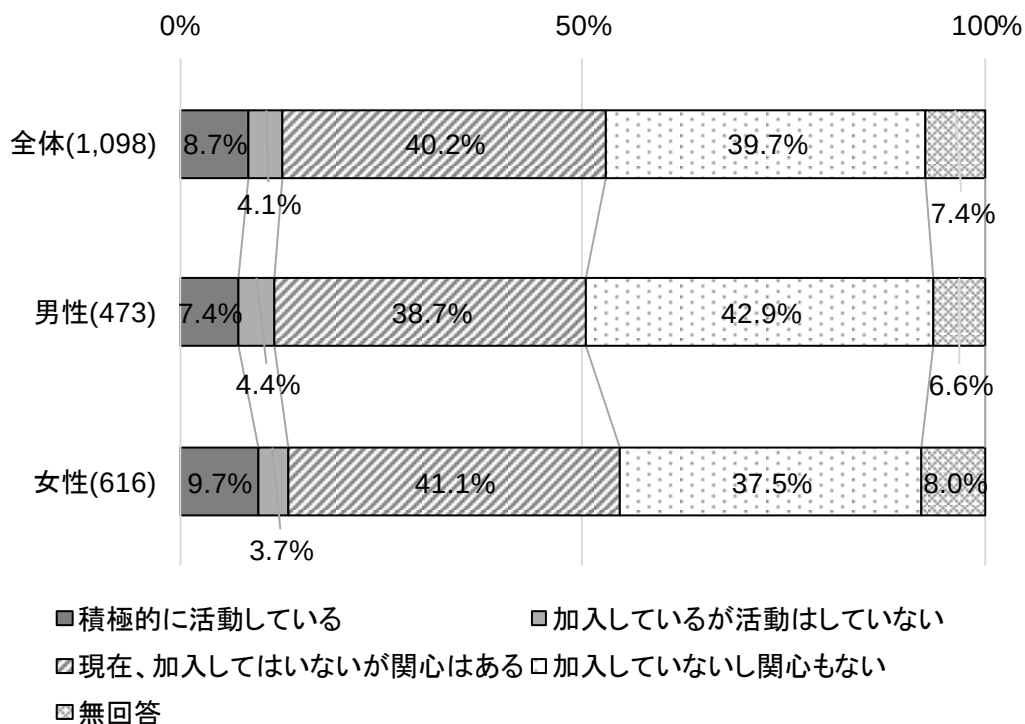
<経年比較>

「積極的に活動している」、「加入しているが活動はしていない」の割合は平成 22 年以降、減少している。一方、「現在、加入してはいないが関心はある」の割合は令和元年、増加に転じている。



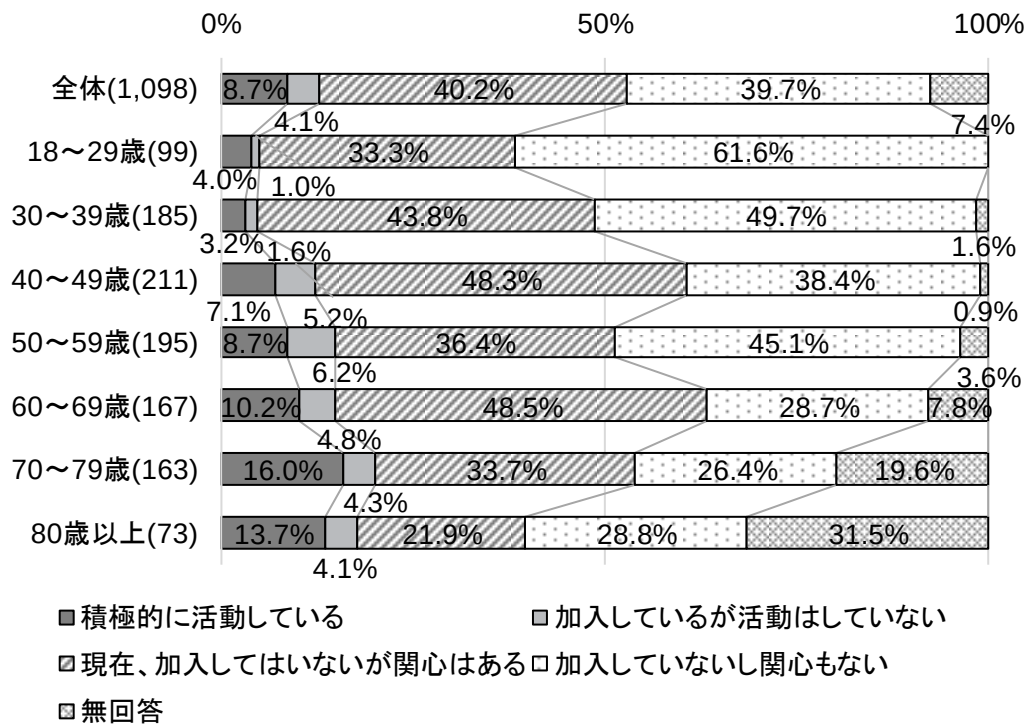
<性別>

性別での特徴は見られない。



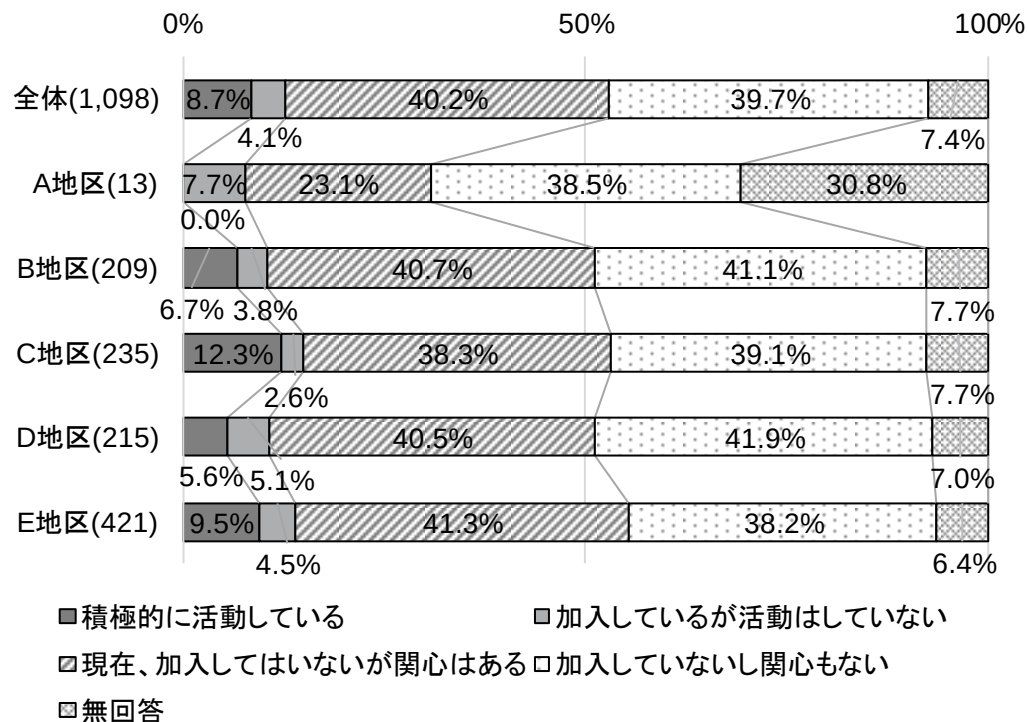
<年代>

“18～29 歳”では「加入していないし関心もない」の割合が比較的高く 6 割を超えている。



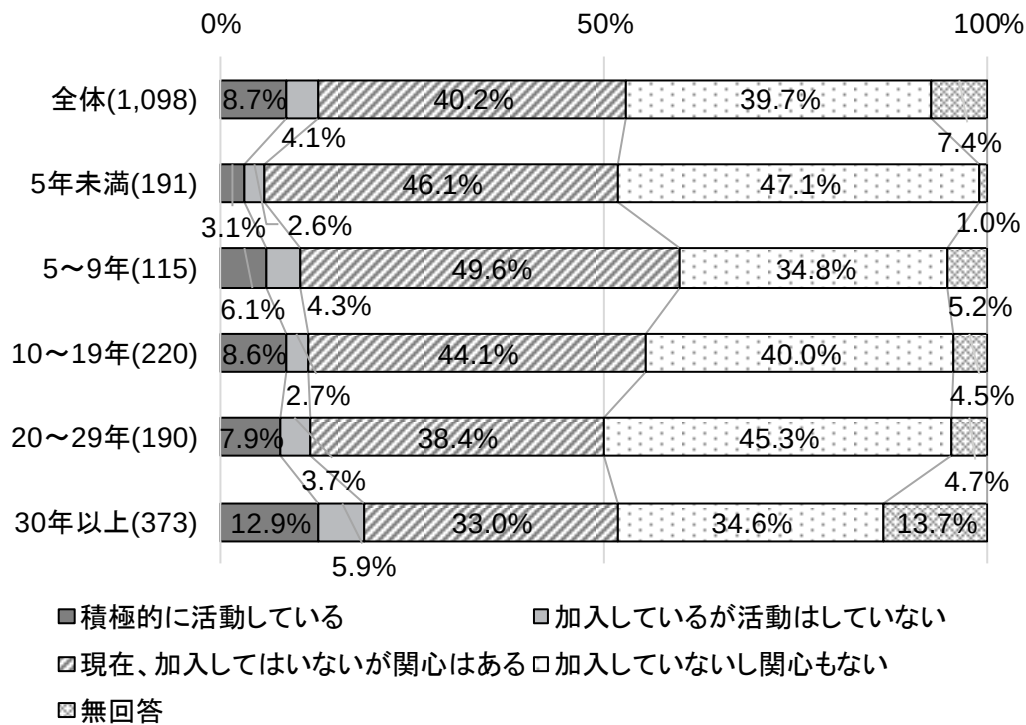
<居住地区>

“C 地区”では「積極的に活動している」の割合が比較的高く 1 割を超えている。



<居住年数>

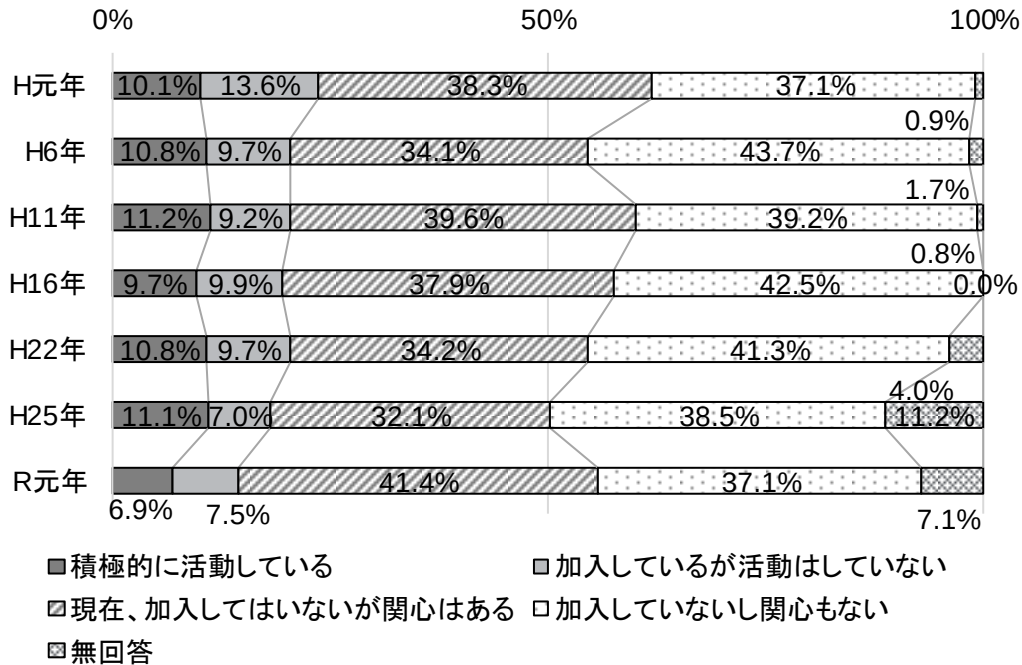
年数が長い方が、「積極的に活動している」の割合が高くなる傾向にある。“30年以上”では「積極的に活動している」の割合が比較的高く1割を超えている。



力 祭りや大会などの地域行事活動

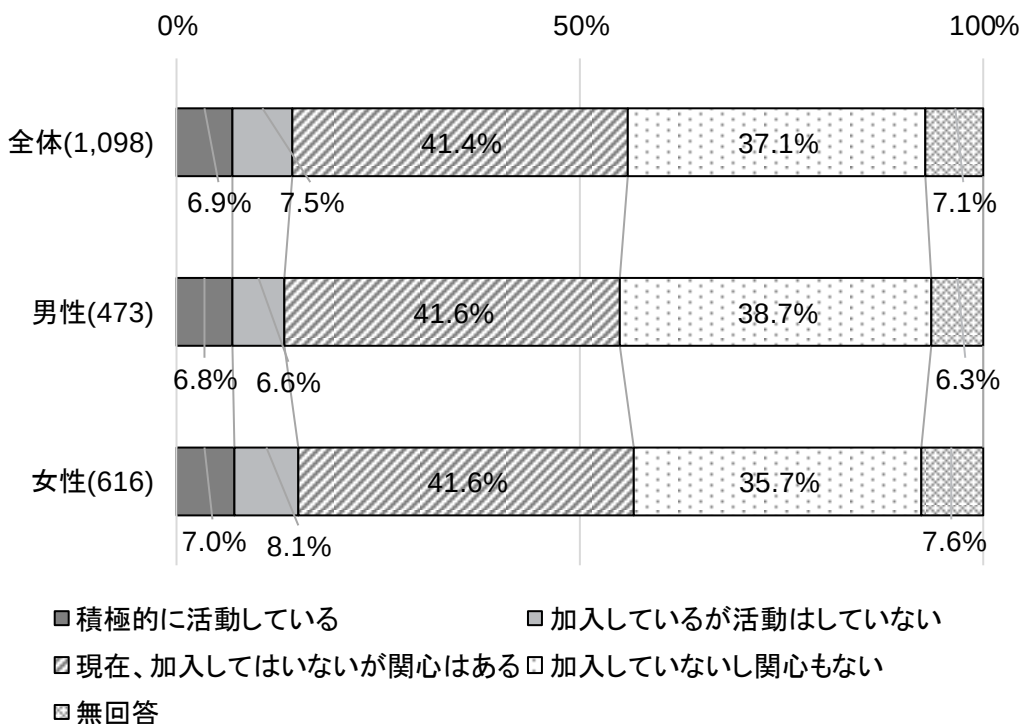
<経年比較>

「積極的に活動している」の割合は令和元年、減少に転じている。一方、「現在、加入してはいないが関心はある」の割合は令和元年、増加に転じている。



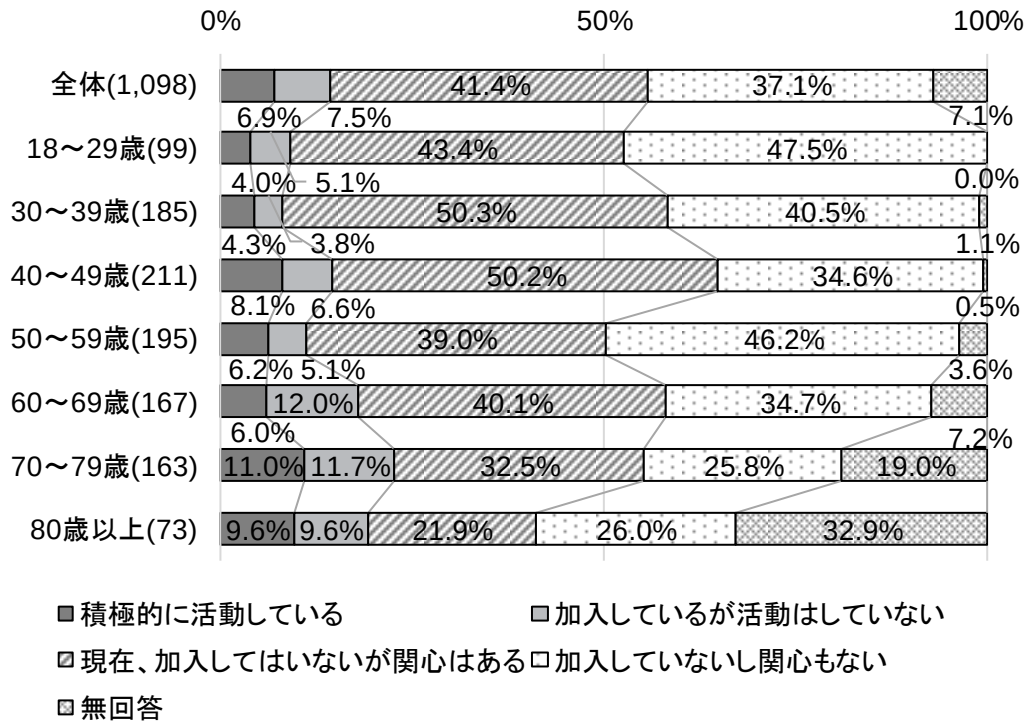
<性別>

性別での特徴は見られない。



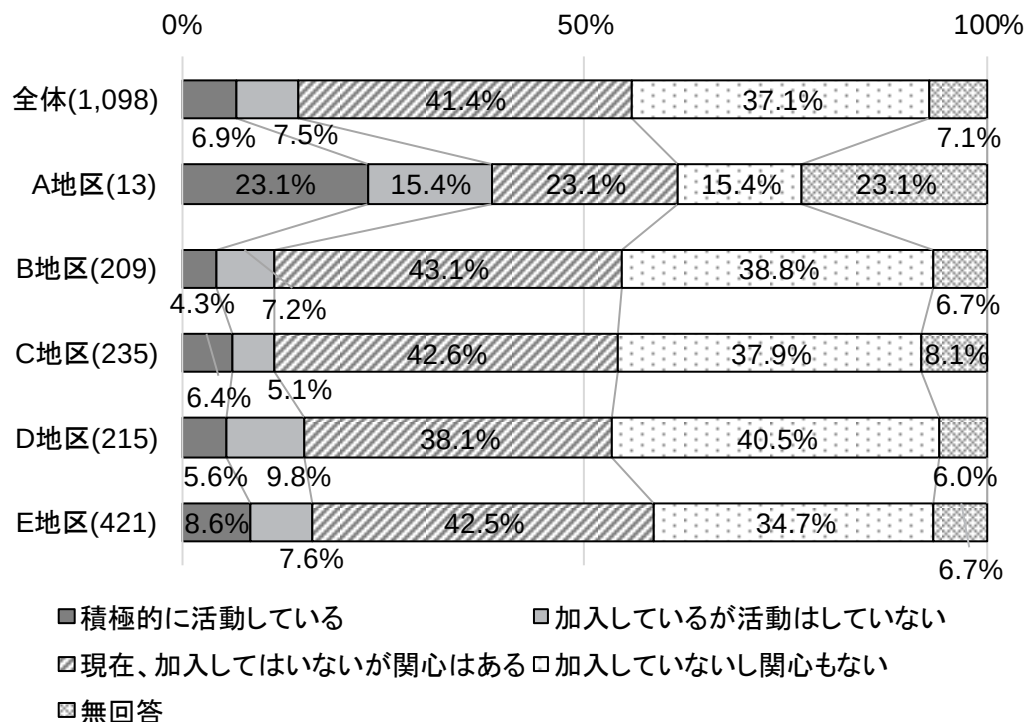
<年代>

“30～39 歳”、“40～49 歳”では「現在、加入してはいないが関心はある」の割合が比較的高く 5 割を超えている。



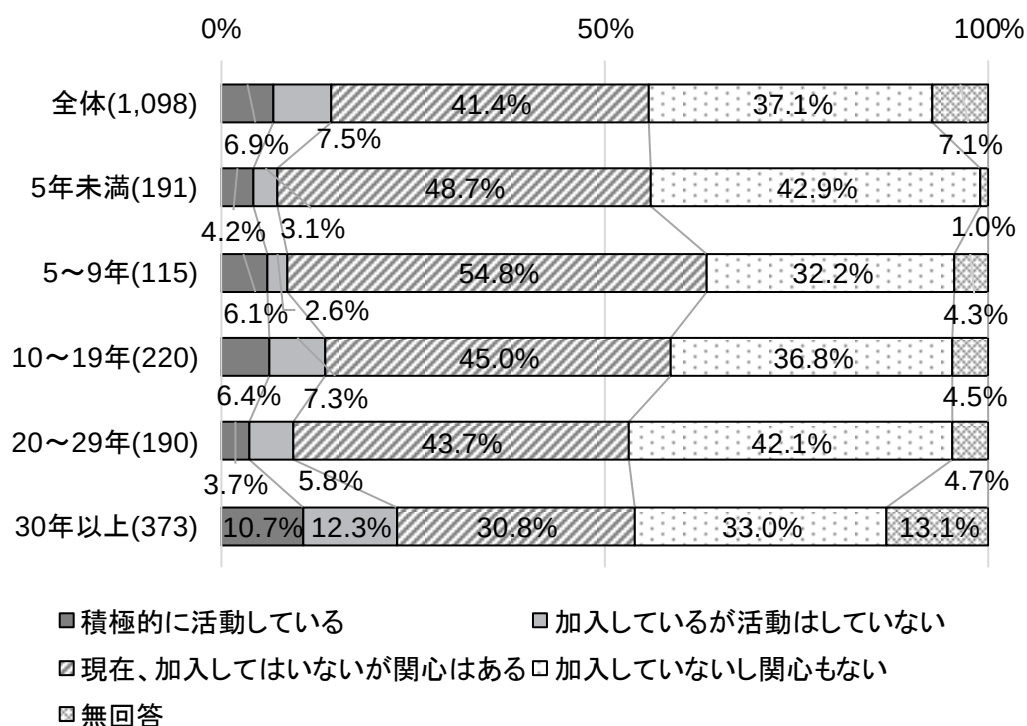
<居住地区>

“A 地区”では「積極的に活動している」の割合が比較的高く 2 割を超えている。



<居住年数>

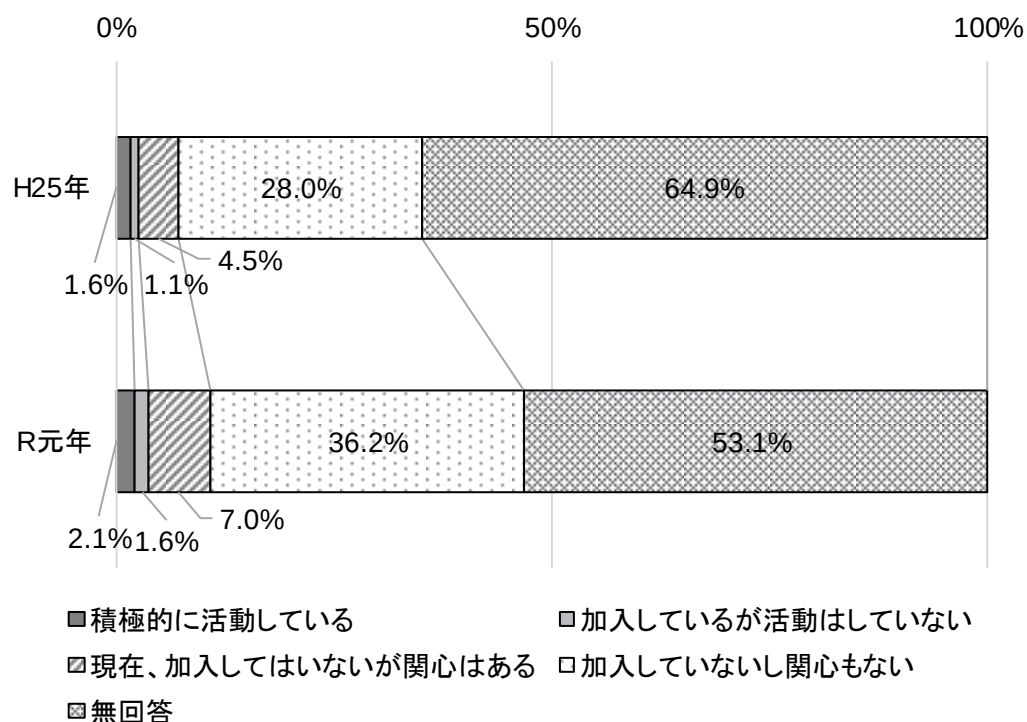
“5～9年”では「現在、加入してはいないが関心はある」の割合が比較的高く5割を超えている。



キ その他の活動

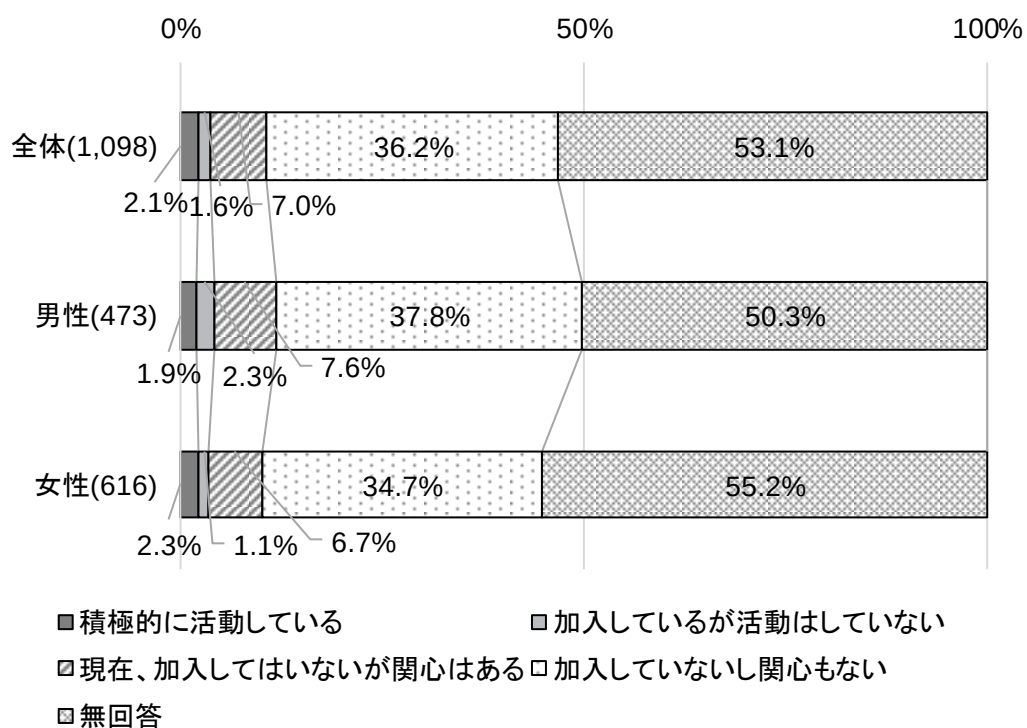
<経年比較>

経年比較での特徴は見られない。



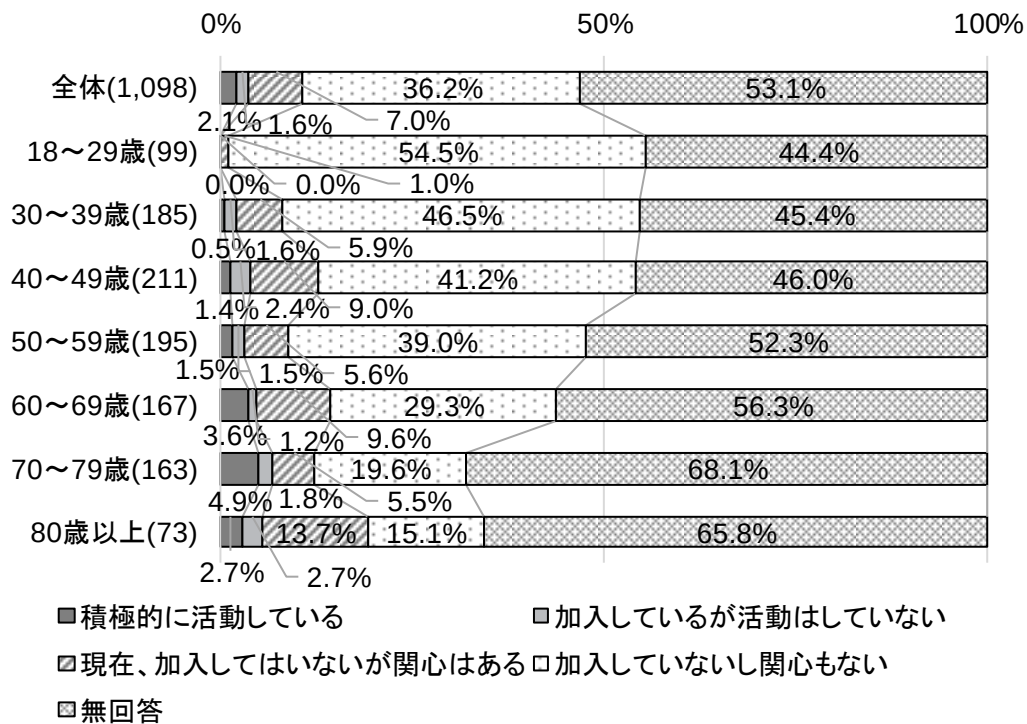
<性別>

性別での特徴は見られない。



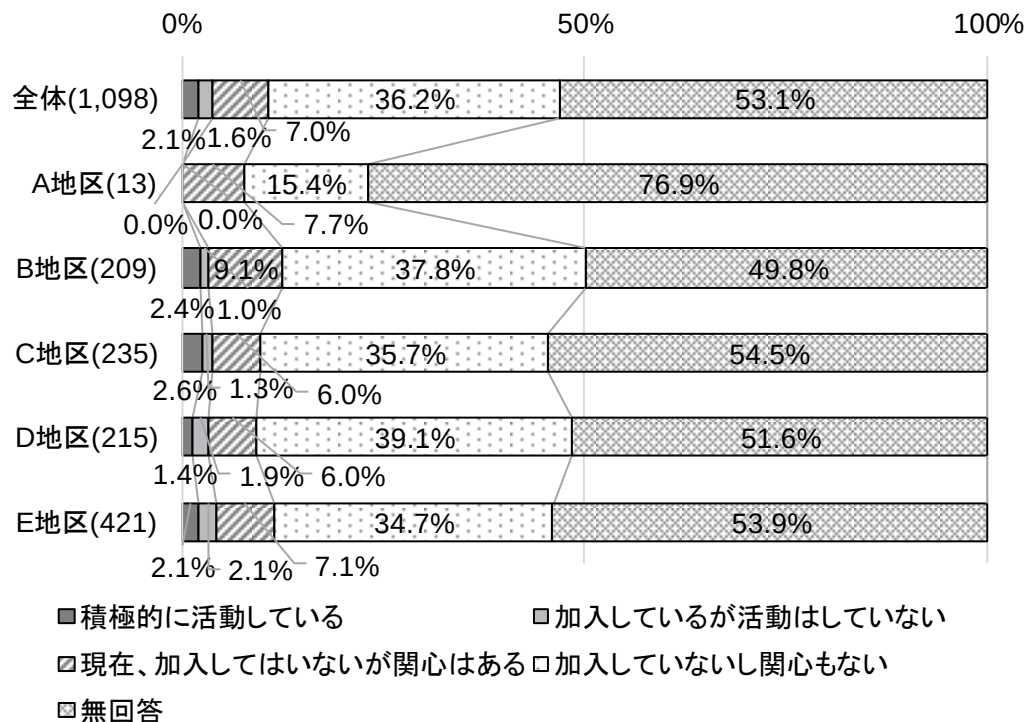
<年代>

“18～29 歳”では「加入していないし関心もない」の割合が比較的高く 5 割を超えている。



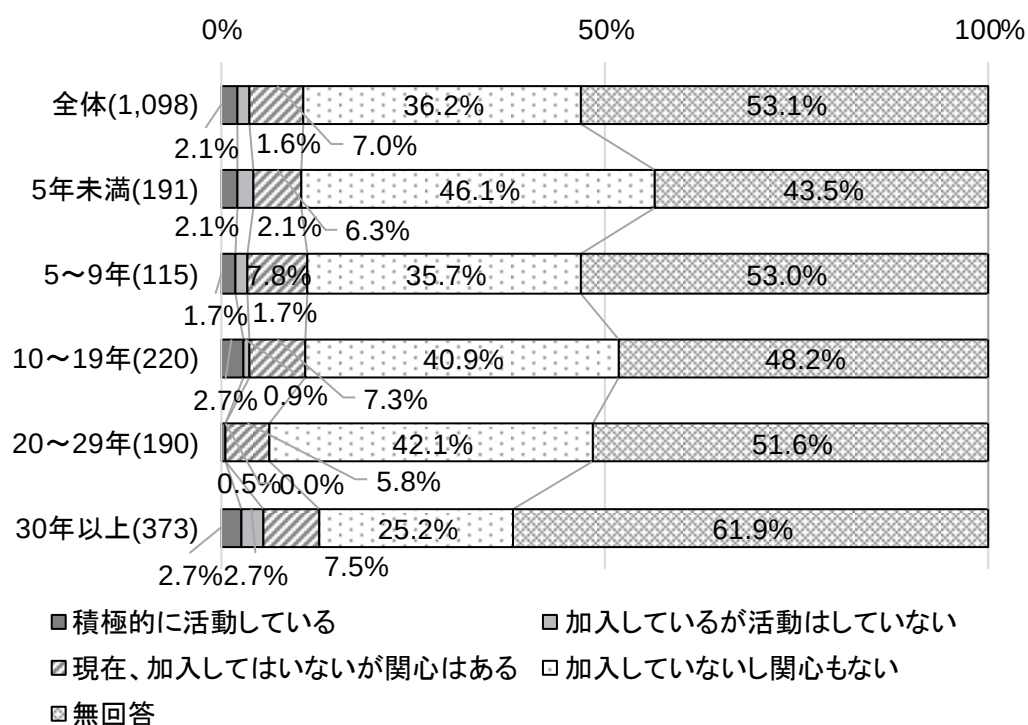
<居住地区>

“A 地区”では「加入していないし関心もない」の割合が比較的低く 2 割を切っている。



<居住年数>

“30 年以上” では「加入していないし関心もない」の割合が比較的 low 3 割を切っている。

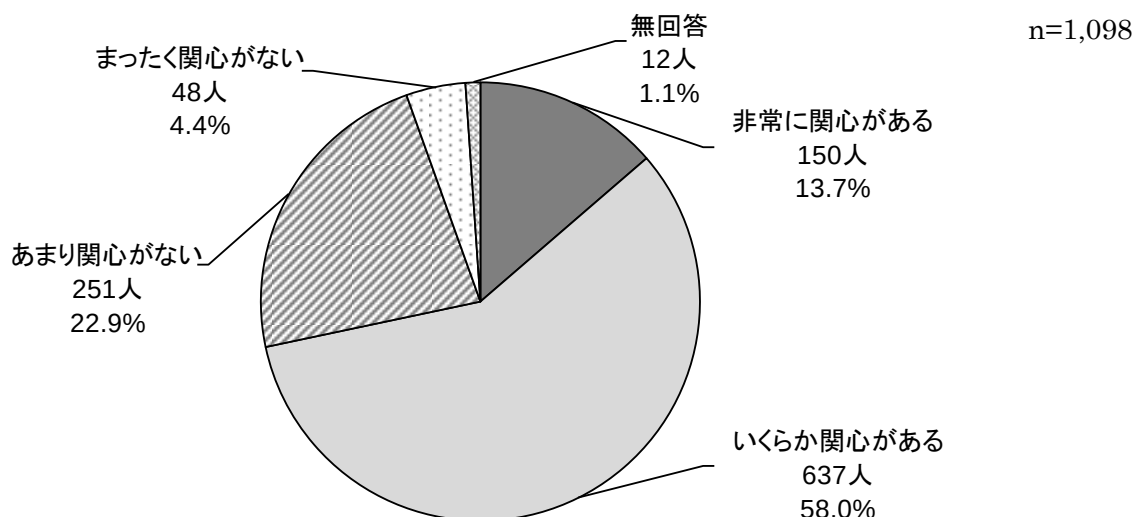


3. 市政について

問 6 あなたの市政に対する関心の度合いを次の中から1つ選んでください。

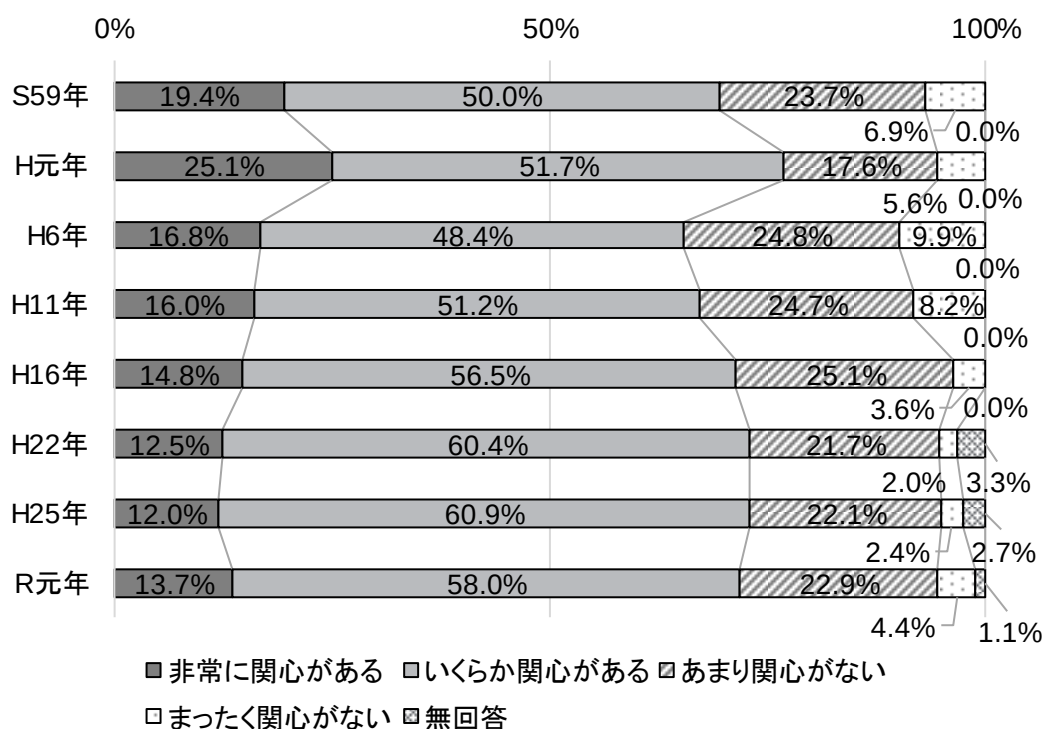
<全体>

市政に対する関心は、「いづらか関心がある」の割合が 58.0%で最も高く、続いて「あまり関心がない」(22.9%)、「非常に関心がある」(13.7%)、「まったく関心がない」(4.4%)となっている。
「非常に関心がある」と「いづらか関心がある」を合わせた“関心がある”の割合が 7 割を超えている。



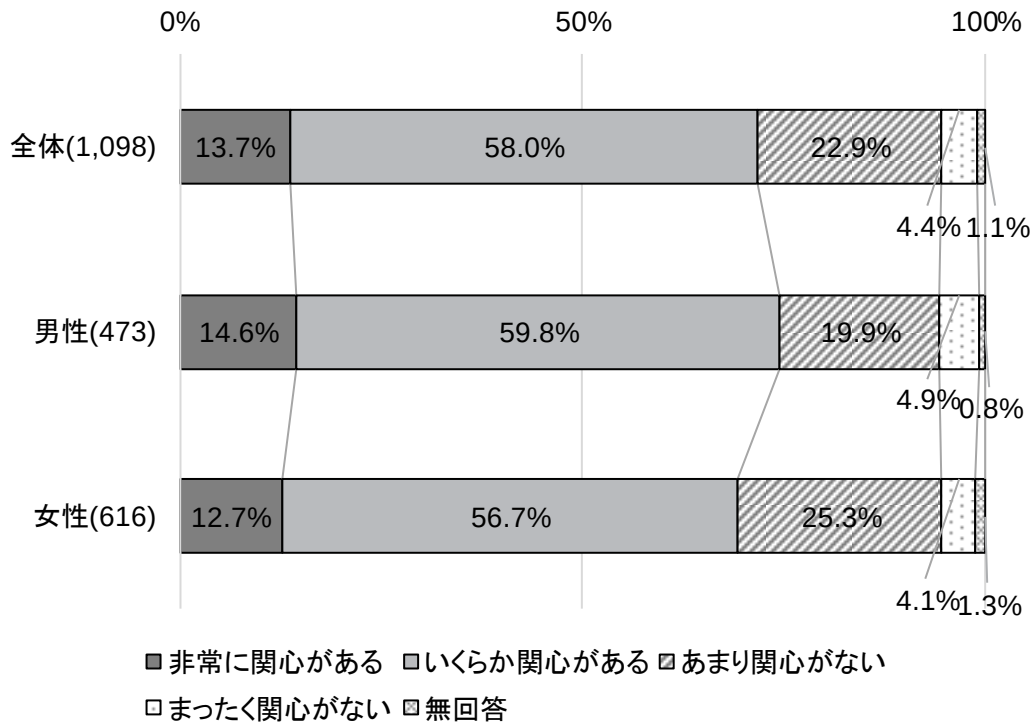
<経年比較>

「非常に関心がある」の割合は平成元年以降、減少していたが、令和元年増加に転じている。



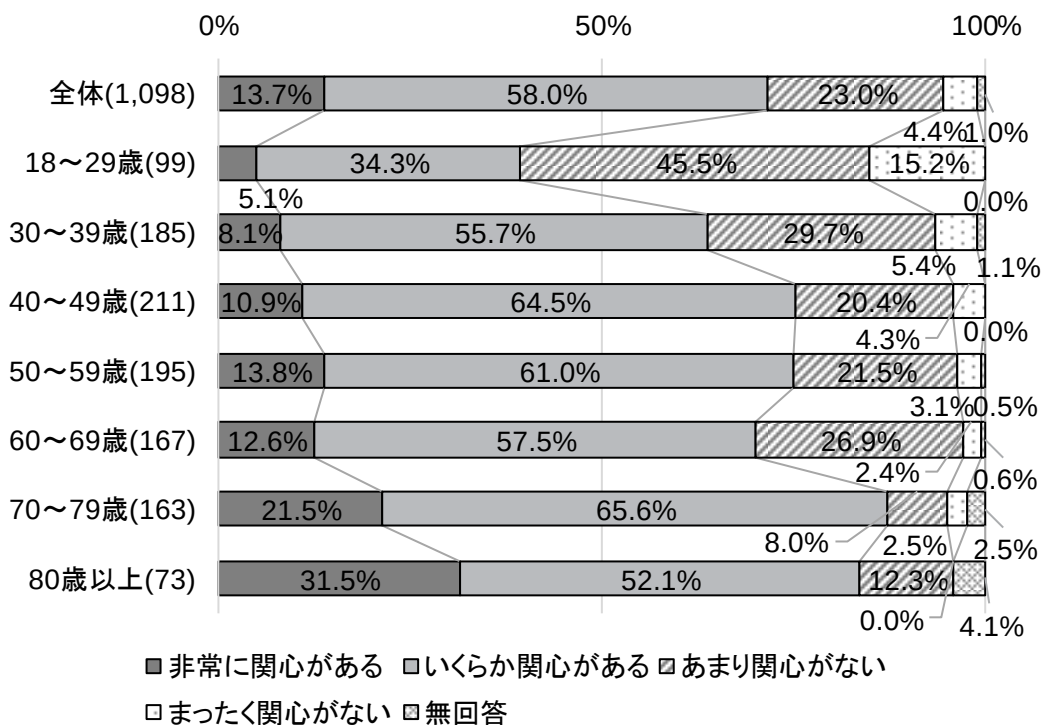
<性別>

性別での特徴は見られない。



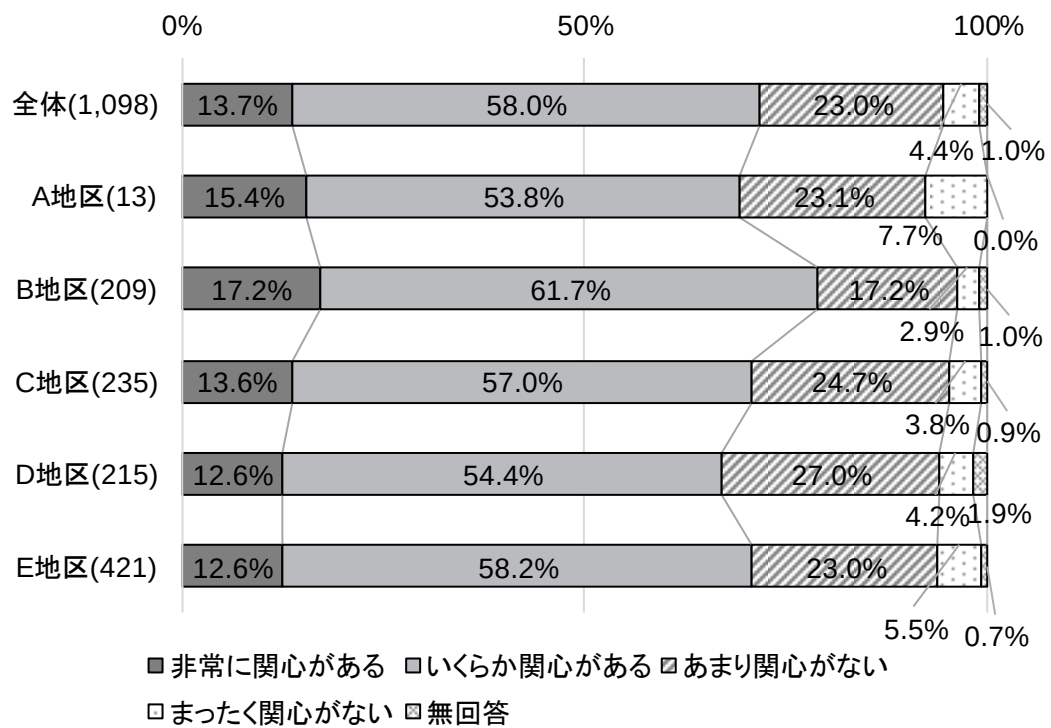
<年代>

年代が高い方が、「非常に興味がある」の割合が高くなる傾向にある。



<居住地区>

地区での特徴は見られない。



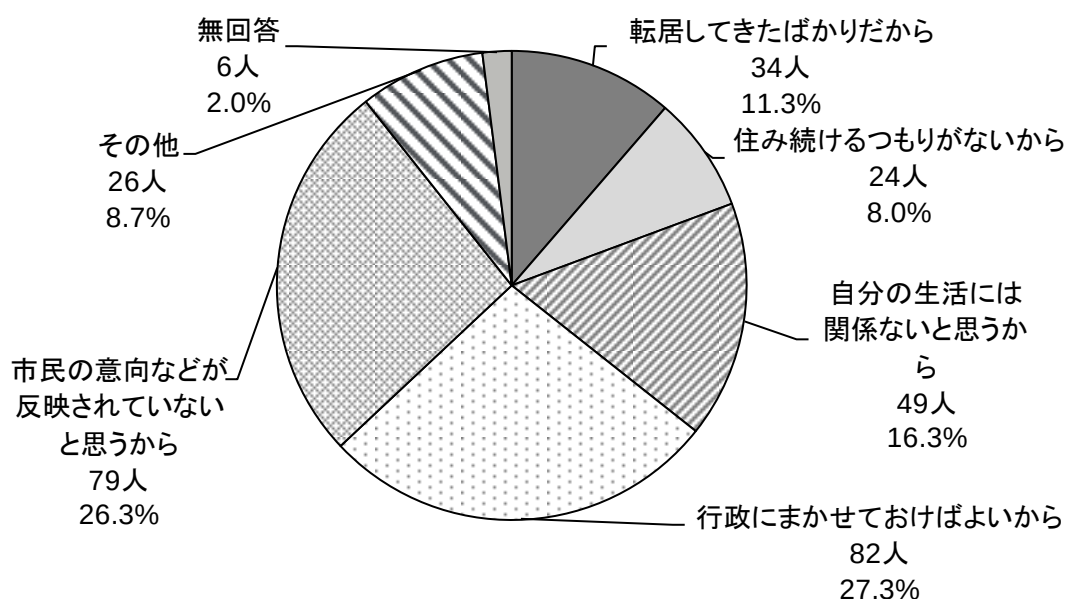
問 7 問 6 で「あまり関心がない」「まったく関心がない」を選んだ方にお聞きします。
あなたが市政にあまり関心がないのはなぜですか。次の中から 1 つ選んでください。

<全体>

市政に関心がない理由は、「行政にまかせておけばよいから」の割合が 27.4%で最も高く、続いて「市民の意向などが反映されていないと思うから」(26.4%)、「自分の生活には関係ないと思うから」(16.4%)、「転居してきたばかりだから」(11.4%)となっている。

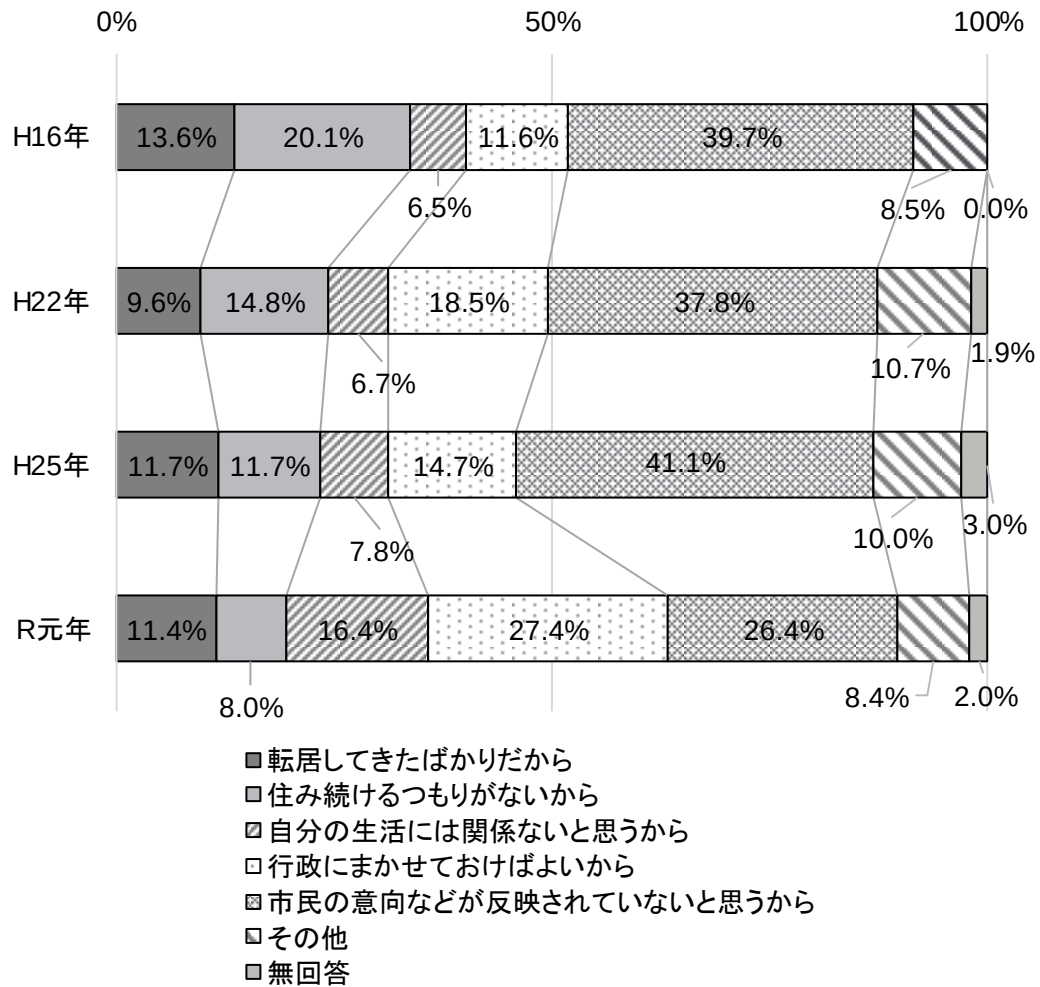
「その他」には、「自分の生活に関係している実感がない」、「毎日忙しすぎて考えている暇がない」、「現状に対してあまり不満がない」などの記述があった。

n=299



＜経年比較＞

「住み続けるつもりがないから」の割合は平成 16 年以降、減少している。一方、「自分の生活には関係ないと思うから」の割合は平成 16 年以降、増加している。また、「行政にまかせておけばよいから」の割合は令和元年に、増加に転じている。

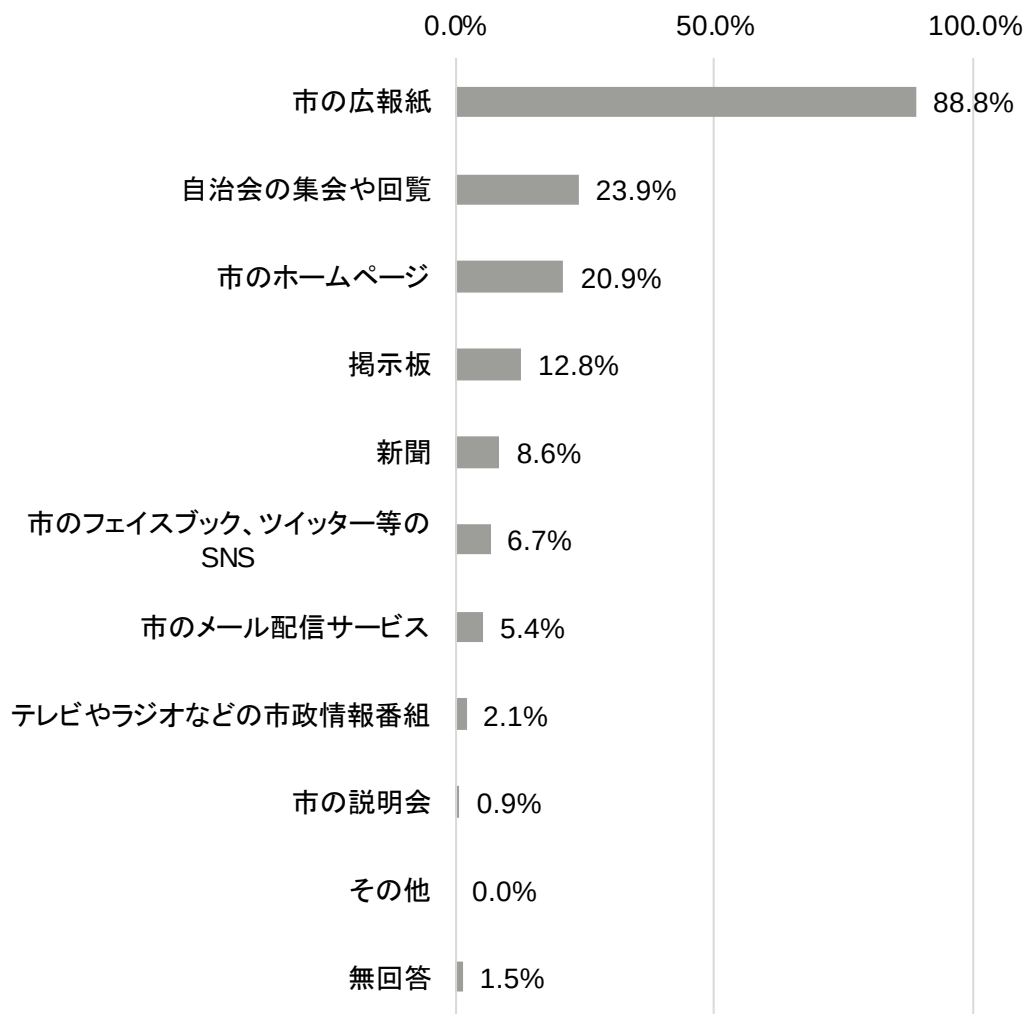


問 8 あなたは、普段、市政情報(市が発信する情報、市からのお知らせ)をどのような媒体で入手していますか。次の中からすべて選んでください。

<全体>

市政情報入手媒体は、「市の広報紙」の割合が 88.8%で最も高く、続いて「自治会の集会や回覧」(23.9%)、「市のホームページ」(20.9%)、「掲示板」(12.8%)となっている。

n=1,098



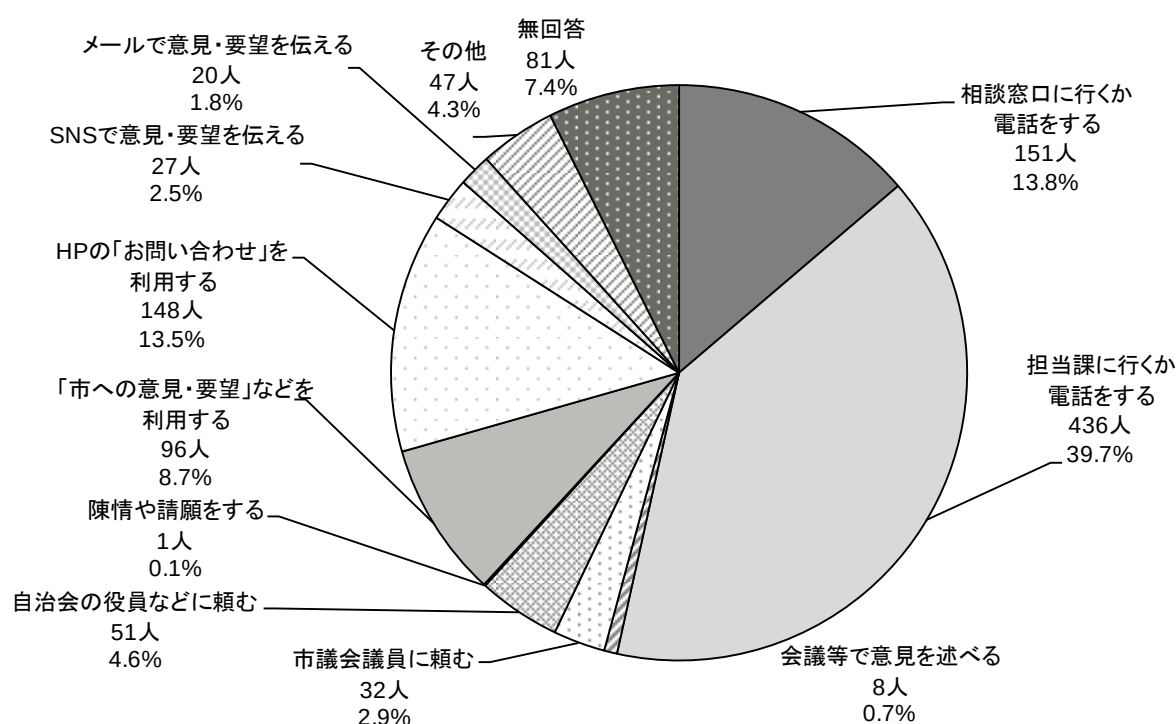
問 9 あなたは、意見や要望などを市に伝えたい場合はどのような手段を選びますか。次の中から1つ選んでください。

<全体>

市への意見や要望の伝達手段は、「市役所の担当課へ行くか、または電話をする」の割合が 39.7%で最も高く、続いて「市が開く各種相談に行くか、または相談窓口で電話をする」(13.8%)、「市のホームページの「お問い合わせ」を利用する」(13.5%)となっている。

「その他」には、「どうしても良いかわからない」、「窓口に行ったけど、意見を聞いてくれない」、「意見が出来ると思っていませんでした」などの記述があった。

n=1,098



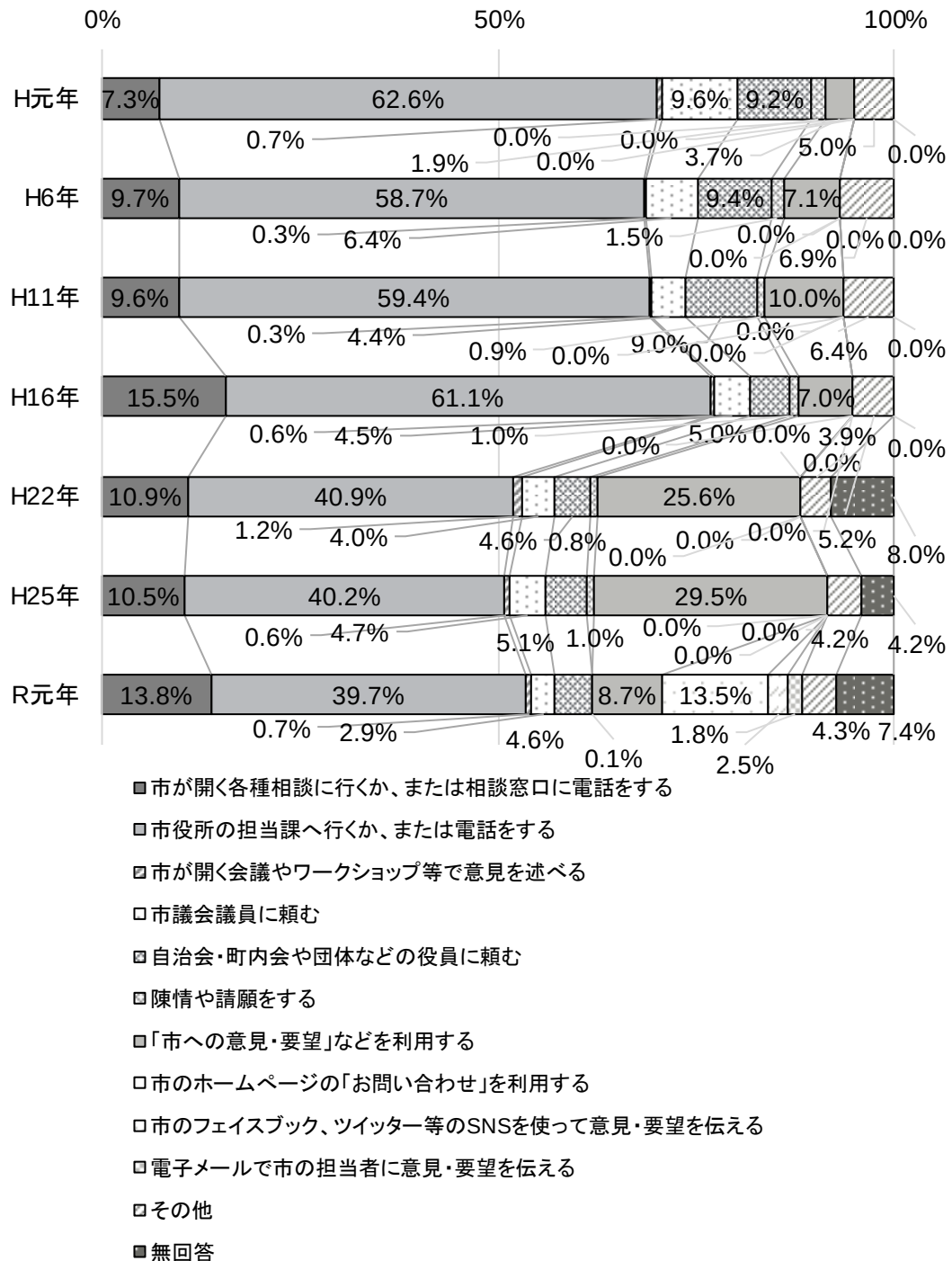
※紙面の関係上、選択肢の表記を一部省略して記載しています。表記を省略した選択肢は下記の通りです。

- ・市が開く各種相談に行くか、または相談窓口で電話をする → 相談窓口に行くか電話をする
- ・市役所の担当課へ行くか、または電話をする → 担当課に行くか電話をする
- ・市が開く会議やワークショップ等で意見を述べる → 会議等で意見を述べる
- ・自治会・町内会や団体などの役員に頼む → 自治会の役員などに頼む
- ・市のホームページの「お問い合わせ」を利用する → HPの「お問い合わせ」を利用する
- ・市のフェイスブック、ツイッター等のSNSを使って意見・要望を伝える
→ SNSで意見・要望を伝える
- ・電子メールで市の担当者に意見・要望を伝える → メールで意見・要望を伝える

＜経年比較＞

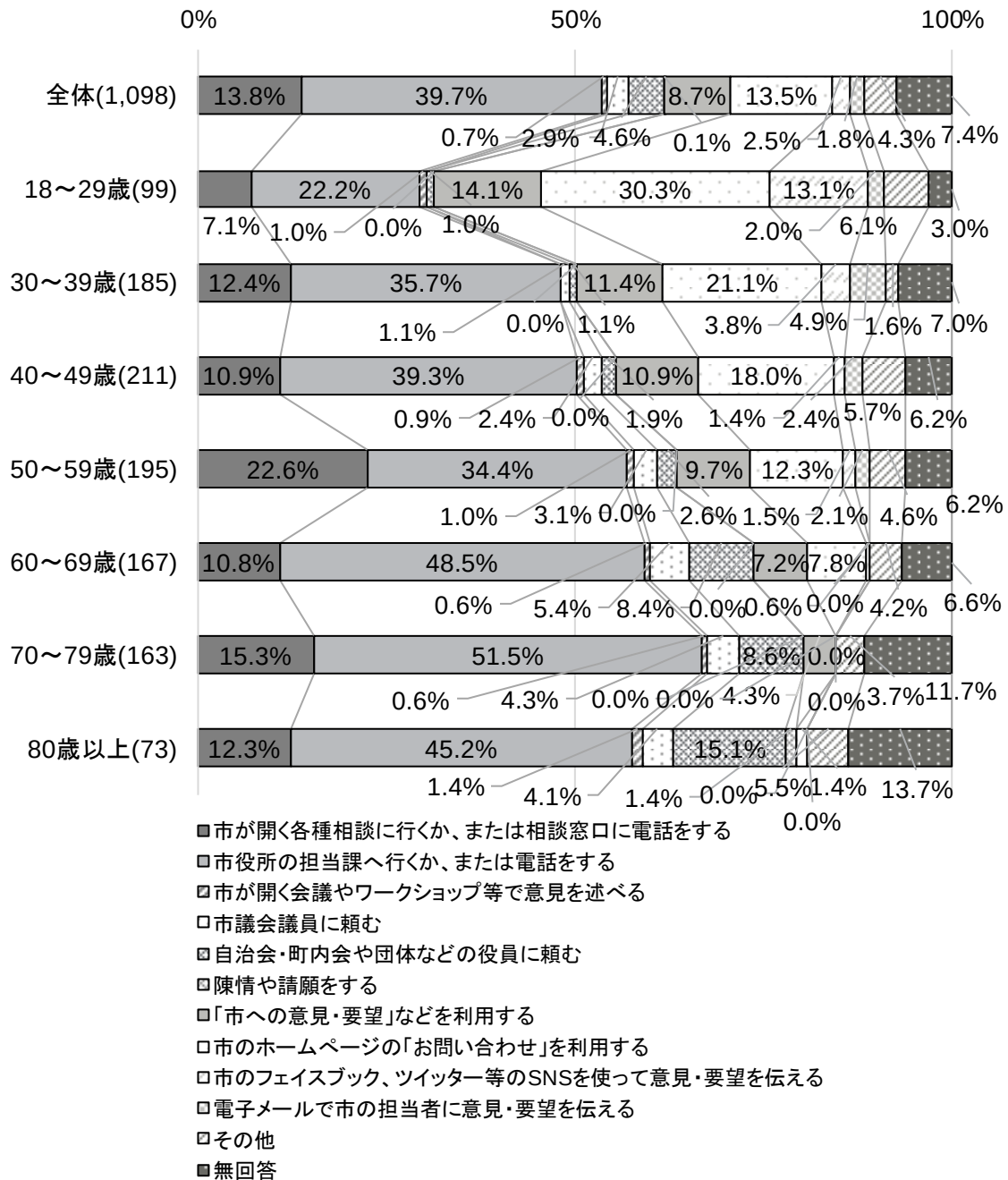
「市が開く各種相談に行くか、または相談窓口で電話をする」の割合は平成16年以降、減少していたが、令和元年に増加に転じている。一方、「『市への意見・要望』などを利用する」の割合は平成16年以降、増加していたが、令和元年に減少に転じている。

※選択肢「市のホームページの「お問い合わせ」を利用する」、「市のフェイスブック、ツイッター等のSNSを使って意見・要望を伝える」、「電子メールで市の担当者に意見・要望を伝える」は、令和元年に追加したため、経年比較の対象外としている。



<年代>

年代が低い方が、「市のホームページの「お問い合わせ」を利用する」の割合が高くなる傾向にある。年代が高い方が、「自治会・町内会や団体などの役員に頼む」の割合が高くなる傾向にある。

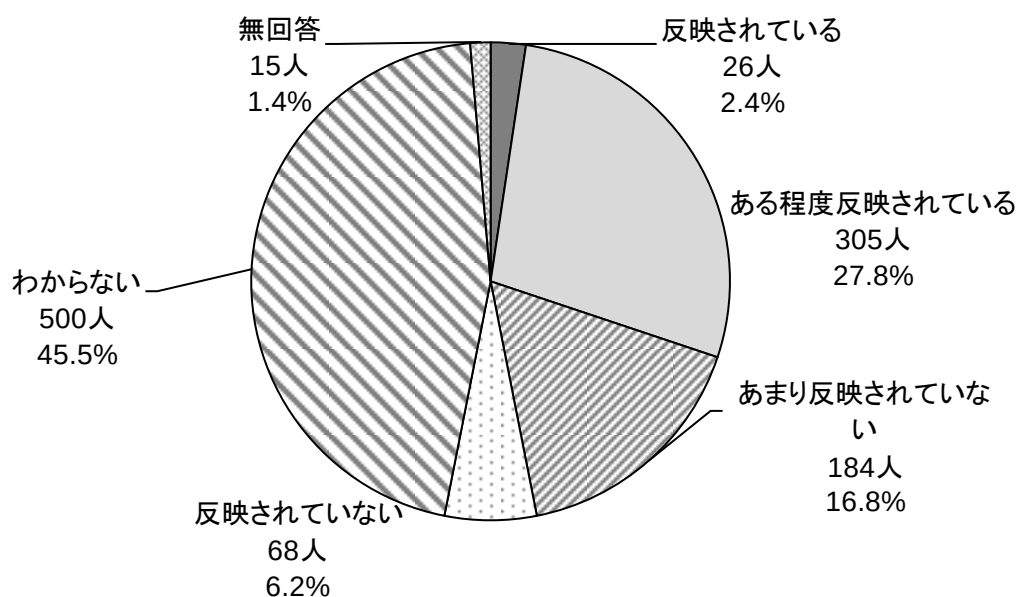


問 10 あなたは、ご自身の経験からみて、市民の意見や要望が市政に反映されていると思いますか。次の中から1つ選んでください。

＜全体＞

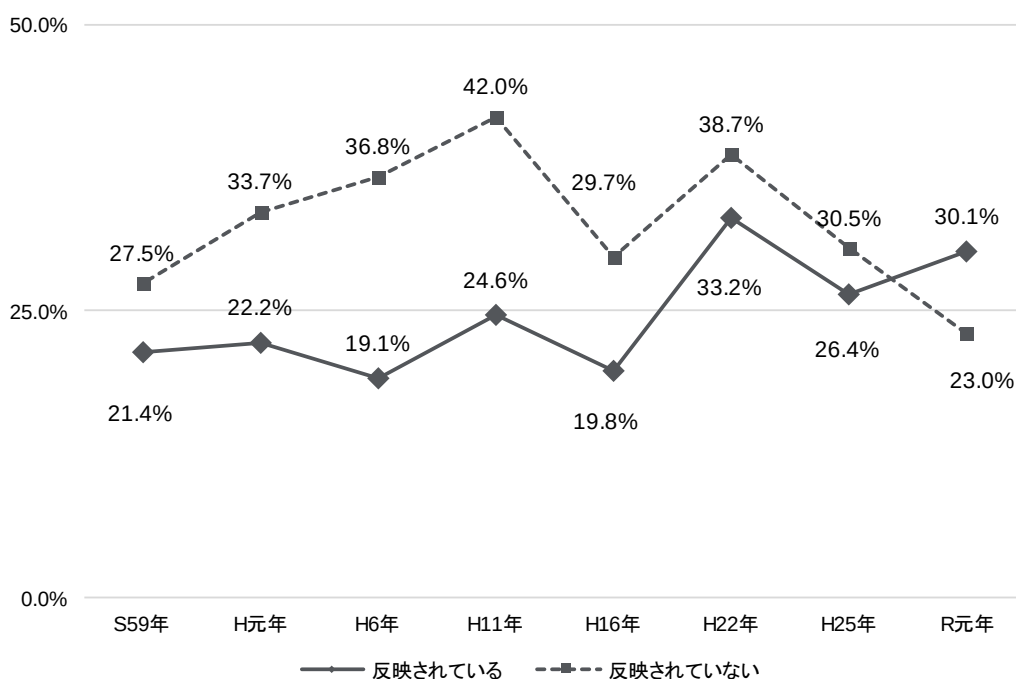
市民の意見や要望が市政に反映されているかどうかについては、「わからない」の割合が 45.5%で最も高く、続いて「ある程度反映されている」(27.8%)、「あまり反映されていない」(16.8%)、「反映されていない」(6.2%)となっている。

n=1,098



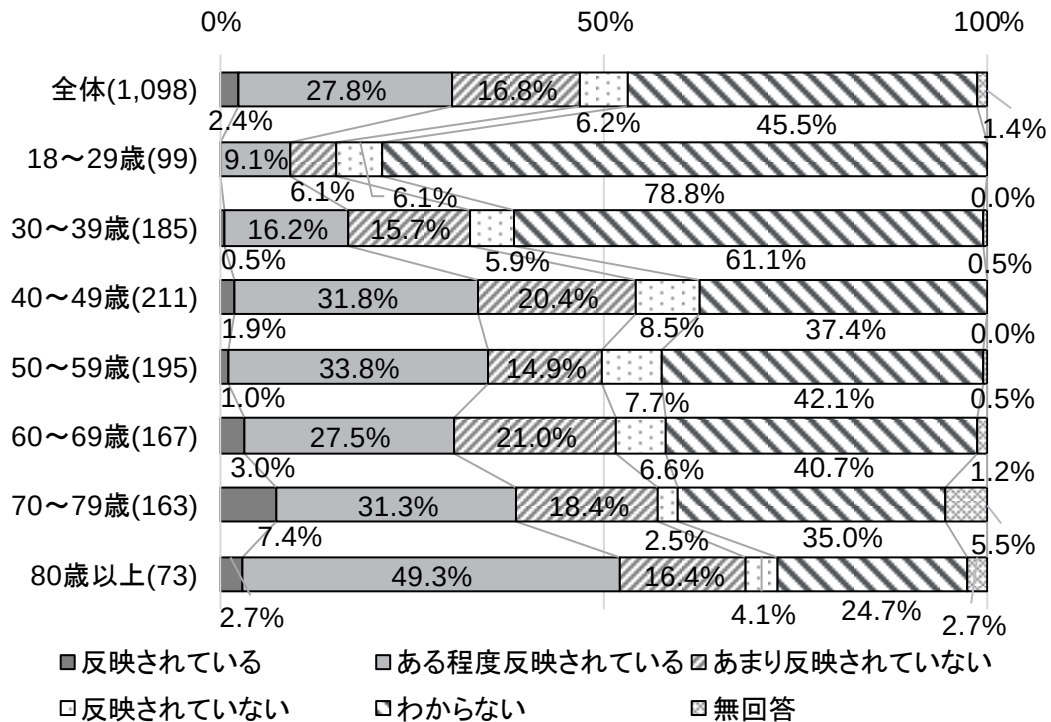
＜経年比較＞

「反映されている」と「ある程度反映されている」を合わせた“反映されている”の割合は、「反映されていない」と「あまり反映されていない」を合わせた“反映されていない”の割合よりも低い水準で推移している。



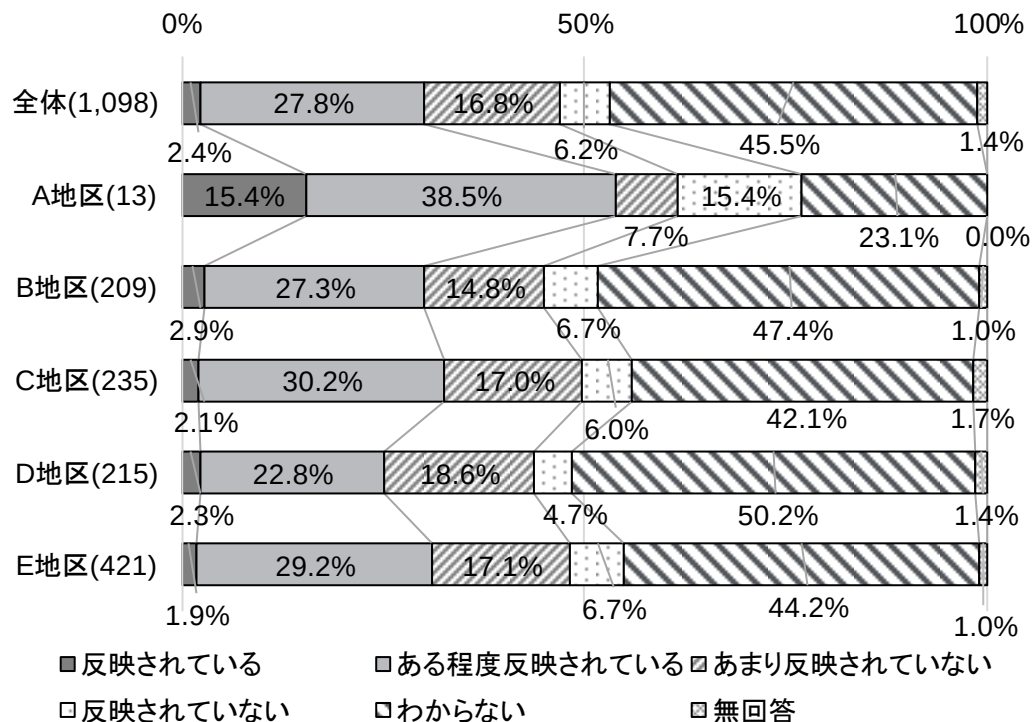
<年代>

年代が高い方が、「反映されている」と「ある程度反映されている」を合わせた割合が高くなる傾向にある。



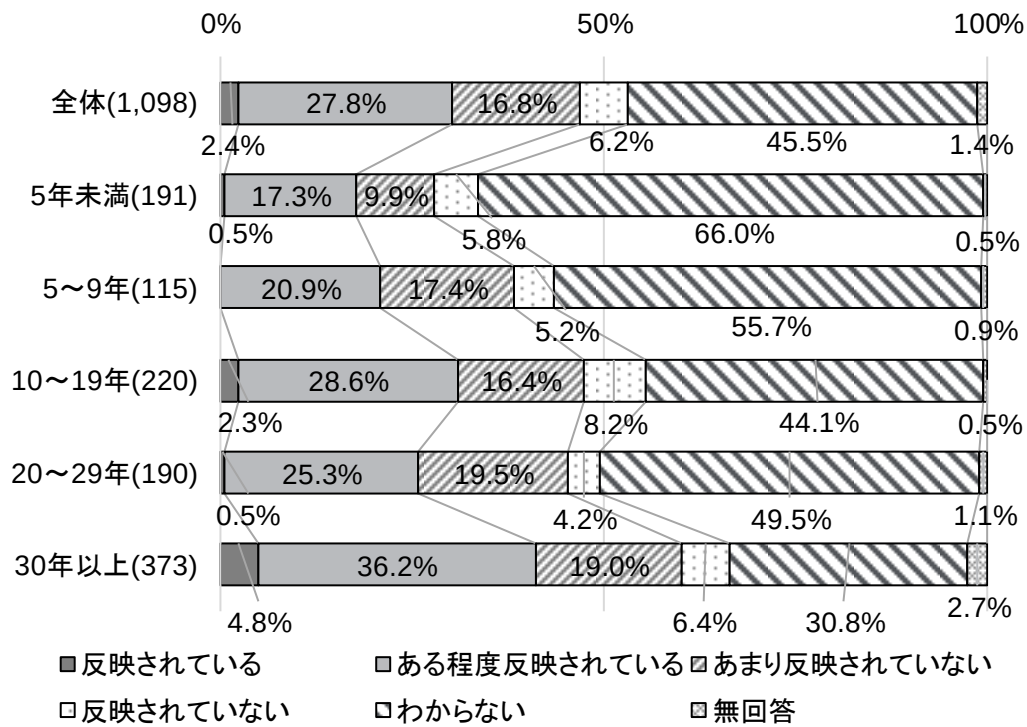
<居住地区>

“A 地区”では「反映されている」と「ある程度反映されている」を合わせた割合が比較的高く 5 割を超えている。



<居住年数>

年数が長い方が、「反映されている」と「ある程度反映されている」を合わせた割合が高くなる傾向にある。



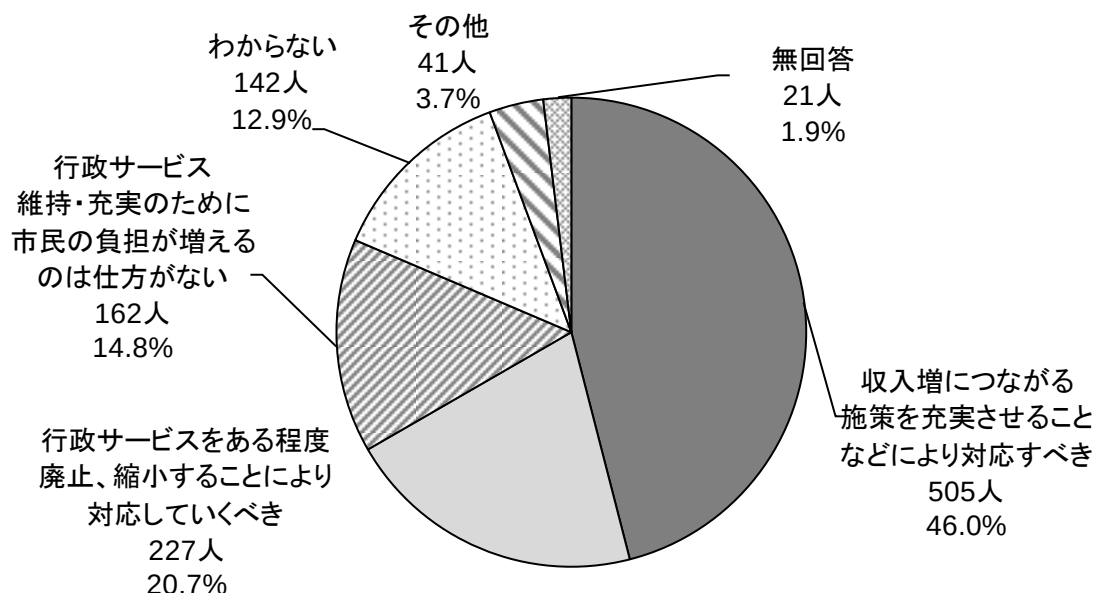
問 11 今後、生産年齢人口(15～64 歳)の減少により税収減が見込まれるなど、市の財政状況がより厳しくなっていくことも予想されます。市が提供しているサービスの維持・充実について、市の努力により対応できる範囲を超えることがあった場合、今後どのように対応すべきだと思いますか。あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

<全体>

行政サービスの維持・充実の考え方については、「収入増につながる施策を充実させることなどにより対応すべき」の割合が 46.0%で最も高く、続いて「行政サービスをある程度廃止、縮小することにより対応していくべき」(20.7%)、「行政サービス維持・充実のために市民の負担が増えるのは仕方がない」(14.8%)、「わからない」(12.9%)となっている。

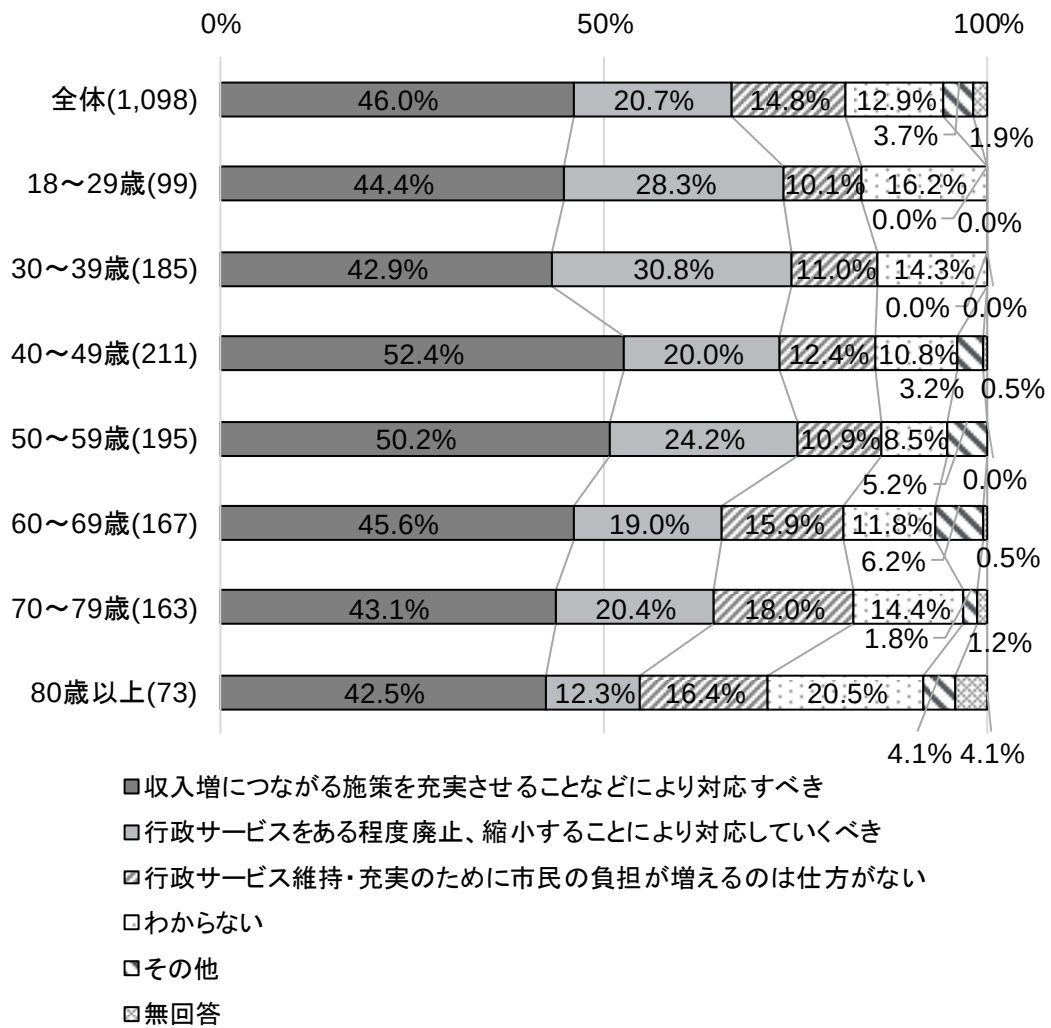
「その他」には、「市議会議員数の削減など市のムダな支出を抑える」、「都内(職場)へのアクセスが良い点を全面的にアピールし、新たな市民を増やすべき」、「市に頼らない生き方の推進(災害時や自立、健康)」などの記述があった。

n=1,098



<年代>

年代が低い方が、「行政サービスをある程度廃止、縮小することにより対応していくべき」の割合が高くなる傾向にある。



4. 市の全般的な取組について

(1) 分野ごとの取組の満足度・重要度

問 12 以下に示す分野ごとの取組(1～29)について、それぞれどのように感じていますか。次の項目ごとに、当てはまる番号を1つずつ選んでください。

第5次朝霞市総合計画前期基本計画の分野ごとの取組29項目のそれぞれについて、満足度と重要度の調査を行った。

<満足度・全体>

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた高い割合になっているのは、「ごみ処理」(71.2%)、「市街地整備」(55.7%)、「保健・医療」(52.7%)の3項目で、5割を超えている。

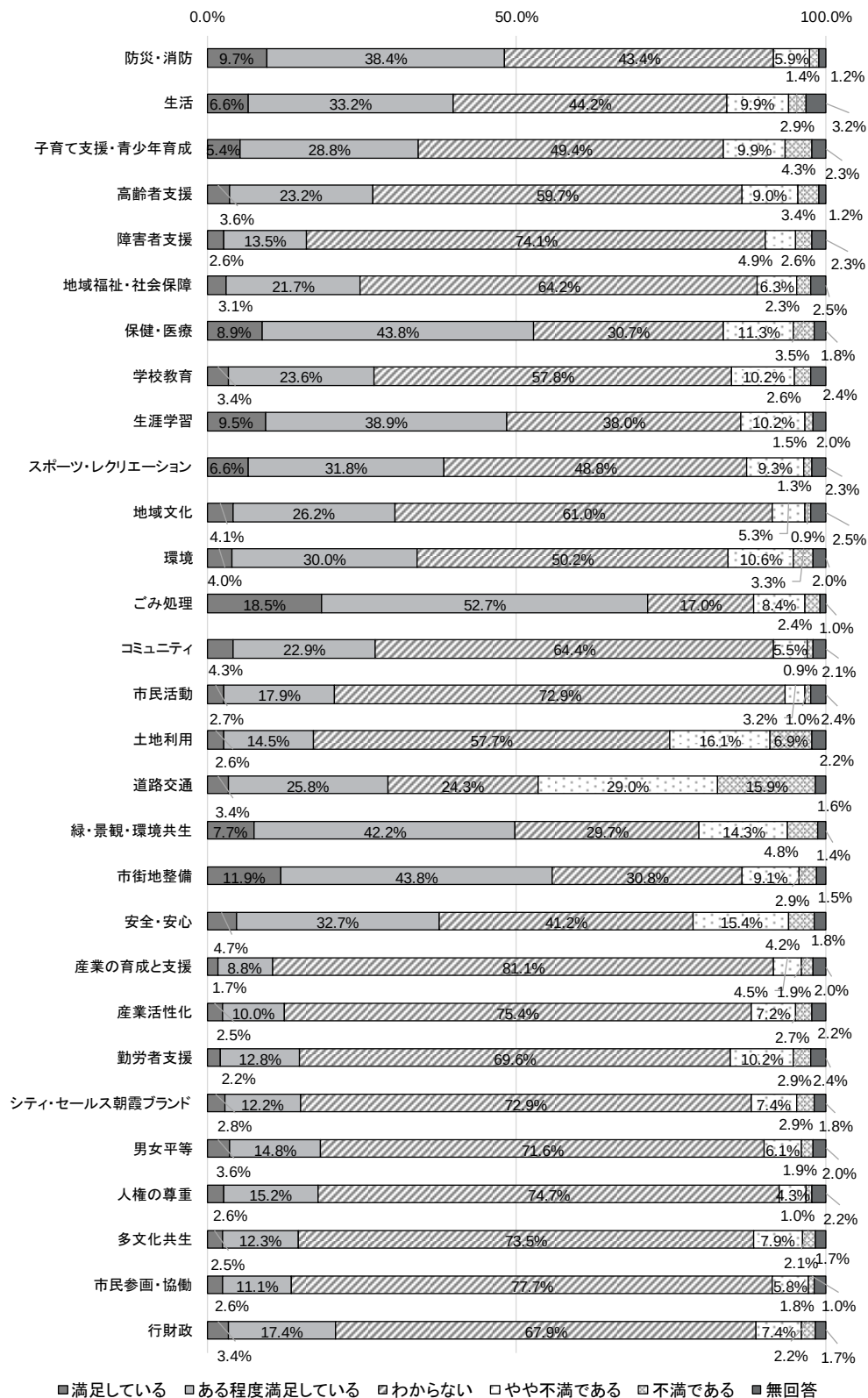
また、「やや不満である」と「不満である」を合わせて5割を超えているものは無く、高い割合となっているのは「道路交通」(44.9%)、「土地利用」(23.0%)である。

<重要度・全体>

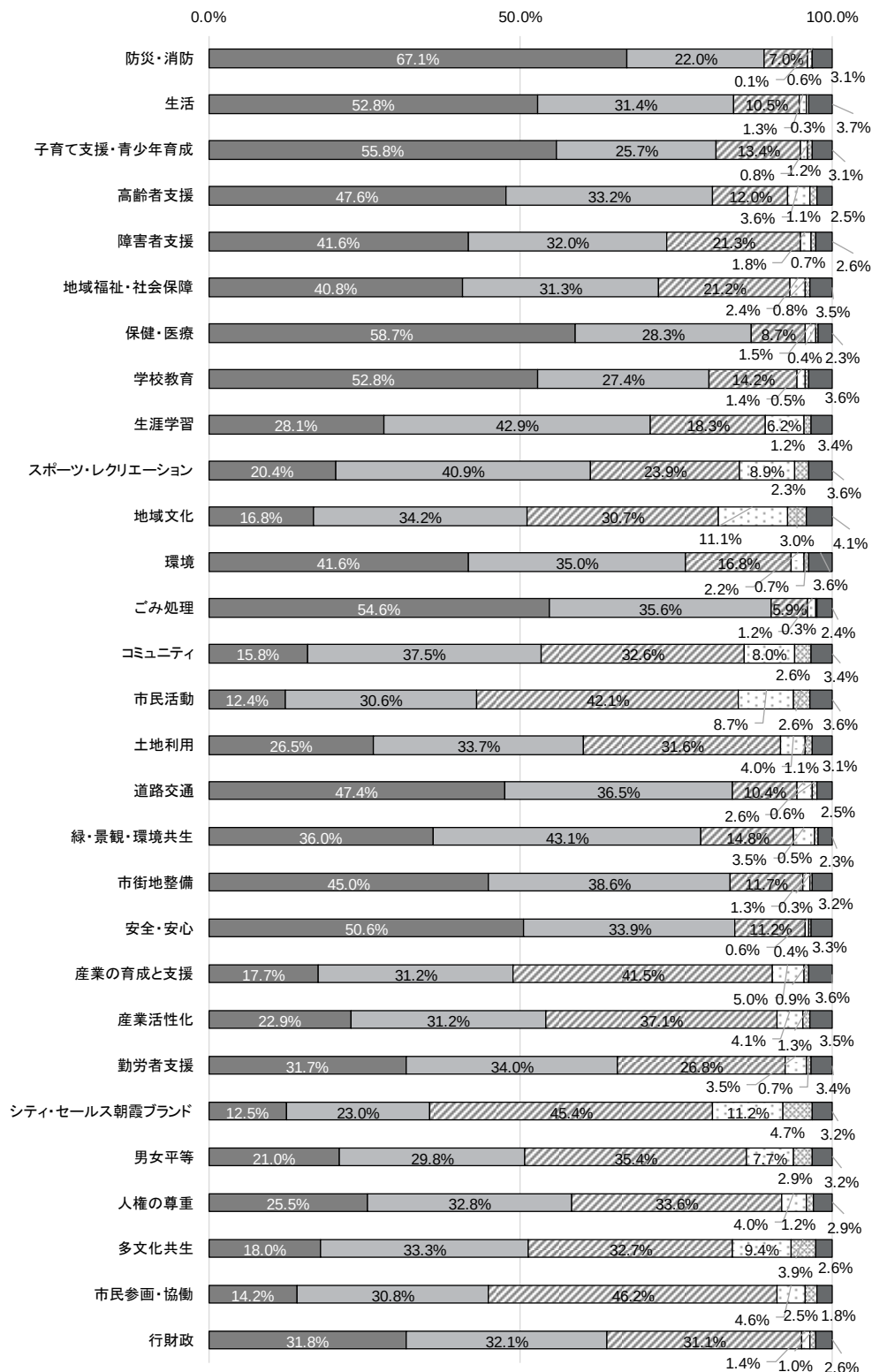
「重要である」と「どちらかといえば重要である」を合わせた高い割合になっているのは、「ごみ処理」(90.3%)、「防災・消防」(89.2%)、「保健・医療」(87.1%)、「安全・安心」(84.5%)、「生活」(84.2%)、「道路交通」(84.0%)、「市街地整備」(83.6%)、「子育て支援・青少年育成」(81.5%)、「高齢者支援」(80.9%)、「学校教育」(80.2%)の10項目で、8割を超えている。

また、「あまり重要でない」と「重要でない」を合わせて1割を超えている項目は、「シティ・セールス朝霞ブランド」(15.9%)、「地域文化」(14.1%)、「多文化共生」(13.3%)、「市民活動」(11.4%)、「スポーツ・レクリエーション」(11.2%)、「コミュニティ」(10.7%)、「男女平等」(10.6%)の7項目である。

<満足度>



<重要度>



■重要である □どちらかといえば重要である □わからない □あまり重要でない □重要でない ■無回答

(2)市民の施策満足度・重要度(加重平均)

満足度と重要度の相関関係をマトリクス（散布図）で表した。

5 ページに示すとおりの方法で調査結果をポイント化したところ、満足度は「土地利用」、「道路交通」を除き、重要度はすべてプラスの評価であった。

マトリクス（散布図）では、縦軸は「重要度」、横軸は「満足度」を表しており、2 本の補助線は、それぞれ「重要度」の全項目（29 項目）の平均値と、「満足度」の全項目（29 項目）の平均値の位置を示している。

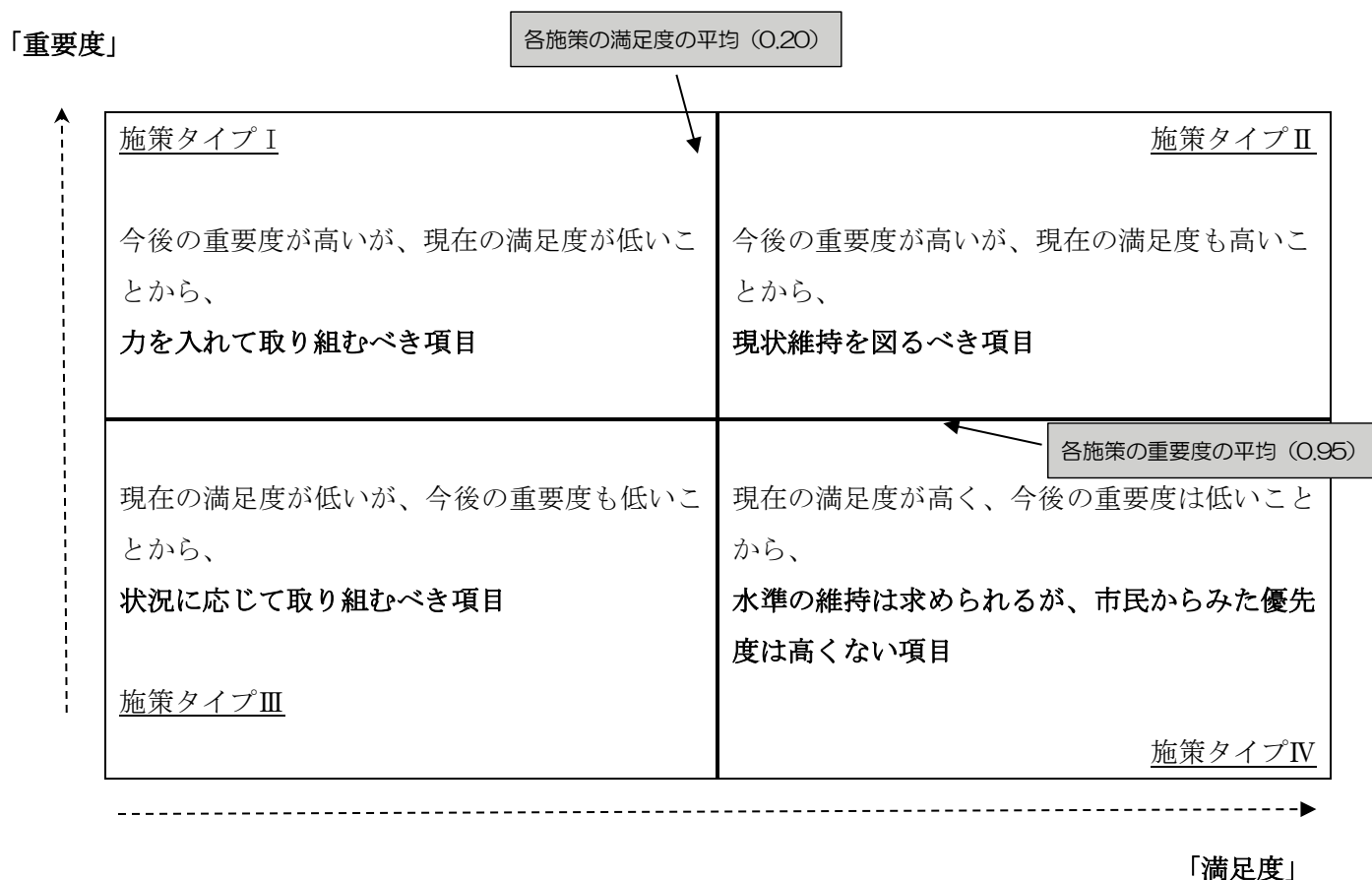
なお、4 つの区切りのタイプは、以下のとおりである。

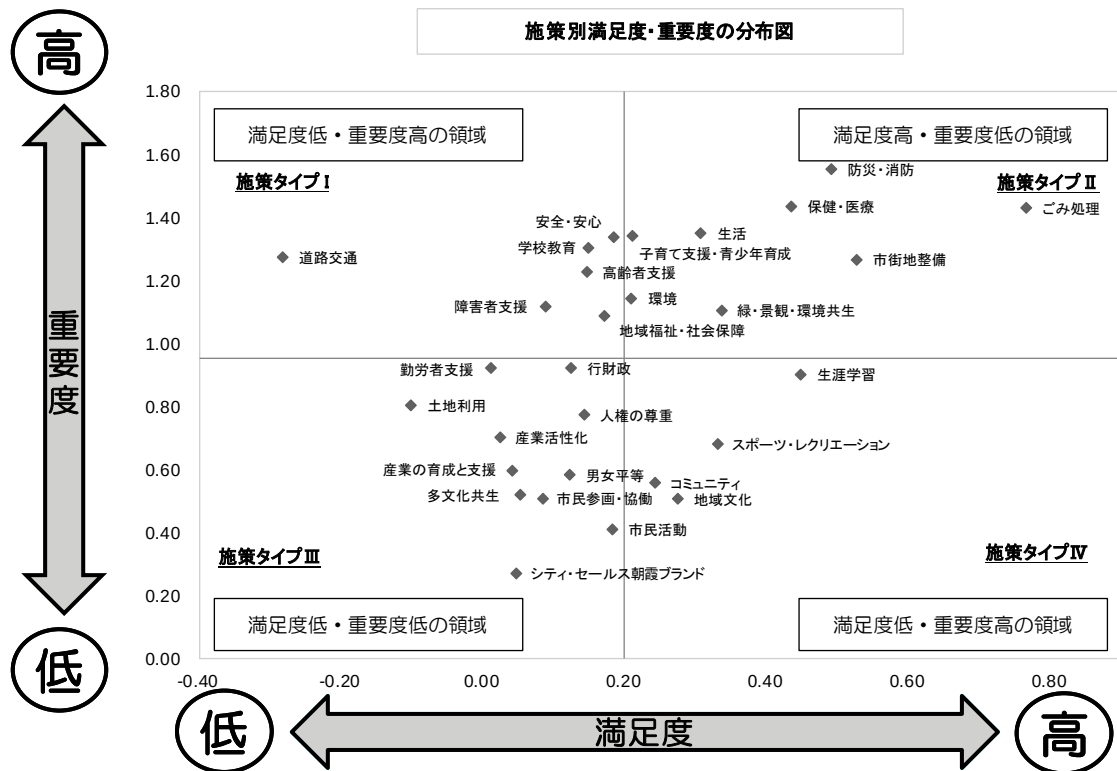
施策タイプⅠ・・・「重要度」が平均値以上で、「満足度」は平均値以下のもの

施策タイプⅡ・・・「重要度」が平均値以上で、「満足度」も平均値以上のもの

施策タイプⅢ・・・「重要度」が平均値以下で、「満足度」も平均値以下のもの

施策タイプⅣ・・・「重要度」が平均値以下で、「満足度」は平均値以上のもの





分野ごとの取組		満足度	重要度
1	防災・消防	0.49	1.55
2	生活	0.31	1.35
3	子育て支援・青少年育成	0.21	1.35
4	高齢者支援	0.15	1.23
5	障害者支援	0.09	1.12
6	地域福祉・社会保障	0.17	1.09
7	保健・医療	0.43	1.44
8	学校教育	0.15	1.31
9	生涯学習	0.45	0.90
10	スポーツ・レクリエーション	0.33	0.68
11	地域文化	0.27	0.51
12	環境	0.21	1.15
13	ごみ処理	0.77	1.43
14	コミュニティ	0.24	0.56
15	市民活動	0.18	0.41
16	土地利用	-0.10	0.81
17	道路交通	-0.28	1.28
18	緑・景観・環境共生	0.34	1.11
19	市街地整備	0.53	1.27
20	安全・安心	0.18	1.34
21	産業の育成と支援	0.04	0.60
22	産業活性化	0.02	0.70
23	勤労者支援	0.01	0.92
24	シティ・セールス朝霞ブランド	0.05	0.27
25	男女平等	0.12	0.58
26	人権の尊重	0.14	0.77
27	多文化共生	0.05	0.52
28	市民参画・協働	0.08	0.51
29	行財政	0.12	0.92
平均		0.20	0.95

<満足度・年代>

“18～29 歳”では「生活」、 “40～49 歳”と “50～59 歳”と “60～69 歳”と “70～79 歳”と “80 歳以上”では「保健・医療」が上位 5 項目に入っている。

<重要度・年代>

“18～29 歳”と “30～39 歳”と “60～69 歳”では「学校教育」、 “40～49 歳”、“50～59 歳”、“60～69 歳”、“70～79 歳”、“80 歳以上”では「ごみ処理」が上位 5 項目に入っている。

<満足度・居住地区>

“A 地区”では「コミュニティ」、 “D 地区”では「生活」が上位 5 項目に入っている。

<重要度・居住地区>

“A 地区”では「道路交通」、 “B 地区”では「安全・安心」、 “C 地区”と “D 地区”と “E 地区”では「子育て支援・青少年育成」、「生活」が上位 5 項目に入っている。

満足度＜全体＞



重要度＜全体＞



満足度＜18～29 歳＞



重要度＜18～29 歳＞



満足度＜30～39 歳＞



重要度＜30～39 歳＞



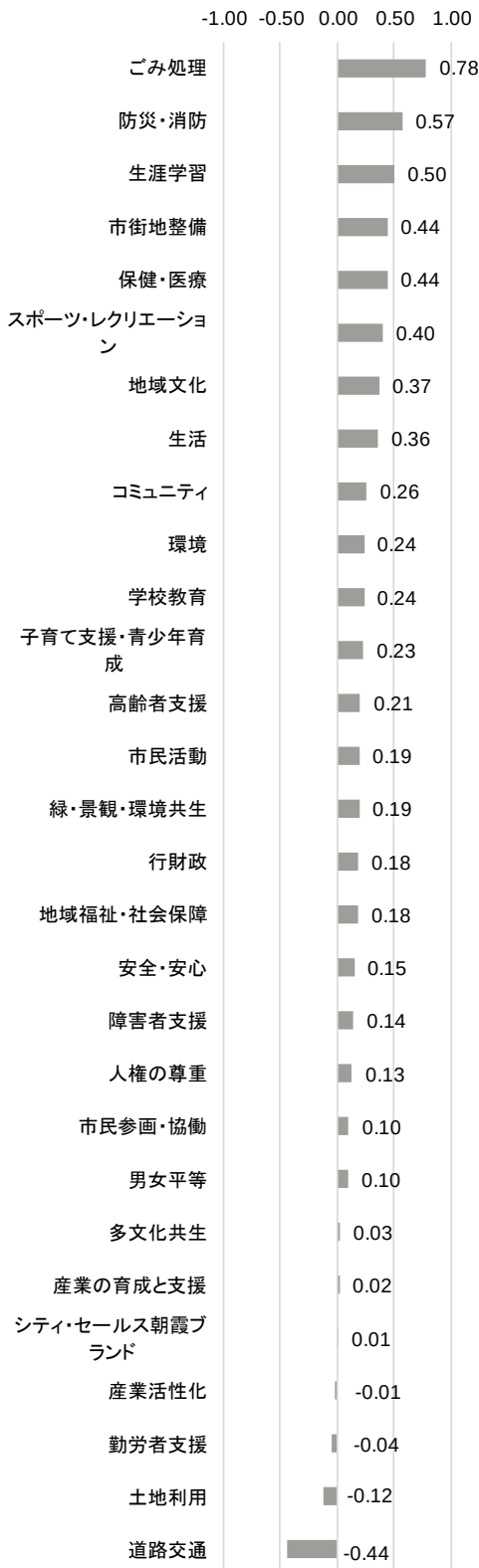
満足度＜40～49 歳＞



重要度＜40～49 歳＞



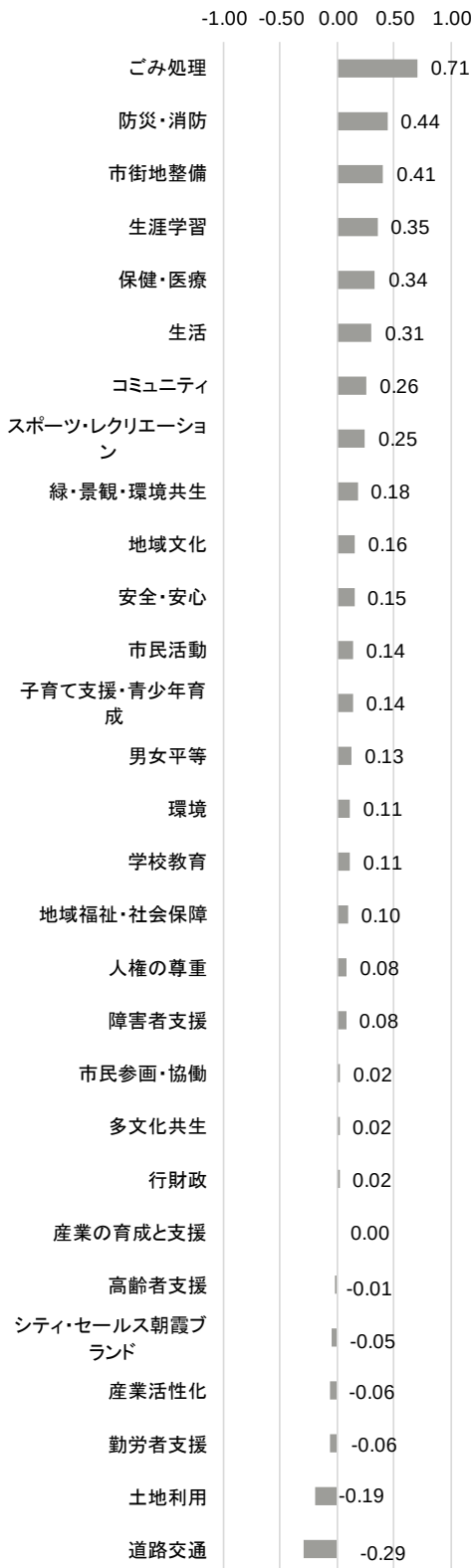
満足度＜50～59 歳＞



重要度＜50～59 歳＞



満足度＜60～69 歳＞



重要度＜60～69 歳＞



満足度＜70～79 歳＞



重要度＜70～79 歳＞



満足度＜80 歳以上＞



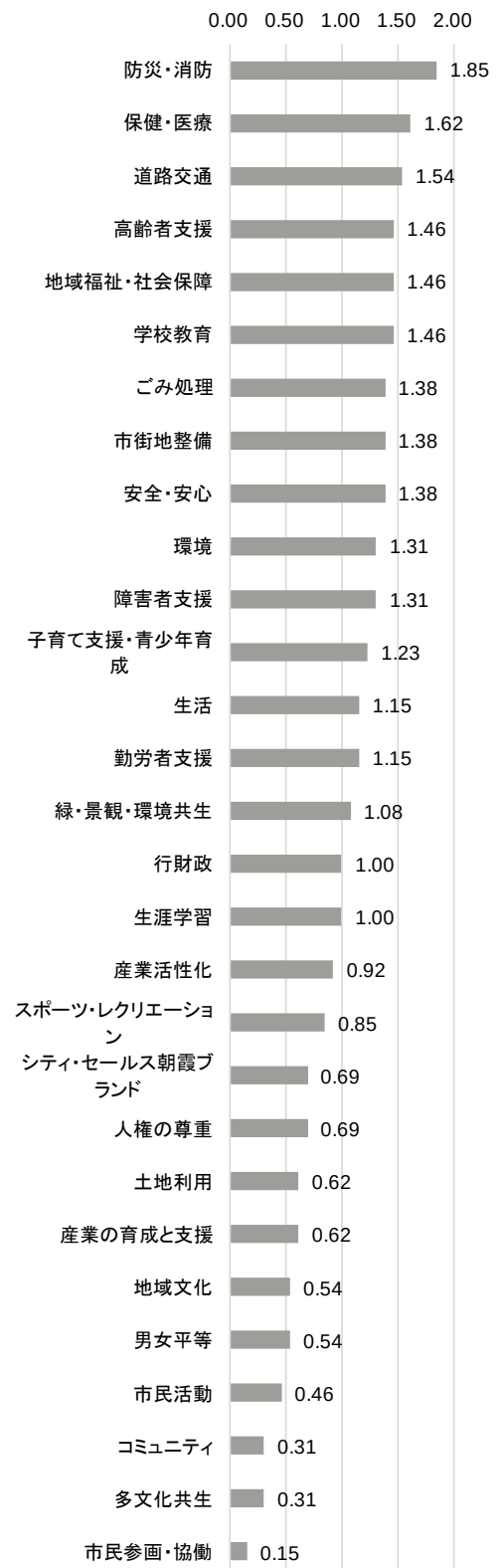
重要度＜80 歳以上＞



満足度＜A 地区＞



重要度＜A 地区＞



満足度＜B 地区＞



重要度＜B 地区＞



満足度＜C 地区＞



重要度＜C 地区＞



満足度＜D 地区＞



重要度＜D 地区＞



満足度＜E 地区＞



重要度＜E 地区＞



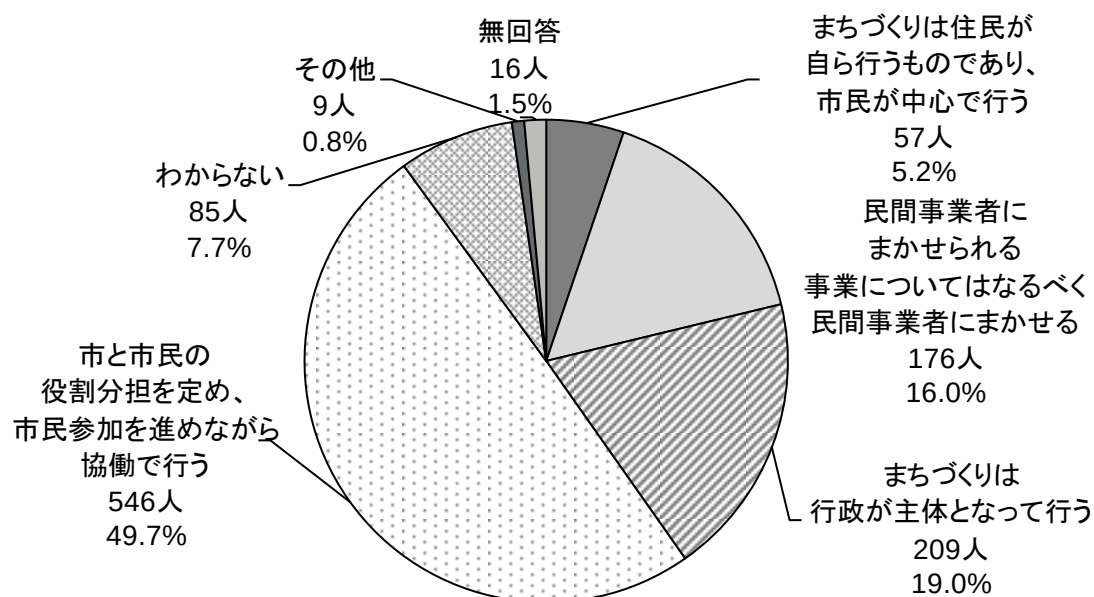
5. まちづくりへの市民の参加について

問 13 まちづくりの役割分担に関して、あなたの考えにもっとも近いものを、次の中から1つ選んでください。

＜全体＞

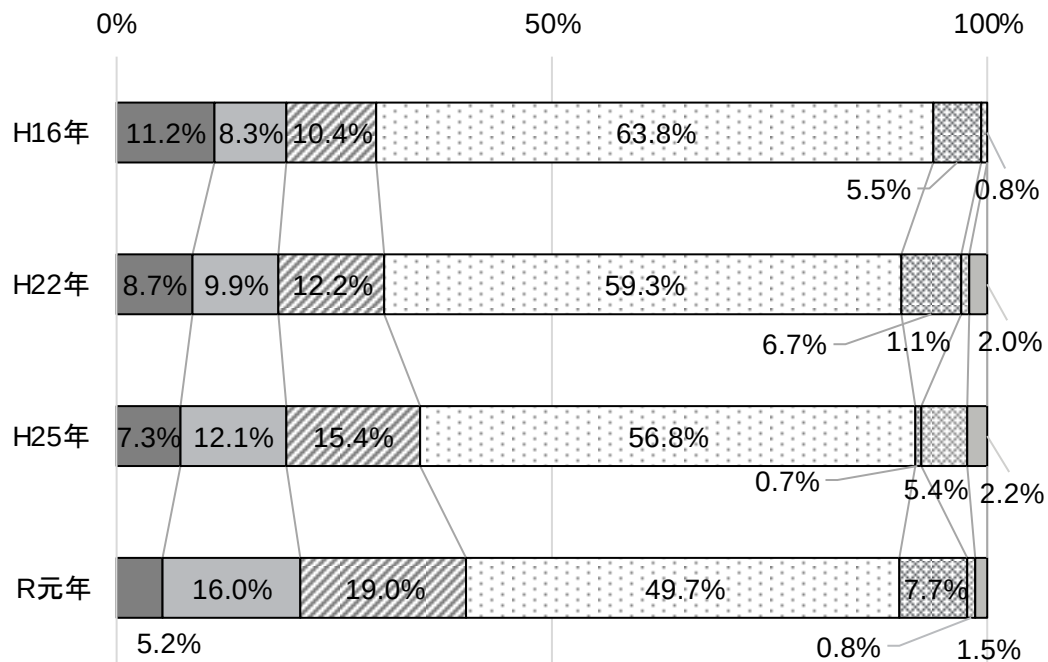
まちづくりの役割分担は、「市と市民の役割分担を定め、市民参加を進めながら協働で行う」の割合が49.7%で最も高く、続いて「まちづくりは行政が主体となって行う」(19.0%)、「民間事業者にまかせられる事業についてはなるべく民間事業者にまかせる」(16.0%)、「まちづくりは住民が自ら行うものであり、市民が中心で行う」(5.2%)となっている。

n=1,098



＜経年比較＞

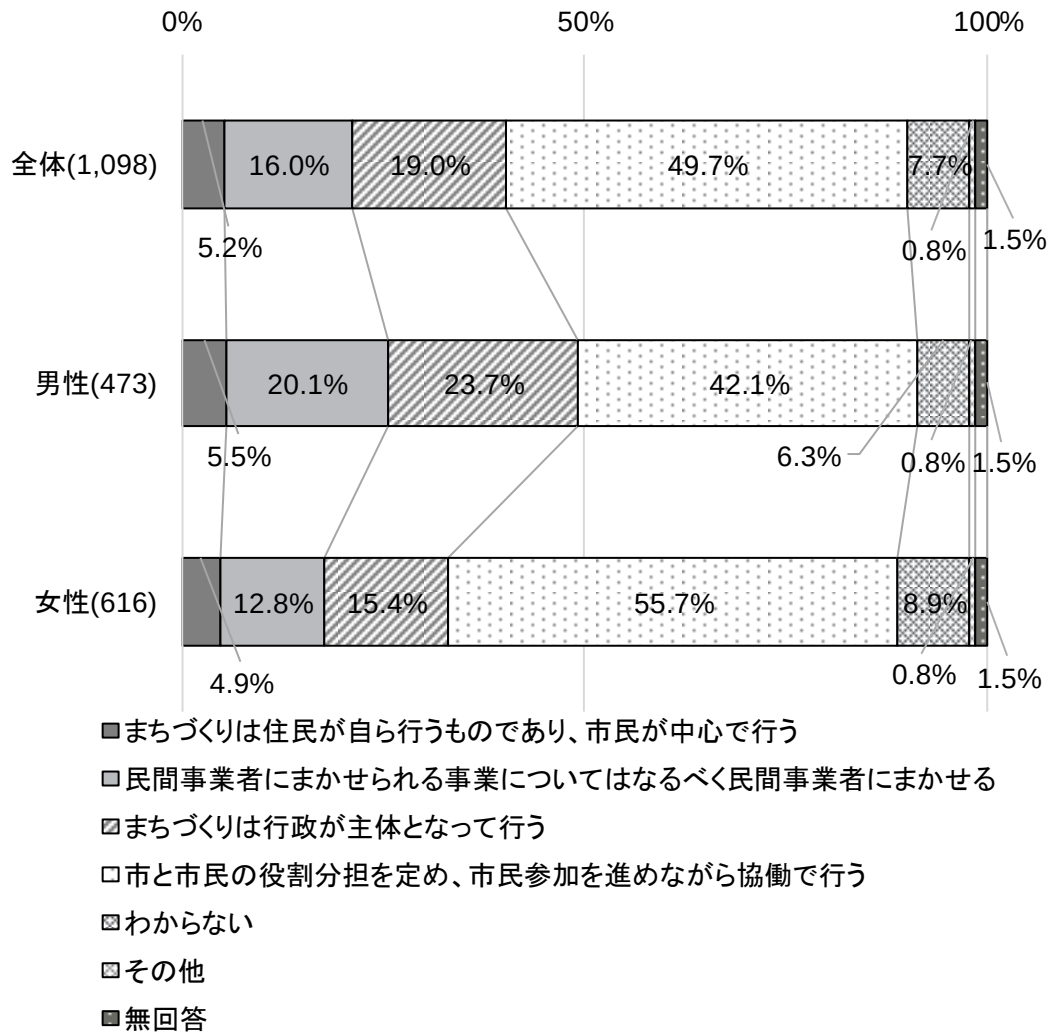
「民間事業者にまかせられる事業についてはなるべく民間事業者にまかせる」、「まちづくりは行政が主体となって行う」の割合は、平成 16 年以降、増加している。一方、「まちづくりは住民が自ら行うものであり、市民が中心で行う」、「市と市民の役割分担を定め、市民参加を進めながら協働で行う」の割合は、平成 16 年以降、減少している。



- まちづくりは住民が自ら行うものであり、市民が中心で行う
- 民間事業者にまかせられる事業についてはなるべく民間事業者にまかせる
- まちづくりは行政が主体となって行う
- 市と市民の役割分担を定め、市民参加を進めながら協働で行う
- わからない
- その他
- 無回答

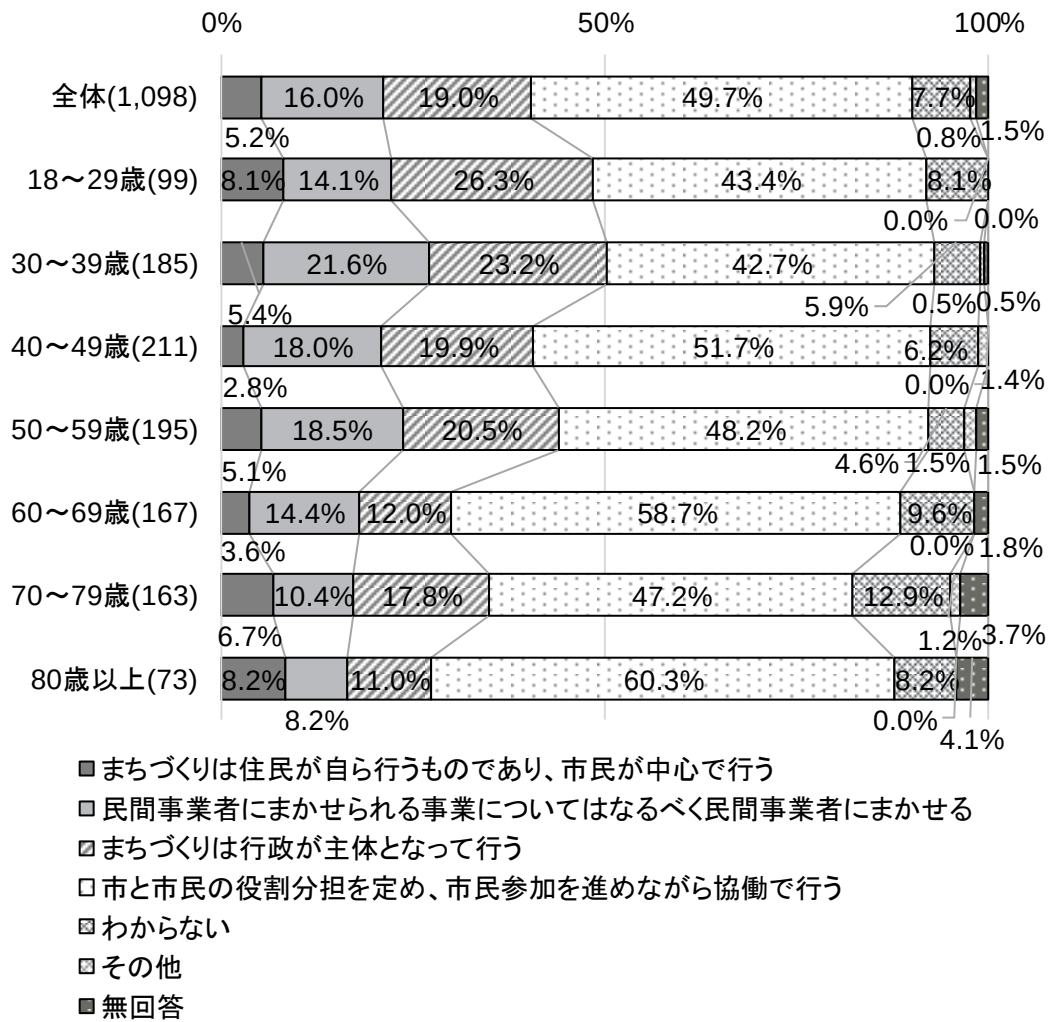
<性別>

男性の方が、「民間事業者にまかせられる事業についてはなるべく民間事業者にまかせる」、「まちづくりは行政が主体となって行う」の割合が高い一方で、女性の方が、「市と市民の役割分担を決め、市民参加を進めながら協働で行う」の割合が高い。



<年代>

年代が低い方が、「民間事業者にまかせられる事業についてはなるべく民間事業者にまかせる」、「まちづくりは行政が主体となっていく」の割合が高くなる傾向にある。

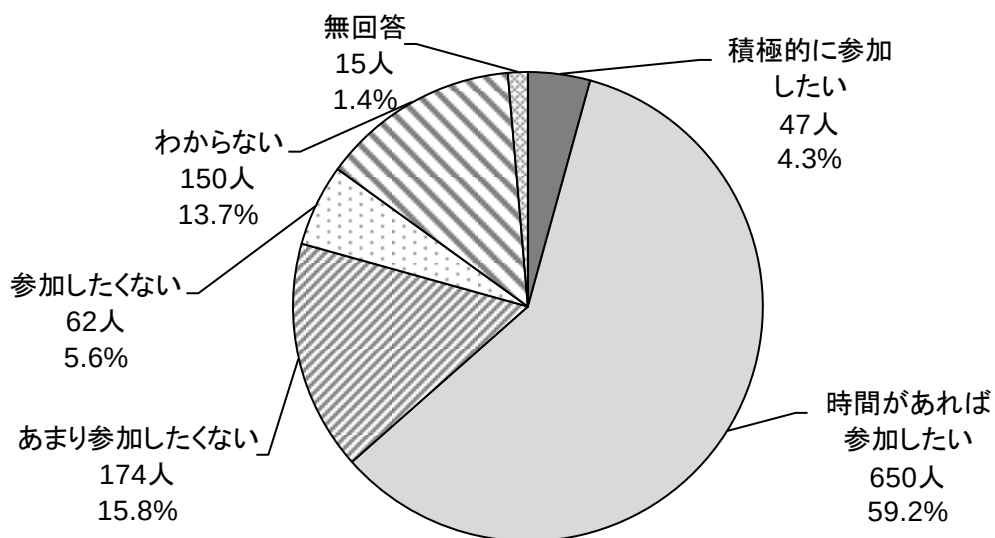


問 14 あなたのまちづくりに対する意欲を、次の中から1つ選んでください。

＜全体＞

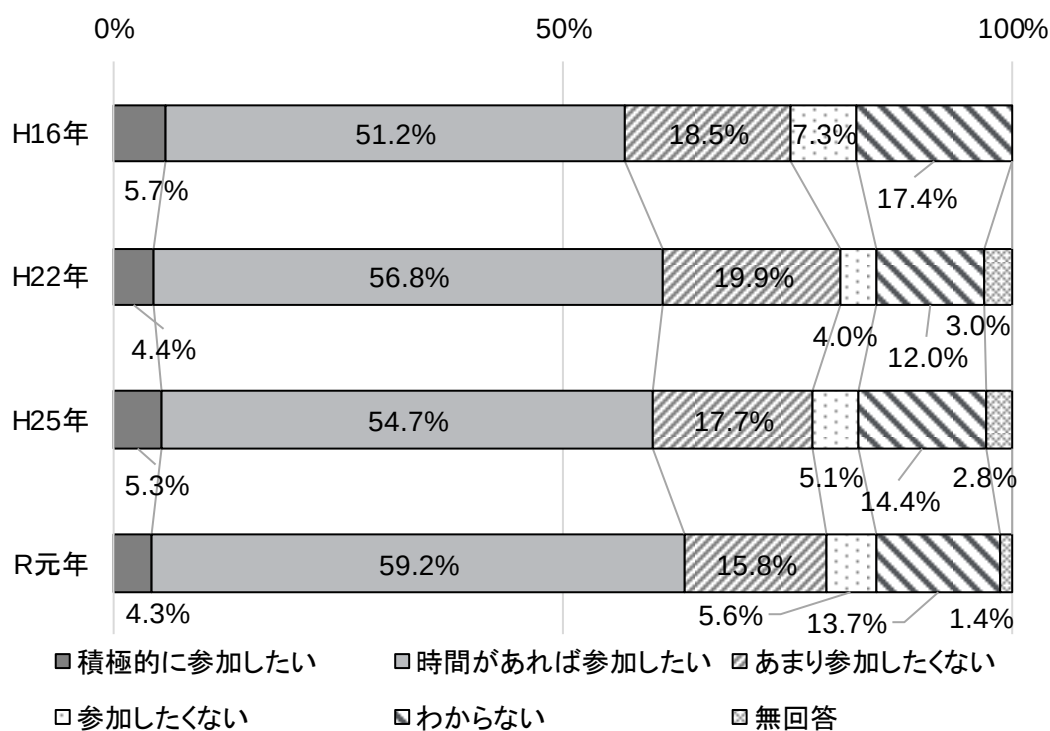
まちづくりに対する意欲は、「時間があれば参加したい」の割合が 59.2%で最も高く、続いて「あまり参加したくない」(15.8%)、「わからない」(13.7%)、「参加したくない」(5.6%)、「積極的に参加したい」(4.3%)となっている。「積極的に参加したい」と「時間があれば参加したい」を合わせた“参加したい”割合が6割を超えている。

n=1,098



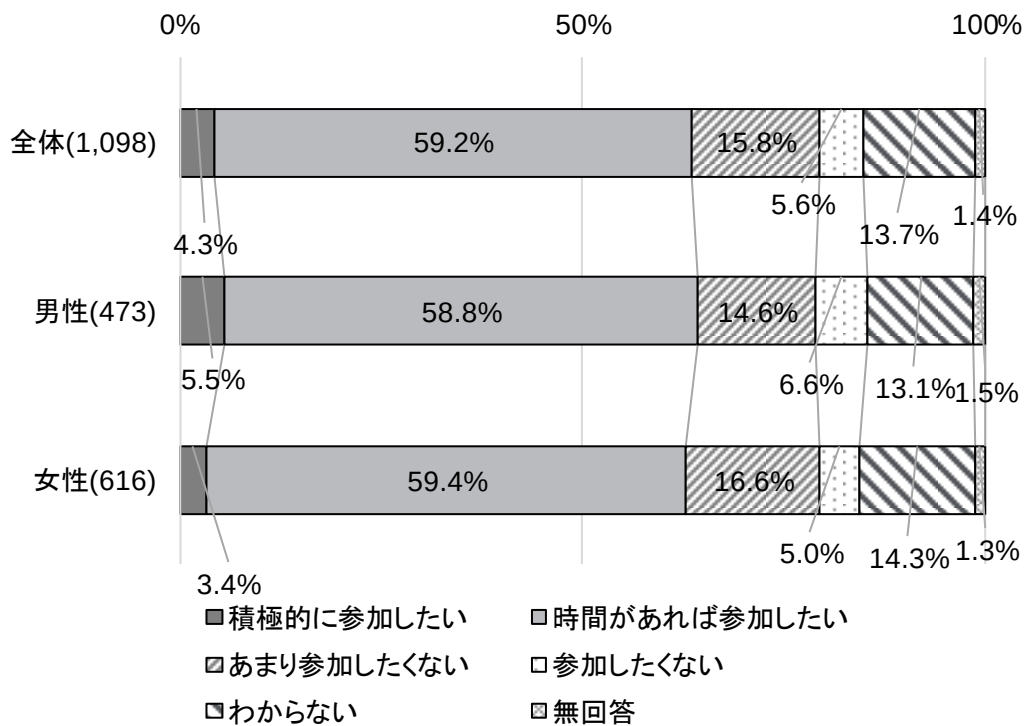
＜経年比較＞

「積極的に参加したい」と「時間があれば参加したい」を合わせた割合は、令和元年度に増加に転じている。また、「あまり参加したくない」の割合は平成 22 年以降、減少している。



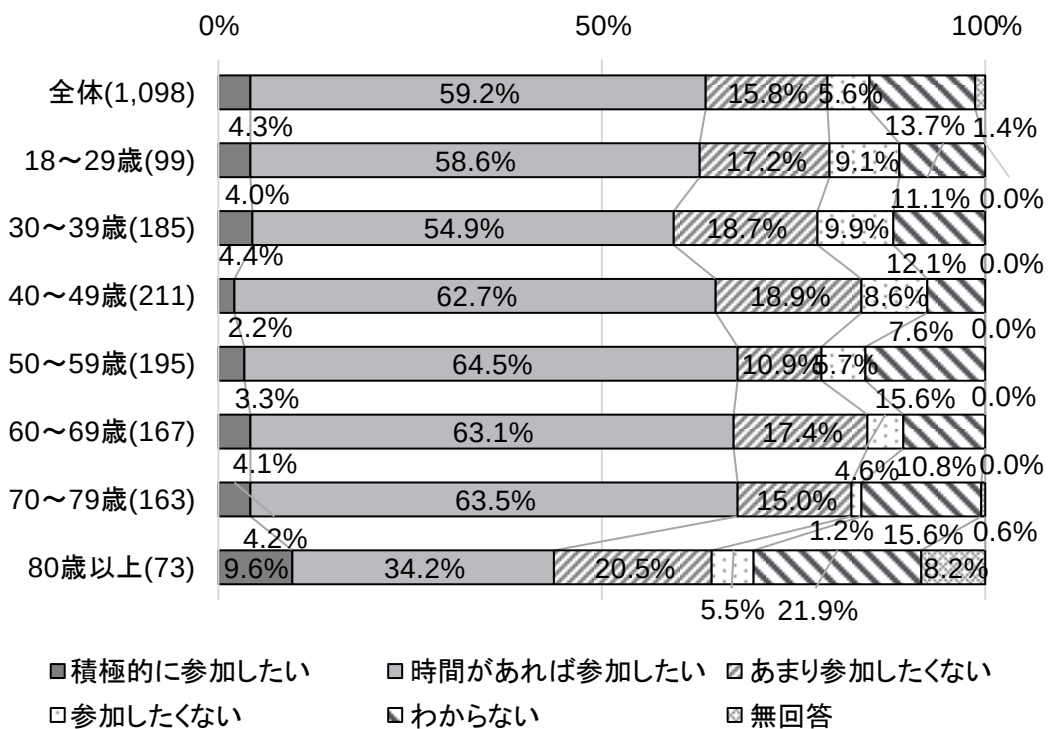
<性別>

性別での特徴は見られない。



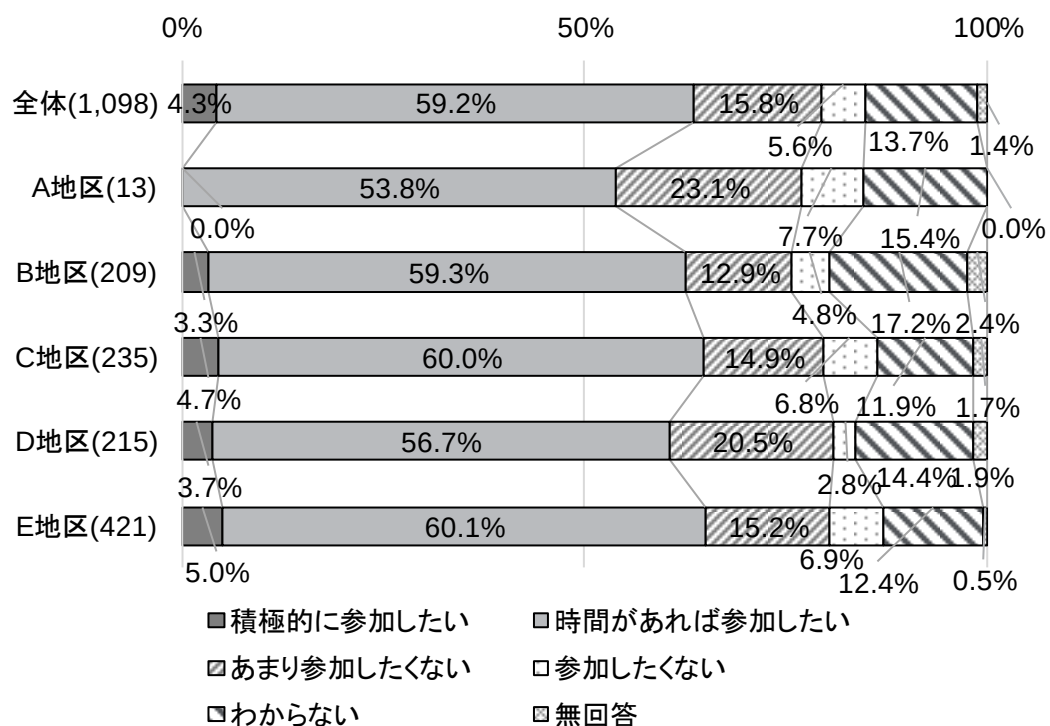
<年代>

“80歳以上”では「積極的に参加したい」の割合が比較的高い一方で、「時間があれば参加したい」の割合は比較的低く、4割を切っている。



<居住地区>

“A 地区”では「積極的に参加したい」と「時間があれば参加したい」を合わせた割合が比較的低い。



6. これからのまちづくりについて

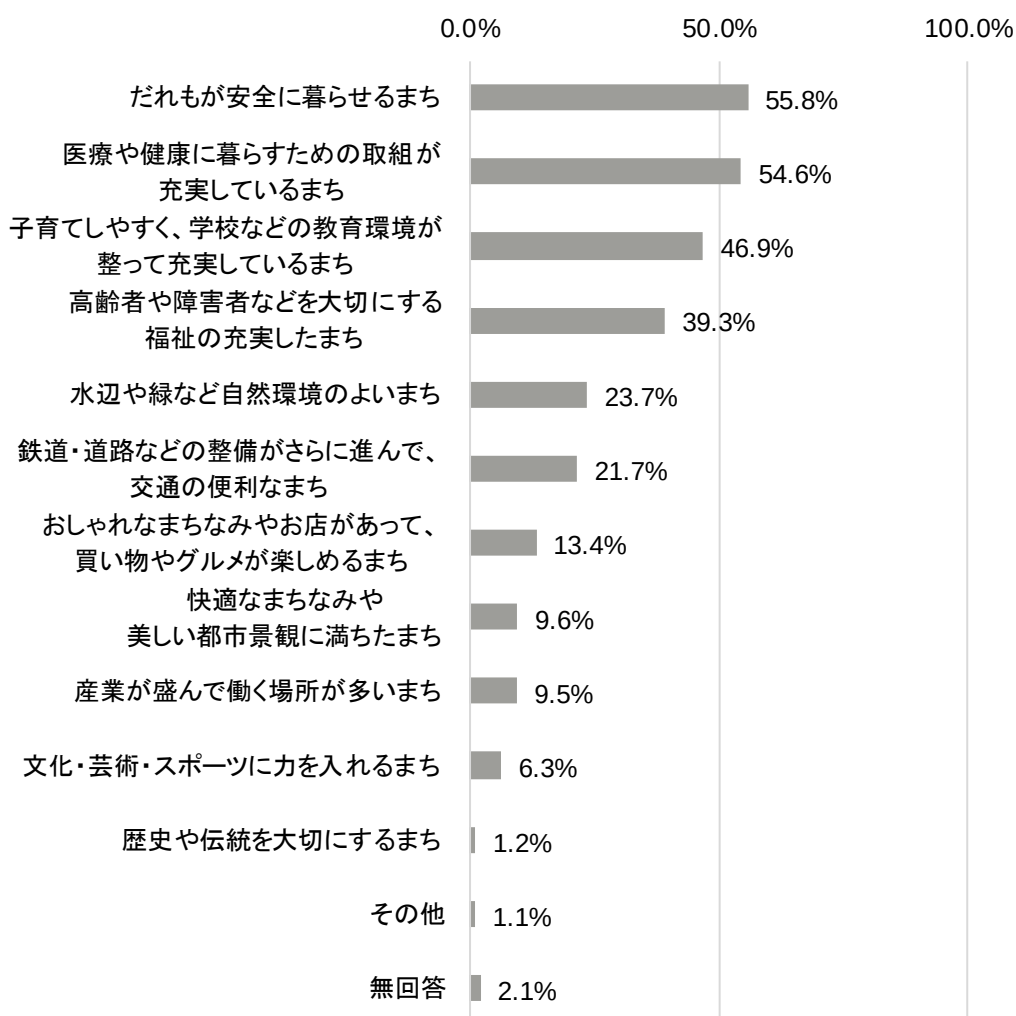
問 15 あなたは、将来の朝霞市をどのようなまちにしていきたいと思いますか。あなたのイメージに近いものを、次の中から3つまで選んでください。

<全体>

まちづくりの方向性は、「だれもが安全に暮らせるまち」の割合が 55.8%で最も高く、続いて「医療や健康に暮らすための取組が充実しているまち」(54.6%)、「子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」(46.9%)、「高齢者や障害者などを大切にする福祉の充実したまち」(39.3%)となっている。

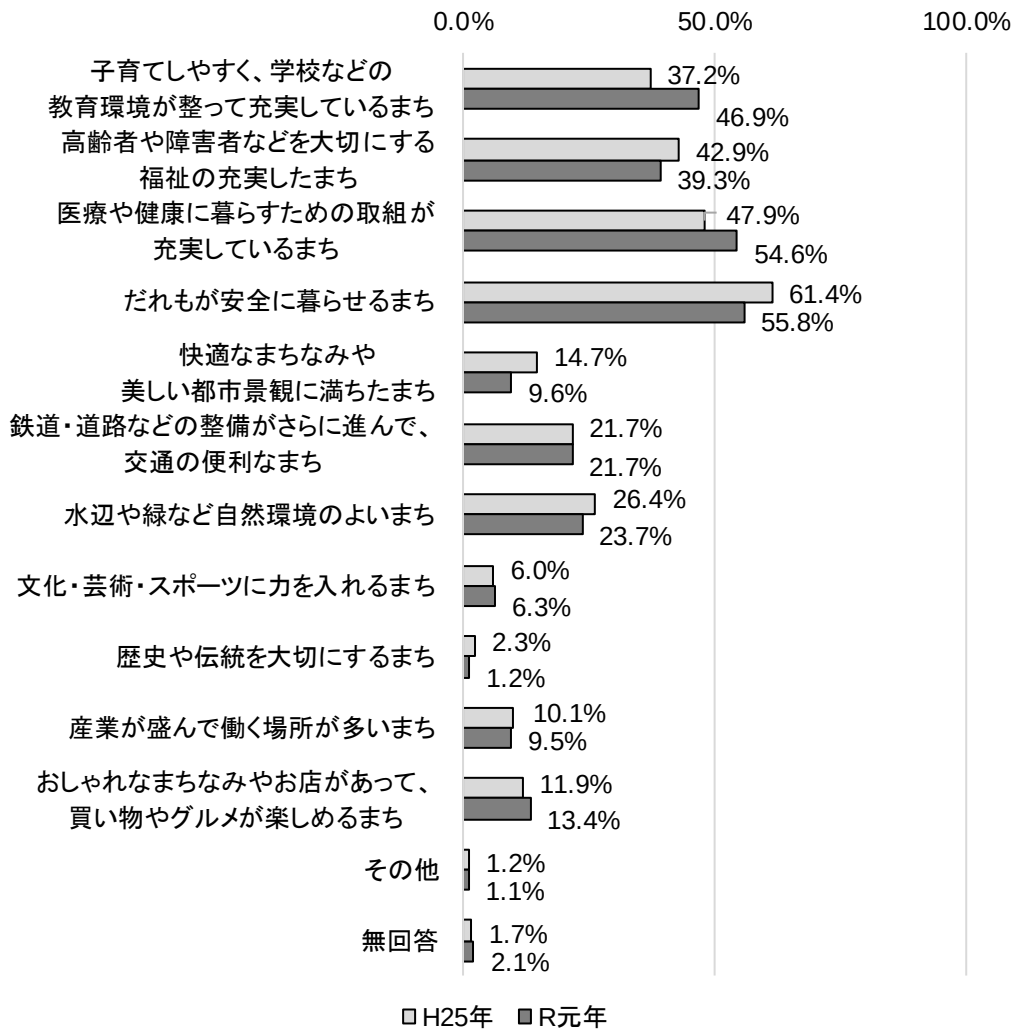
「その他」には、「朝霞に住みたいと思われるようなブランド力のあるまち」、「災害に強いまち(避難時に個室がつくられる。トイレの数を増やす等)」などの記述があった。

n=1,098



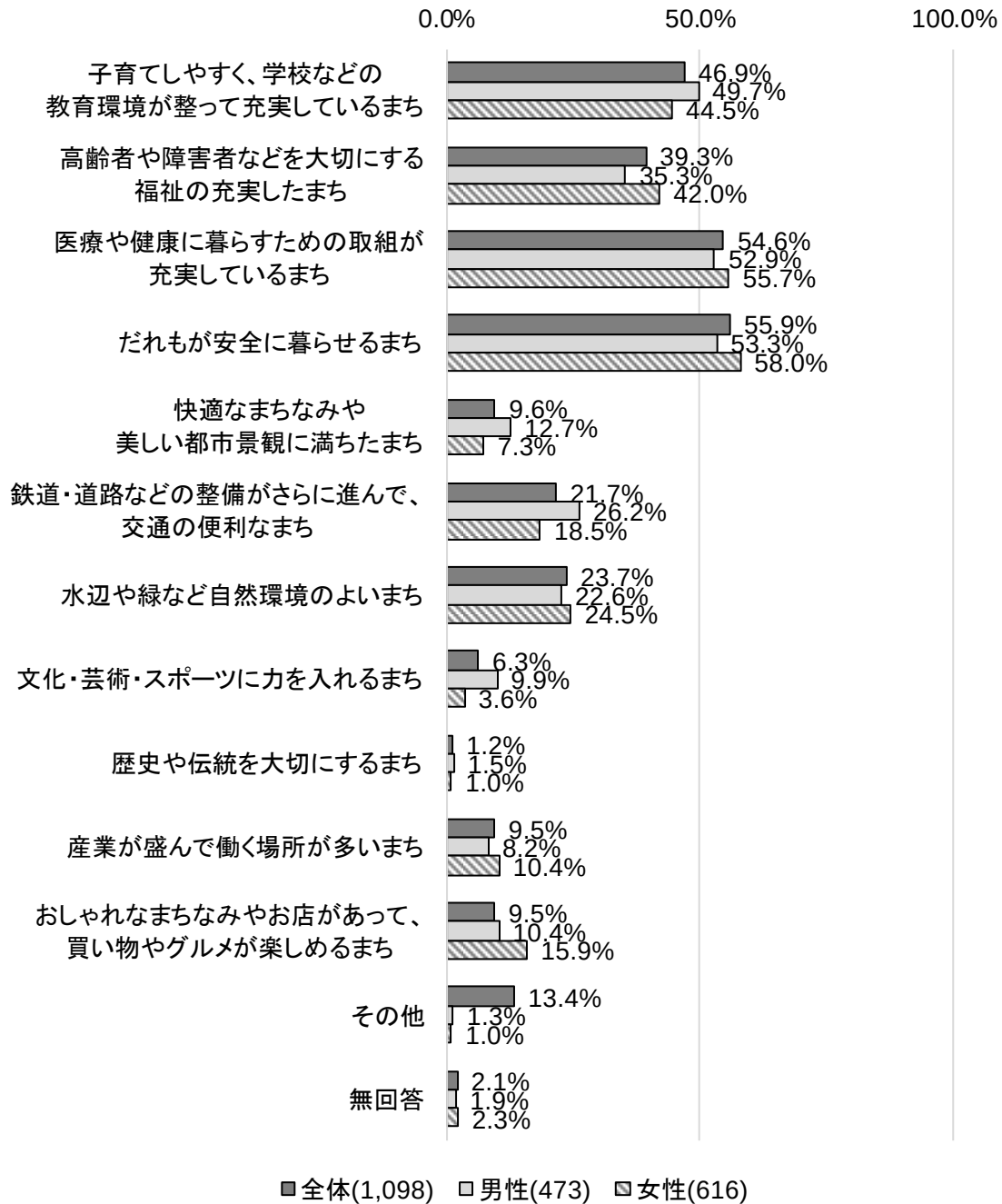
<経年比較>

「子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」の割合は、増加している。



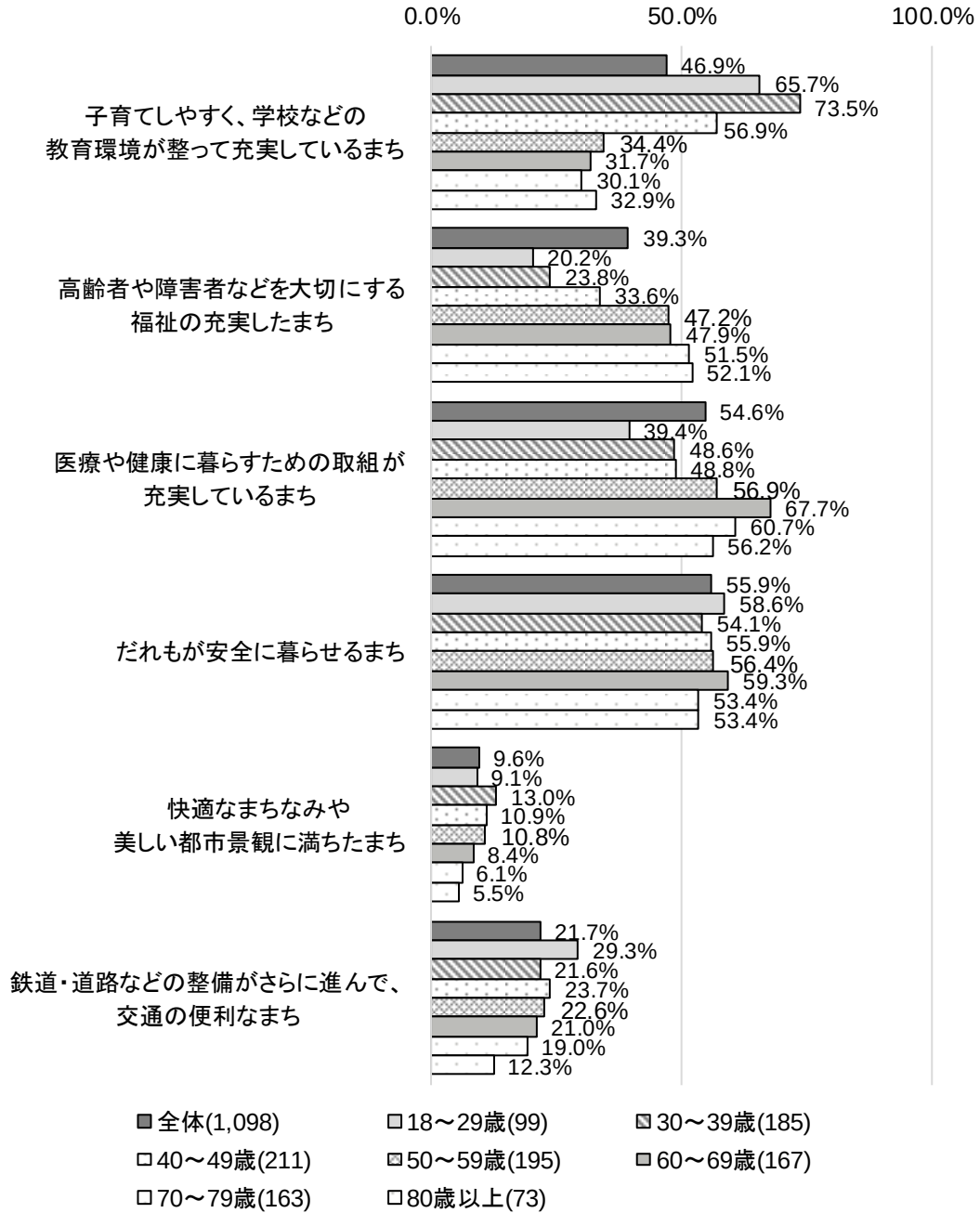
<性別>

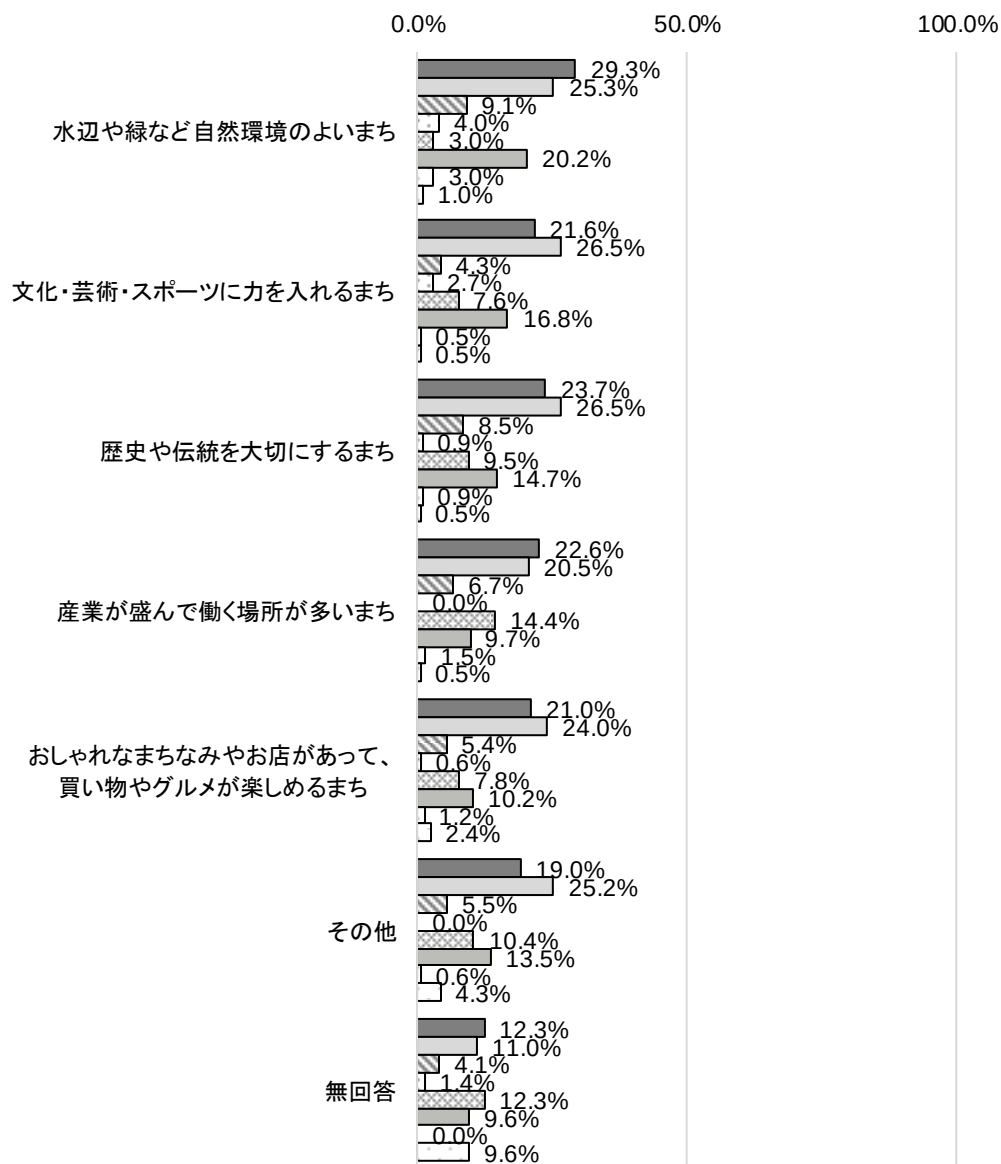
“男性”の方が、「文化・芸術・スポーツに力を入れるまち」の割合が高く、1割近くに上っている。



<年代>

年代が低い方が、「子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」の割合が高くなる傾向にある。





■ 全体(1,098) □ 18～29歳(99) □ 30～39歳(185) □ 40～49歳(211)

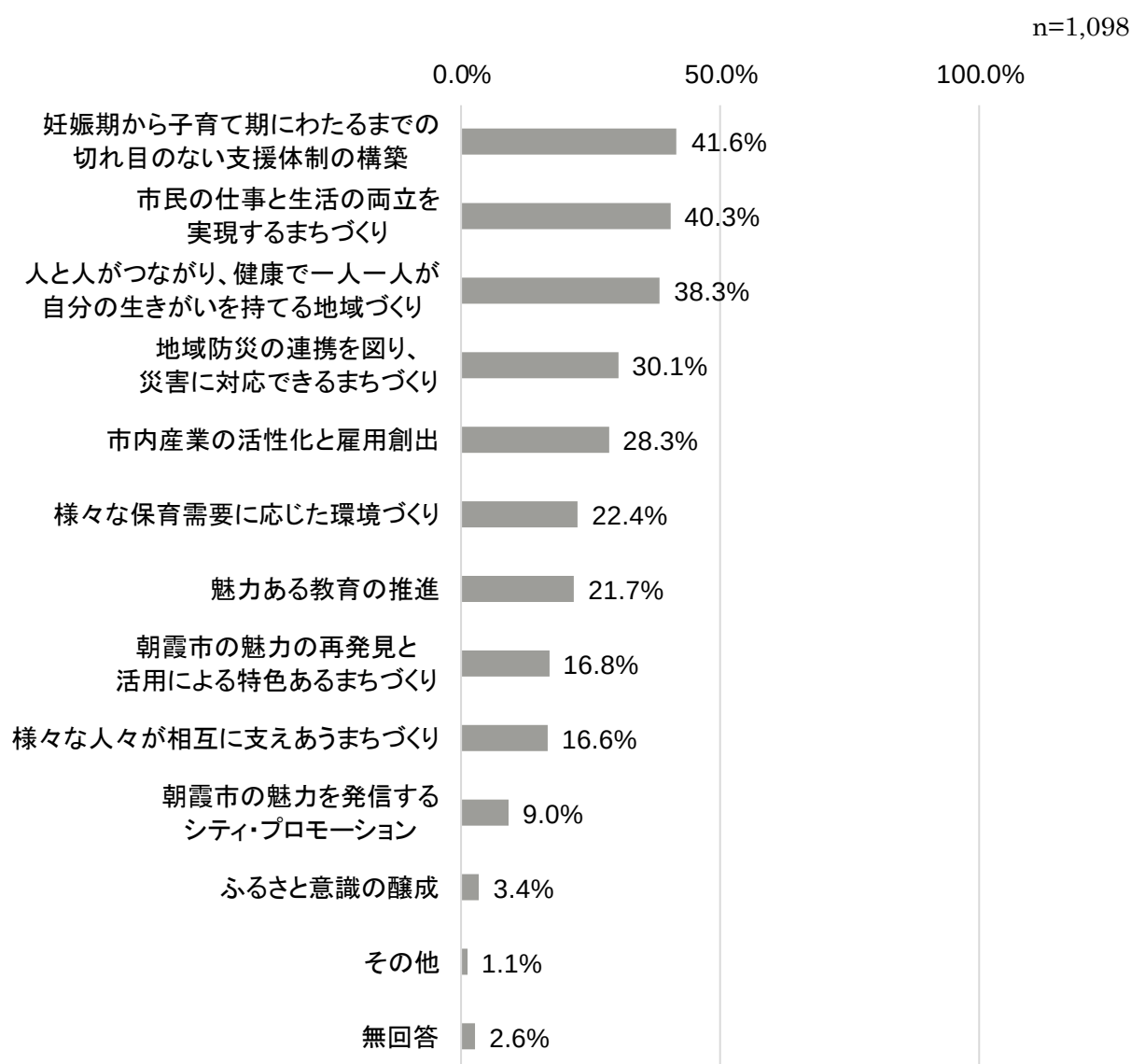
□ 50～59歳(195) □ 60～69歳(167) □ 70～79歳(163) □ 80歳以上(73)

問 16 今後、人口減少・少子高齢化が進むことが予想される中、どのような対策に取り組むべきだと思いますか。あなたの考えに近いものを、次の中から3つまで選んでください。

<全体>

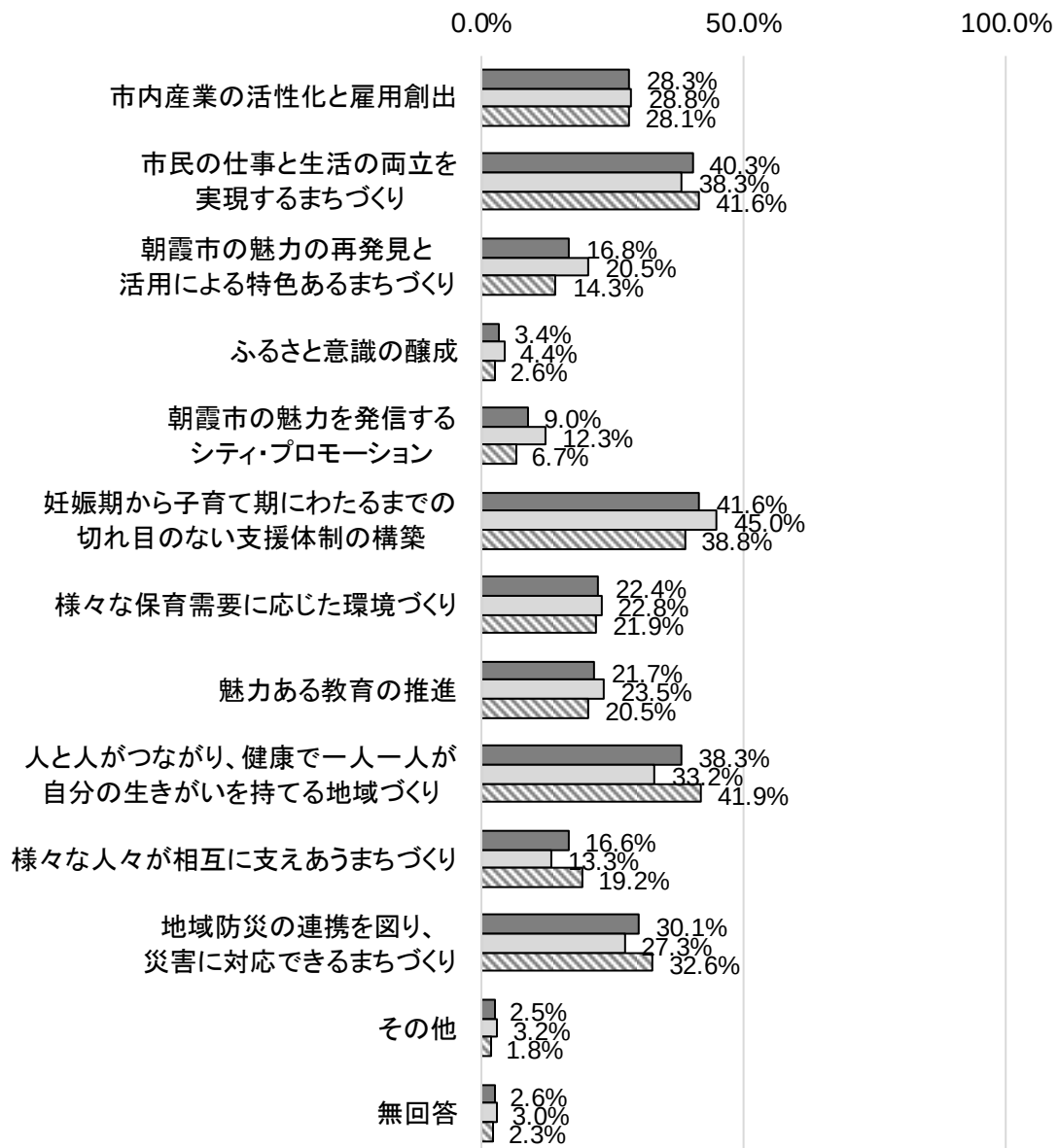
人口減少・少子高齢化対策は、「妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援体制の構築」の割合が41.5%で最も高く、続いて「市民の仕事と生活の両立を実現するまちづくり」(40.2%)、「人と人がつながり、健康で一人一人が自分の生きがいを持てる地域づくり」(38.3%)、「地域防災の連携を図り、災害に対応できるまちづくり」(30.1%)となっている。

「その他」には、「歩道や自転車道など交通の便利なまちづくり」、「市民レベルで相互扶助が出来るような体制を行政主導で作るべき」、「弱者にやさしいまちづくり」などの記述があった。



<性別>

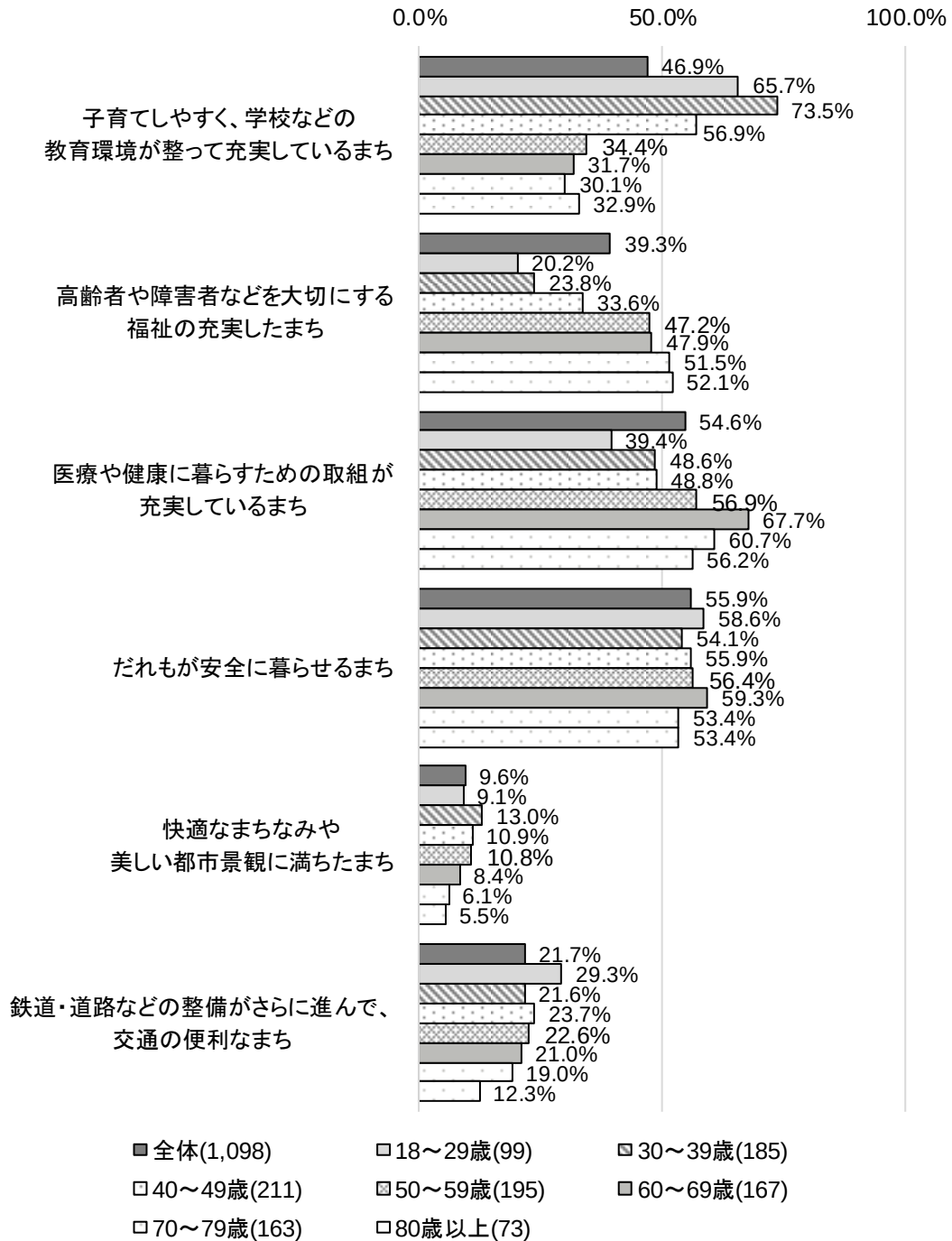
「朝霞市の魅力を発信するシティ・プロモーション」の割合は“男性”の方が高く、1割を超えている。

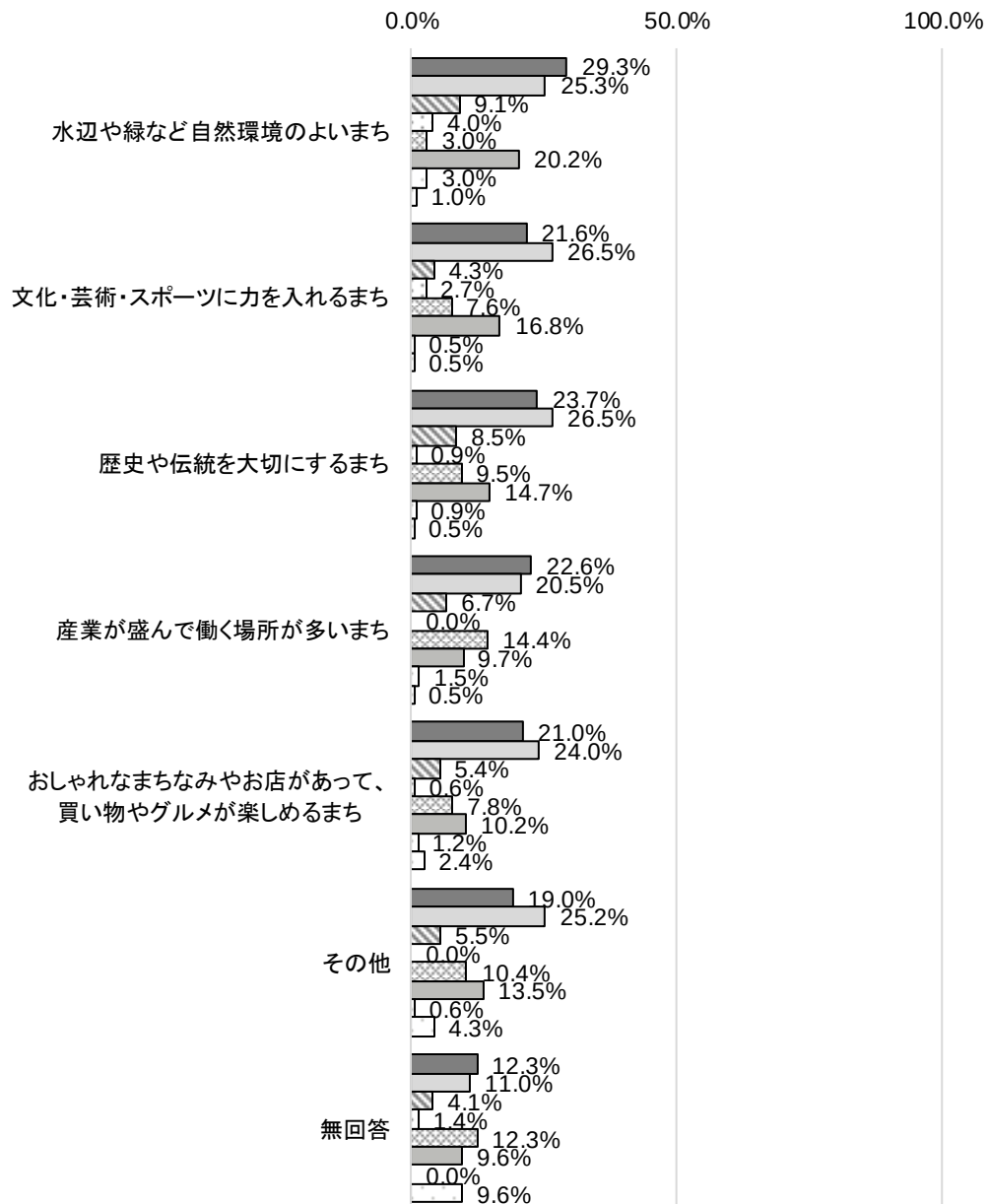


■ 全体(1,098) □ 男性(473) ▨ 女性(616)

＜年代＞

年代が低い方が、「市民の仕事と生活の両立を実現するまちづくり」、「妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援体制の構築」の割合が高くなる傾向にある。一方、年代が高い方が、「人と人がつながり、健康で一人一人が自分の生きがいを持てる地域づくり」の割合が高くなる傾向にある。





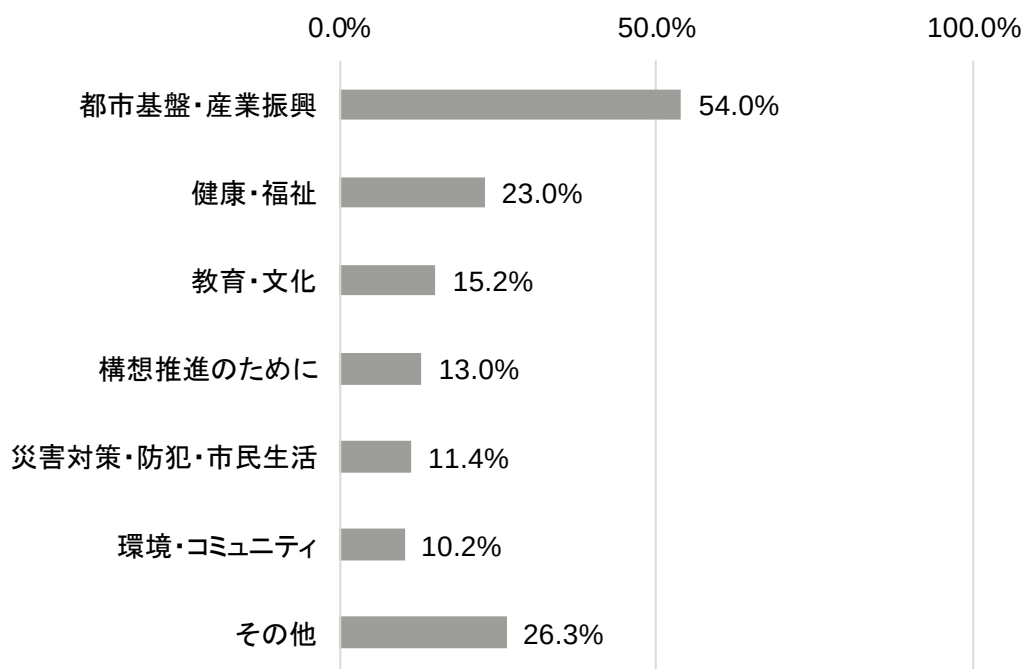
■ 全体(1,098) □ 18~29歳(99) ▨ 30~39歳(185) □ 40~49歳(211)

▤ 50~59歳(195) ▩ 60~69歳(167) □ 70~79歳(163) □ 80歳以上(73)

7. 自由記述

最後に、今後のまちづくりや市政について、ご意見などがありましたらお書きください。

n=361



<全体>

自由意見欄に記入があったのは回答者 1,098 人のうち 361 人（32.9%）である。一人が複数の意見を記入している場合は分割した。このため、意見数は 553 件となった。

「その他」を除いた回答について政策分野別にみると、「都市基盤・産業振興」の分野が回答者全体の 54.0%と最も多く、続いて「健康・福祉」（23.0%）、「教育・文化」（15.2%）となっている。

<政策分野>

「災害対策・防犯・市民生活」（41 件）では、「街灯の増設要望」、「防災無線が聞こえない」、「安全・安心のまちづくりへの期待」、「防犯カメラの設置要望」に関する意見が多数あった。

「健康・福祉」（83 件）では、「子育て支援への期待」、「待機児童の解消」、「高齢者に優しい街づくりへの期待」、「学童保育の充実」、「医療費無料」、「子育て環境の整った街としてアピールすべき」に関する意見が多数あった。

「教育・文化」（55 件）では、「彩夏祭への期待」、「小学校の生徒数のバラツキ是正」、「教育の充実への期待」、「彩夏祭への不満・改善提案」に関する意見が多数あった。

「環境・コミュニティ」(37 件)では、「自然環境の保護」、「ムクドリ対策強化」、「ごみ分別・収集への改善提案」、「喫煙対策強化」に関する意見が多数あった。

「都市基盤・産業振興」(195 件)では、「道路整備」、「公共交通(バス)の充実」、「魅力あるまちづくりに向けた施策強化」、「駅のエレベーター設置」、「市の PR 強化」、「米軍跡地の活用」、「土地の利活用全般に関する要望」、「商業施設の充実」、「電車の利便性向上」、「電線地中化」、「公園の整備」、「駅舎の改修」、「開発の地域間格差」、「信号設置」、「交通規制」、「駅周辺の開発・整備」に関する意見が多数あった。

「構想推進のために」(47 件)では、「外国人へのマナー徹底」、「市政のコストダウン」、「マイノリティーに優しいまちづくり」に関する意見が多数あった。

「その他」(95 件)では、「アンケートの設問」、「アンケートの返却方法」に関する意見が多数あった。

資料:調査票

朝霞の未来のためにあなたの声を聞かせてください！

朝 霞 市 民 意 識 調 査

調査へのご協力をお願い

日頃から市政に対しご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、朝霞市では、令和3年度（2021年度）から5年間のまちづくりの指針となる「第5次朝霞市総合計画後期基本計画」を策定するに当たって、市民の皆様からまちづくりに対する考え方やご意見等を伺うため、アンケート調査を行うことといたしました。皆様からお寄せいただいた意見等については、計画づくりの基礎資料とさせていただきます。

なお、本調査の対象については、市内にお住まいの18歳以上の方3,000人を無作為に選出いたしました。ご回答は、全て統計的に処理しますので、回答者が特定されることはございません。

5分から10分程度で回答できる調査です。本調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力くださるようお願い申し上げます。

令和元年（2019年）7月

朝霞市長 富岡 勝則

ご記入に当たってのお願い

- 1 質問への回答は、宛て名にあるご本人がお答えください。
- 2 当てはまる項目に○印を付けてください。当てはまる項目がない場合は、「その他」の番号に○印を付けて、（ ）内に内容をご記入ください。
- 3 ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒にこの調査票を入れ、
令和元年（2019年）8月9日（金）までに、切手をはらずに郵便ポストに投函してください。
- 4 お名前やご住所を書いていただく必要はありません。また、返信の際は、同封の「調査票」以外のものは入れないでください。
- 5 調査結果については、市の広報紙やホームページ等で公表する予定です。



朝霞市キャラクター
ぽぼたん

問い合わせ先

朝霞市役所 政策企画課 政策企画係

TEL 048-463-3089（直通）

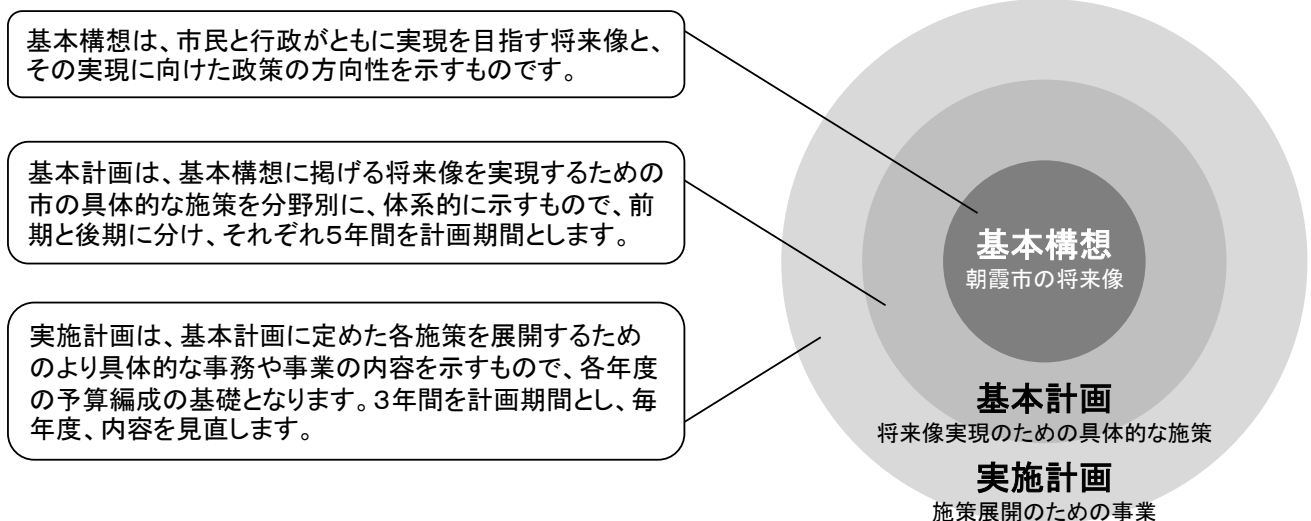
FAX 048-467-0770

総合計画とは

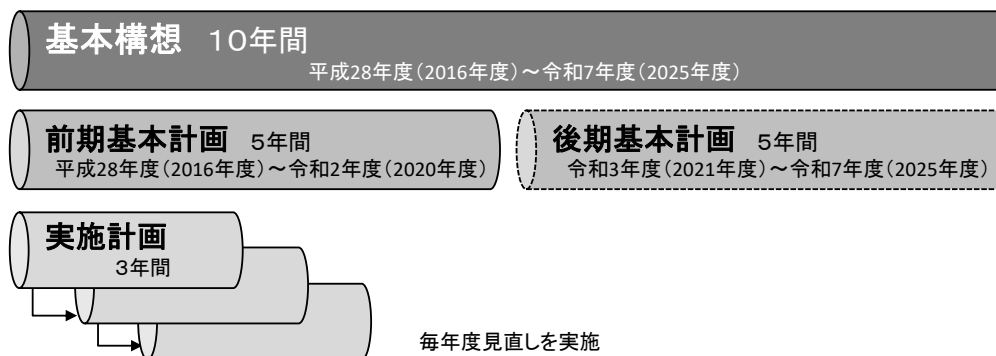
総合計画は、市のすべての計画の基本となるまちづくりのための計画で、上位に位置付けられる計画です。「将来の朝霞市をどのようなまちにするか」というビジョンを描きながら、その実現に向けて計画的に市政運営を進めていくため、各分野の方向性や取組を総合的、体系的にまとめる計画です。

第5次朝霞市総合計画は、基本構想、基本計画（前期・後期）、実施計画で構成しています。このうち、前期基本計画が令和2年度（2020年度）末で5年間の計画期間が終了を迎えることから、市では続く令和3年度（2021年度）からの5年間を計画期間とする第5次朝霞市総合計画後期基本計画の策定に向けた取組を開始しました。

【総合計画の構成】



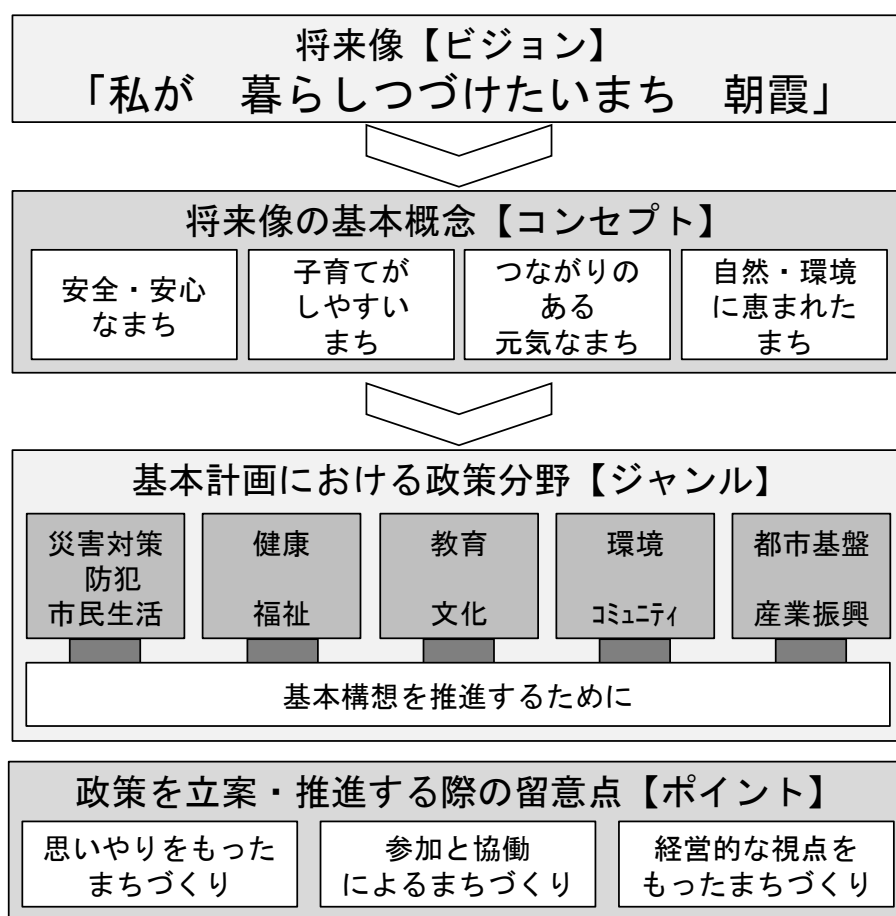
【計画期間】



第5次朝霞市総合計画についての詳細はホームページでご覧いただけます。

<https://www.city.asaka.lg.jp/soshiki/2/5jisougoukeikaku.html>

【基本構想の構成】



○将来像【ビジョン】

「朝霞に関わりのある一人一人が主人公である」という意味を込めて、将来像の主語を“私”としています。

“私”が「朝霞に暮らしたつづけたい」と思えるようなまちにしていきます。

○将来像の基本概念【コンセプト】

どのようなまちであれば「暮らしたつづけたい」と思えるのか、「私たちのまちはこうありたい」という想いを4つの基本概念としてまとめています。

この4つの基本概念を私たちと行政が共有し、将来像の実現に取り組んでいます。

○基本計画における政策分野【ジャンル】

本市は、将来像の実現に向け、政策分野を設け、具体的な施策を立案し取り組みを進めます。政策分野に基づいて施策を体系的にまとめたものが基本計画です。

○政策を立案・推進する際の留意点【ポイント】

将来像の確実な実現に向け、市民と市は、3つの留意点を共有し、ともにまちづくりを進めていきます。

はじめに、あなたご自身のことについてお聞きします

令和元年（2019年）7月1日時点でお答えください

F 1 あなたの性別は。

1 男性	2 女性
------	------

F 2 あなたの年齢は。

1 20歳未満	2 20～29歳	3 30～39歳
4 40～49歳	5 50～59歳	6 60～69歳
7 70～79歳	8 80～89歳	9 90歳以上

F 3 あなたのお住まいはどの地区ですか。

1 青葉台（1丁目）	2 朝志ヶ丘（1～4丁目）
3 大字上内間木	4 大字下内間木
5 大字台	6 大字根岸
7 岡（1～3丁目、大字含む）	8 北原（1～2丁目）
9 幸町（1～3丁目）	10 栄町（1～5丁目）
11 泉水（1～3丁目）	12 田島（1～2丁目、大字含む）
13 仲町（1～2丁目）	14 西原（1～2丁目）
15 西弁財（1～2丁目）	16 根岸台（1～8丁目）
17 浜崎（1～4丁目、大字含む）	18 東弁財（1～3丁目）
19 膝折町（1～5丁目）	20 本町（1～3丁目）
21 溝沼（1～7丁目、大字含む）	22 三原（1～5丁目）
23 宮戸（1～4丁目、大字含む）	24 陸上自衛隊朝霞駐屯地

F 4 あなたの主な職業・就業形態等は。

1 農業	2 自営業
3 会社員・団体職員	4 会社や団体の役員・経営者
5 公務員	6 教職・研究職
7 パート・アルバイト・内職	8 専業主婦・専業主夫
9 学生	10 無職
11 その他（	）

F 5 あなたの勤務先、通学先はどちらですか。

- | | |
|---------------|---------------------|
| 1 朝霞市内 | 2 埼玉県内（志木市・和光市・新座市） |
| 3 埼玉県内（1・2以外） | 4 東京都内 |
| 5 その他（ | ） 6 通勤・通学していない |

F 6 あなたは、生まれた時、または幼少の頃から朝霞市にお住まいですか。

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

F 7 F 6で「2 いいえ」と回答された方にお聞きします。朝霞市に住む以前はどちらにお住まいでしたか。

- | | |
|---------------------|-------------|
| 1 埼玉県内（志木市・和光市・新座市） | 2 埼玉県内（1以外） |
| 3 東京都内 | 4 その他（ |
| | ） |

F 8 あなたは、朝霞市にお住まいになってどれくらいになりますか。

- | | | |
|----------|---------|----------|
| 1 5年未満 | 2 5～9年 | 3 10～19年 |
| 4 20～29年 | 5 30年以上 | |

F 9 あなたの同居している世帯・家族の構成は。

- | | | |
|--------------|--------|------------|
| 1 単身 | 2 夫婦のみ | 3 親と子（2世代） |
| 4 親と子と孫（3世代） | 5 その他（ | ） |

F 10 あなたと同居している世帯・家族の中に18歳未満のお子さんはいますか。

- | |
|-------------------------------|
| 1 いる（未就学のお子さんのみ） |
| 2 いる（小学生以上18歳未満のお子さんのみ） |
| 3 いる（未就学と小学生以上18歳未満のお子さんどちらも） |
| 4 いない |

I 朝霞市の「住みよさ」についてお聞きします

問 1

あなたは、これからも朝霞市に住みつづけたいと思いますか。次の中から 1 つ選んでください。

- | | | |
|----------------|---|---------------------------------|
| 1 ずっと住みつづけたい | } | 1 または 2 を選んだ方は、
問 2 にお進みください |
| 2 当分は住みつづけたい | | |
| 3 どちらともいえない | | |
| 4 出来れば市外に移りたい | } | 4 または 5 を選んだ方は、
問 3 にお進みください |
| 5 すぐにでも市外に移りたい | | |

問 2

問 1 で「1 ずっと住みつづけたい」「2 当分は住みつづけたい」を選んだ方にお聞きします。あなたが朝霞市に住みつづけたいとお考えになった理由を、次の中から 1 つ選んでください。

- | | |
|-------------------|--------------------------------|
| 1 通勤・通学に便利だから | 2 今の住まいに満足だから
(住宅が広い、新しいなど) |
| 3 買い物など日常生活が便利だから | 4 子どもの教育や子育て環境がよいから |
| 5 都会的な楽しさや魅力が多いから | 6 近所づきあいが多くから |
| 7 地域になじみや愛着があるから | 8 緑があり自然環境がよいから |
| 9 その他 (|) |

問 3

問 1 で「4 出来れば市外に移りたい」「5 すぐにでも市外に移りたい」を選んだ方にお聞きします。あなたが市外に移りたいとお考えになった理由を、次の中から 1 つ選んでください。

- | | |
|--------------------|-------------------------------|
| 1 通勤・通学に不便だから | 2 今の住まいに不満だから
(住宅が狭い、古いなど) |
| 3 買い物など日常生活が不便だから | 4 子どもの教育や子育て環境がよいから |
| 5 都会的な楽しさや魅力が少ないから | 6 近所づきあいになじめないから |
| 7 地域になじみや愛着がないから | 8 緑が少なく自然環境がよいから |
| 9 その他 (|) |

Ⅱ 日頃の地域との関わりについてお聞きします

問 4

あなたは日頃、近所の方とどのようなおつきあいをしていますか。次の中から1つ選んでください。

1 日頃から助け合うなど親しくつきあっている
2 会えば立ち話をする
3 会えばあいさつ程度はする
4 近所づきあいはしていない
5 その他（ ）

問 5

あなたは日頃、地域の自治会・町内会やボランティア団体などで、コミュニティ活動を行っていますか。次の活動（ア～キ）それぞれについて1つずつ選んでください。

	「積極的に活動している」	「加入しているが活動はしていない」	「現在、加入してはいないが関心はある」	「加入していないし関心もない」
ア 自治会・町内会活動	1	2	3	4
イ 清掃奉仕や福祉ボランティア活動	1	2	3	4
ウ 子ども会・老人クラブなどの地域活動	1	2	3	4
エ 音楽・舞踊などの文化芸術活動	1	2	3	4
オ スポーツ・レクリエーションなどのサークル活動	1	2	3	4
カ 祭りや大会などの地域行事活動	1	2	3	4
キ その他の活動（ ）	1	2	3	4

Ⅲ 市政についてお聞きします

問 6

あなたの市政に対する関心の度合いを次の中から 1 つ選んでください。

- | | |
|-------------|-----------------------------------|
| 1 非常に関心がある | |
| 2 いくらか関心がある | |
| 3 あまり関心がない | } 3 または 4 を選んだ方は、
問 7 にお答えください |
| 4 まったく関心がない | |

問 7

問 6 で「3 あまり関心がない」「4 まったく関心がない」を選んだ方にお聞きします。
あなたが市政に関心がないのはなぜですか。次の中から 1 つ選んでください。

- | | |
|-------------------------|------------------|
| 1 転居してきたばかりだから | 2 住み続けるつもりがないから |
| 3 自分の生活には関係ないと思うから | 4 行政にまかせておけばよいから |
| 5 市民の意向などが反映されていないと思うから | |
| 6 その他（ | ） |

問 8

あなたは、普段、市政情報（市が発信する情報、市からのお知らせ）をどのような媒体で入手していますか。次の中から すべて 選んでください。

- | | |
|-------------------------|---------------|
| 1 市の広報紙 | 2 市のホームページ |
| 3 市のフェイスブック、ツイッター等の SNS | 4 市のメール配信サービス |
| 5 テレビやラジオなどの市政情報番組 | 6 掲示板 |
| 7 自治会の集会や回覧 | 8 市の説明会 |
| 9 新聞 | |
| 10 その他（ | ） |

問 9

あなたは、意見や要望などを市に伝えたい場合はどのような手段を選びますか。次の中から1つ選んでください。

- | |
|-------------------------------------|
| 1 市が開く各種相談に行くか、または相談窓口で電話をする |
| 2 市役所の担当課へ行くか、または電話をする |
| 3 市が開く会議やワークショップ等で意見を述べる |
| 4 市議会議員に頼む |
| 5 自治会・町内会や団体などの役員に頼む |
| 6 陳情や請願をする |
| 7 「市への意見・要望」などを利用する |
| 8 市のホームページの「お問い合わせ」を利用する |
| 9 市のフェイスブック、ツイッター等のSNSを使って意見・要望を伝える |
| 10 電子メールで市の担当者に意見・要望を伝える |
| 11 その他（ ） |

問 10

あなたは、ご自身の経験からみて、市民の意見や要望が市政に反映されていると思いますか。次の中から1つ選んでください。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1 反映されている | 2 ある程度反映されている |
| 3 あまり反映されていない | 4 反映されていない |
| 5 わからない | |

問 11

今後、生産年齢人口（15～64歳）の減少により税収減が見込まれるなど、市の財政状況がより厳しくなっていくことも予想されます。市が提供しているサービスの維持・充実について、市の努力により対応できる範囲を超えることがあった場合、今後どのように対応すべきだと思いますか。あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1 収入増につながる施策を充実させることなどにより対応すべき |
| 2 行政サービスのある程度廃止、縮小することにより対応していくべき |
| 3 行政サービス維持・充実のために市民の負担が増えるのは仕方がない |
| 4 わからない |
| 5 その他（ ） |

※行政が提供しているサービスの一例：住民異動の手続き、子育て支援などの児童福祉、高齢者・障害者に対する福祉、ゴミ処理や公共施設の運営など

Ⅳ 市の全般的な取組についてお聞きします

問 1 2

以下に示す分野ごとの取組（１～２９）について、それぞれどのように感じていますか。
次の項目ごとに、当てはまる番号を１つずつ選んでください。

注）ご記入にあたって

満足度

各欄の左側に記す項目ごとに、その現状についてどのように感じているか、当てはまる番号を１つ選んで○印を付けてください。

重要度

各欄の左側に記す項目ごとに、今後の取組の重要度についてどのように感じているか、当てはまる番号を１つ選んで○印を付けてください。

	満足度					重要度				
	満足している	ある程度満足している	わからない	やや不満である	不満である	重要である	どちらかといえば重要である	わからない	あまり重要でない	重要でない
1 防災・消防 ・ 防災対策の推進 ・ 地域防災力の強化 ・ 消防体制の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 生活 ・ 防犯のまちづくりの推進 ・ 消費者の自立支援の充実 ・ 安心できる葬祭の場の提供	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

	満足度					重要度				
	満足している	ある程度満足している	わからない	やや不満である	不満である	重要である	どちらかといえば重要である	わからない	あまり重要でない	重要でない
3 子育て支援・青少年育成 ・ 幼児期等の教育と保育の充実 ・ 子どもたちが健やかに育つ環境づくり ・ 子育て家庭を支えるための環境づくり ・ 青少年の健全育成の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4 高齢者支援 ・ 健康・生きがいづくりと介護予防の支援 ・ 自立のためのサービスの確立 ・ 安全・安心な生活ができる環境の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5 障害者支援 ・ 共生社会の実現 ・ 地域における自立生活の支援 ・ 自立した社会生活・就労支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6 地域福祉・社会保障 ・ 地域福祉の推進 ・ 社会保障制度の運営	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7 保健・医療 ・ 健康づくりの支援 ・ 保健サービスの充実 ・ 医療体制の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

	満足度					重要度				
	満足している	ある程度満足している	わからない	やや不満である	不満である	重要である	どちらかといえば重要である	わからない	あまり重要でない	重要でない
8 学校教育 ・朝霞の次代を担う人材の育成 ・確かな学力と自立する力の育成 ・質の高い教育を支える教育環境の整備充実 ・学校・家庭・地域が連携した教育の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9 生涯学習 ・生涯学習活動の推進 ・学習しやすい環境整備（公民館・図書館・博物館等）の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
10 スポーツ・レクリエーション ・スポーツ・レクリエーション活動の推進 ・スポーツ施設の整備充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
11 地域文化 ・歴史や伝統の保護・活用 ・芸術文化の振興 ・地域文化によるまちづくり	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
12 環境 ・住みよい環境づくりの推進 ・循環型社会の推進 ・低炭素社会の推進 ・環境教育・環境学習の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

	満足度					重要度				
	満足している	ある程度満足している	わからない	やや不満である	不満である	重要である	どちらかといえば重要である	わからない	あまり重要でない	重要でない
1 3 ごみ処理 ・ごみの減量・リサイクルの推進 ・ごみ処理体制の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
1 4 コミュニティ ・コミュニティ活動の推進 ・活動施設の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
1 5 市民活動 ・市民活動への支援 ・市民活動環境の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
1 6 土地利用 ・市街地の適正な利用 ・市街地周辺の適正な利用（市街化調整区域の整序）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
1 7 道路交通 ・やさしさに配慮した道づくり ・まちの骨格となる道路づくり ・良好な交通環境づくり	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
1 8 緑・景観・環境共生 ・まちの骨格となる緑づくり ・うるおいのある生活環境づくり ・まちの魅力を生み出す景観づくり ・循環型社会を目指した環境にやさしいまちづくり	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

	満足度					重要度				
	満足している	ある程度満足している	わからない	やや不満である	不満である	重要である	どちらかといえば重要である	わからない	あまり重要でない	重要でない
19 市街地整備 ・特性に応じた市街地づくり ・上水道の整備・充実 ・公共下水道の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
20 安全・安心 ・災害や犯罪に強いまちづくり ・全ての人にやさしいまちづくり（生活空間のユニバーサルデザイン化の推進等）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
21 産業の育成と支援 ・産業育成のための連携強化 ・起業・創業の支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
22 産業活性化 ・魅力ある商工業機能の形成 ・中小企業の経営基盤の強化 ・都市農業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
23 勤労者支援 ・勤労者支援の充実 ・雇用の促進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
24 シティ・セールス朝霞ブランド ・シティ・セールス朝霞ブランドの育成 ・シティ・プロモーションの展開	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
25 男女平等 ・男女平等の意識づくり ・男女平等が実感できる生活の実現	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

	満足度					重要度				
	満足している	ある程度満足している	わからない	やや不満である	不満である	重要である	どちらかといえば重要である	わからない	あまり重要でない	重要でない
2 6 人権の尊重 ・ 人権教育・啓発活動 ・ 問題解決に向けた支援体制の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 7 多文化共生 ・ 外国人市民が暮らしやすいまちづくり ・ 多文化共生への理解の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 8 市民参画・協働 ・ 参画と協働の仕組みの検討 ・ 市民参画と協働の推進 ・ 情報提供の充実と市民ニーズの把握	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 9 行財政 ・ 総合計画の推進 ・ まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進 ・ 公平・適正な負担による財政基盤の強化 ・ 公共施設の効果的・効率的な管理運営 ・ 適正かつ効率的な行政事務の遂行 ・ 機能的な組織づくりと人材育成	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

V まちづくりへの市民の参加についてお聞きします

問 1 3

まちづくりの役割分担に関して、あなたの考えにもっとも近いものを、次の中から1つ選んでください。

- 1 まちづくりは住民が自ら行うものであり、市民が中心で行う
- 2 民間事業者にまかせられる事業についてはなるべく民間事業者にまかせる
- 3 まちづくりは行政が主体となって行う
- 4 市と市民の役割分担を定め、市民参加を進めながら協働で行う
- 5 わからない
- 6 その他（ ）

問 1 4

あなたのまちづくりに対する意欲を、次の中から 1 つ選んでください。

- 1 積極的に参加したい 2 時間があれば参加したい
3 あまり参加したくない 4 参加したくない
5 わからない

Ⅵ これからのまちづくりについてあなたの考えをお聞きします

問 1 5

あなたは、将来の朝霞市をどのようなまちにしていきたいと思いますか。あなたのイメージに近いものを、次の中から3つまで選んでください。

- 1 子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち
- 2 高齢者や障害者などを大切にする福祉の充実したまち
- 3 医療や健康に暮らすための取組が充実しているまち
- 4 だれもが安全に暮らせるまち
- 5 快適な街並みや美しい都市景観に満ちたまち
- 6 鉄道・道路などの整備がさらに進んで、交通の便利なまち
- 7 水辺や緑など自然環境のよいまち
- 8 文化・芸術・スポーツに力を入れるまち
- 9 歴史や伝統を大切にするまち
- 10 産業が盛んで働く場所が多いまち
- 11 おしゃれな街並みやお店があって、買い物やグルメが楽しめるまち
- 12 その他（ ）

問 1 6

今後、人口減少・少子高齢化が進むことが予想される中、どのような対策に取り組むべきだと考えますか。あなたの考えに近いものを、次の中から3つまで選んでください。

- 1 市内産業の活性化と雇用創出
- 2 市民の仕事と生活の両立を実現するまちづくり
- 3 朝霞市の魅力の再発見と活用による特色あるまちづくり
- 4 ふるさと意識の醸成
- 5 朝霞市の魅力を発信するシティ・プロモーション
- 6 妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援体制の構築
- 7 様々な保育需要に応じた環境づくり
- 8 魅力ある教育の推進
- 9 人と人がつながり、健康で一人一人が自分の生きがいを持てる地域づくり
- 10 様々な人々が相互に支えあうまちづくり
- 11 地域防災の連携を図り、災害に対応できるまちづくり
- 12 その他（ ）

自由意見欄

最後に、今後のまちづくりや市政について、ご意見などがありましたらお書きください。

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

第2部 朝霞市青少年アンケート結果

I 調査の概要

1. 調査の目的

この青少年アンケートは令和3年度（2021年度）から5年間のまちづくりの指針となる「第5次朝霞市総合計画後期基本計画」を策定するに当たって、まちづくりに対する青少年の意向を把握し、基礎資料として活用するために行ったものである。

2. 調査の方法

- ①調査対象 市内居住の12～18歳未満の男女（平成31年4月1日時点での満年齢）
- ②対象者数 1,000人
- ③抽出方法 住民基本台帳（令和元年7月1日現在）から無作為抽出
- ④調査方法 郵送配布、郵送回収
- ⑤調査期間 令和元年7月16日送付、8月9日締切

3. 集計・分析のための地区区分

A地区	大字上内間木、大字下内間木
B地区	朝志ヶ丘、北原、田島、西原、浜崎、宮戸
C地区	大字台、大字根岸、岡、仲町、根岸台
D地区	泉水、西弁財、東弁財、三原
E地区	青葉台、幸町、栄町、膝折町、本町、溝沼、陸上自衛隊朝霞駐屯地

4. 調査項目

- ①朝霞市について日頃感じていること
- ②これからのまちづくりについて
- ③日頃の地域との関わりについて
- ④自由記述

5. 回収結果

- ①調査票発送数 1,000票
- ②有効回収数 362票
- ③有効回収率 36.2%

6. 報告書の見方

①集計について

比率は、全て百分率（％）で表し、小数点第2位以下を四捨五入して算出している。このため、比率の合計が100.0%にならない場合がある。

また、集計上の無回答とは、無回答及び無効回答の合算票数を示している。

②用語の取り扱いについて

図表及び文章中で、選択肢の文言を一部省略して用いている。

③設問ごとの集計の基数

グラフや図表で、“n=362”や（362）と表記してあるのは集計の基数である。全員が回答すべき設問では362となるが、回答者が限定される場合は、この数を下回る。

④経年比較について

これまでに実施した意識調査と経年比較を行う。

※平成22年度、平成25年度、令和元年度実施。

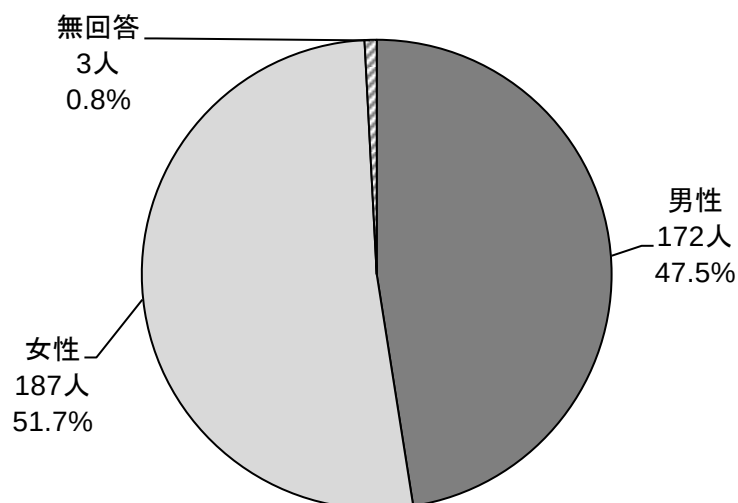
前々回調査（平成22年調査）では、朝霞市に立地する市立中学校及び県立高校から、各学校とも1クラスずつ抽出し、在学する生徒を対象に調査を行っているため、前々回調査との経年比較については、それぞれの結果を単純に比較することができないが、一部参考として記載している。

7. 回答者の属性

F1 あなたの性別は。

回答者の性別は、「女性」の割合が 51.7%、「男性」の割合が 47.5%となっている。

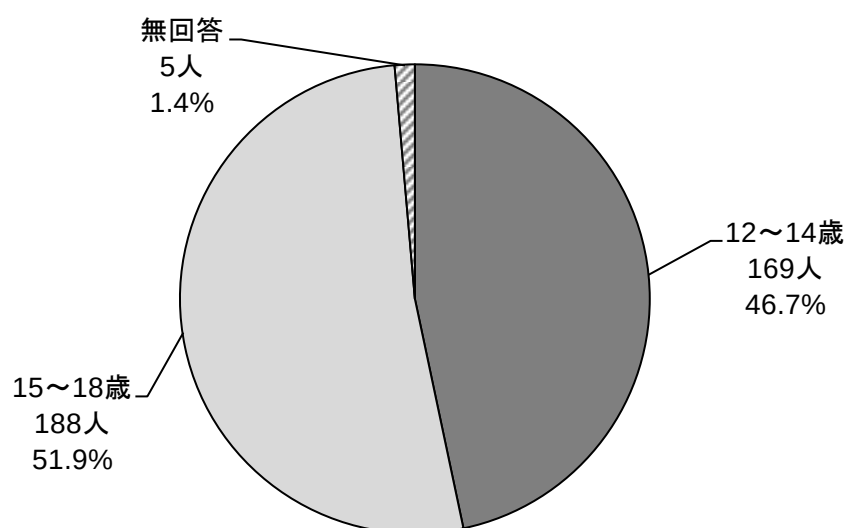
n=362



F2 あなたの年齢は。

年齢は、「15～18歳」の割合が 51.9%、「12～14歳」の割合が 46.7%となっている。

n=362



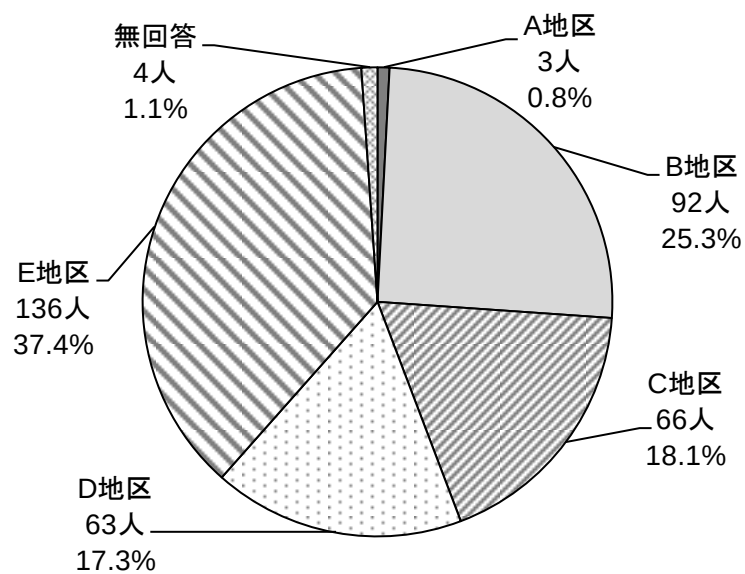
F3 あなたの住まいはどの地区ですか。

住んでいる地区は、「E 地区」の割合が 37.4%で最も高く、続いて「B 地区」(25.3%)、「C 地区」(18.1%)、「D 地区」(17.3%)、「A 地区」(0.8%) となっている。

町(丁)・大字別でみた住んでいる地区は、「三原」の割合が 11.6%で最も高く、続いて「本町」(10.5%)、「根岸台」(9.9%) となっている。

※地区区分については、120 ページ「3. 集計・分析のための地区区分」参照。

n=362



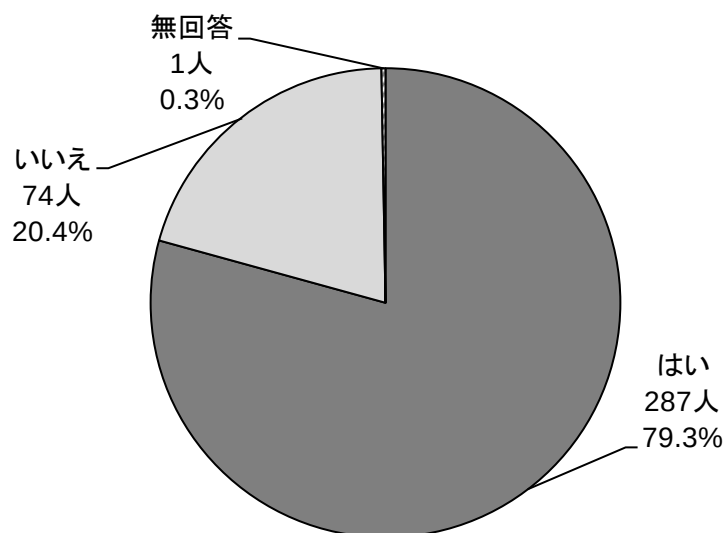
【町（丁）・大字別居住地区】



F4 あなたは、生まれた時、または幼少の頃から朝霞市にお住まいですか。

生まれた時から朝霞市に住んでいるかどうかについては、「はい」の割合が 79.3%、「いいえ」の割合が 20.4%となっている。

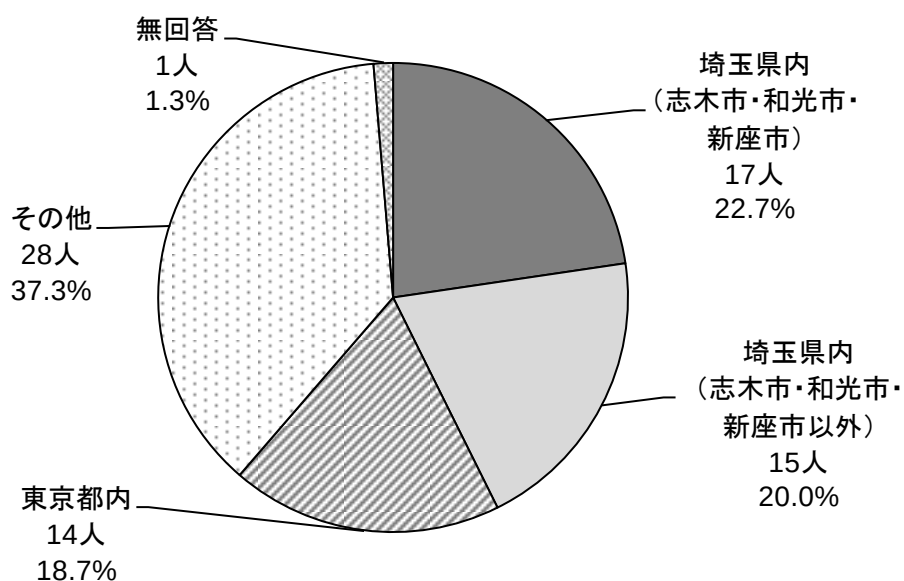
n=362



F5 F4で「いいえ」と回答された方にお聞きます。朝霞市に住む以前はどちらにお住まいでしたか。

市外から転入してきた回答者の以前の住まいは、「その他」を除くと、「埼玉県内（志木市・和光市・新座市）」の割合が 22.7%で最も高く、続いて「埼玉県内（志木市・和光市・新座市以外）」（20.0%）、「東京都内」（18.7%）となっている。

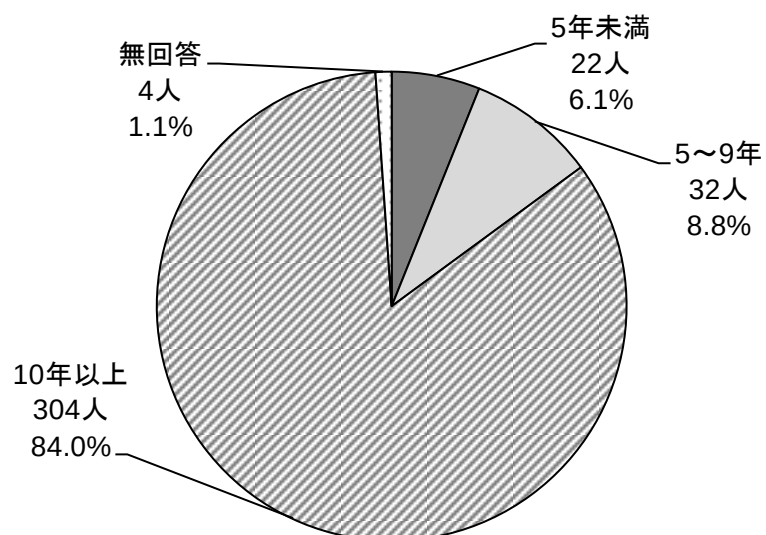
n=74



F6 あなたは、朝霞市にお住まいになってどれくらいになりますか。

朝霞市に住んでいる年数は、「10 年以上」の割合が 84.0%で最も高く、続いて「5～9 年」(8.8%)、「5 年未満」(6.1%) となっている。

n=362



II 回答結果

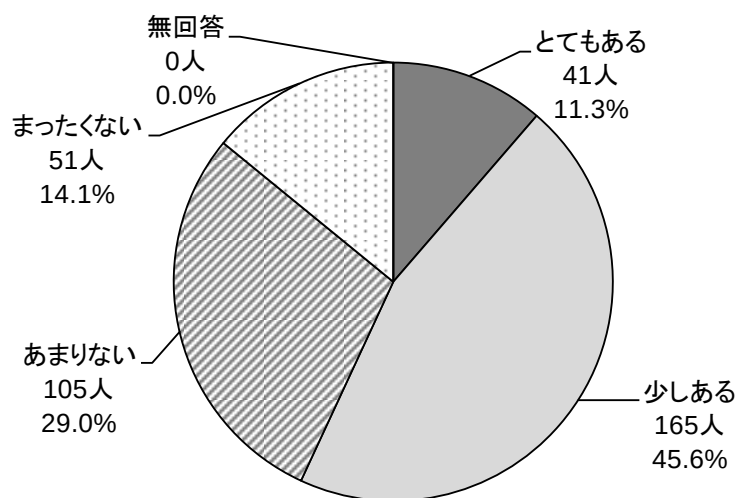
1. 朝霞市について日頃感じていること

問1 あなたは、「朝霞市」のまちづくりに興味や関心がありますか。次の中から1つ選んでください。

<全体>

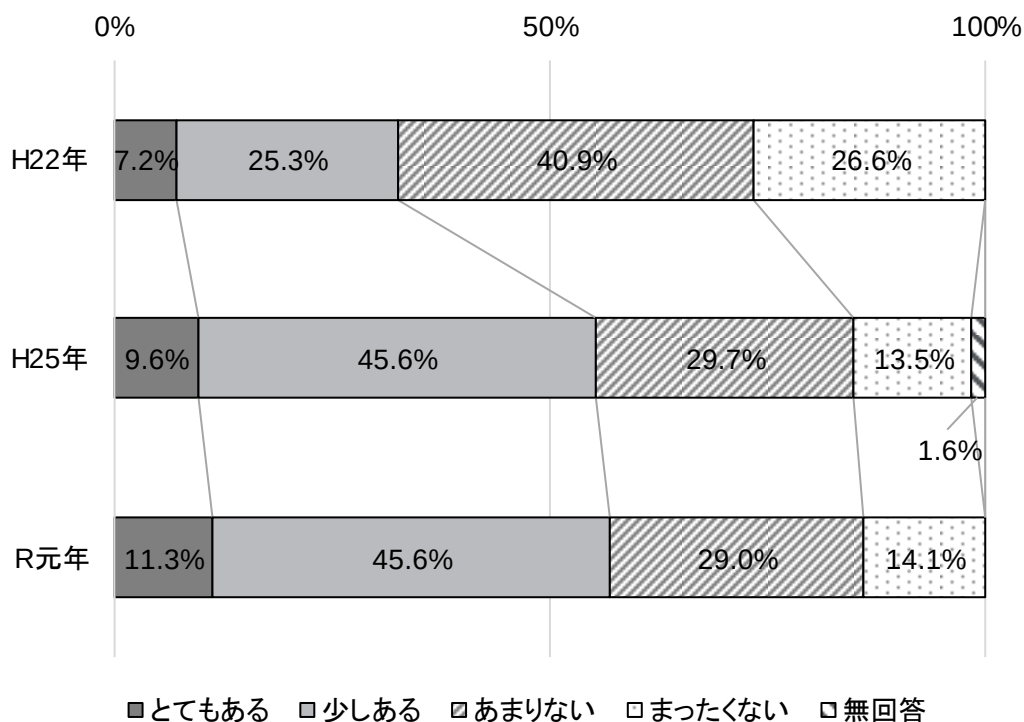
朝霞市のまちづくりへの興味や関心は、「とてもある」(11.3%)、「少しある」(45.6%)を合わせた“興味・関心がある”の割合が 56.9%となっている。一方、「あまりない」(29.0%)、「まったくない」(14.1%)を合わせた“興味・関心がない”の割合が 43.1%となっている。

n=362



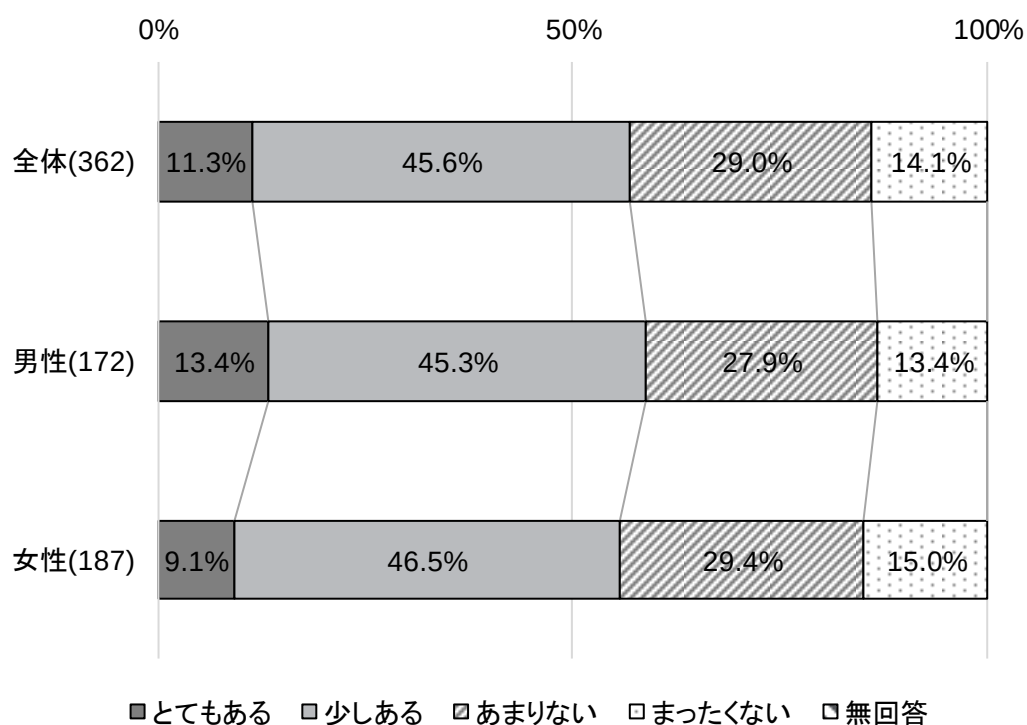
<経年比較>

「とてもある」、「少しある」の割合は平成 22 年以降、増加している。



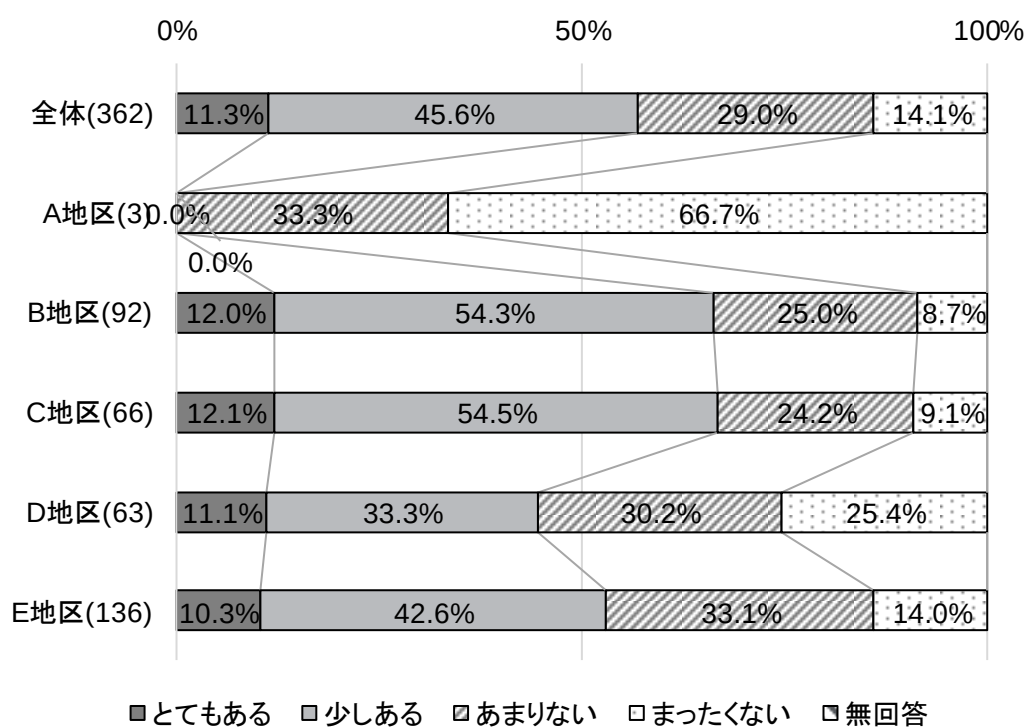
<性別>

性別での特徴は見られない。



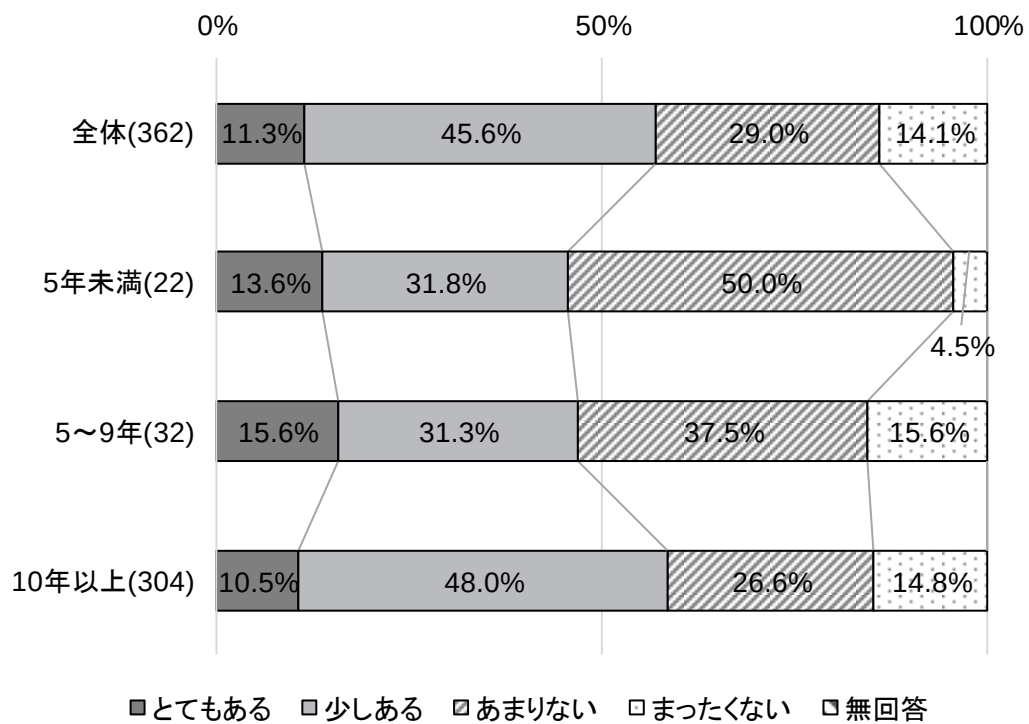
<居住地区>

“D 地区”では「少しある」の割合が比較的 low、4 割を切っている。



<居住年数>

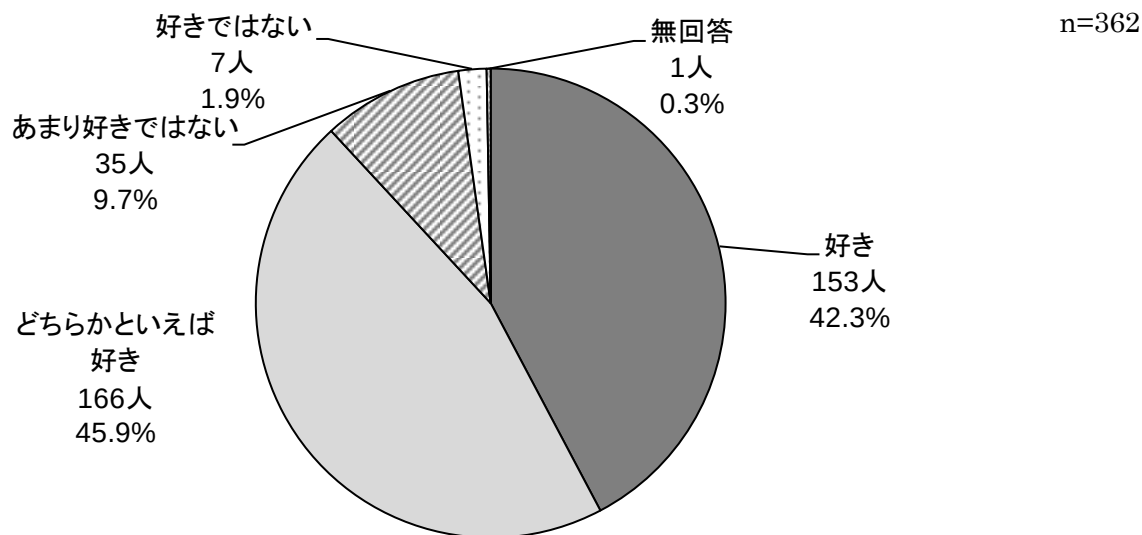
“10 年以上”では「少しある」の割合が比較的高く、4 割を超えている。



問2 あなたは、「朝霞市」が好きですか。次の中から1つ選んでください。

＜全体＞

朝霞市が好きかどうかは、「好き」（42.3%）、「どちらかといえば好き」（45.9%）を合わせた“好き”の割合が 88.2%となっている。一方、「あまり好きではない」（9.7%）、「好きではない」（1.9%）を合わせた“嫌い”の割合が 11.6%となっている。

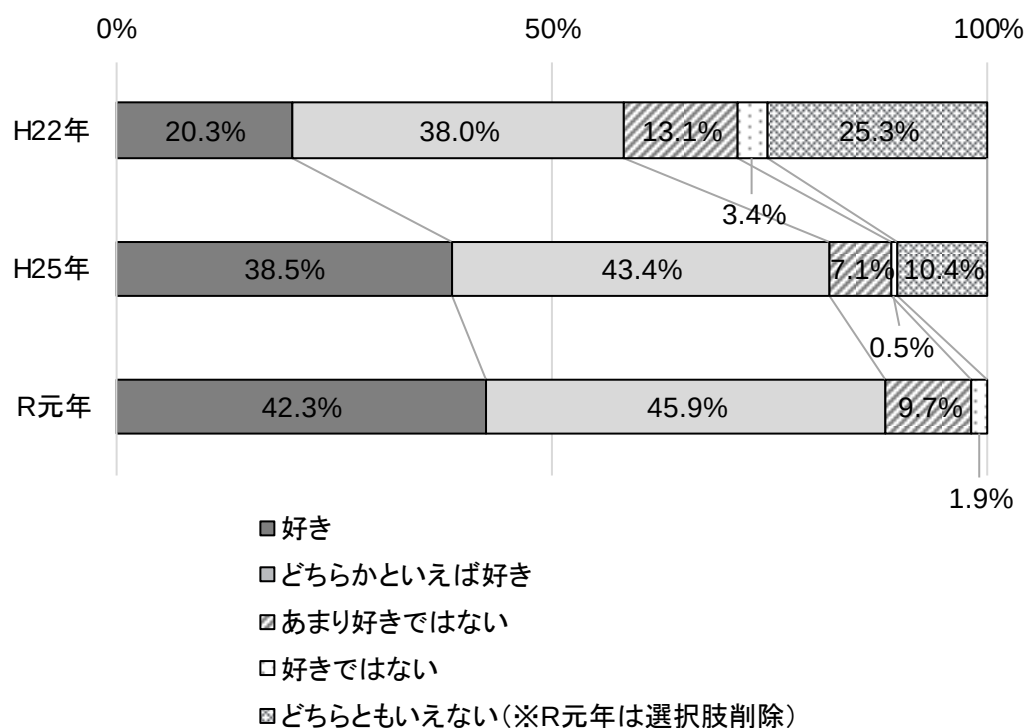


＜経年比較＞

「好き」、「どちらかといえば好き」の割合は平成 22 年以降、増加している。

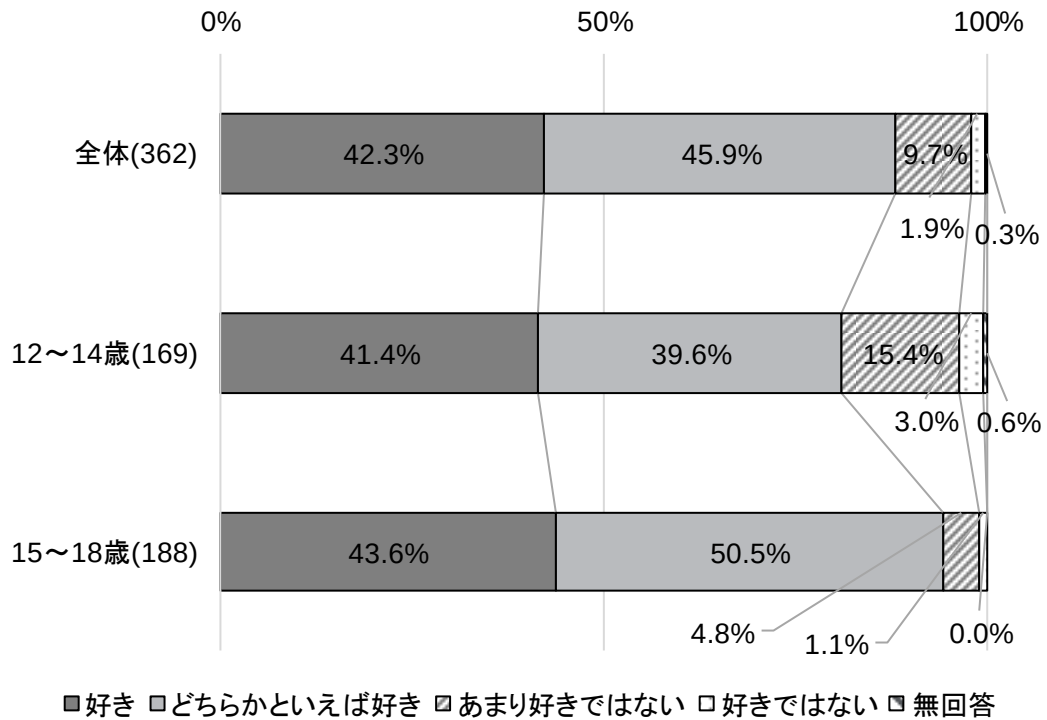
※選択肢「好きではない」は、令和元年に追加したため、経年比較の対象外としている。

（平成 22 年、平成 25 年は、選択肢「嫌い」を「好きではない」に読み替えている。）



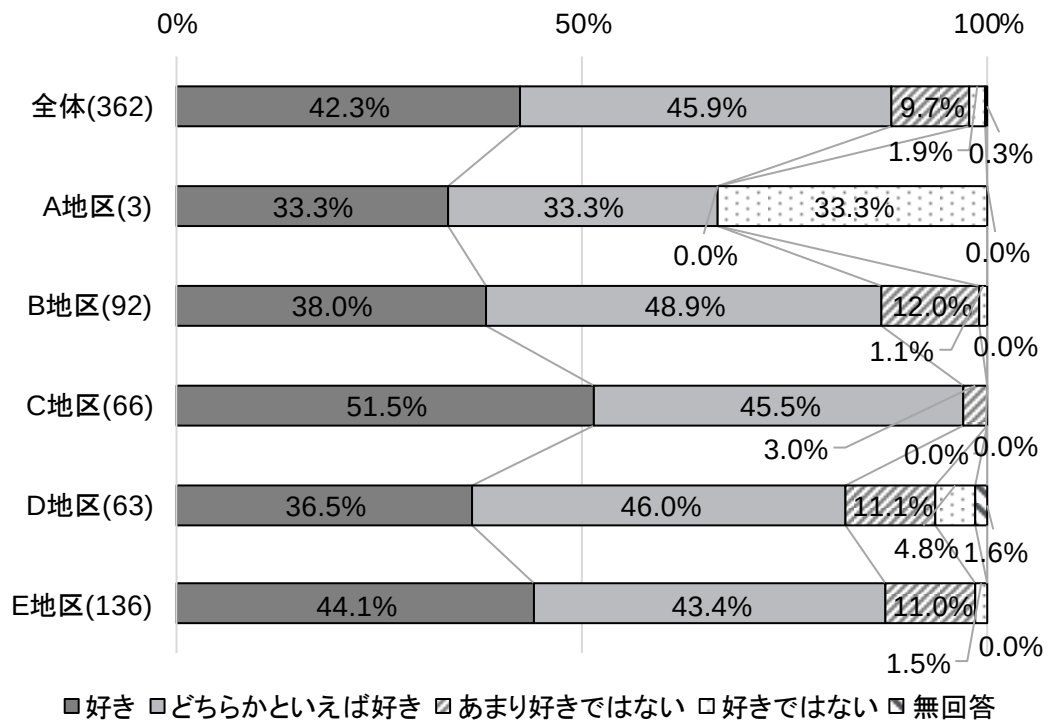
<年代>

“15～18 歳”の方が、「好き」、「どちらかといえば好き」の割合が高く、合わせて 9 割を超えている。一方、“12～14 歳”の方が、「あまり好きではない」の割合が高く、1 割を超えている。



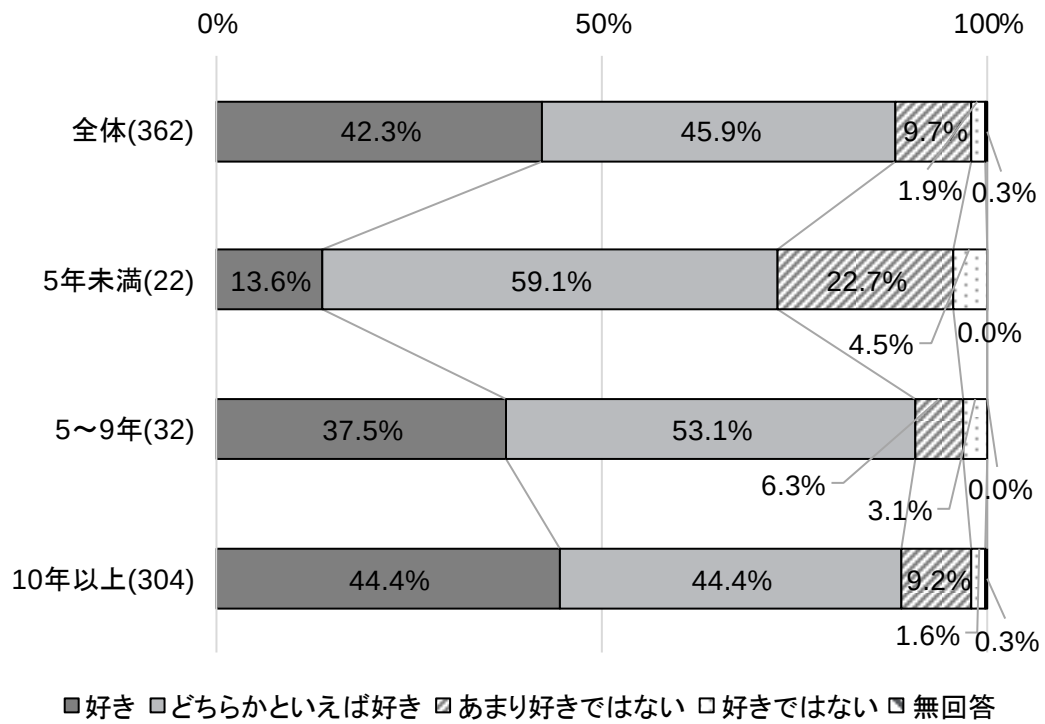
<居住地区>

“C 地区”では「好き」の割合が比較的高く、5 割を超えている。



<居住年数>

年数が長い方が、「好き」の割合が高くなる傾向にある。



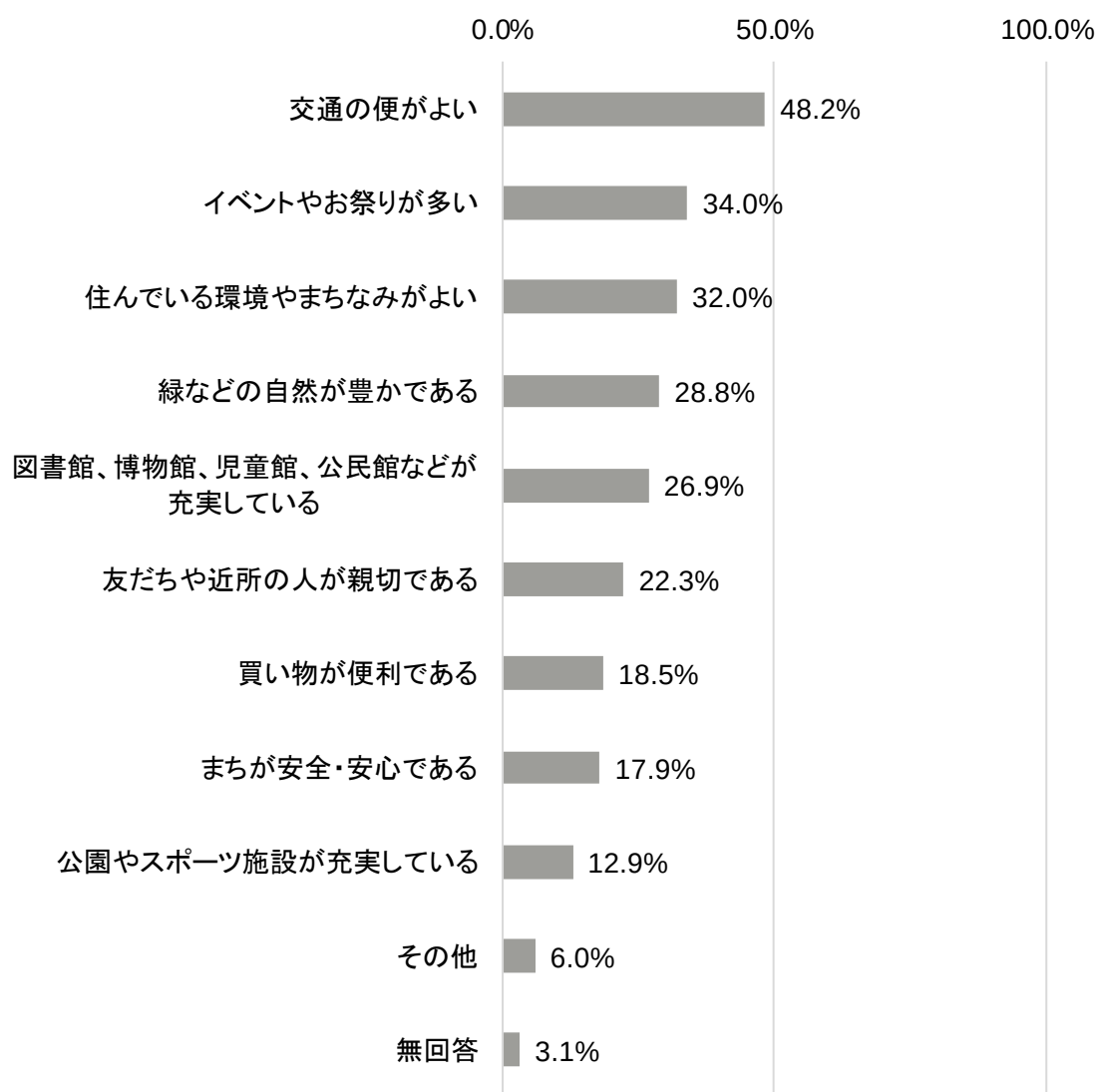
問 3 問 2 で「好き」「どちらかといえば好き」と答えた方にお聞きします。その理由は何ですか。次の中から 3 つまで選んでください。

<全体>

朝霞市が好きな理由は、「交通の便がよい」の割合が 48.2%で最も高く、続いて「イベントやお祭りが多い」（34.0%）、「住んでいる環境やまちなみがよい」（32.0%）となっている。

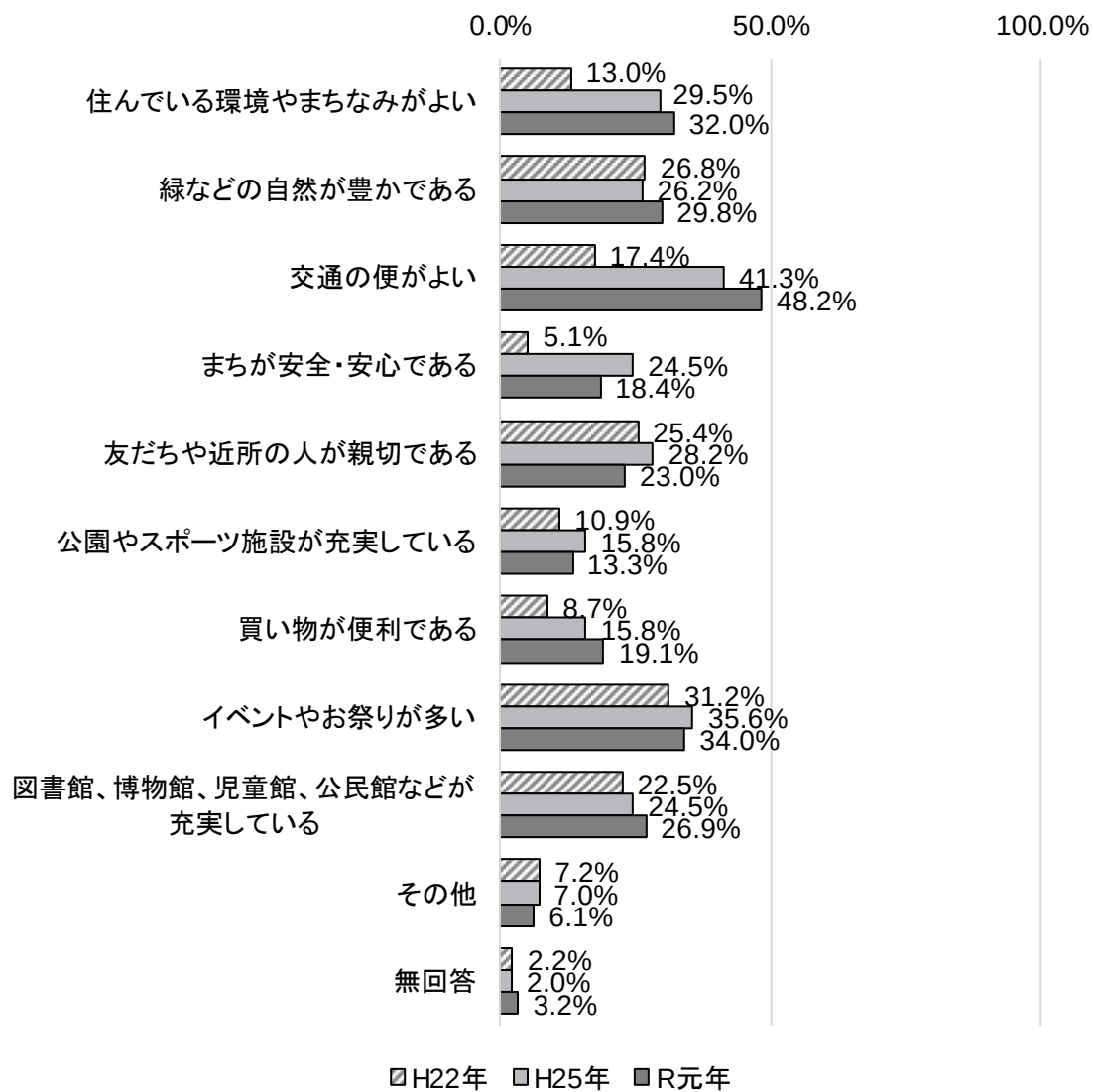
「その他」には、「田舎すぎず、都会すぎず静かで良い」、「駅がきれいで、駅周辺のお店が充実している」などの記述があった。

n=319



<経年比較>

「交通の便がよい」の割合は平成22年以降、増加している。



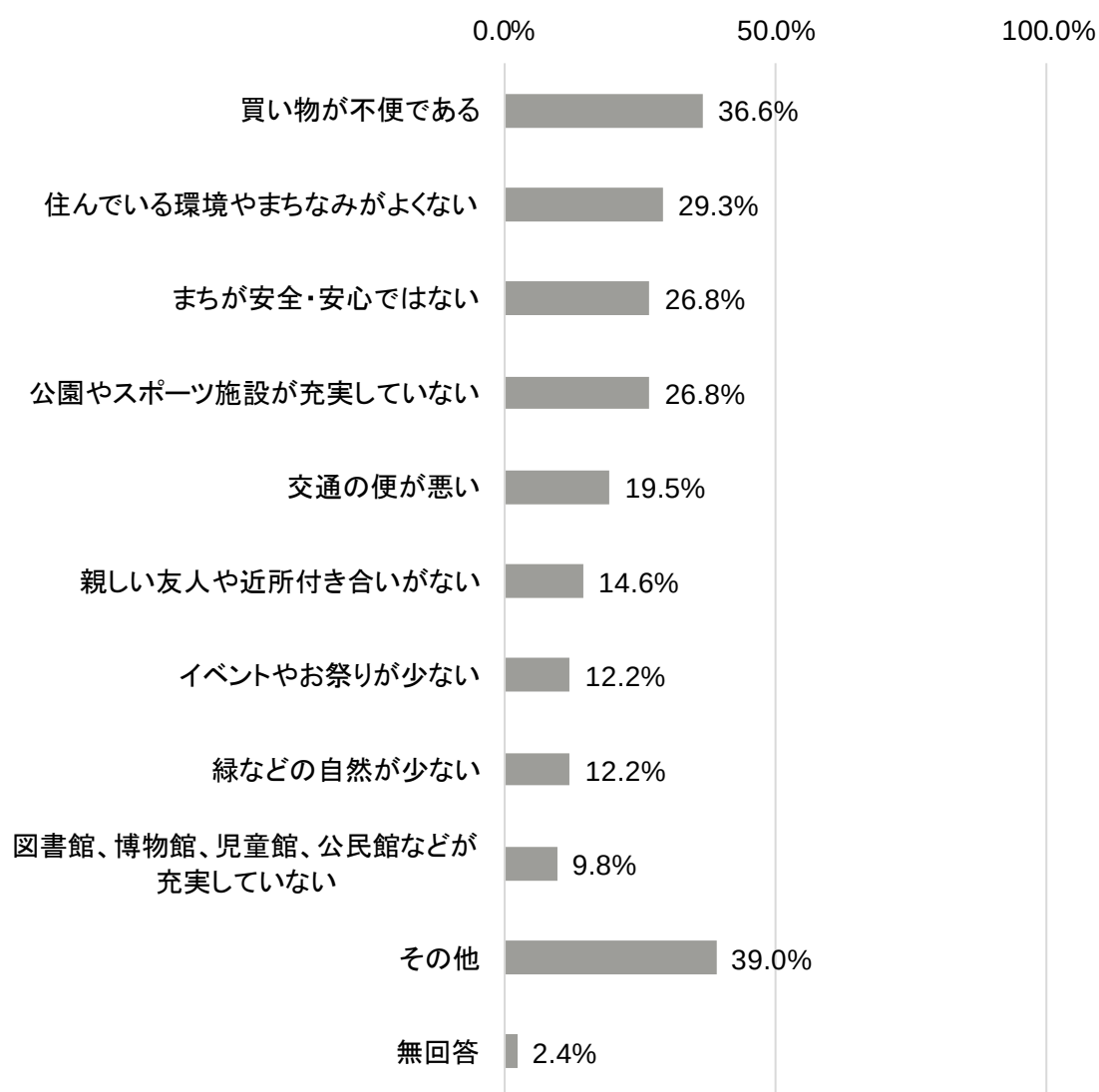
問 4 問 2 で「あまり好きではない」「好きではない」と答えた方にお聞きます。その理由は何ですか。次の中から 3 つまで選んでください。

<全体>

朝霞市が嫌いな理由は、「買い物が不便である」の割合が 36.6%で最も高く、続いて「住んでいる環境やまちなみがよくない」(29.3%)、「まちが安全・安心ではない」、「公園やスポーツ施設が充実していない」(ともに 26.8%) となっている。

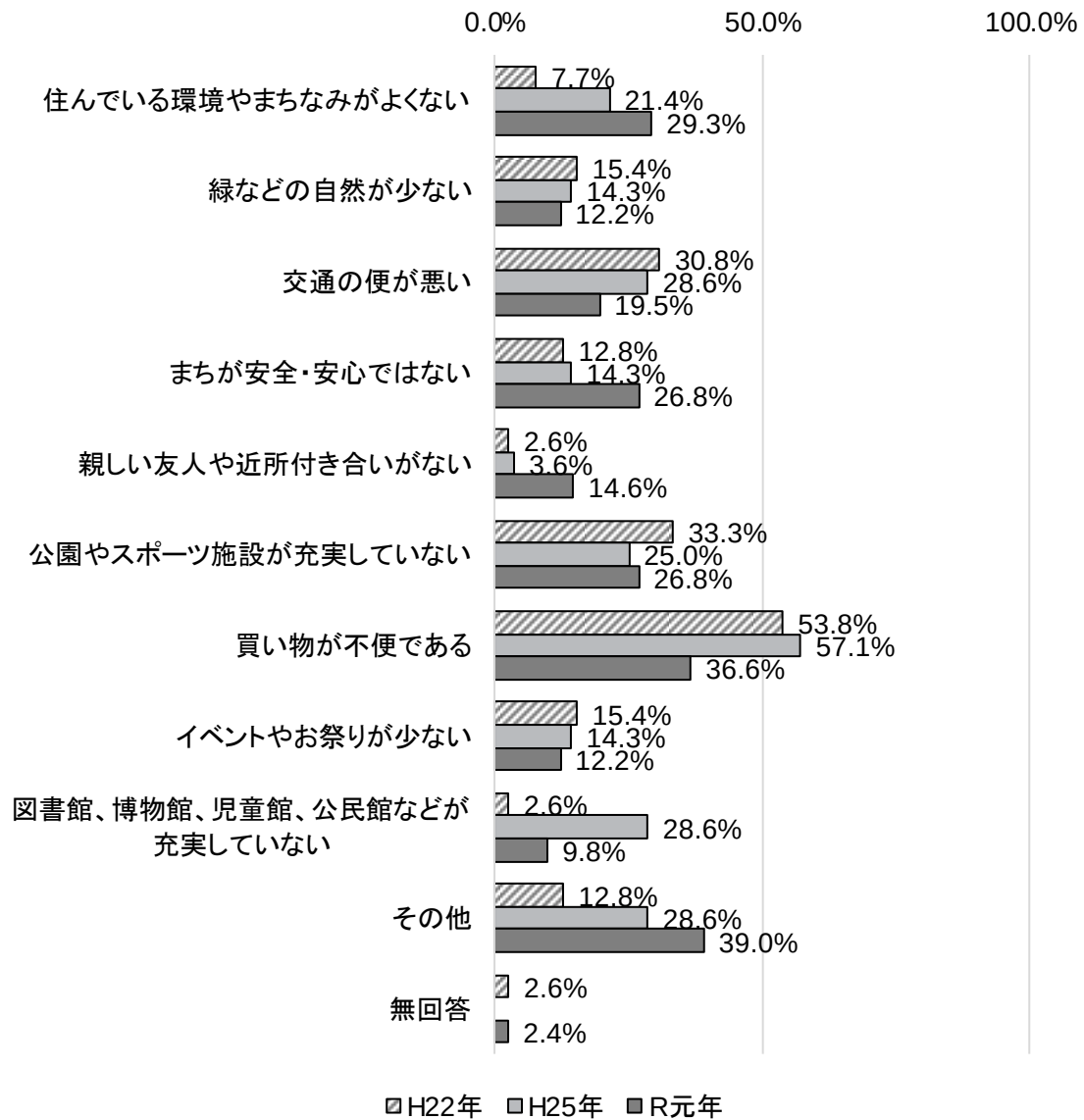
「その他」には、「人が優しくない」などの記述があった。

n=42



＜経年比較＞

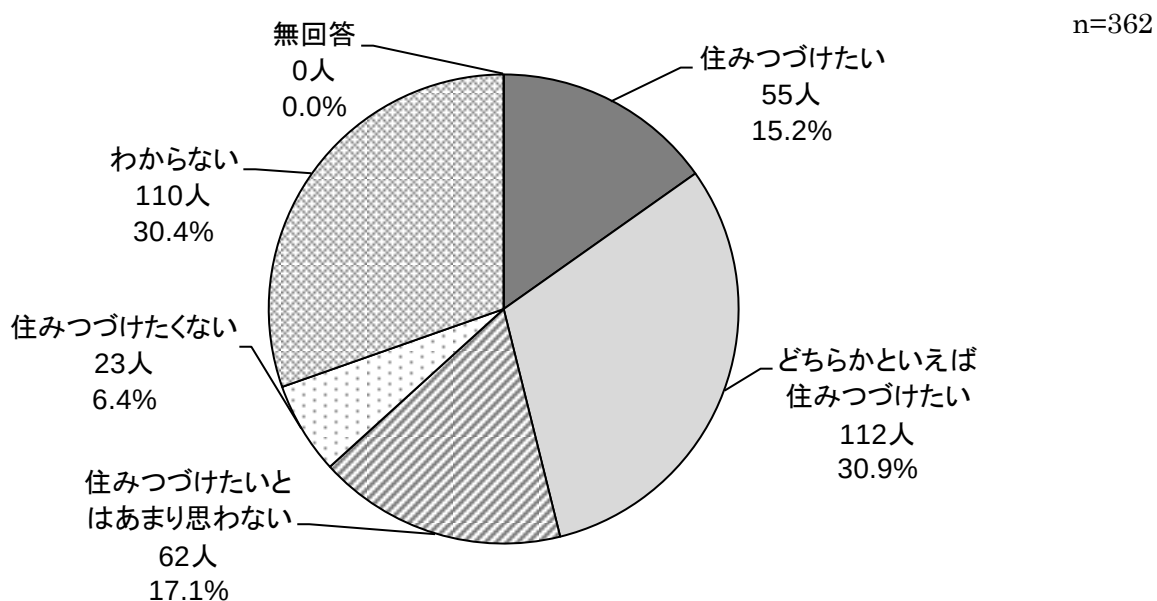
「緑などの自然が少ない」、「交通の便が悪い」の割合は平成 22 年以降、減少している。また、「買い物が不便である」、「図書館、博物館、児童館、公民館などが充実していない」の割合は令和元年、減少に転じている。一方、「住んでいる環境やまちなみがよくない」、「まちが安全・安心ではない」、「親しい友人や近所付き合いがない」の割合は平成 22 年以降、増加している。



問5 大人になっても、朝霞市に住みつづけたいですか。次の中から1つ選んでください。

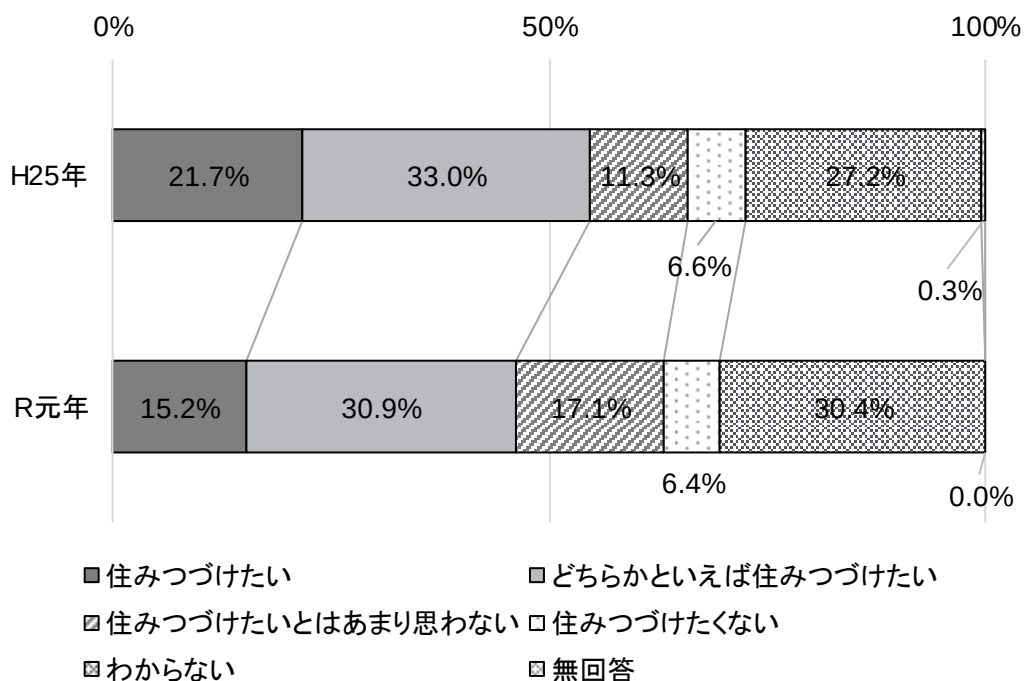
<全体>

大人になっても朝霞市に住みたいかどうかは、「住みつづけたい」(15.2%)、「どちらかといえば住みつづけたい」(30.9%)を合わせた“住みたい”の割合が46.1%となっている。一方、「住みつづけたいとはあまり思わない」(17.1%)、「住みつづけたくない」(6.4%)を合わせた“住みたくない”の割合が23.5%となっている。



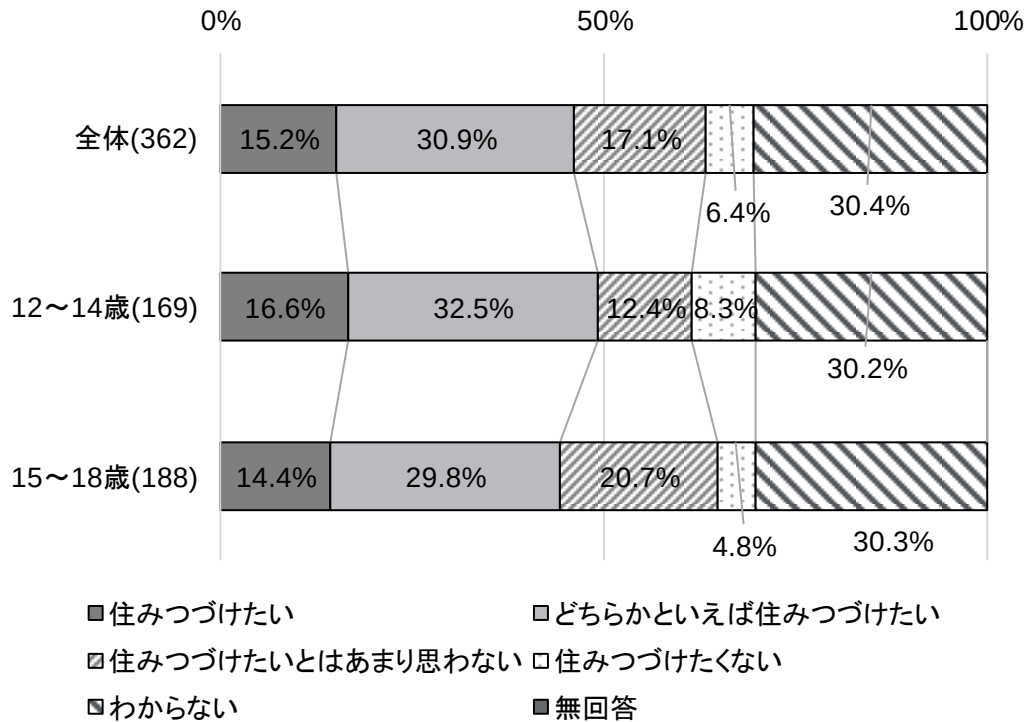
<経年比較>

「住みつづけたい」、「どちらかといえば住みつづけたい」の割合は減少し、5割を切っている。一方、「住みつづけたいとはあまり思わない」の割合は、増加している。



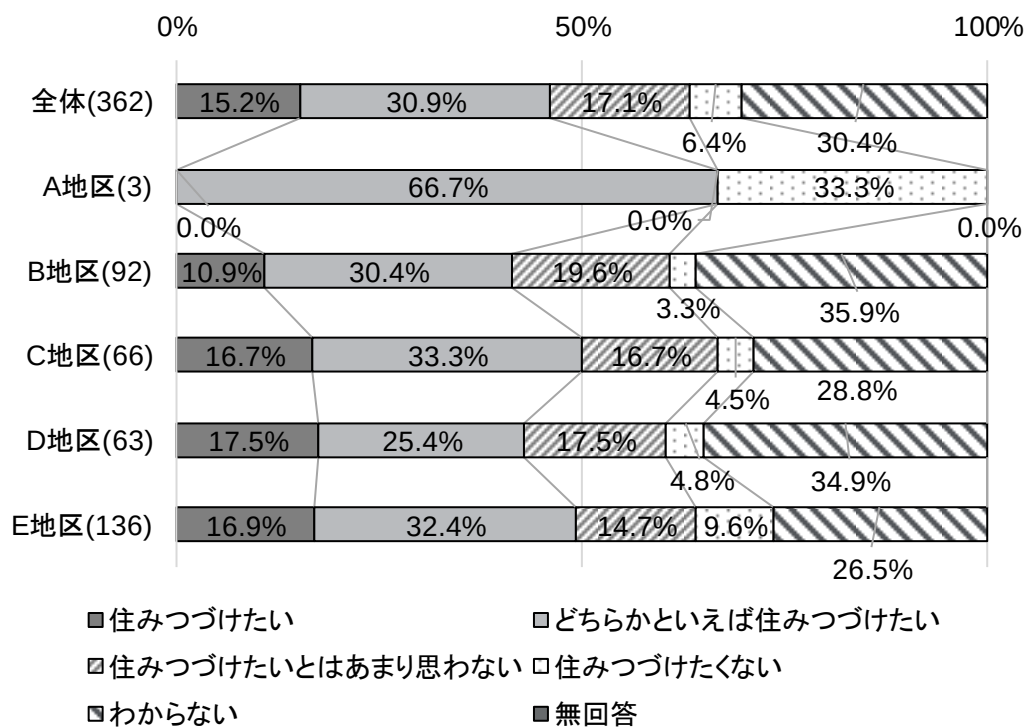
<年代>

“12～14 歳”の方が、「住みつづけたい」、「どちらかといえば住みつづけたい」の割合が高い。一方、“15～18 歳”の方が、「住みつづけたいとはあまり思わない」の割合が比較的高く、2 割を超えている。



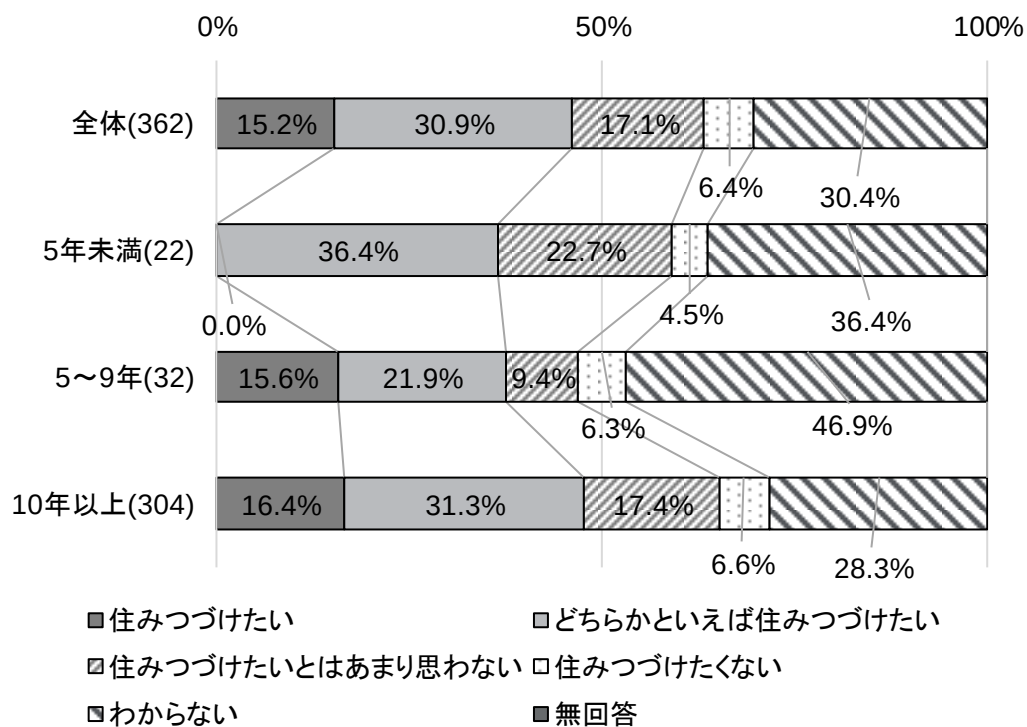
<居住地区>

“A 地区”では「住みつづけたい」と「どちらかといえば住みつづけたい」を合わせた“住みつづけたい”の割合が比較的高く、6 割を超えている。



<居住年数>

年数が長い方が、「住みつづけたい」の割合が高くなる傾向にある。また、“5年未満”では「住みつづけたいとはあまり思わない」の割合が比較的高く、2割を超えている。



2. これからのまちづくりについて

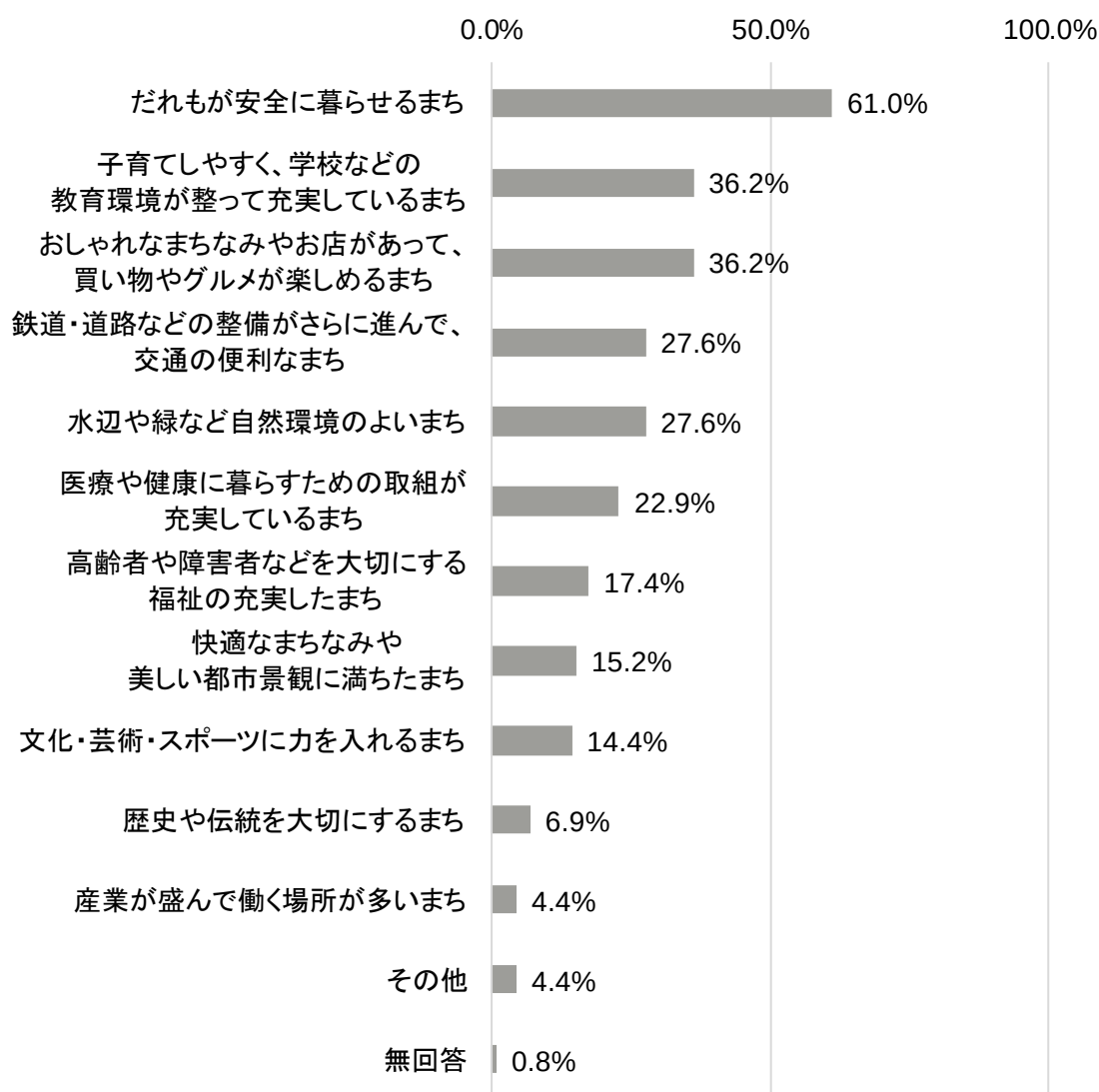
問 6 あなたは、将来の朝霞市をどのようなまちにしていきたいと思いますか。あなたのイメージに近いものを、次の中から3つまで選んでください。

<全体>

まちづくりの方向性は、「だれもが安全に暮らせるまち」の割合が61.0%で最も高く、続いて「子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」(36.2%)、「おしゃれなまちなみやお店があって、買い物やグルメが楽しめるまち」(36.2%)となっている。

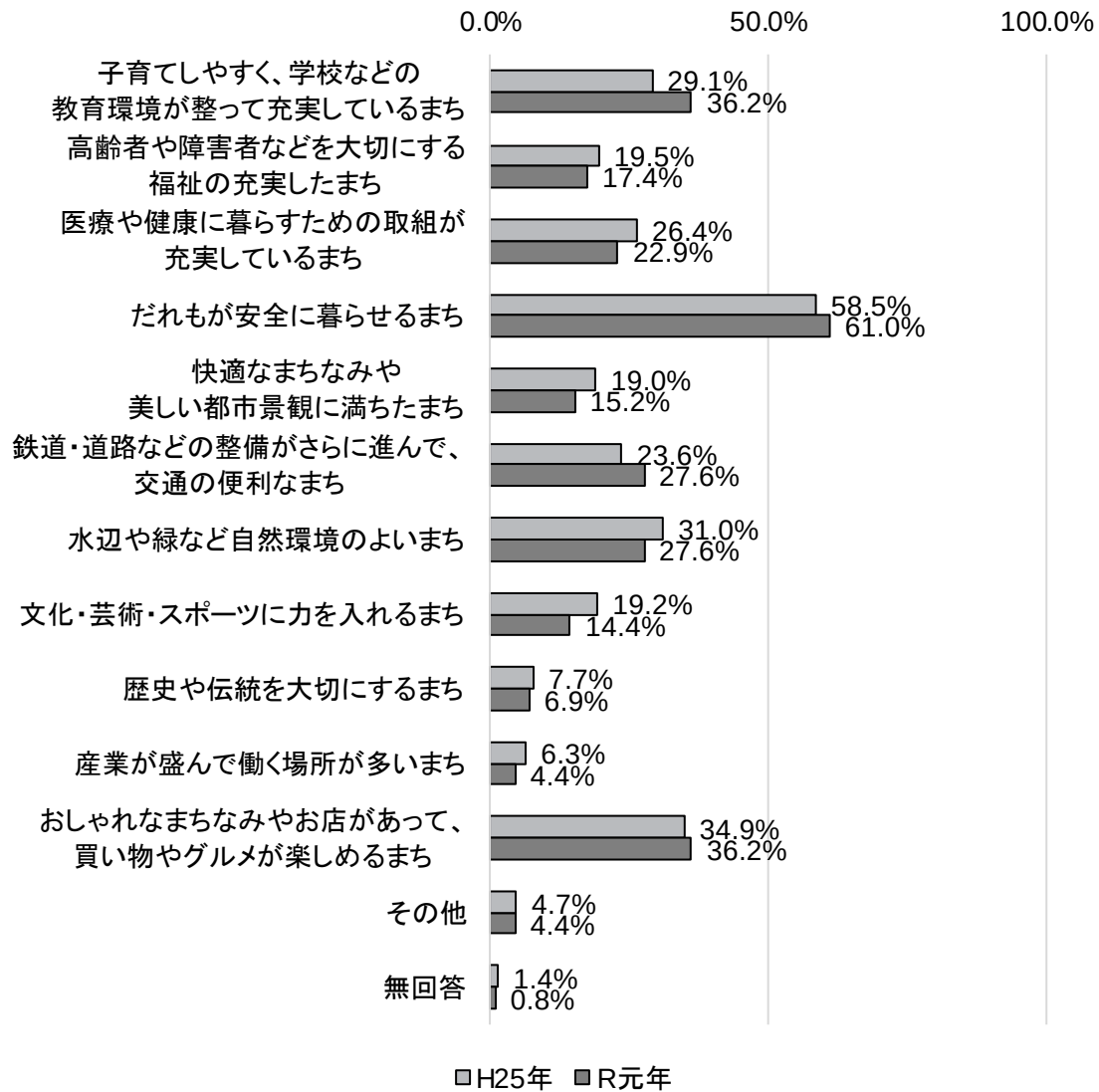
「その他」には、「駅前のシャッター商店街を、きれいに、明るく、栄えさせてほしいです」、「レジャー施設が充実したまち」などの記述があった。

n=362



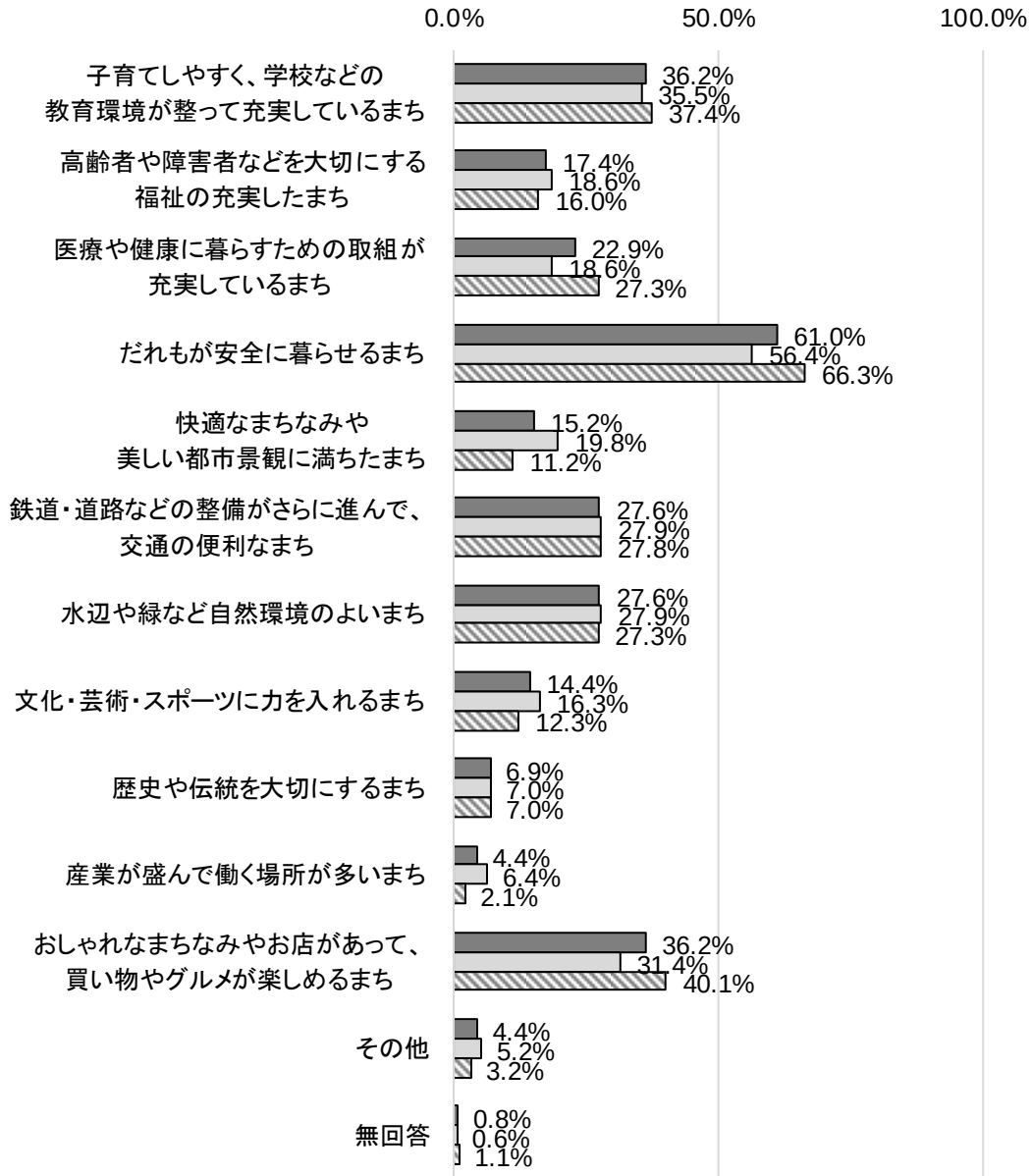
＜経年比較＞

「子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」、「鉄道・道路などの整備がさらに進んで、交通の便利なまち」の割合は、増加している。一方、「高齢者や障害者などを大切にする福祉の充実したまち」、「医療や健康に暮らすための取組が充実しているまち」、「快適なまちなみや美しい都市景観に満ちたまち」、「水辺や緑など自然環境のよいまち」、「文化・芸術・スポーツに力を入れるまち」、「歴史や伝統を大切にするまち」、「産業が盛んで働く場所が多いまち」の割合は、減少している。



<性別>

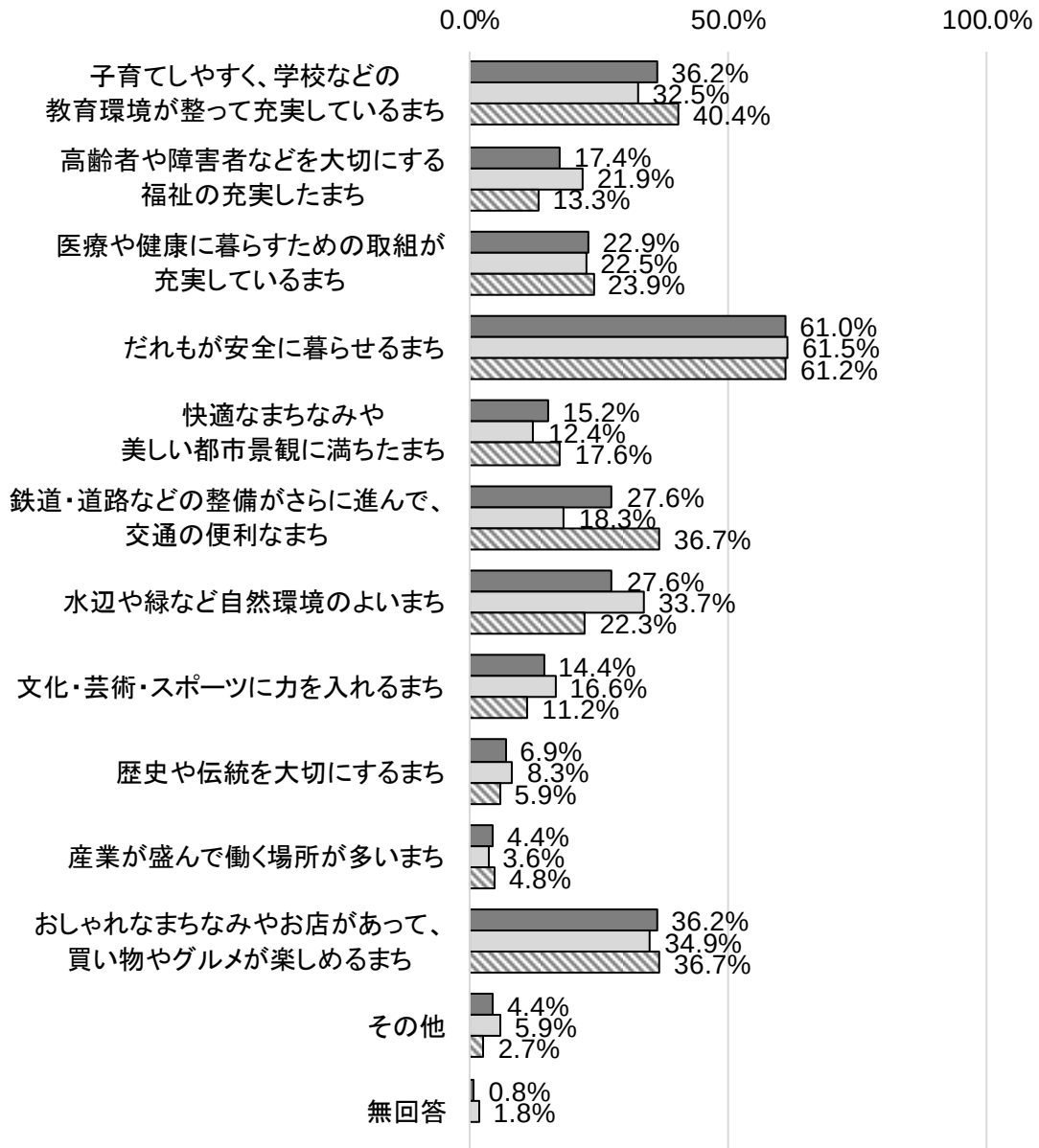
“男性”の方が、「産業が盛んで働く場所が多いまち」の割合が高い。一方、“女性”の方が、「医療や健康に暮らすための取組が充実しているまち」の割合が高く、3割近くに上っている。



■ 全体(362) □ 男性(172) ▨ 女性(187)

<年代>

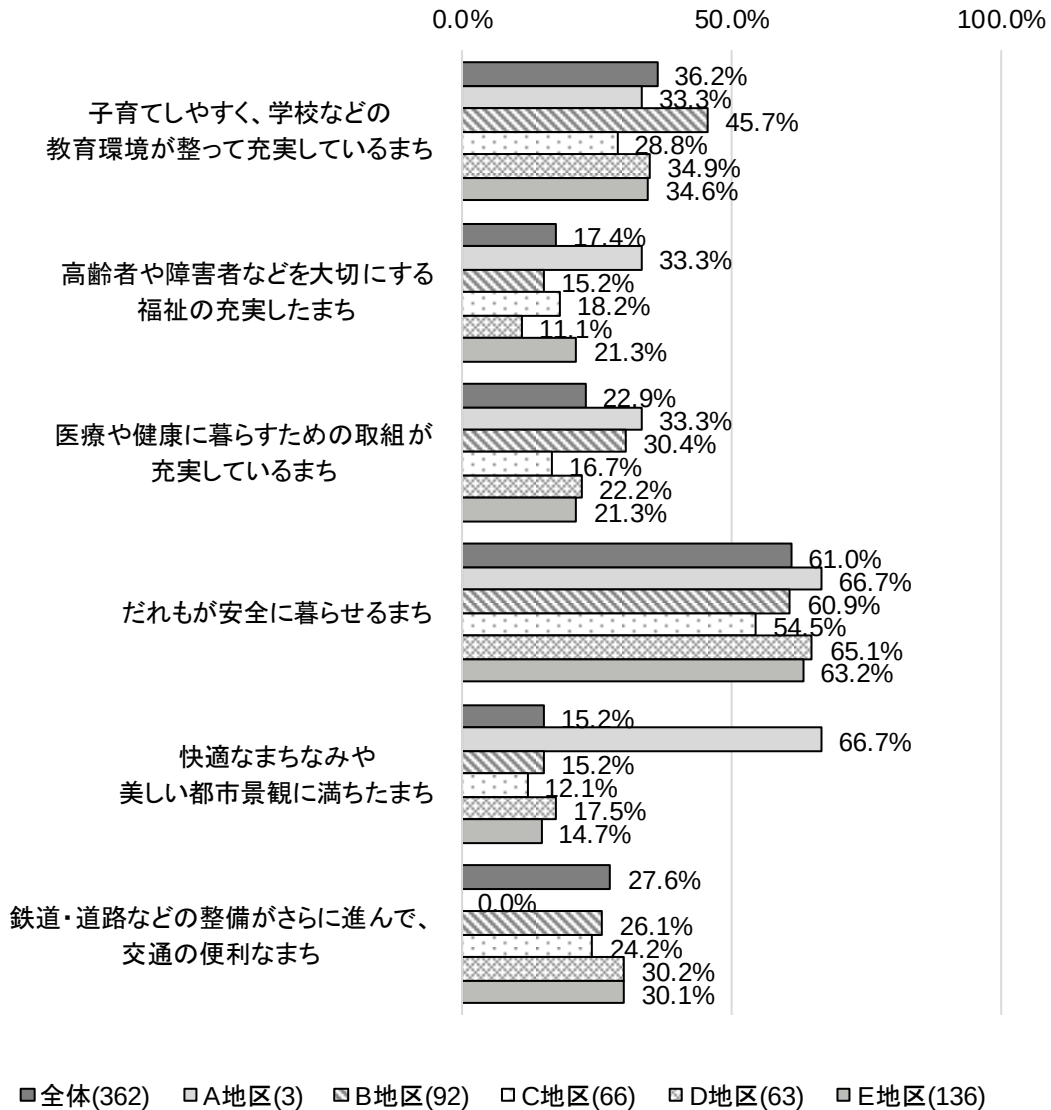
“12～14 歳”の方が、「水辺や緑など自然環境のよいまち」の割合が高く、3 割を超えている。
一方、“15～18 歳”の方が、「鉄道・道路などの整備がさらに進んで、交通の便利なまち」の割合が
高く、3 割を超えている。

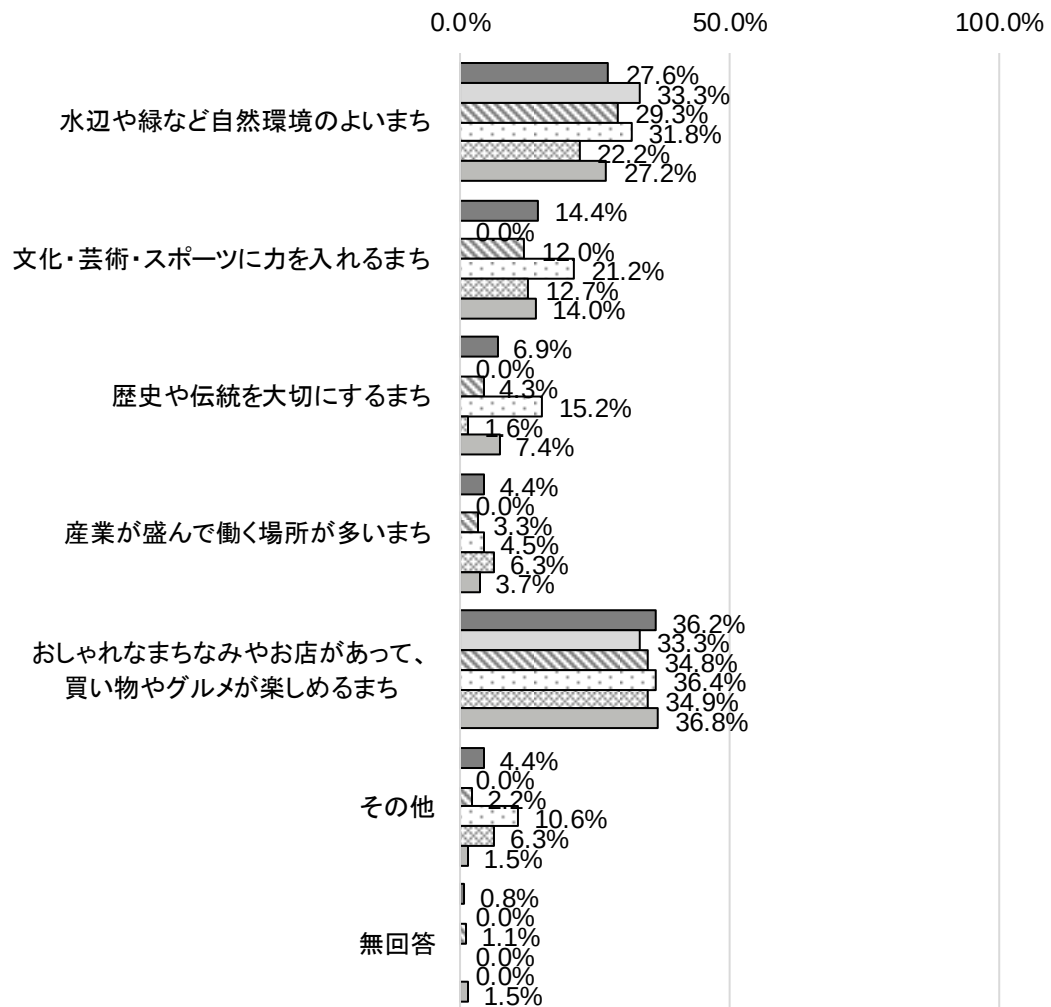


■ 全体(362) □ 12～14歳(169) ▨ 15～18歳(188)

＜居住地区＞

“B 地区”では「子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」の割合が比較的高く、4 割を超えている。一方、“C 地区”では「歴史や伝統を大切にするまち」の割合が比較的高く、1 割を超えている。





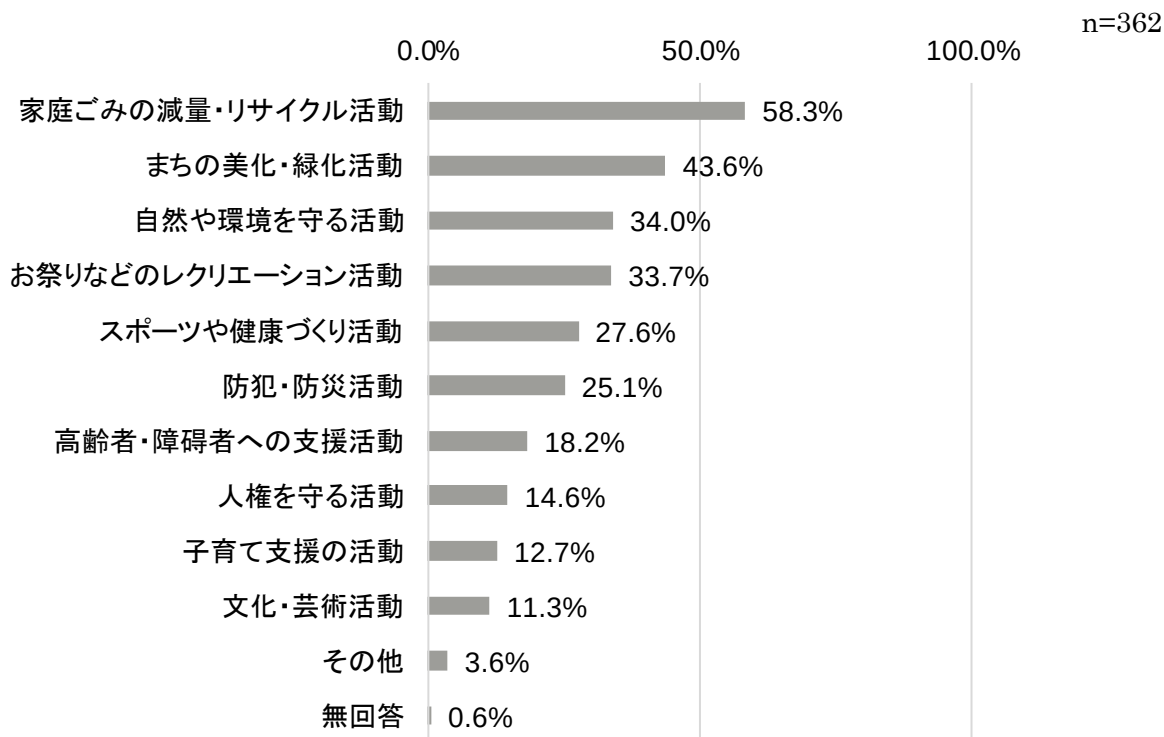
■ 全体(362)
 □ A地区(3)
 ■ B地区(92)
 □ C地区(66)
 ■ D地区(63)
 ■ E地区(136)

問 7 あなたは、朝霞市のまちづくりに、どのように役立てると思いますか。あなたが現在または将来できると思う活動を、次の中からすべて選んでください。

<全体>

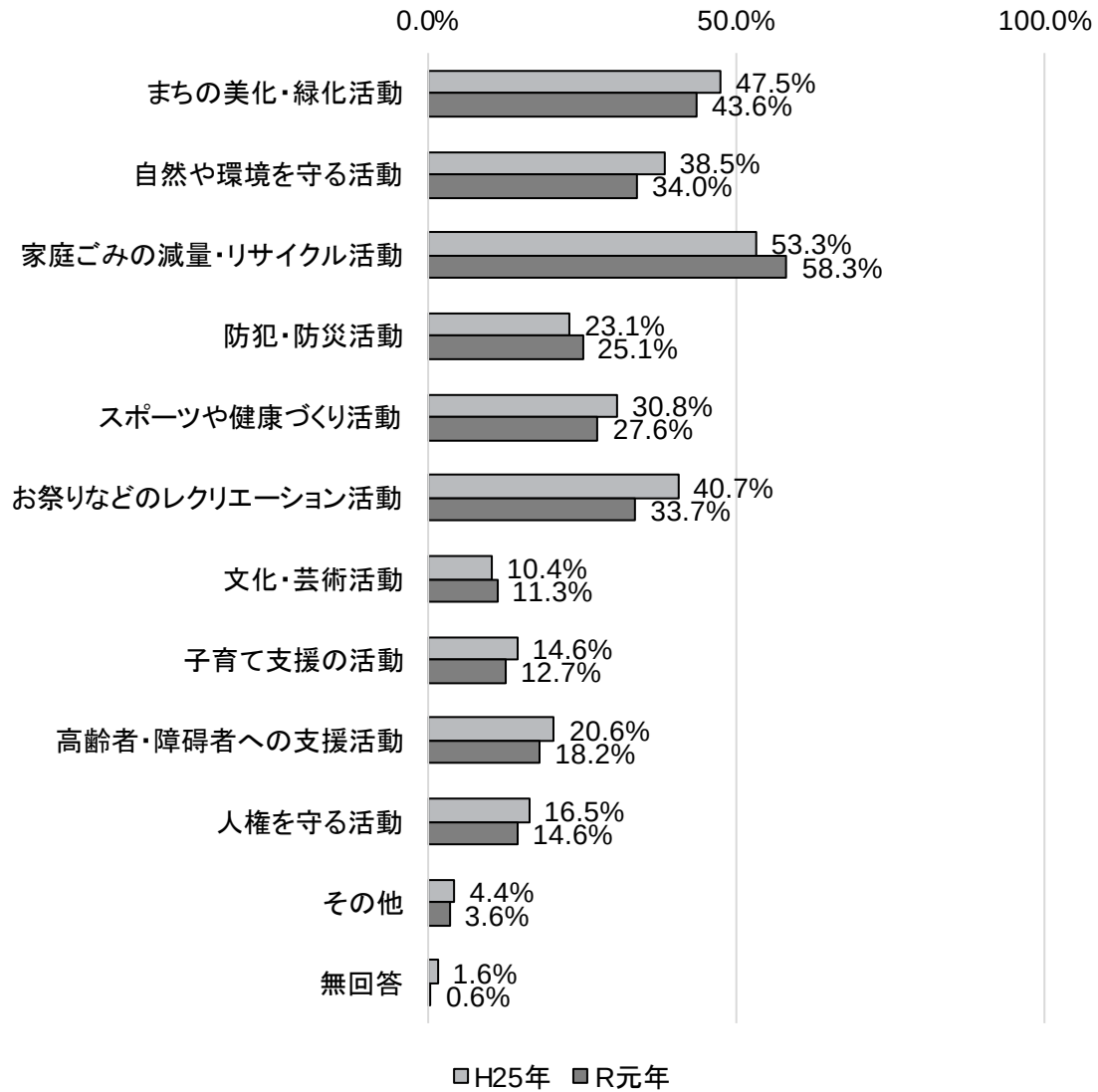
将来できると思う活動は、「家庭ごみの減量・リサイクル活動」の割合が 58.3%で最も高く、続いて「まちの美化・緑化活動」（43.6%）、「自然や環境を守る活動」（34.0%）となっている。

「その他」には、「何に役立てるかわからない」などの記述があった。



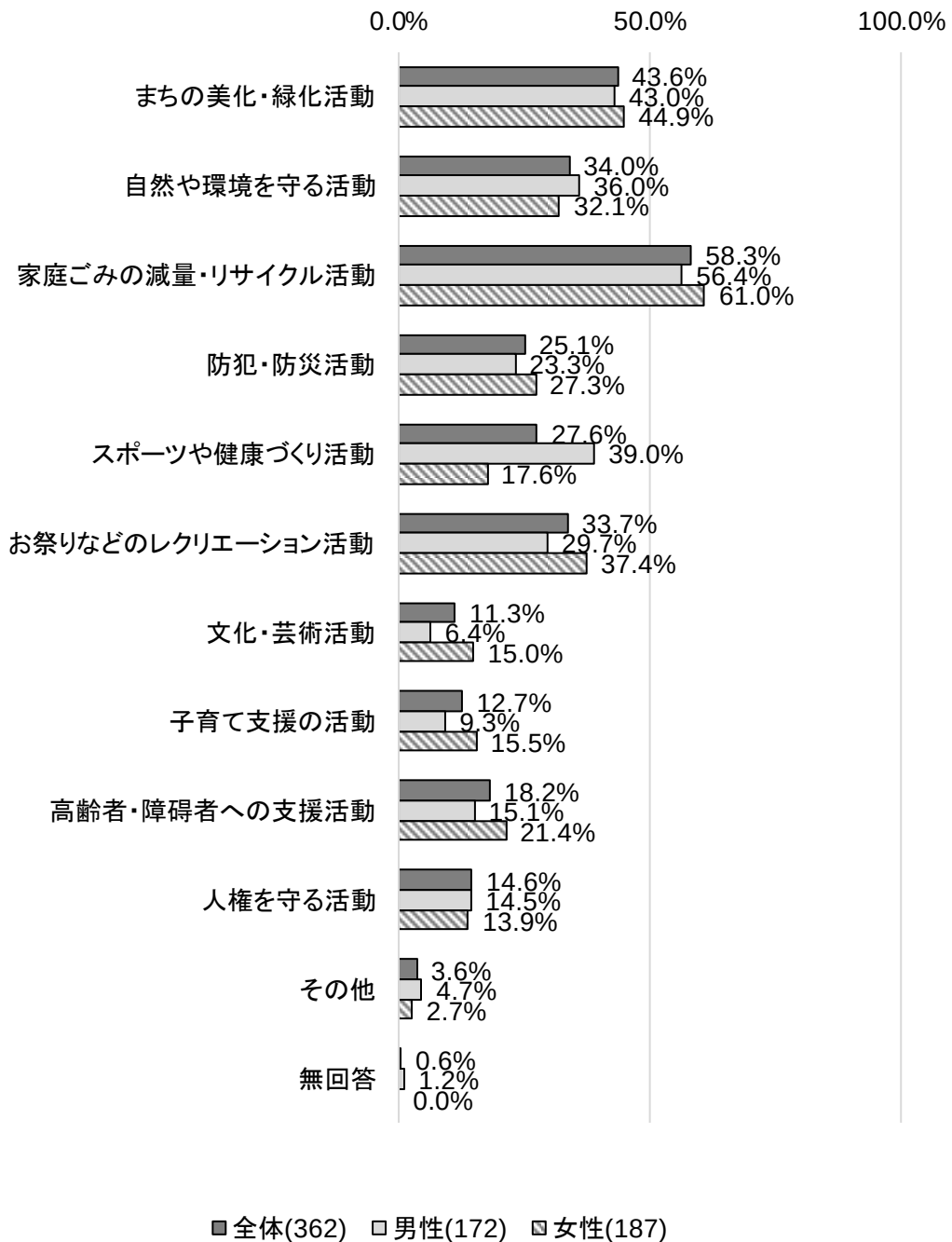
＜経年比較＞

「自然や環境を守る活動」、「スポーツや健康づくり活動」、「お祭りなどのレクリエーション活動」、「子育て支援の活動」、「高齢者・障害者への支援活動」、「人権を守る活動」の割合は、減少している。



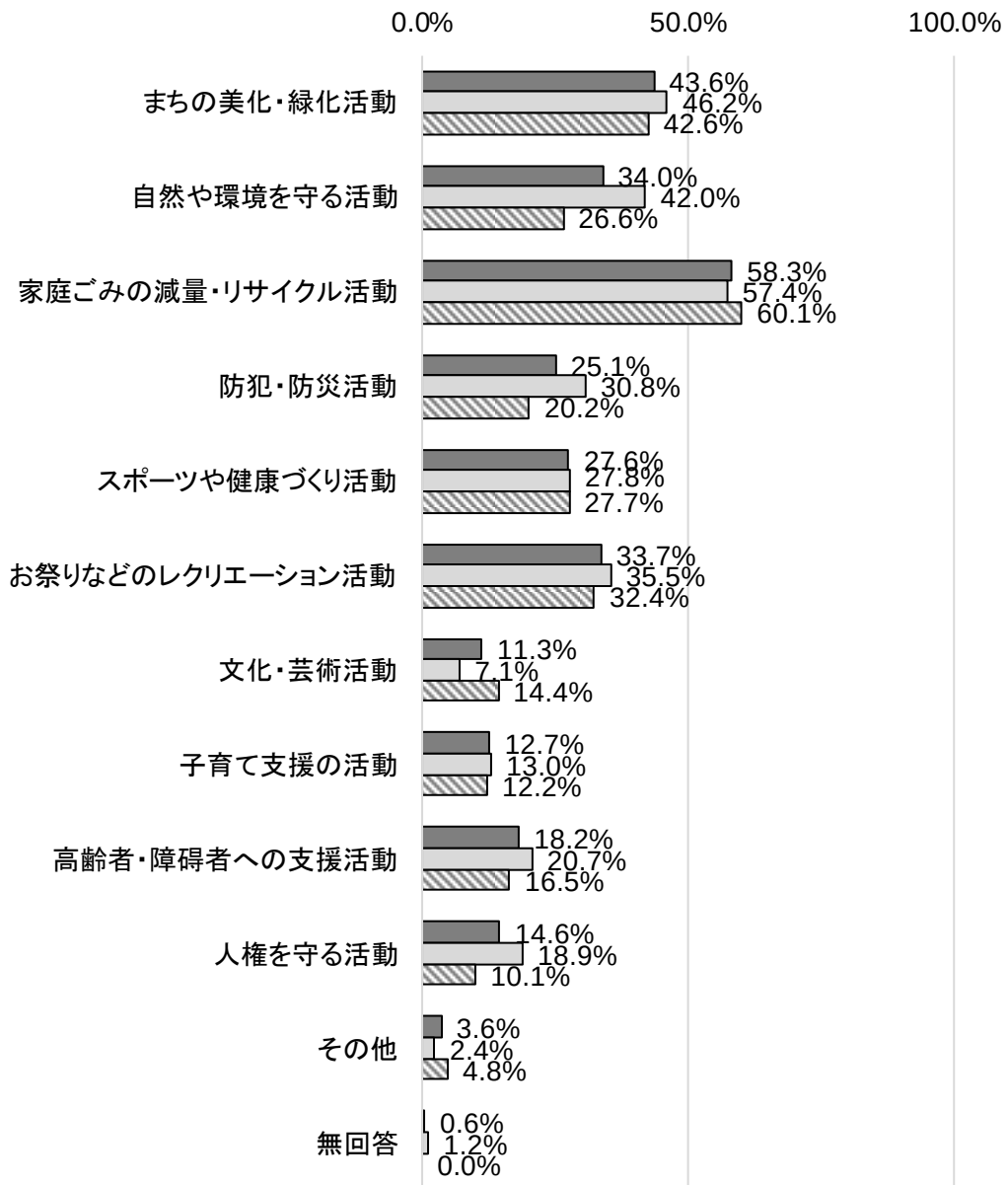
<性別>

“男性”の方が、「スポーツや健康づくり活動」の割合が高く、4割近くに上っている。一方、“女性”の方が、「子育て支援の活動」の割合が高く、1割を超えている。



<年代>

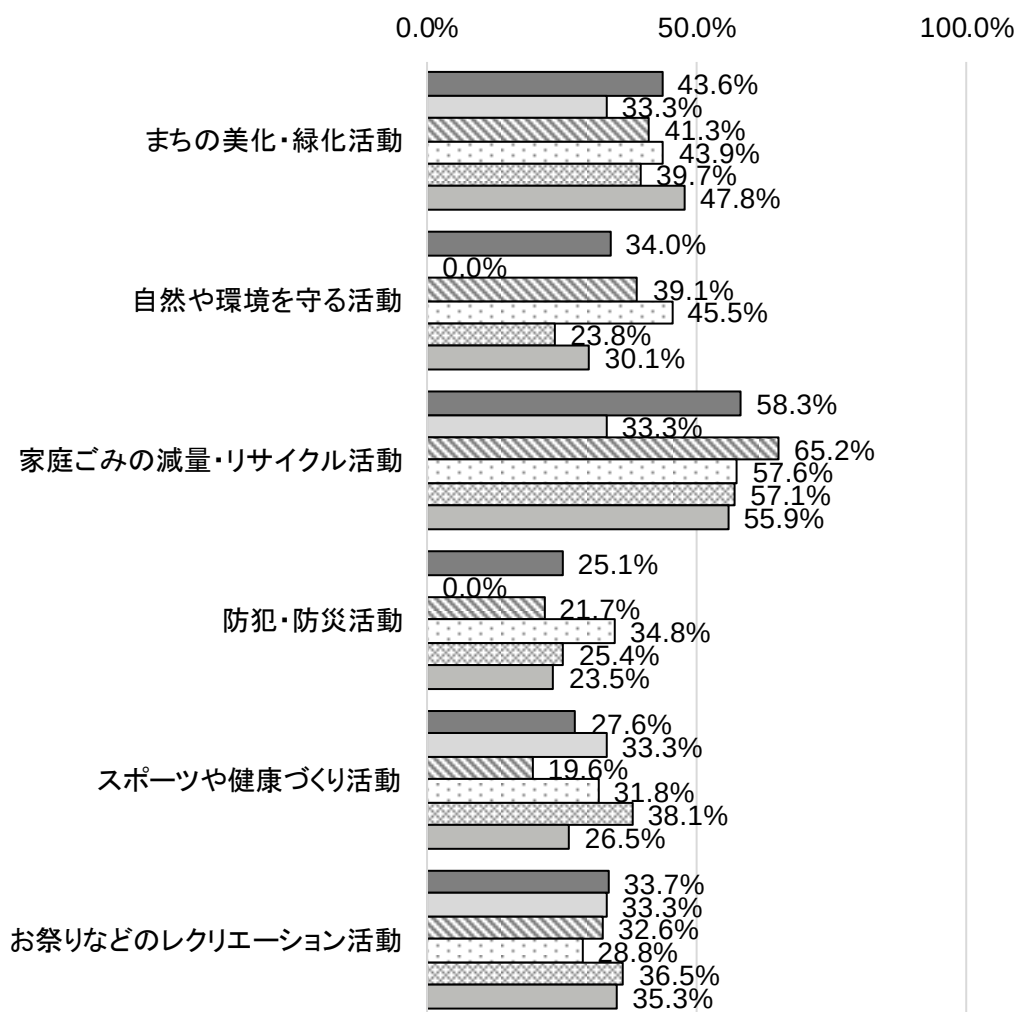
“12～14 歳”の方が、「人権を守る活動」の割合が高く、2 割近くに上っている。一方、“15～18 歳”の方が、「文化・芸術活動」の割合が高く、1 割を超えている。



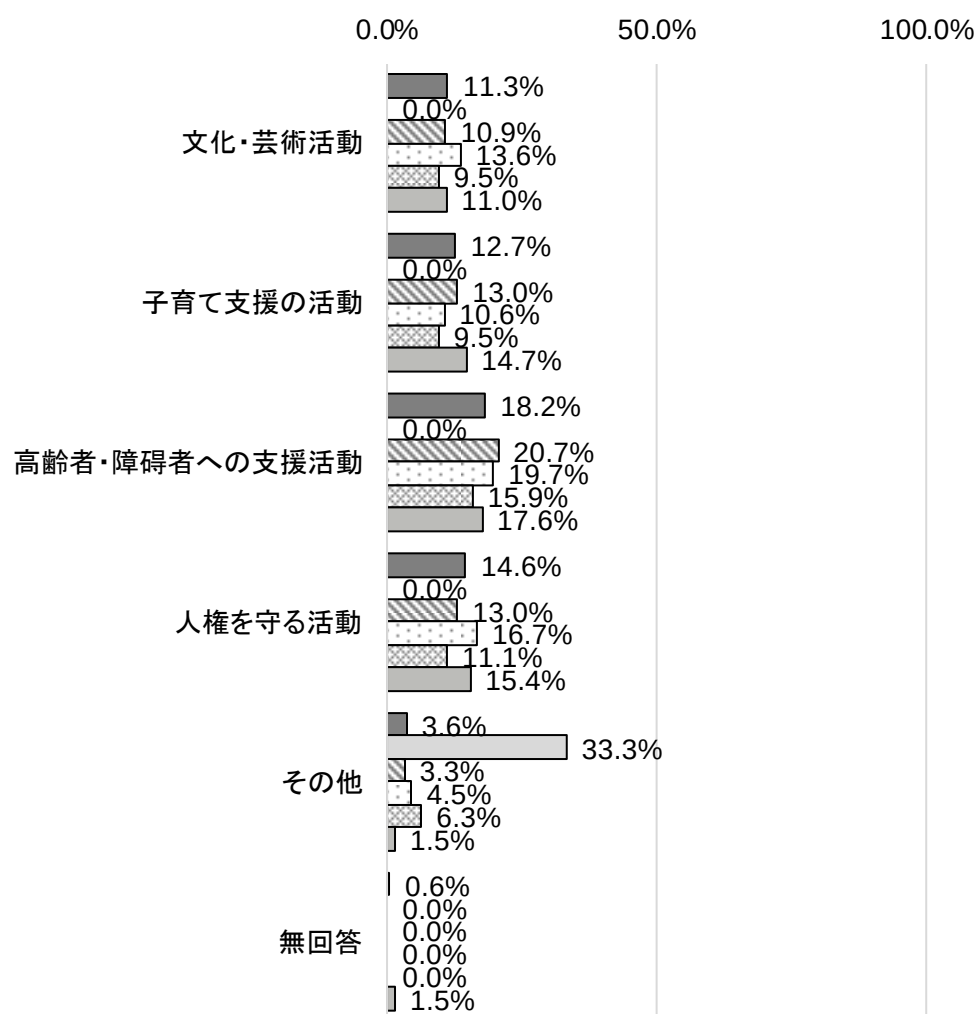
■ 全体(362) □ 12～14歳(169) ▨ 15～18歳(188)

<居住地区>

“C 地区”では「自然や環境を守る活動」の割合が比較的高く、4 割を超えている。



■全体(362) □A地区(3) ▨B地区(92) □C地区(66) ▨D地区(63) ■E地区(136)



■全体(362) □A地区(3) ▨B地区(92) □C地区(66) ▨D地区(63) ■E地区(136)

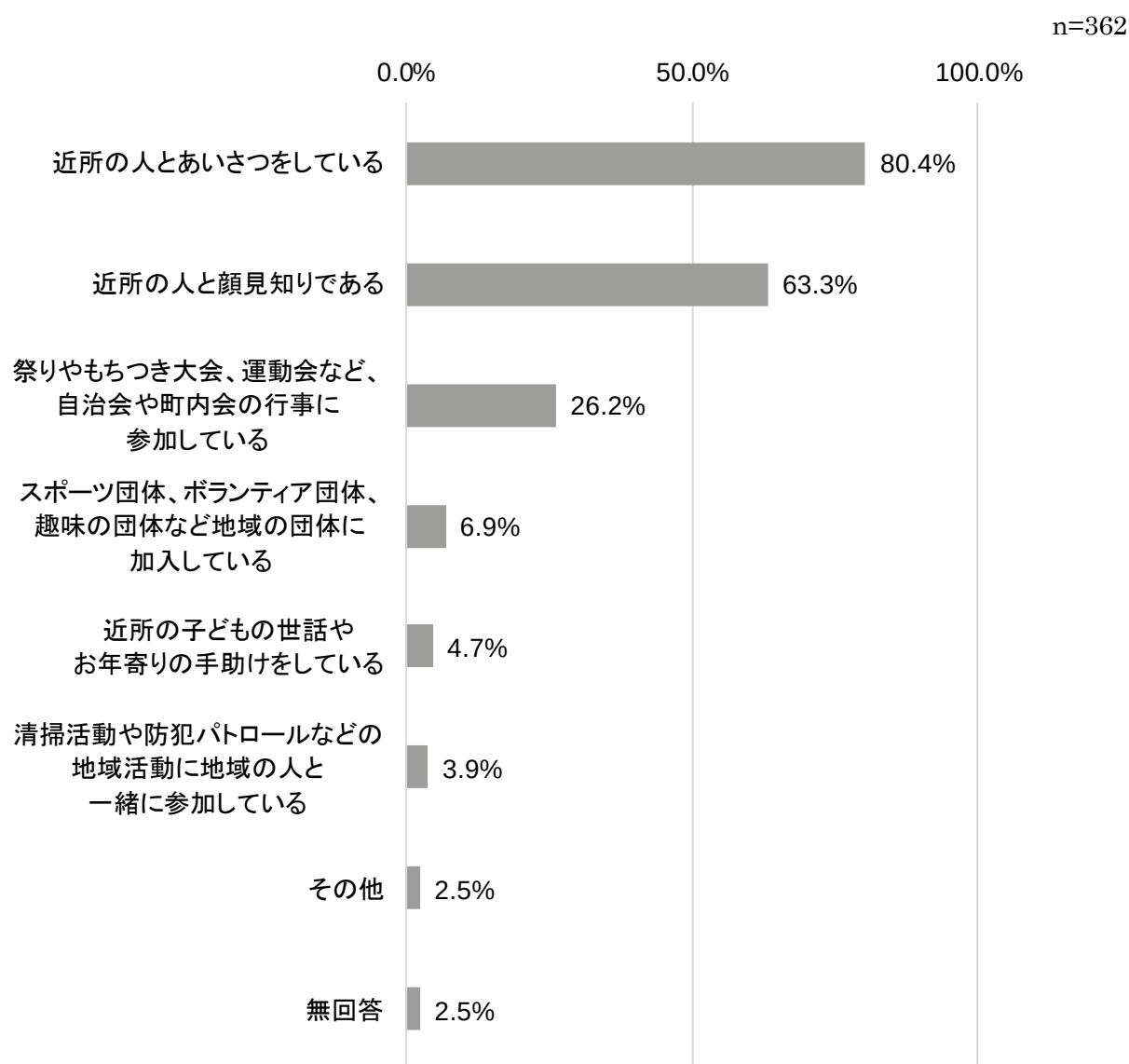
3. 地域との関わりについて

問 8 あなたは、日頃、地域とどのような関わりを持っていますか。次の中からあなたに当てはまるものをすべて選んでください。

<全体>

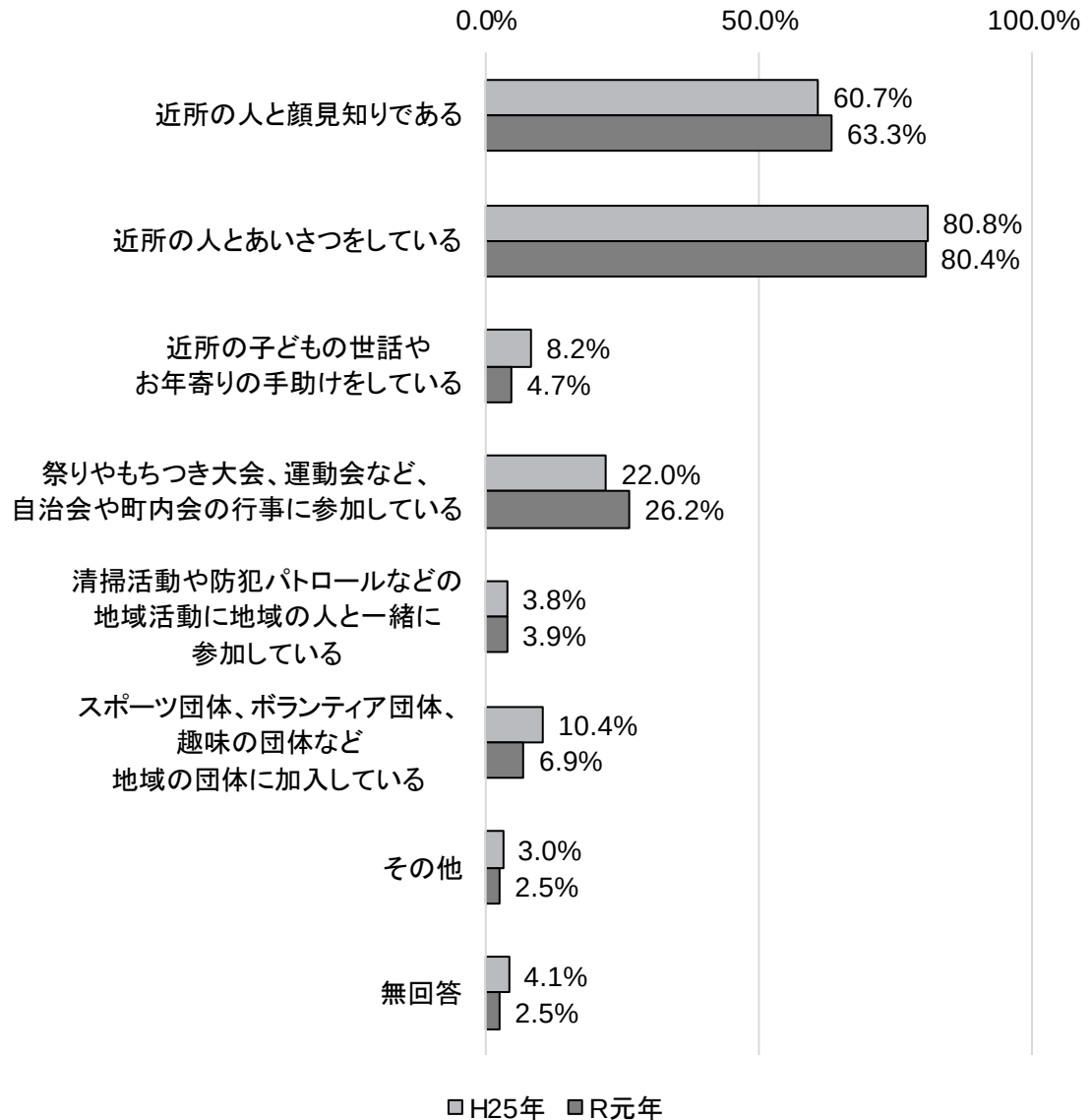
日頃の地域との関わりは、「近所の人とあいさつをしている」の割合が 80.4%で最も高く、続いて「近所の人と顔見知りである」（63.3%）となっている。

「その他」には、「関わりを持っていない」などの記述があった。



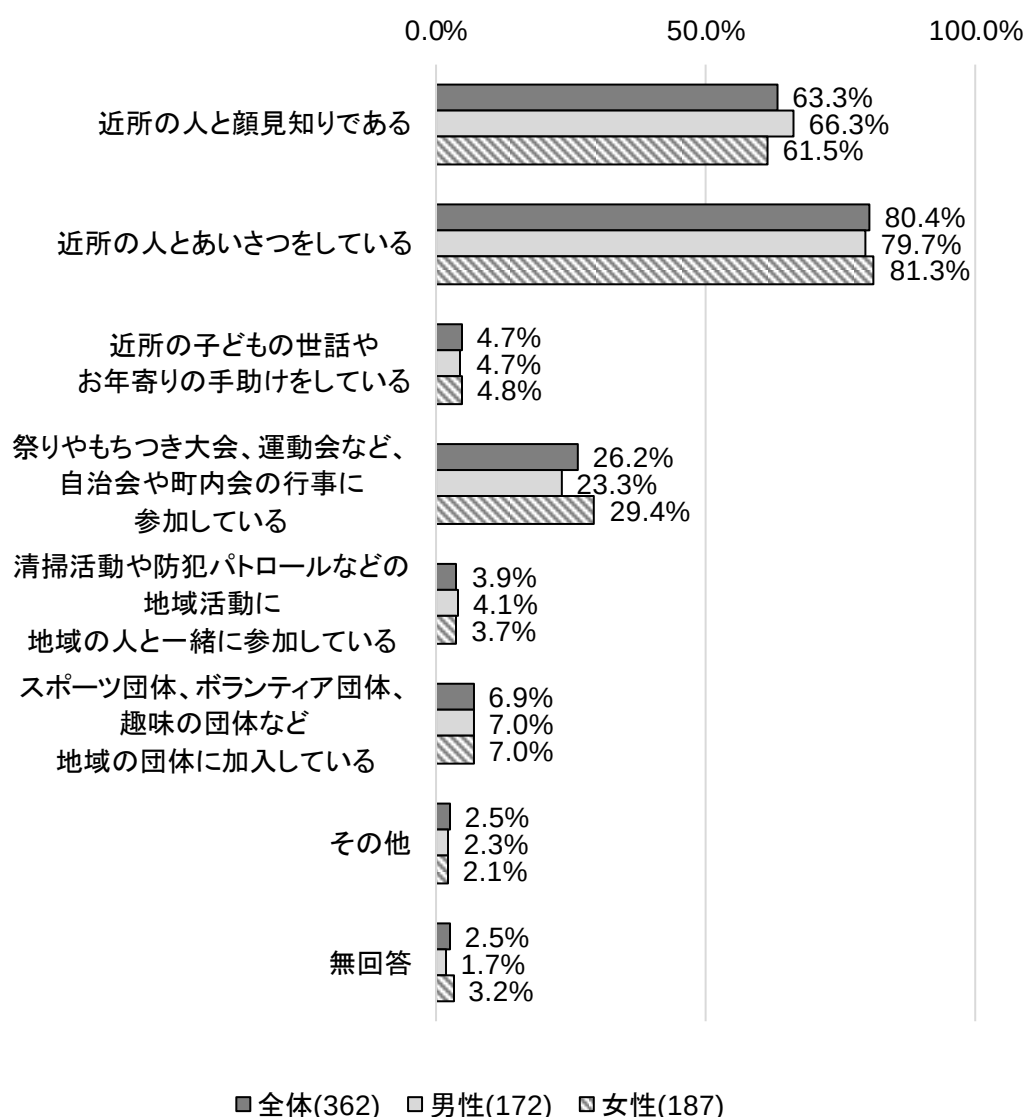
＜経年比較＞

「祭りやもちつき大会、運動会など、自治会や町内会の行事に参加している」の割合は、増加している。一方、「近所の子どもの世話やお年寄りの手助けをしている」、「スポーツ団体、ボランティア団体、趣味の団体など地域の団体に加入している」の割合は、減少している。



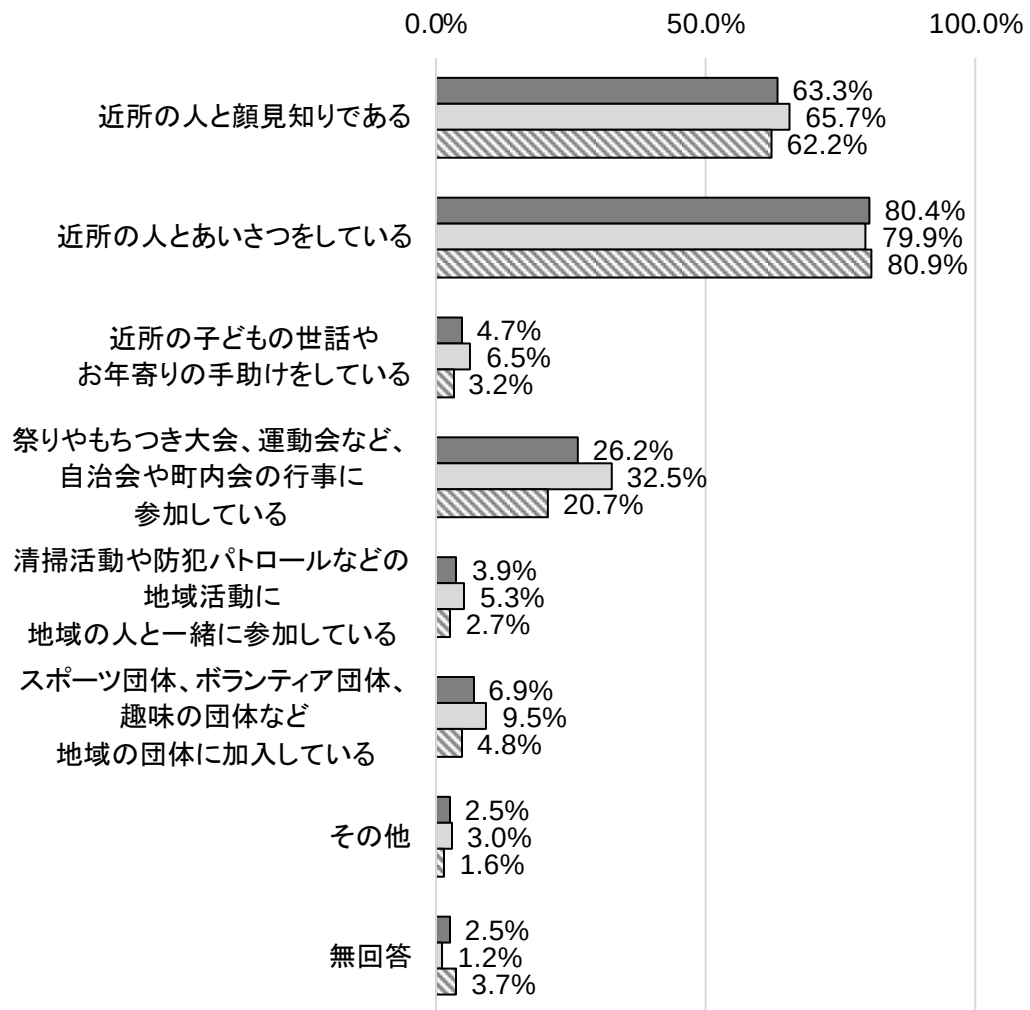
<性別>

“女性”の方が、「祭りやもちつき大会、運動会など、自治会や町内会の行事に参加している」の割合が高く、3割近くに上っている。



<年代>

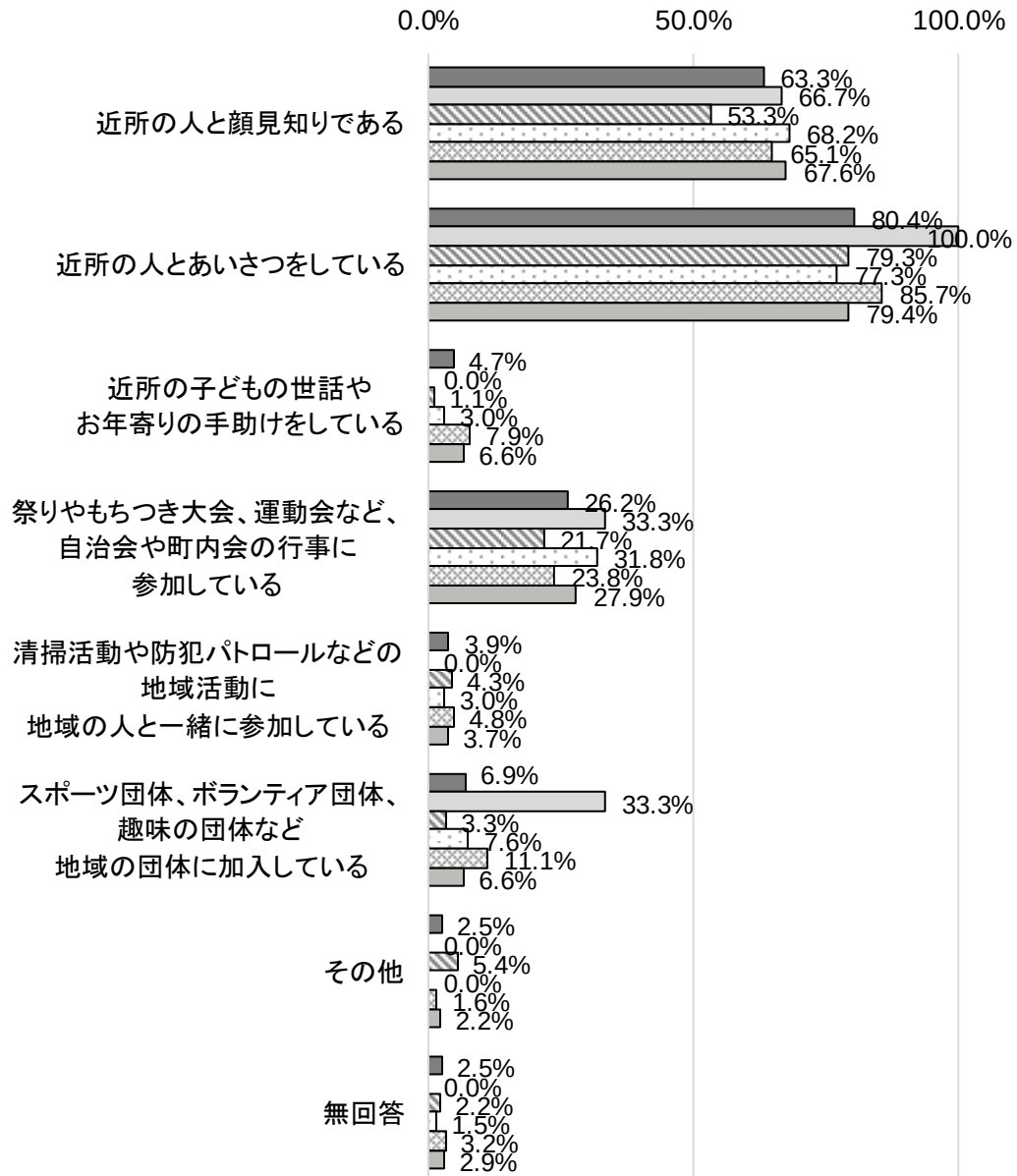
“12～14 歳”の方が、「近所の子どもの世話やお年寄りの手助けをしている」の割合が高い。



■ 全体(362) □ 12～14歳(169) ▨ 15～18歳(188)

<居住地区>

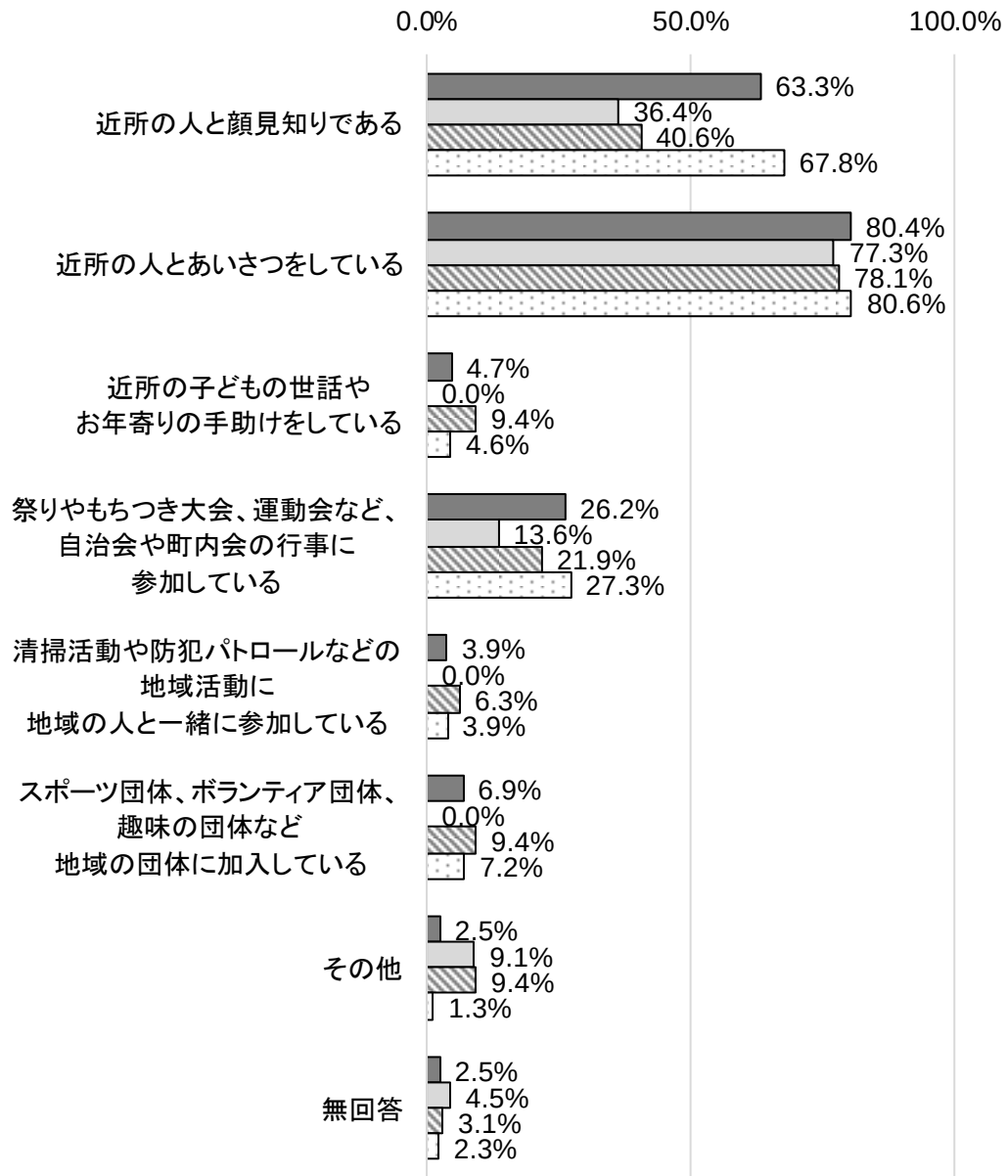
“B 地区”では「近所の人と顔見知りである」の割合が比較的低く、5 割台である。一方、“D 地区”では「近所の子どもの世話やお年寄りの手助けをしている」の割合が比較的高い。



■全体(362) □A地区(3) ■B地区(92) □C地区(66) ■D地区(63) ■E地区(136)

<居住年数>

年数が長い方が、「近所の人と顔見知りである」、「祭りやもちつき大会、運動会など、自治会や町内会の行事に参加している」の割合が高くなる傾向にある。



■ 全体(362) □ 5年未満(22) ▨ 5～9年(32) □ 10年以上(304)

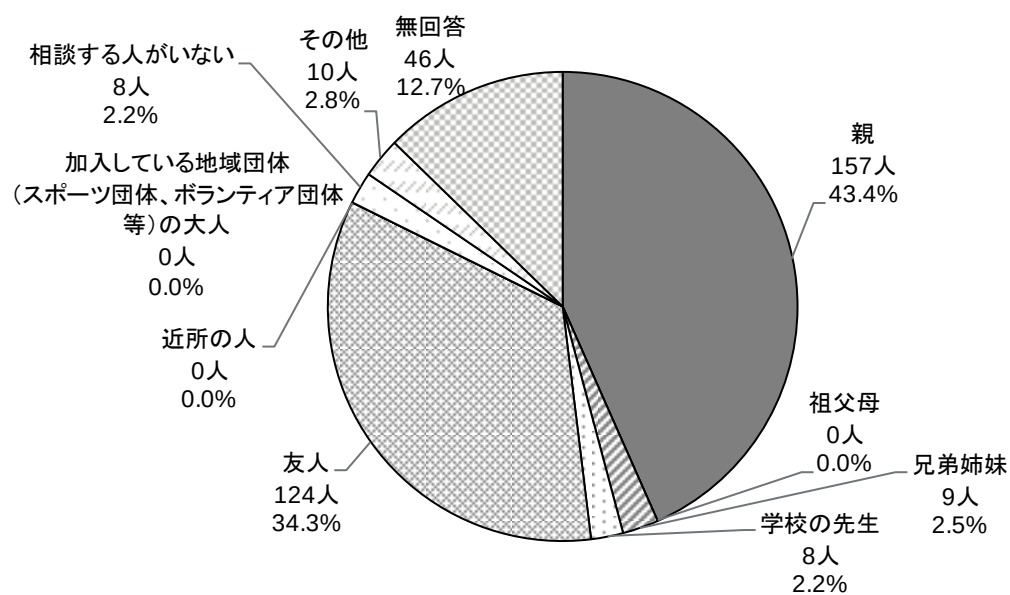
問 9 あなたは困ったときや悩んだときに誰に相談することが多いですか。次の中から最も相談することが多い人の番号を1つ選んでください。

<全体>

困ったとき、悩んだときに相談する相手は、「親」の割合が 43.4%で最も高く、続いて「友人」(34.3%) となっている。

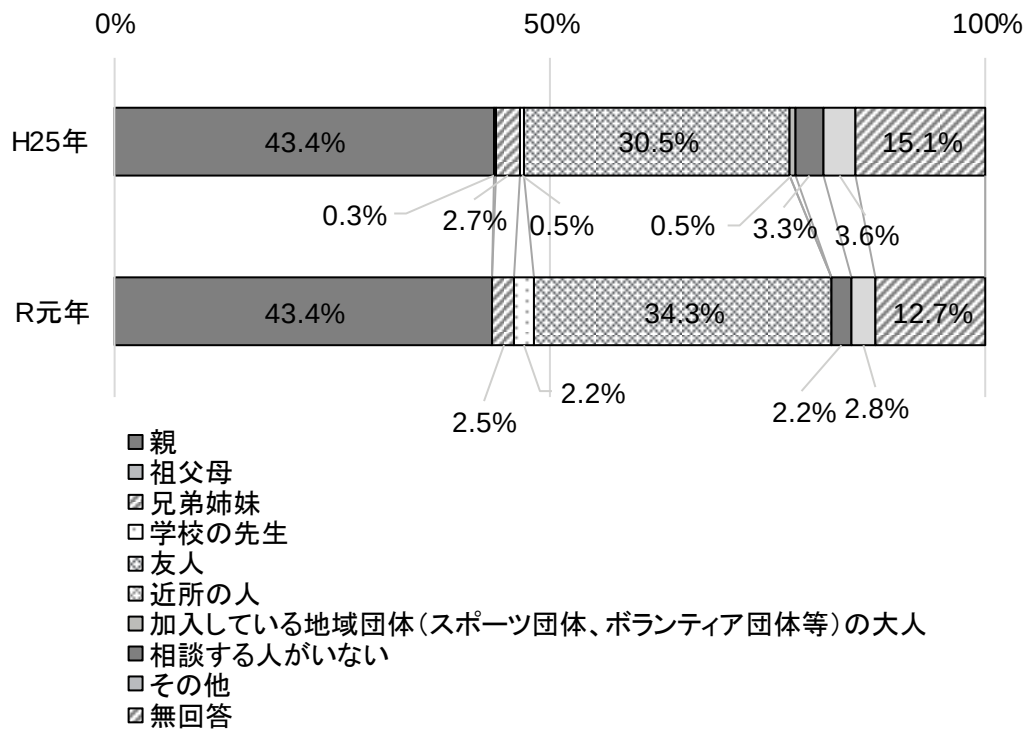
「その他」には、「ネットの人」、「困ったり、悩んだりしない」などの記述があった。

n=362



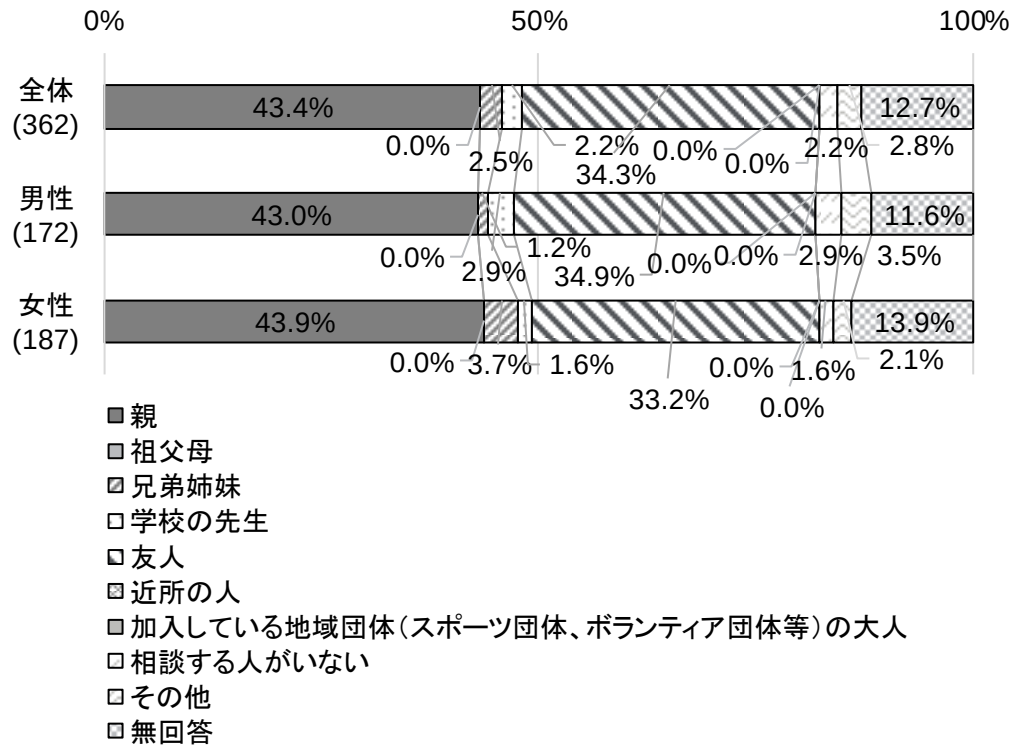
<経年比較>

「友人」の割合が増加している。一方、「相談する人がいない」の割合は減少している。



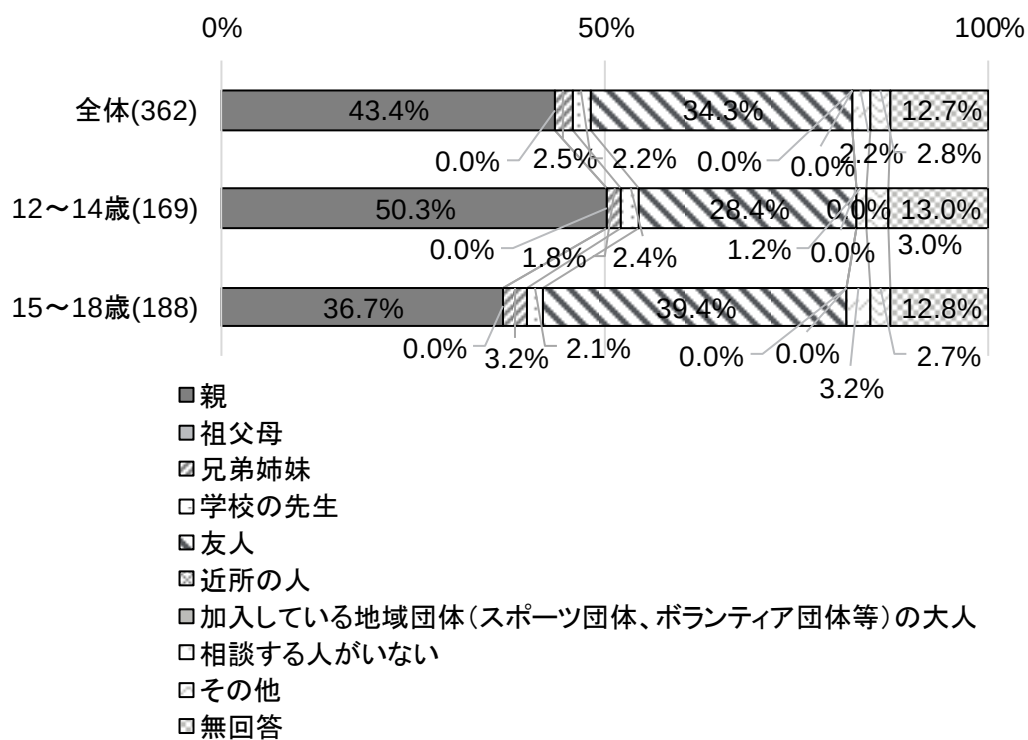
<性別>

性別での特徴は見られない。



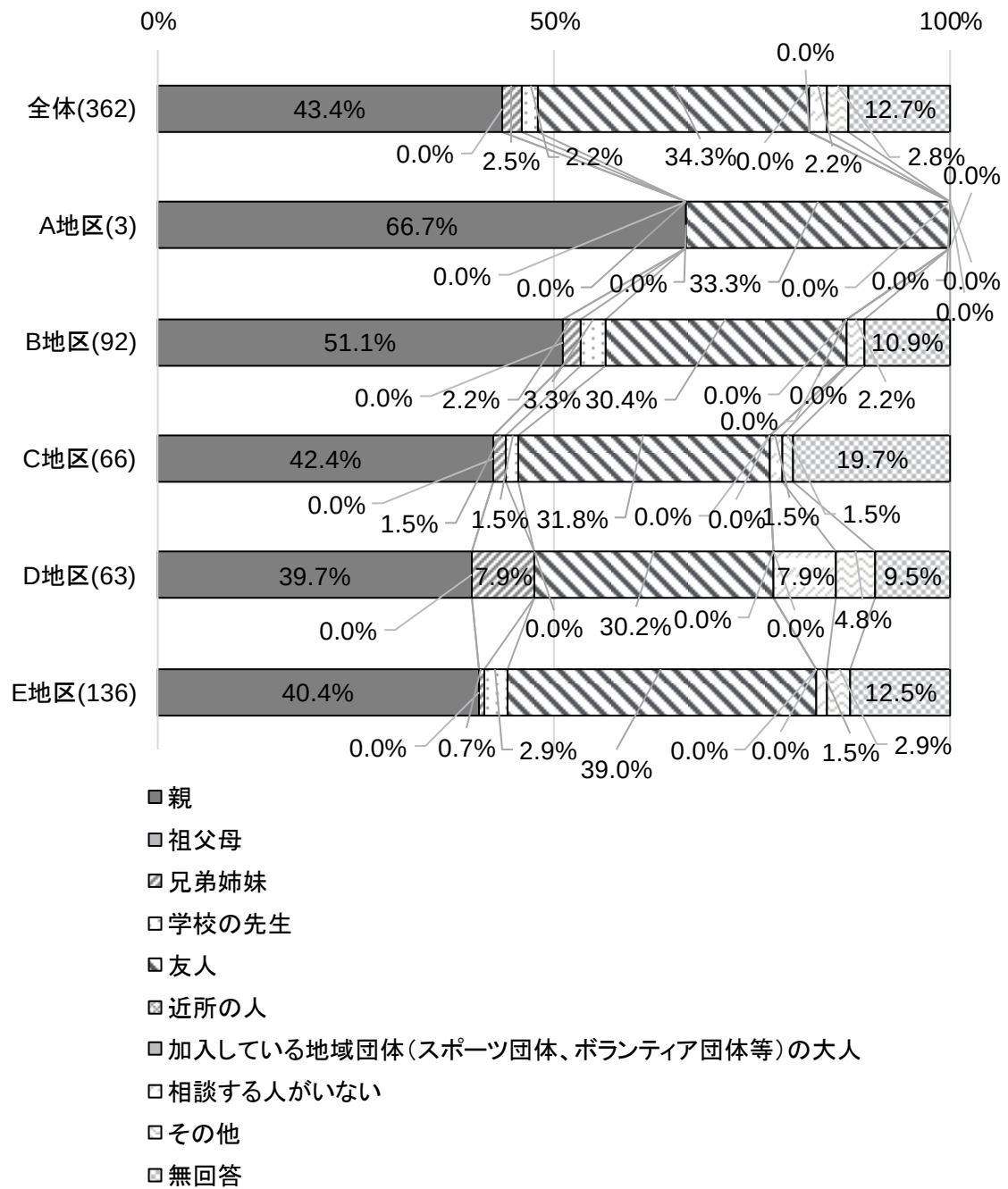
<年代>

“12～14 歳”の方が、「親」の割合が高く、5割を超えている。一方、“15～18 歳”の方が、「友人」の割合が高く、4割近くに上っている。



<居住地区>

“E地区”では「友人」の割合が比較的高く、4割近くに上っている。

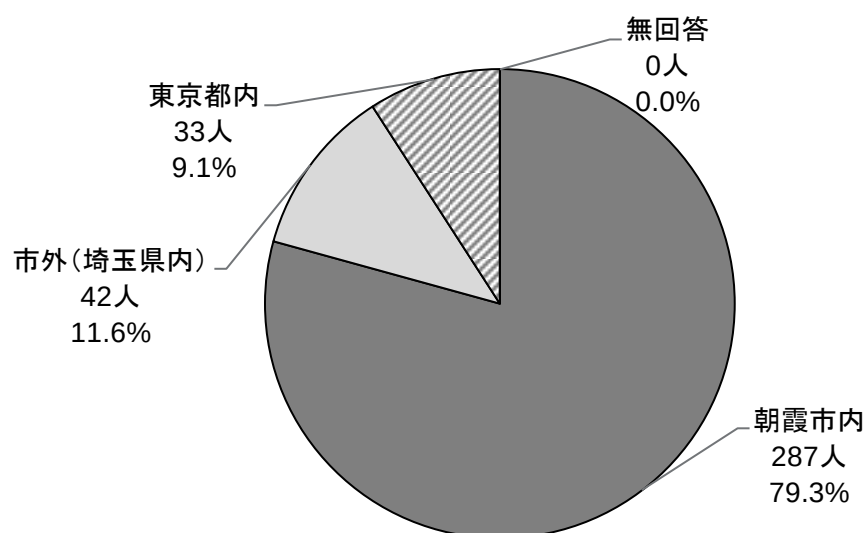


問 10 あなたは、平日の放課後(働いている方は仕事が終わった後)や休日は、どこで何をして過ごしますか。次の中から、よく過ごす場所(1つ)と、よくしていること(3つまで)を選んでください。

【平日の過ごす場所】

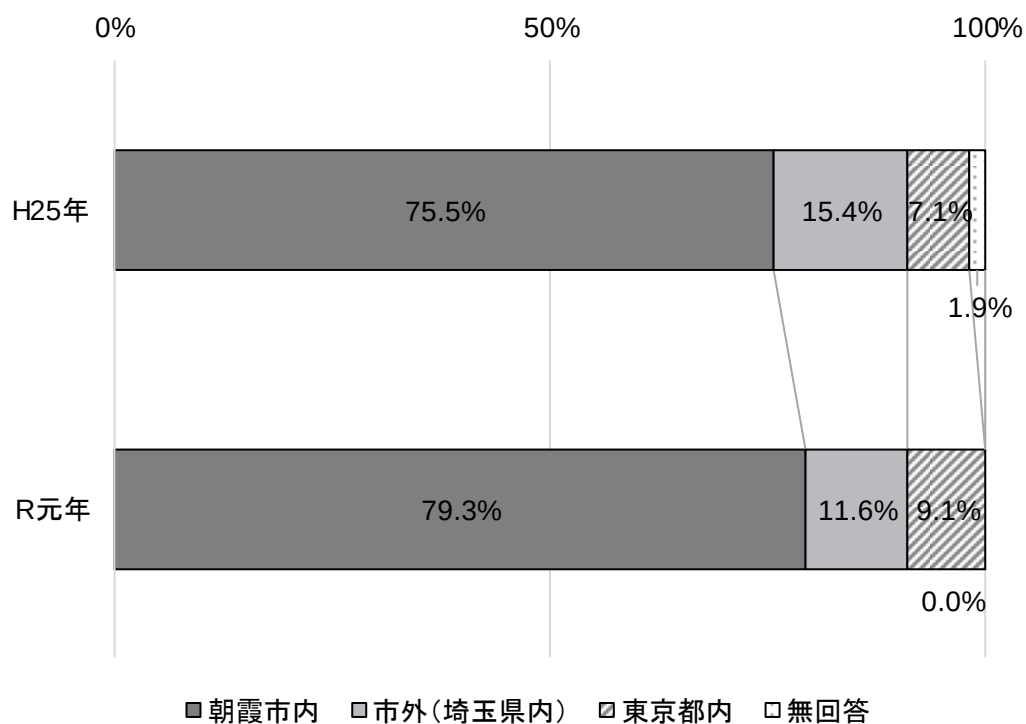
<全体>

平日によく過ごす場所は、「朝霞市内」の割合が 79.3%で最も高く、続いて「市外(埼玉県内)」(11.6%) となっている。



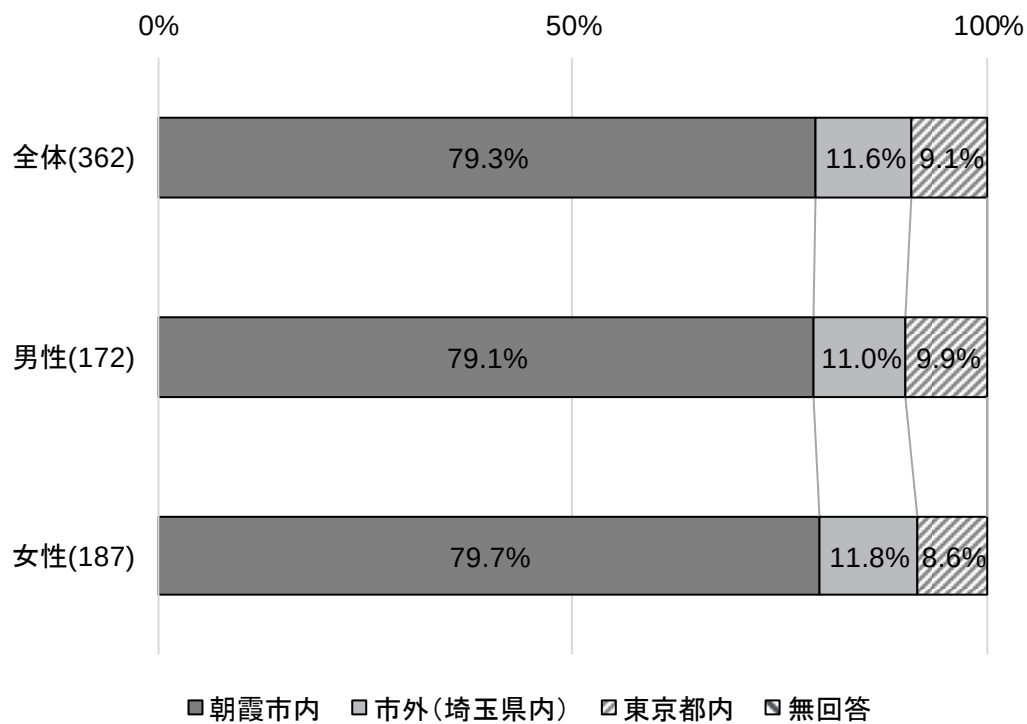
<経年比較>

「東京都内」の割合は、増加している。一方、「市外(埼玉県内)」の割合は、減少している。



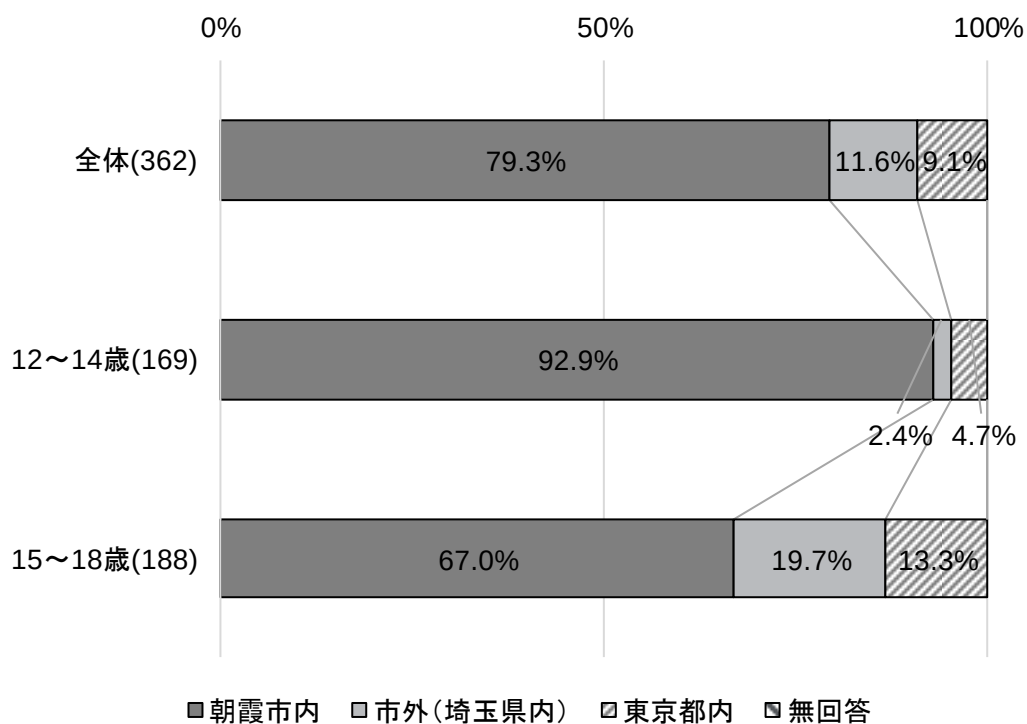
<性別>

性別での特徴は見られない。



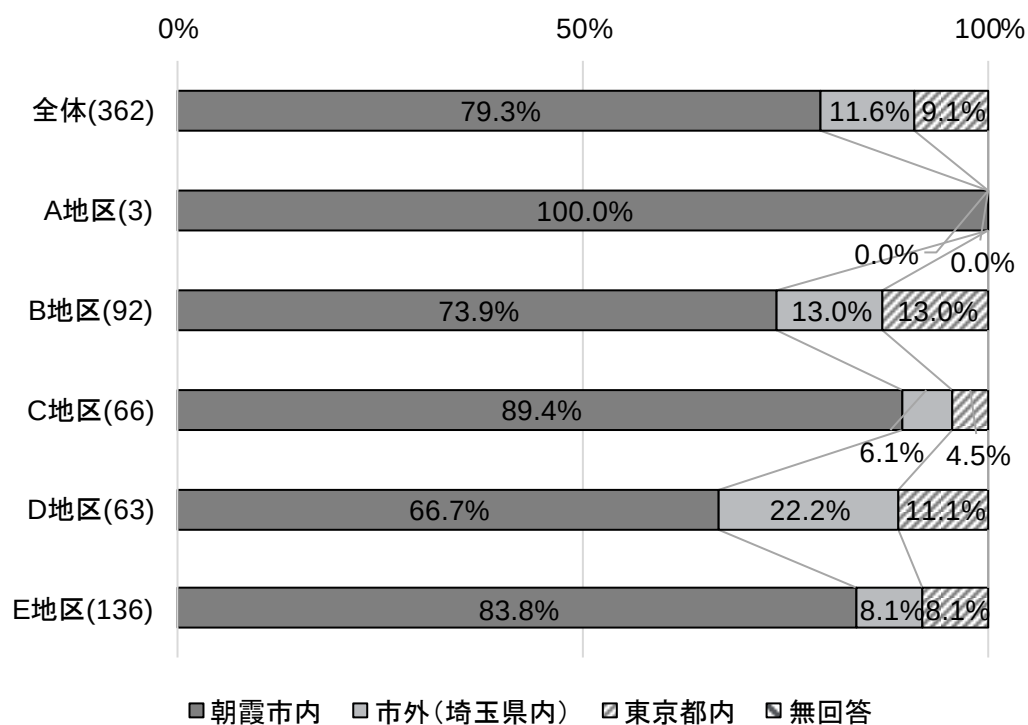
<年代>

“12～14 歳”の方が、「朝霞市内」の割合が高く、9 割を超えている。一方、“15～18 歳”の方が、「市外（埼玉県内）」、「東京都内」の割合が高い。



<居住地区>

“D 地区”では「市外（埼玉県内）」の割合が比較的高く、2 割を超えている。

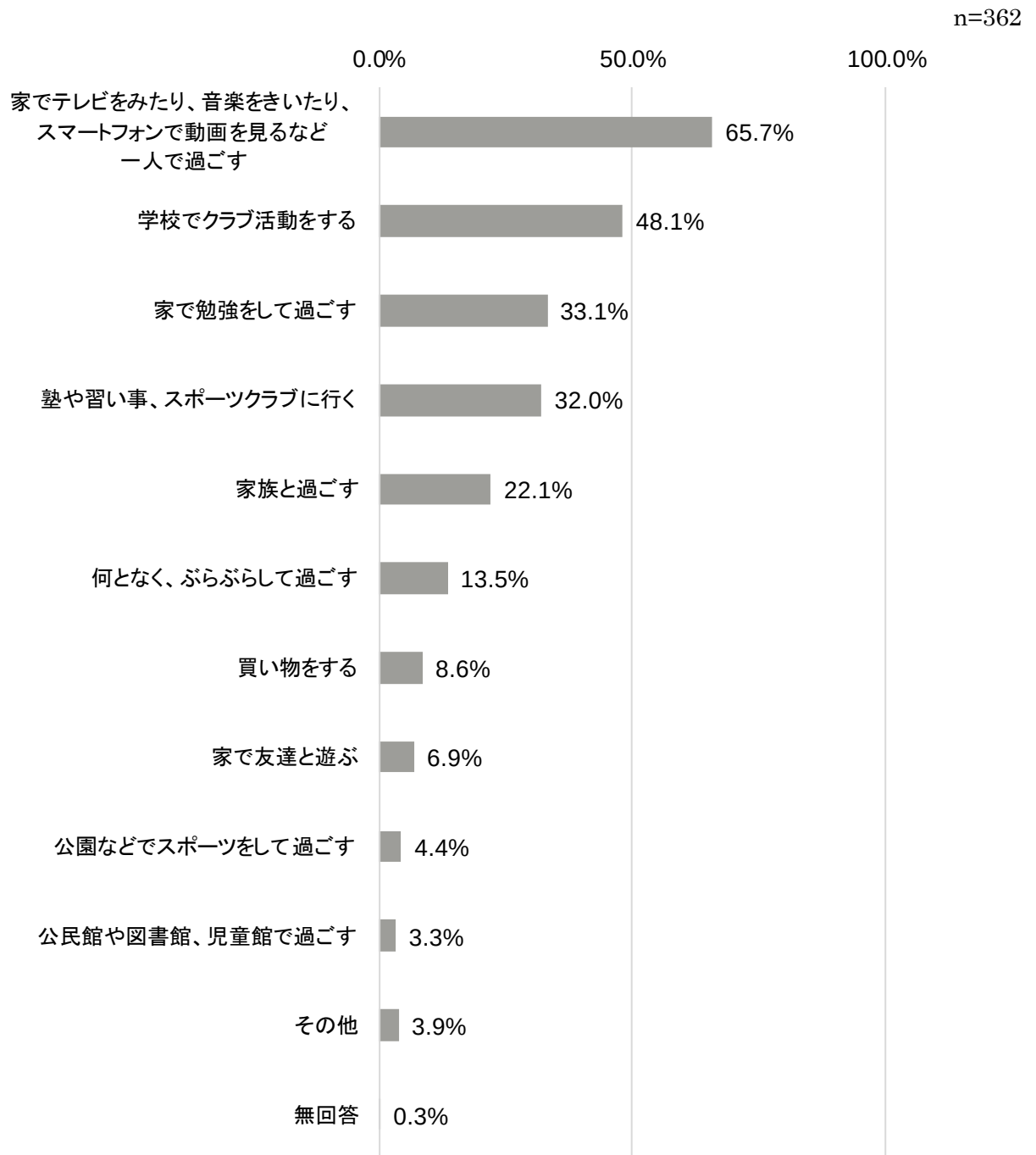


【平日の過ごし方】

＜全体＞

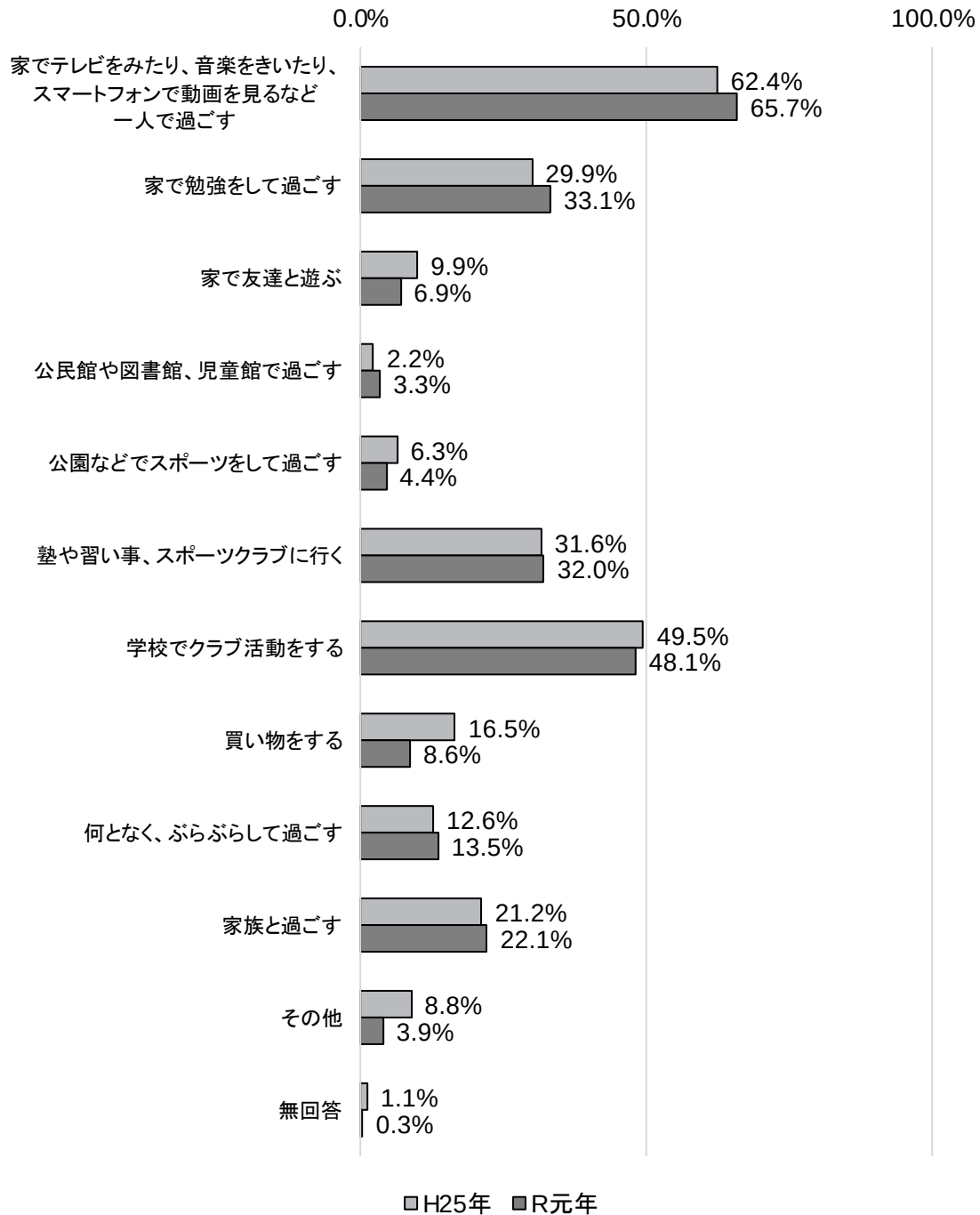
平日の過ごし方は、「家でテレビをみたり、音楽をきいたり、スマートフォンで動画を見るなど一人で過ごす」の割合が65.7%で最も高く、続いて「学校でクラブ活動をする」(48.1%)、「家で勉強をして過ごす」(33.1%)となっている。

「その他」には、「部活動」、「ボランティア活動」などの記述があった。



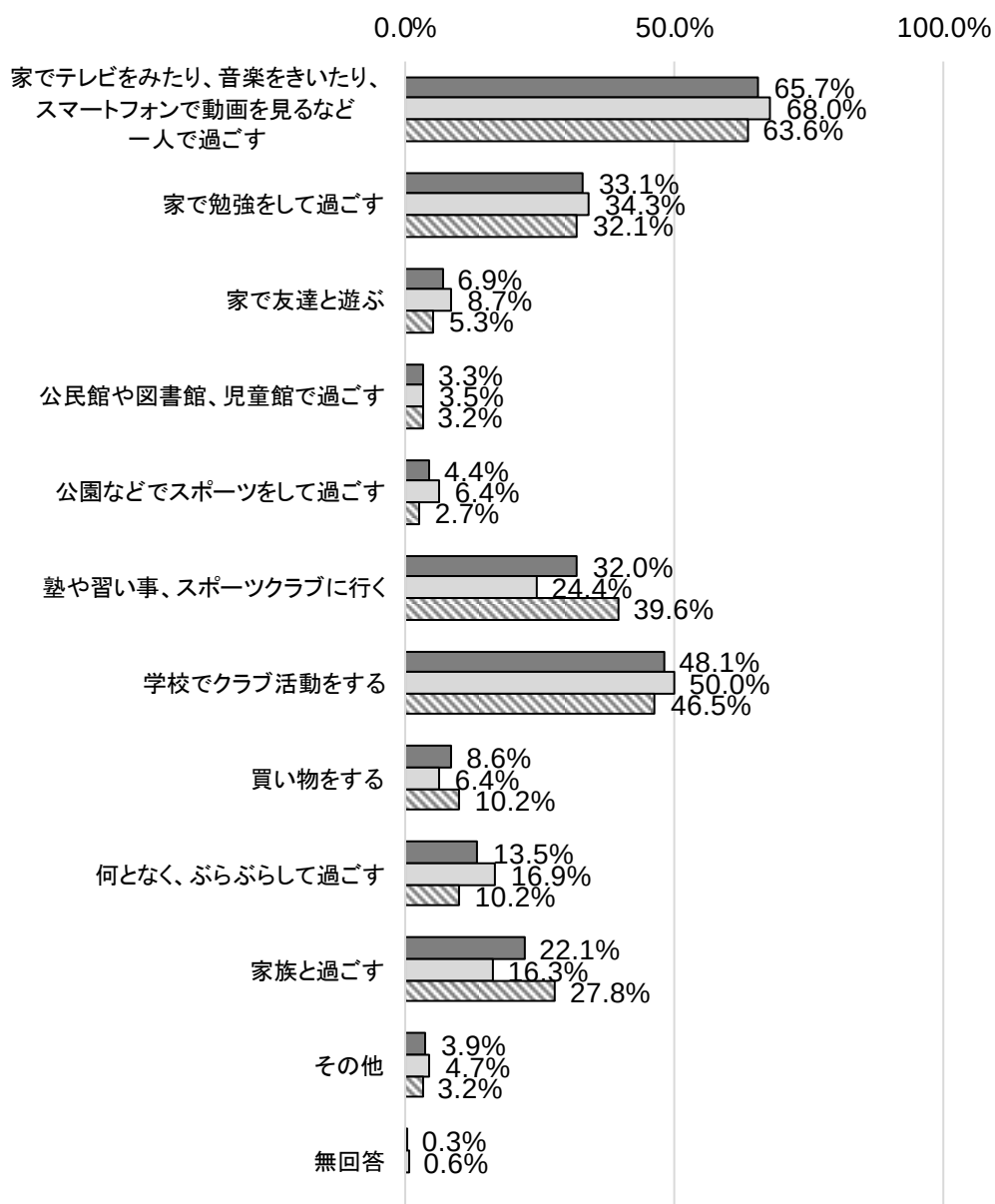
＜経年比較＞

「家で勉強をして過ごす」、「公民館や図書館、児童館で過ごす」の割合は、増加している。一方、「家で友達と遊ぶ」、「公園などでスポーツをして過ごす」、「買い物をする」の割合は、減少している。



<性別>

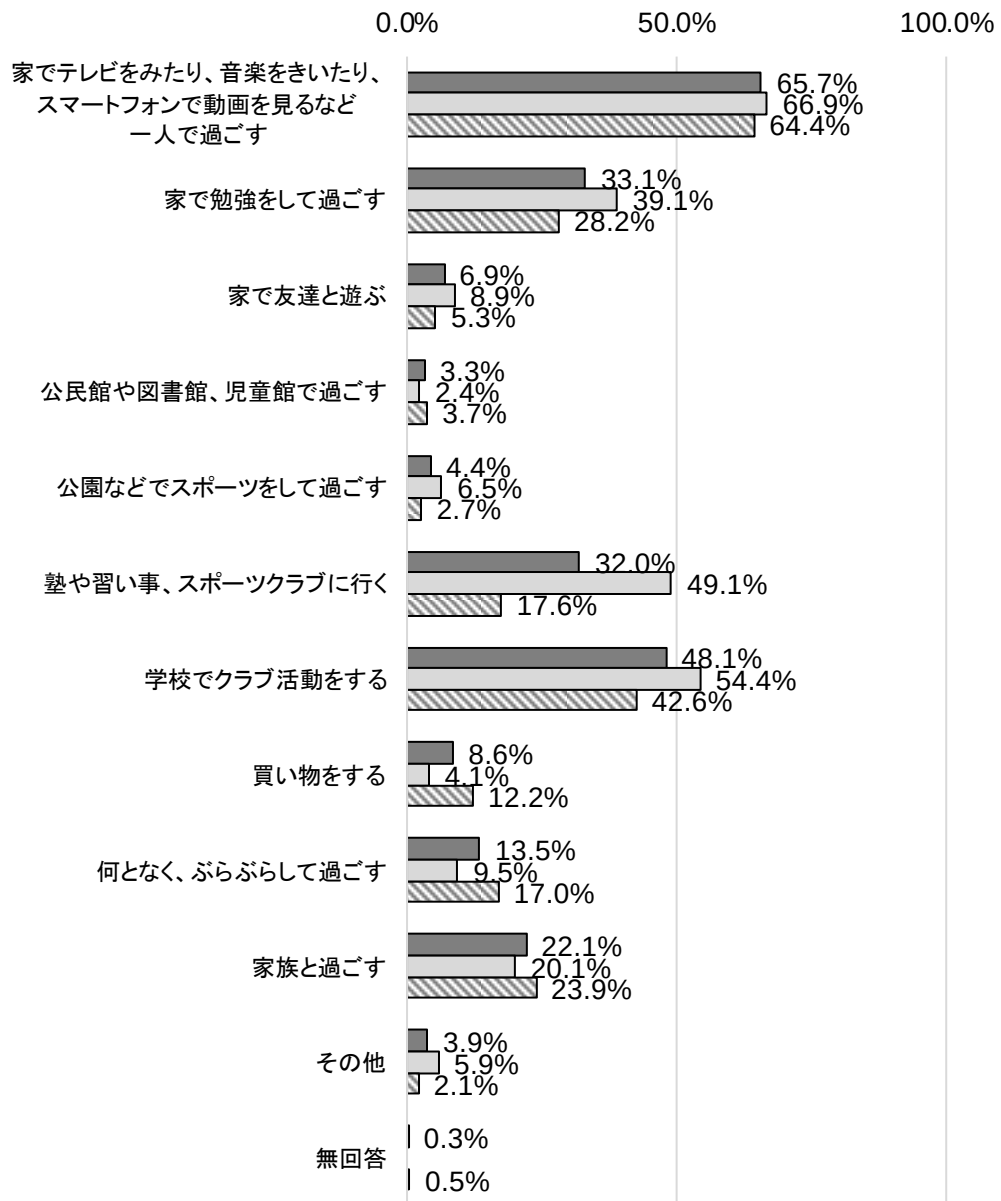
“男性”の方が、「公園などでスポーツをして過ごす」の割合が高い。一方、“女性”の方が、「塾や習い事、スポーツクラブに行く」の割合が高く、4割近くに上っている。



■ 全体(362) □ 男性(172) ▨ 女性(187)

<年代>

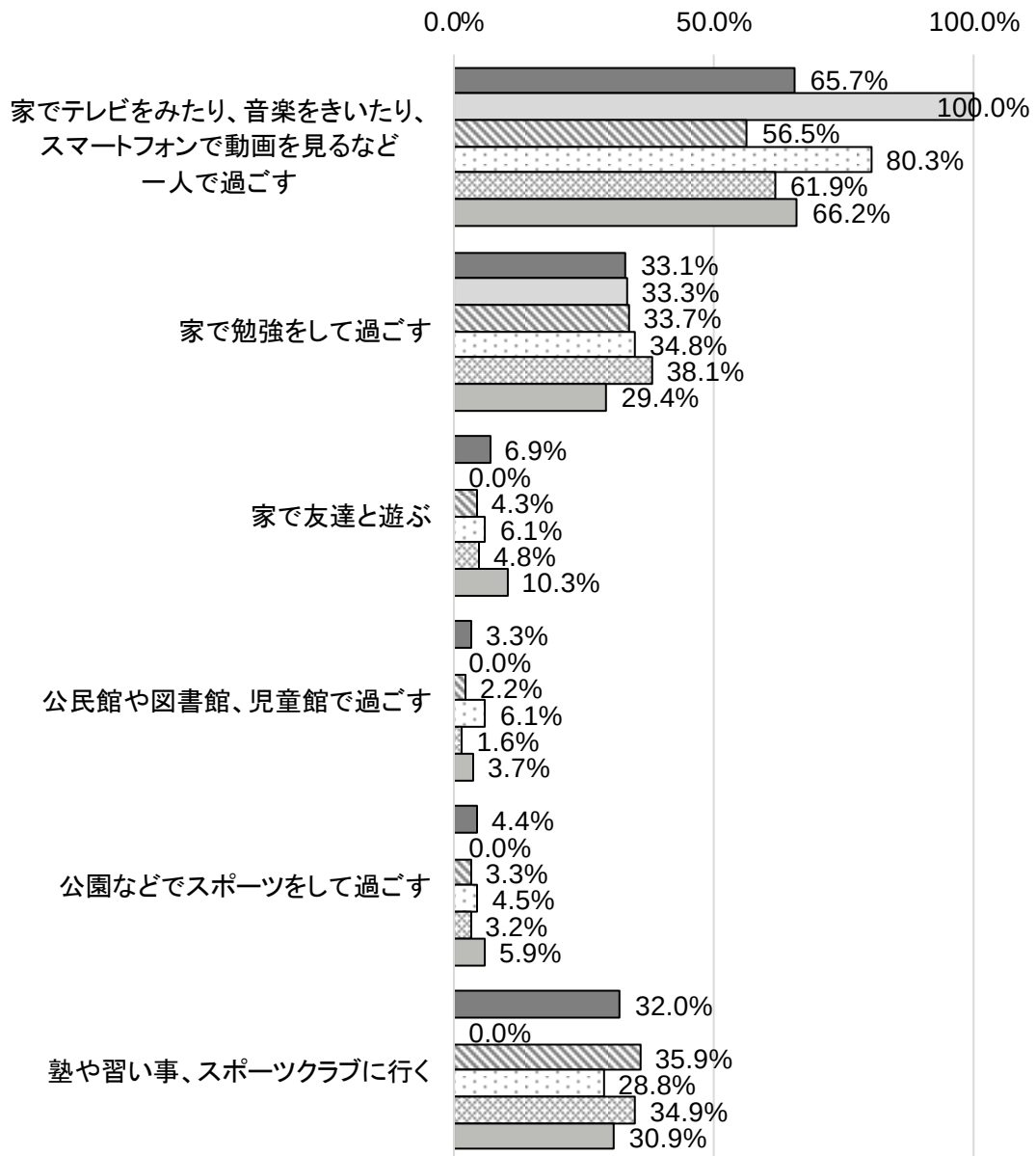
“12～14 歳”の方が、「塾や習い事、スポーツクラブに行く」の割合が高く、5 割近くに上っている。一方、“15～18 歳”の方が、「買い物をする」の割合が高く、1 割を超えている。



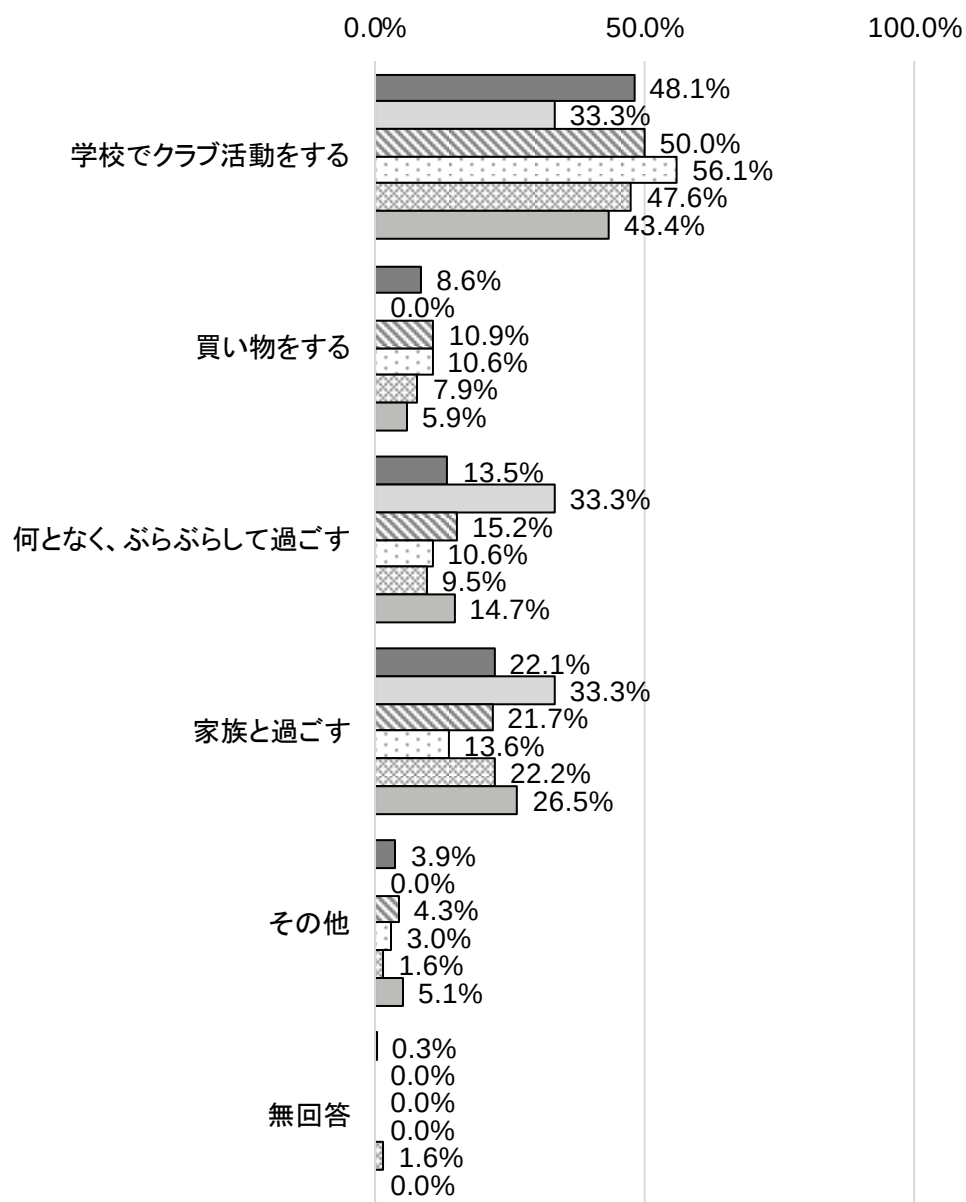
■ 全体(362) □ 12～14歳(169) ▨ 15～18歳(188)

＜居住地区＞

“A 地区”、“C 地区”では「家でテレビをみたり、音楽をきいたり、スマートフォンで動画を見るなど一人で過ごす」の割合が比較的高い。



■ 全体(362) □ A地区(3) ▨ B地区(92) □ C地区(66) ▨ D地区(63) ■ E地区(136)



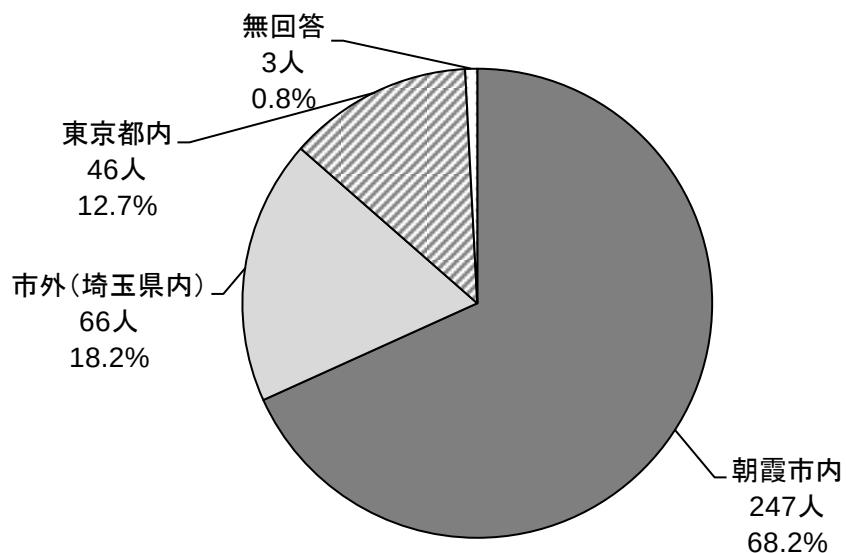
■ 全体(362) □ A地区(3) ▨ B地区(92) □ C地区(66) ▩ D地区(63) ■ E地区(136)

【休日の過ごす場所】

<全体>

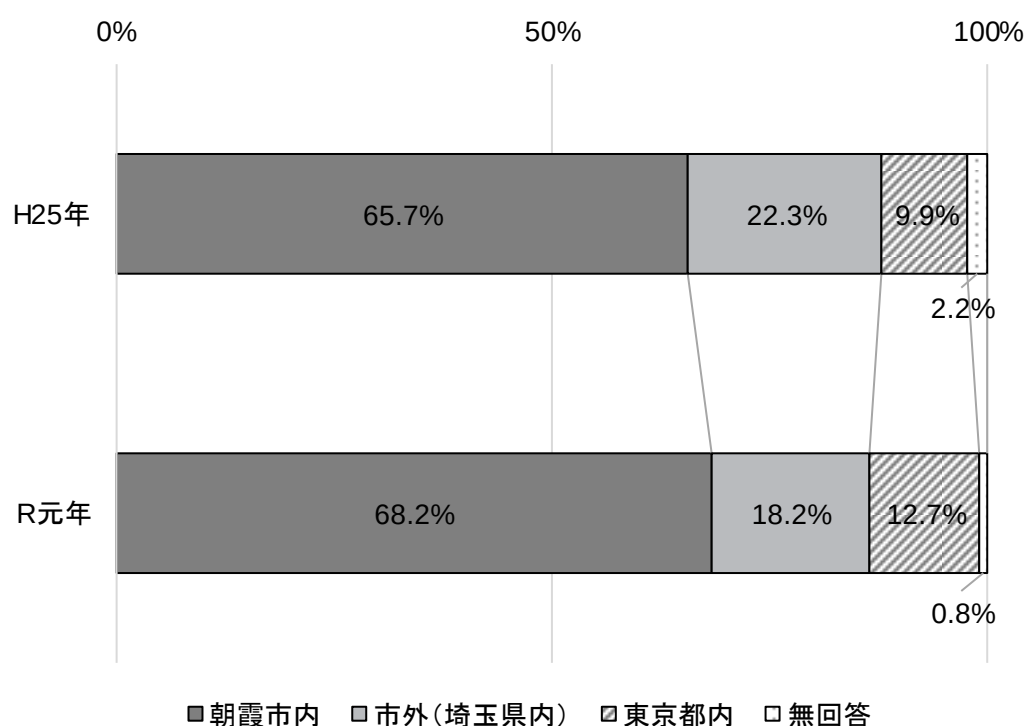
休日によく過ごす場所は、「朝霞市内」の割合が68.2%で最も高く、続いて「市外（埼玉県内）」（18.2%）となっている。

n=362



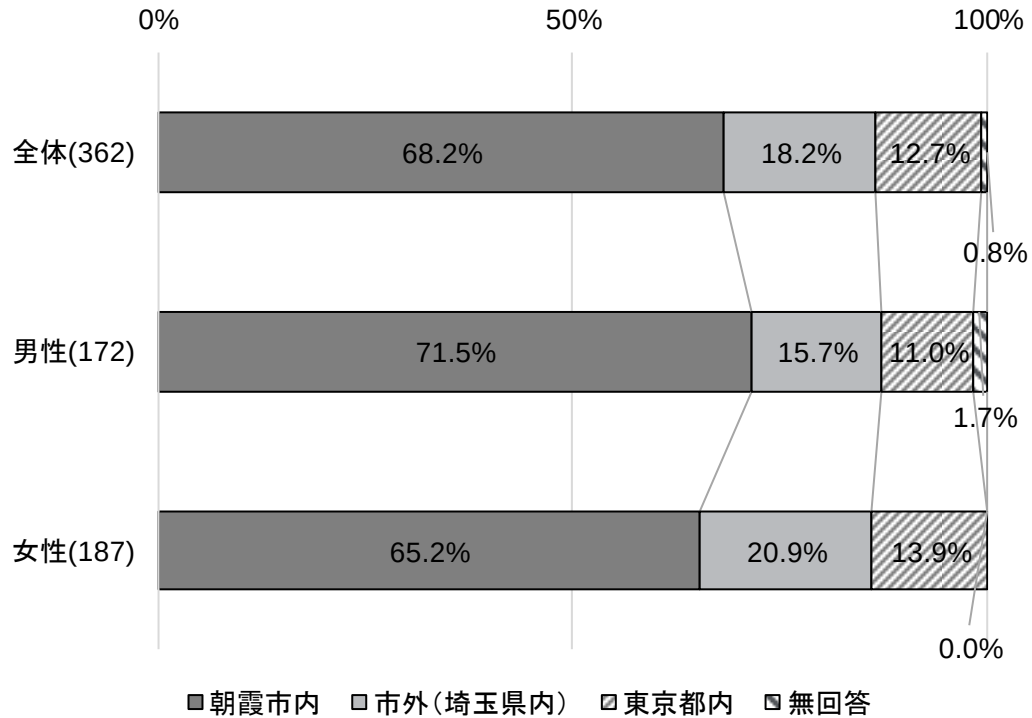
<経年比較>

「朝霞市内」、「東京都内」の割合は、増加している。一方、「市外（埼玉県内）」の割合は、減少している。



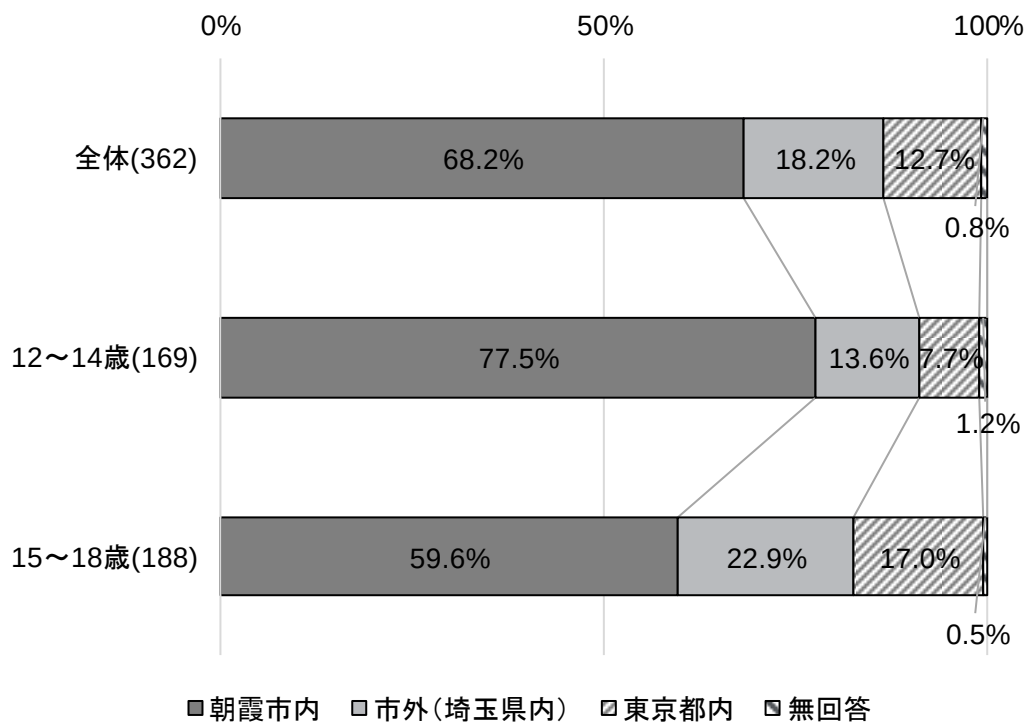
<性別>

“男性”の方が、「朝霞市内」の割合が高く、7割を超えている。一方、“女性”の方が、「市外（埼玉県内）」の割合が高く、2割を超えている。



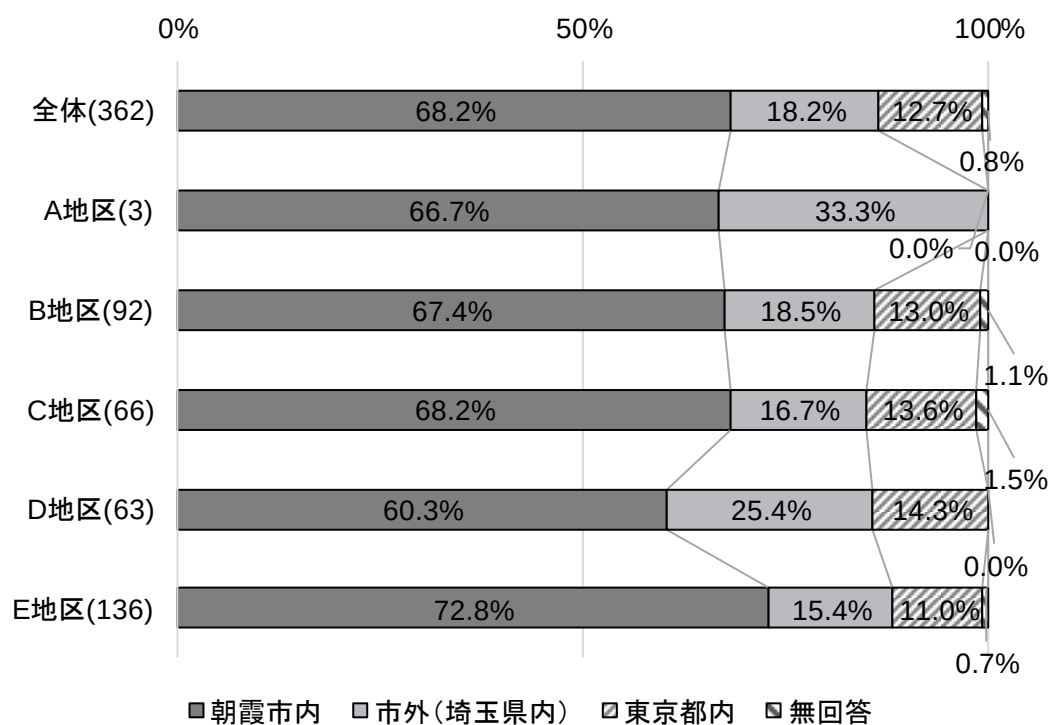
<年代>

“12～14歳”の方が、「朝霞市内」の割合が高く、7割を超えている。一方、“15～18歳”の方が、「市外（埼玉県）」、「東京都内」の割合が高く、2割近くに上っている。



<居住地区>

“A 地区”、“D 地区” では「市外（埼玉県内）」の割合が比較的高く、2 割を超えている。



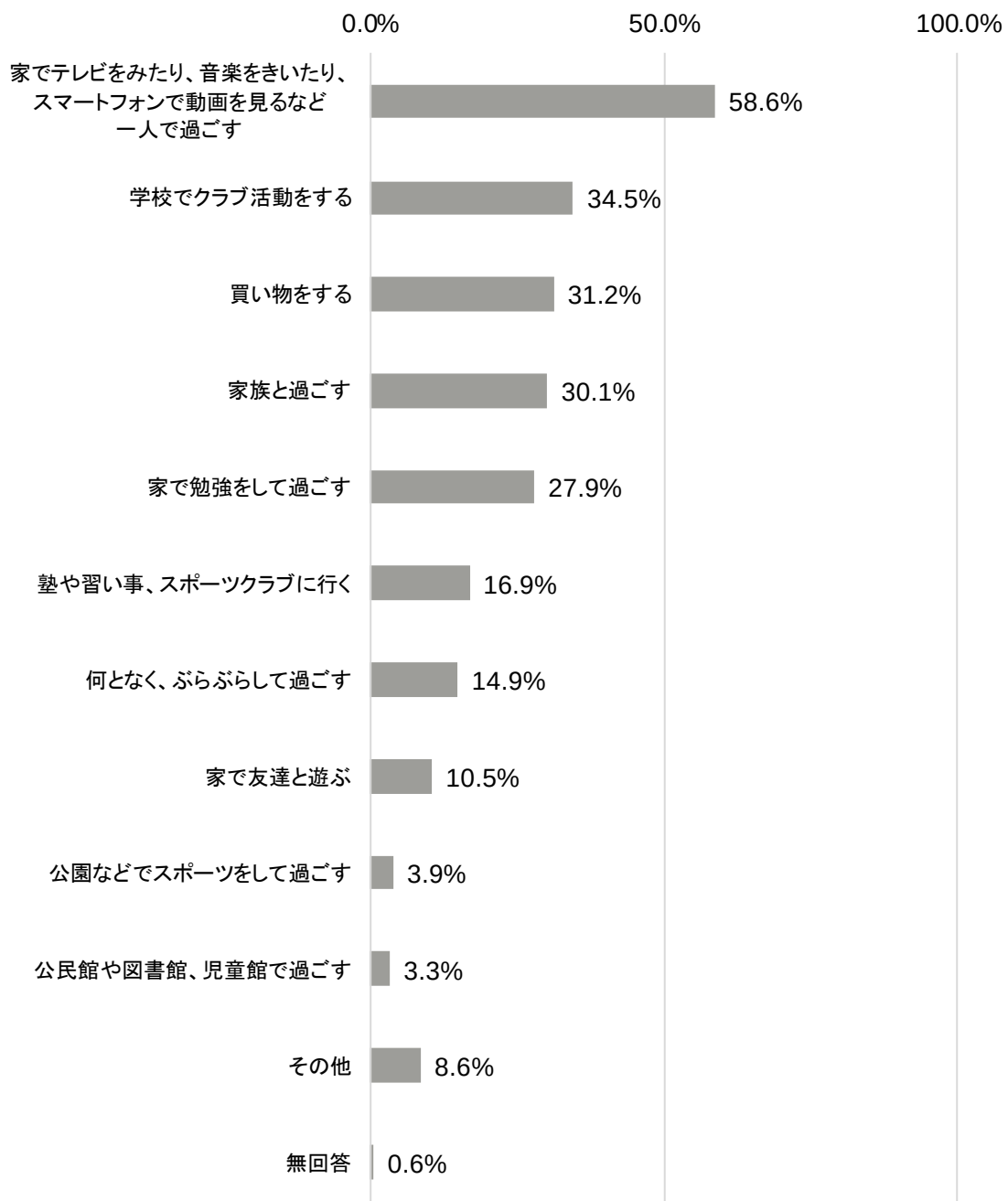
【休日の過ごし方】

<全体>

休日の過ごし方は、「家でテレビをみたり、音楽をきいたり、スマートフォンで動画を見るなど一人で過ごす」の割合が58.6%で最も高く、続いて「学校でクラブ活動をする」(34.5%)、「買い物をする」(31.2%)となっている。

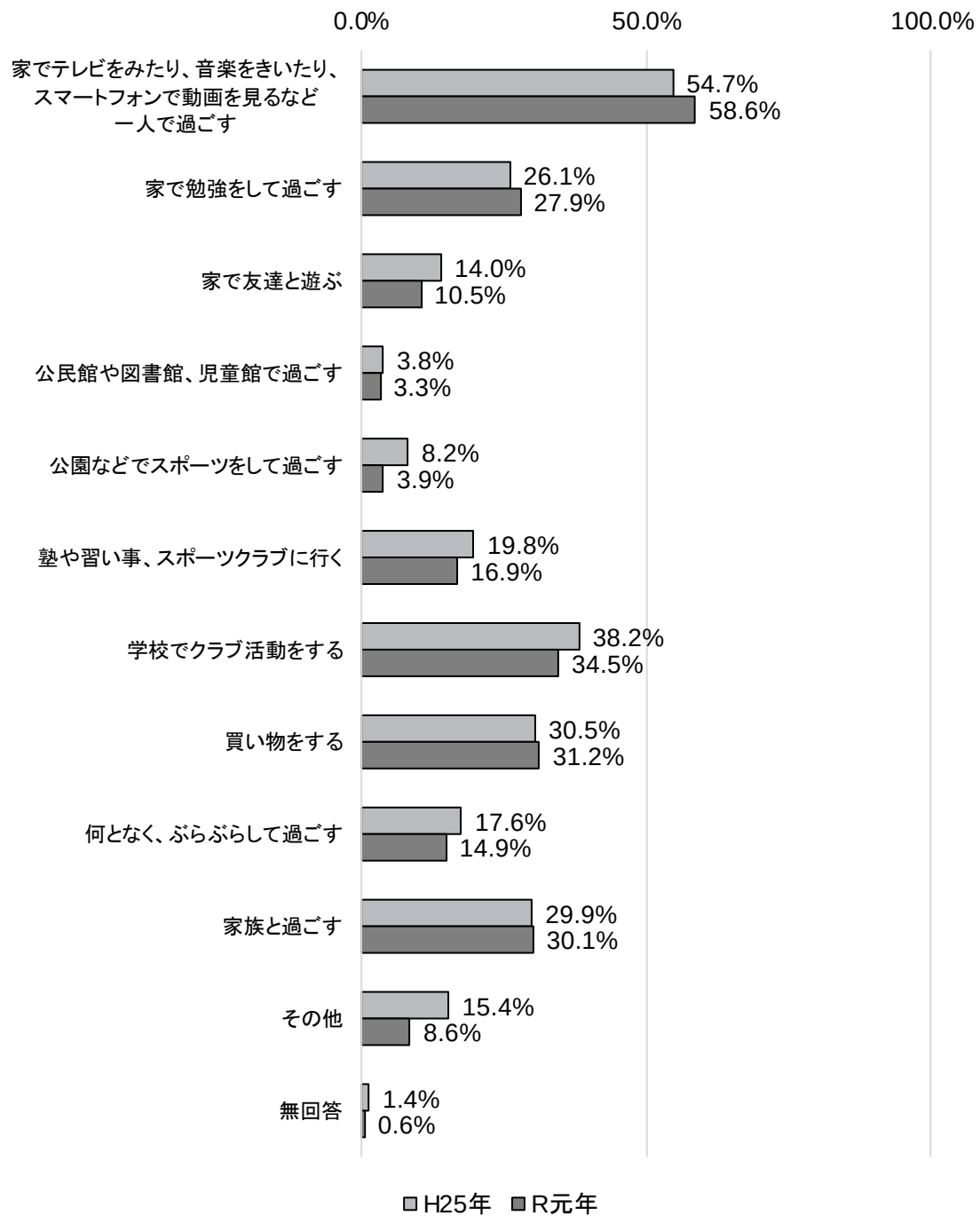
「その他」には、「友達と外で遊ぶ」、「部活動」、「祖父母に会いに行く」などの記述があった。

n=362



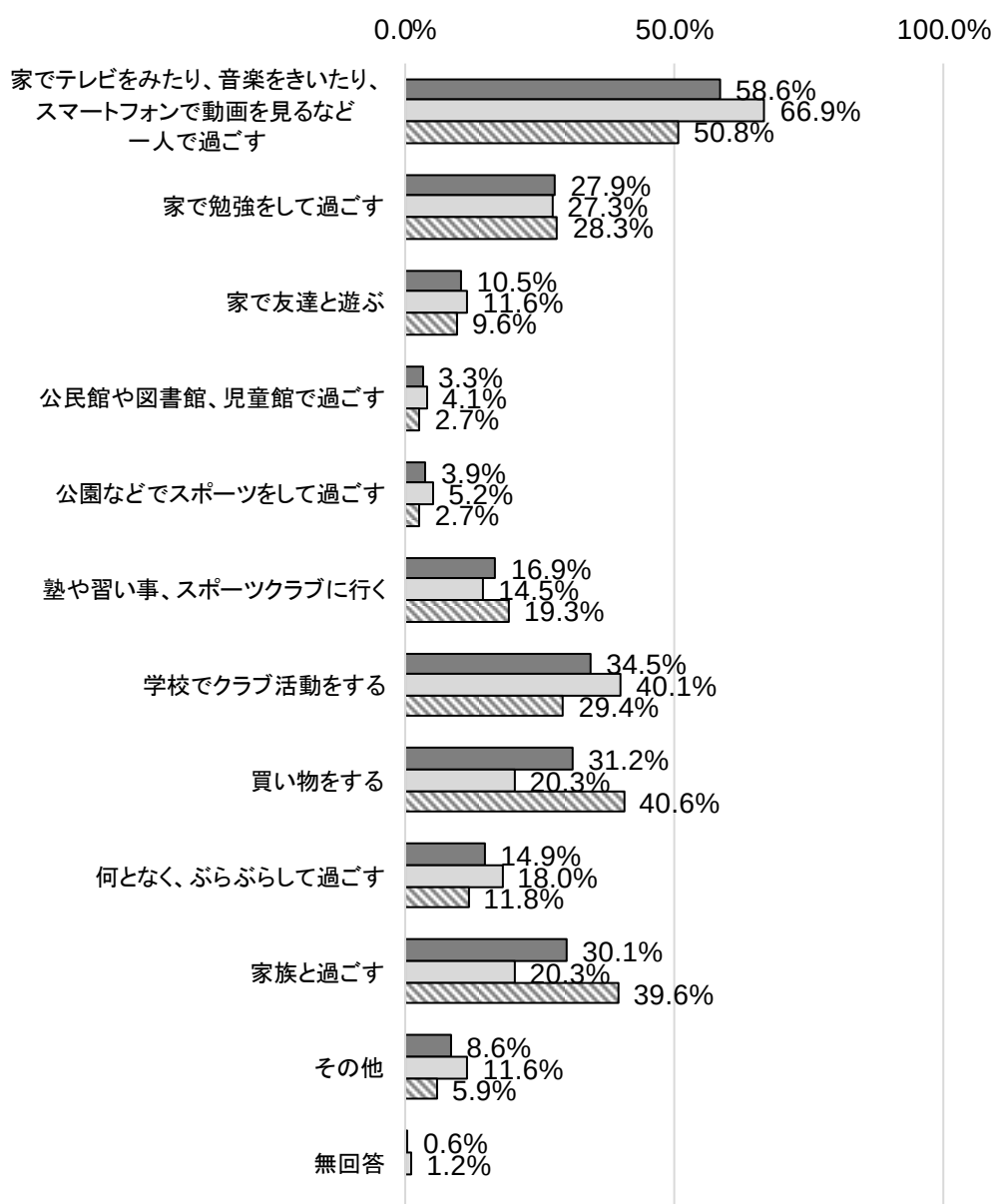
＜経年比較＞

「家で友達と遊ぶ」、「公民館や図書館、児童館で過ごす」、「塾や習い事、スポーツクラブに行く」、「学校でクラブ活動をする」、「何となく、ぶらぶらして過ごす」の割合は、減少している。



<性別>

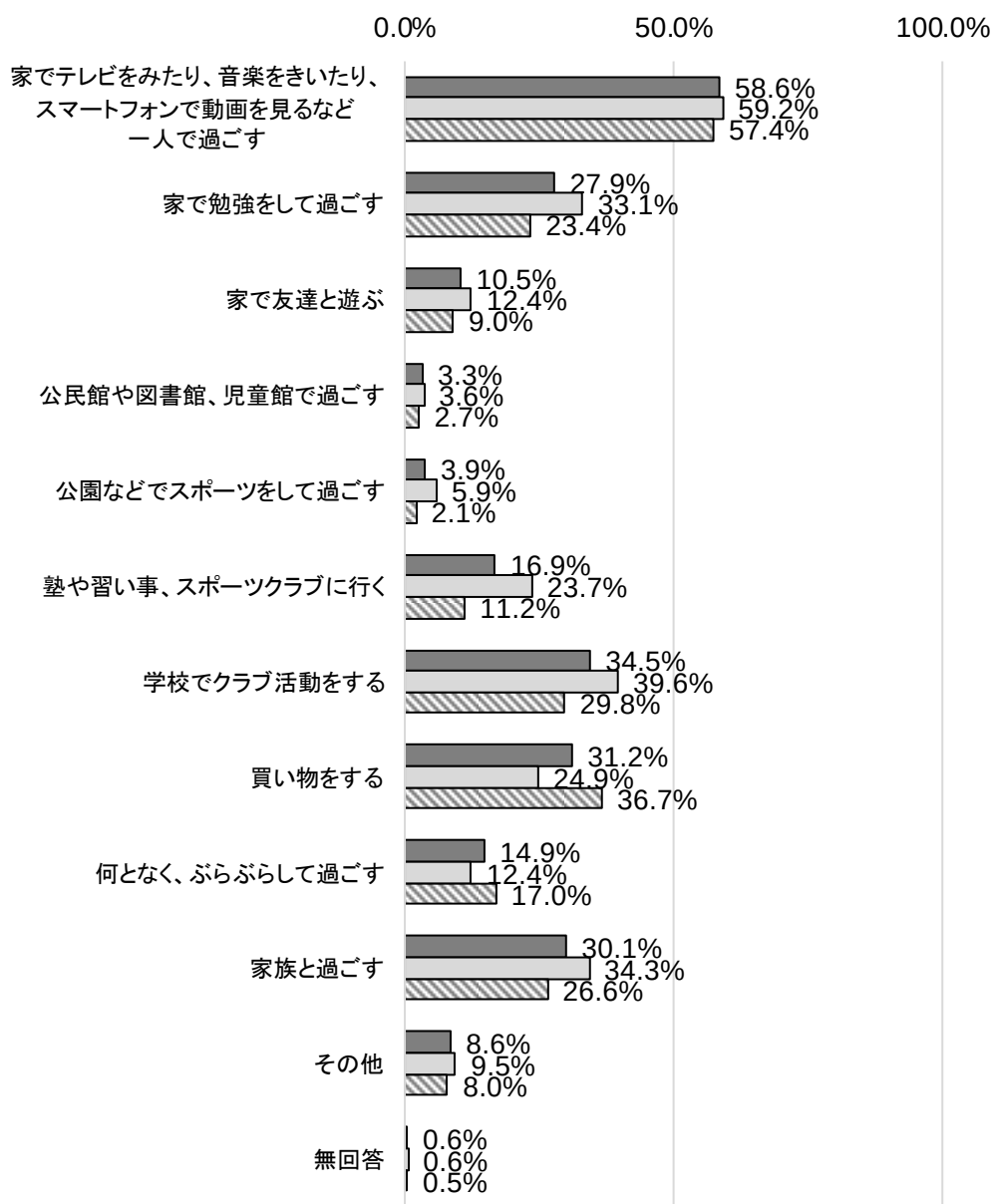
“男性”の方が、「学校でクラブ活動をする」の割合が高く、4割を超えている。一方、“女性”の方が、「買い物をする」、「家族と過ごす」の割合が高い。



■ 全体(362) □ 男性(172) ▨ 女性(187)

<年代>

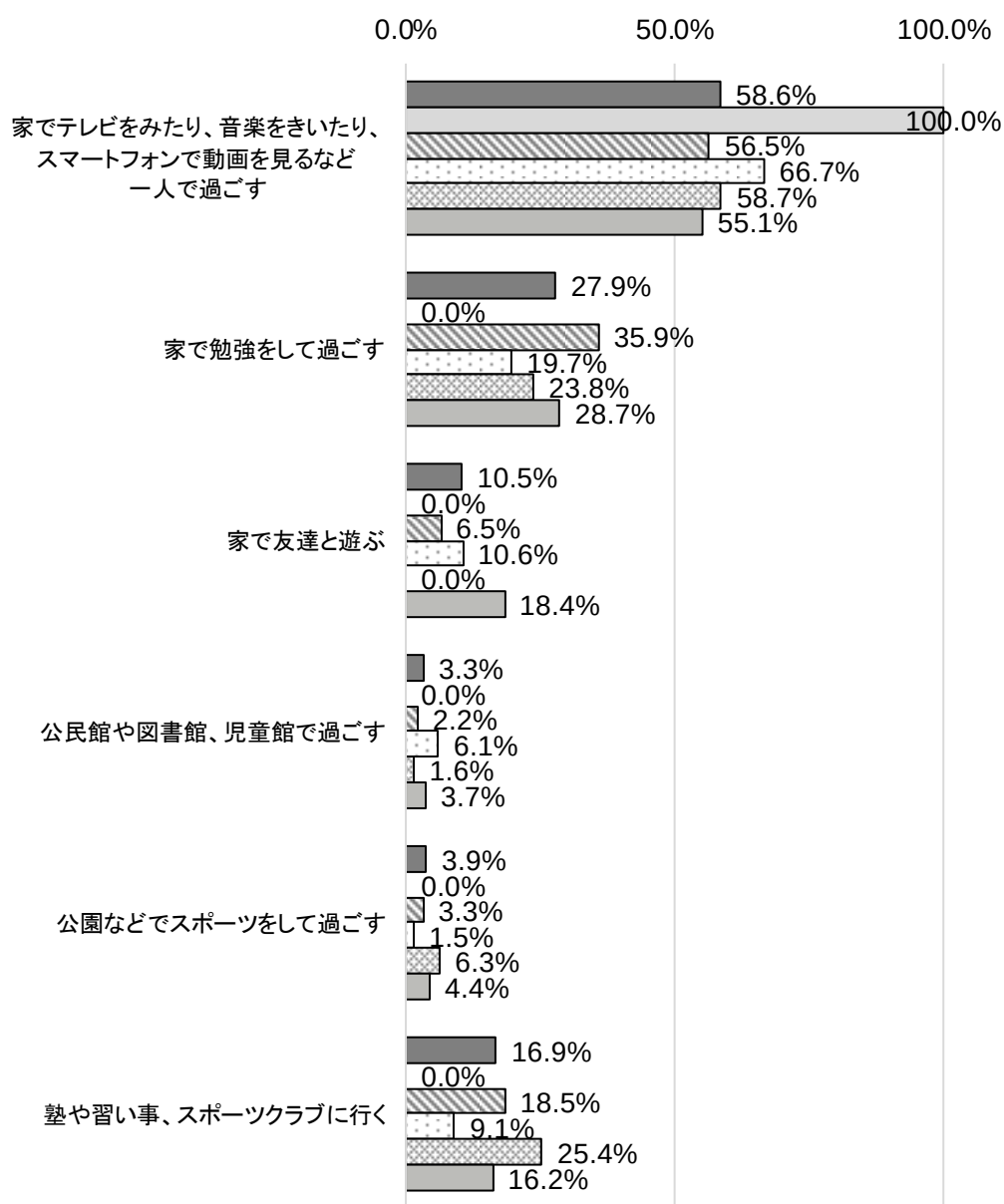
“12～14 歳”の方が、「塾や習い事、スポーツクラブに行く」の割合が高く、2 割を超えている。
一方、“15～18 歳”の方が、「買い物をする」の割合が高く、3 割を超えている。



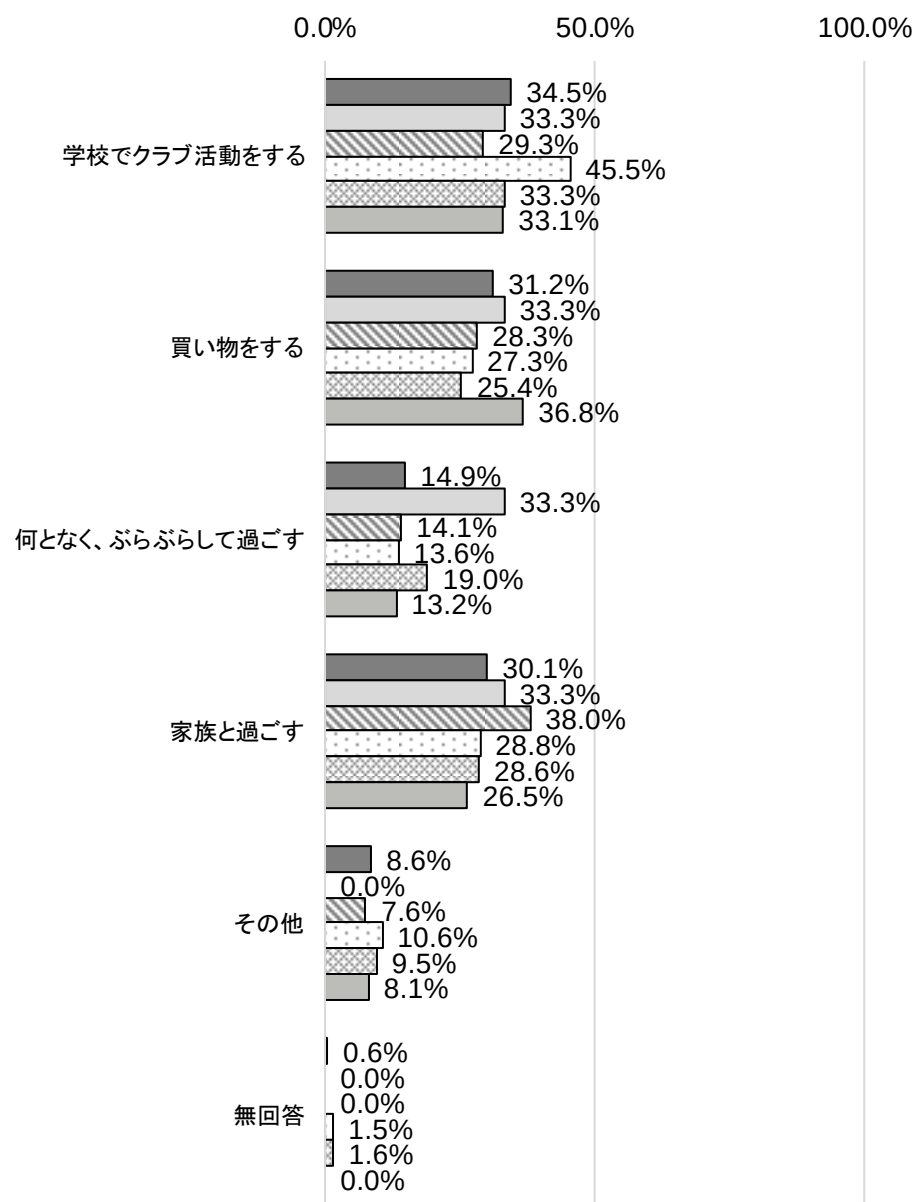
■ 全体(362) □ 12～14歳(169) ▨ 15～18歳(188)

<居住地区>

“B地区”では「家で勉強をして過ごす」の割合が比較的高く、3割を超えている。



■全体(362) □A地区(3) ■B地区(92) □C地区(66) ■D地区(63) ■E地区(136)



■ 全体(362) □ A地区(3) ▨ B地区(92) □ C地区(66) ▩ D地区(63) ■ E地区(136)

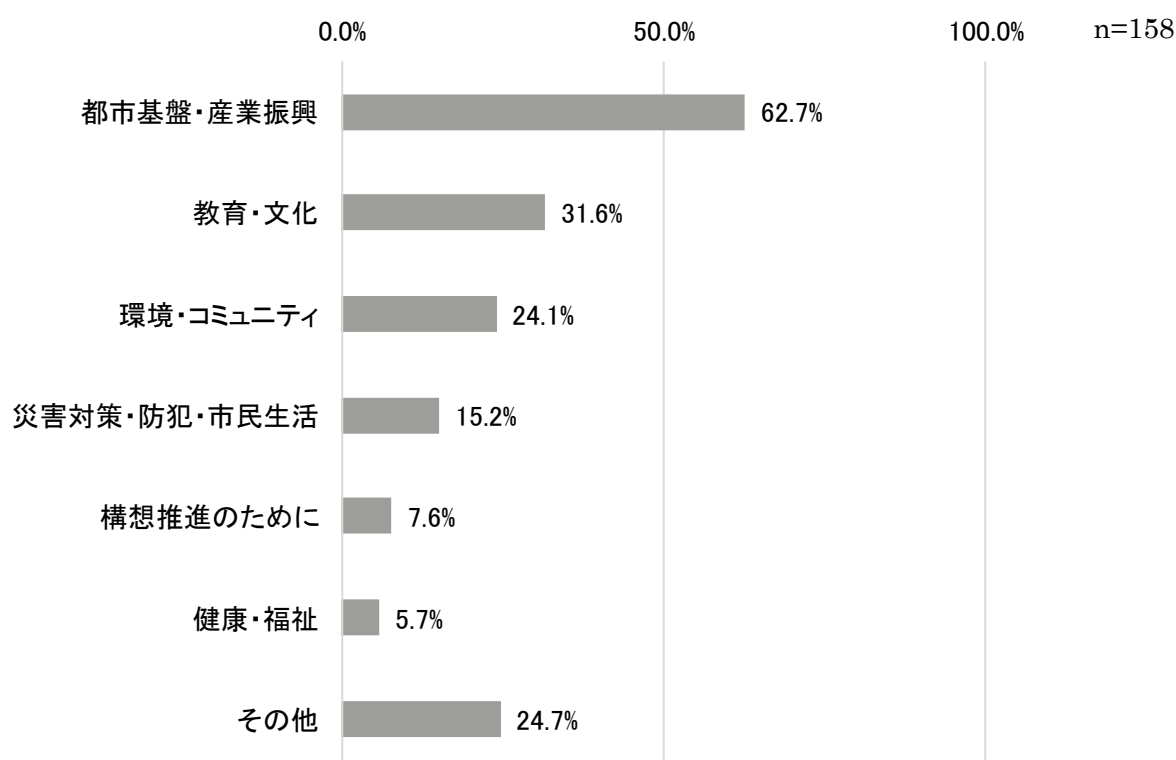
4. 自由記述

最後に、今後のまちづくりや市政について、ご意見などがありましたらお書きください。

<全体>

自由意見欄に記入があったのは回答者 362 人のうち 158 人（43.6%）である。一人が複数の意見を記入している場合は分割した。このため、意見数は 271 件となった。

「その他」を除いた回答について政策分野別にみると、「都市基盤・産業振興」の分野が回答者全体の 62.7%と最も多く、続いて「教育・文化」（31.6%）、「環境・コミュニティ」（24.1%）となっている。



<政策分野>

「災害対策・防犯・市民生活」（24 件）では、「街灯の増設要望」、「パトロール強化への要望」、「安全・安心のまちづくりへの期待」、「不審者対応の改善」に関する意見が多数あった。

「健康・福祉」（9 件）では、「医療費免除の対象年齢引き上げ」に関する意見が多数あった。

「教育・文化」（50 件）では、「学校施設・設備の充実」、「ボール使用可のスペース確保」、「自習スペースの確保・充実」、「彩夏祭への不満・提案」、「東京五輪への期待」に関する意見が多数あった。

「環境・コミュニティ」（38 件）では、「自然環境の保護」、「ポイ捨て対策」、「自然環境の拡充」、「ムクドリ対策強化」、「公園の充実」に関する意見が多数あった。

「都市基盤・産業振興」（99 件）では、「道路整備」、「商業施設の充実」、「公共交通（バス）の充実」、「米軍跡地の活用」、「交通の利便性維持」、「信号設置」、「電車の利便性向上」、「駅舎の改修」、「魅力あるまちづくりに向けた施策強化」に関する意見が多数あった。

「構想推進のために」（12 件）、「その他」（39 件）では、多数にわたる記載はなかった。

資料:調査票

朝霞の未来のためにあなたの声を聞かせてください！

朝 霞 市 青 少 年 ア ン ケ ー ト

調査へのご協力をお願い

市内に住む青少年のみなさん、こんにちは。

朝霞市では、令和3年度（2021年度）から5年間のまちづくりの指針となる「第5次朝霞市総合計画後期基本計画」をつくるために、朝霞の将来を担う若い世代のみなさんが、日頃どのようにまちを見ているのか、ご意見や考えをお聞きしたいと考えています。

本調査は、市内にお住まいの12歳以上18歳未満の男女1,000人を無作為に選出いたしました。ご回答は全て統計的に処理しますので、回答者が特定されることはございません。

若いみなさんのご意見や考えを計画づくりへと生かしていくため、アンケート調査にご協力をお願いします。

令和元年（2019年）7月

朝霞市長 富岡 勝則

ご記入に当たってのお願い

- 1 質問への回答は、宛て名にあるご本人がお答えください。
- 2 当てはまる項目に○印を付けてください。当てはまる項目がない場合は、「その他」の番号に○印を付けて、（ ）内に内容をご記入ください。
- 3 ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒にこの調査票を入れ、
令和元年（2019年）8月9日（金）までに、切手をはらずに郵便ポストに投函してください。
- 4 お名前やご住所を書いていただく必要はございません。また、返信の際は、同封の「調査票」以外のものは入れないでください。
- 5 調査結果については、市の広報紙やホームページ等で公表する予定です。

<https://www.city.asaka.lg.jp/soshiki/2/5jisougoukeikaku.html>



朝霞市キャラクター
ぽぼたん

問い合わせ先

朝霞市役所 政策企画課 政策企画係

TEL 048-463-3089（直通）

FAX 048-467-0770



はじめに、あなたご自身のことについてお聞きします

令和元年（2019年）7月1日時点でお答えください

F 1 あなたの性は。

1 男性

2 女性

F 2 あなたの年齢は。

1 12～14歳

2 15～18歳

F 3 あなたのお住まいはどの地区ですか。

1 青葉台（1丁目）

2 朝志ヶ丘（1～4丁目）

3 大字上内間木

4 大字下内間木

5 大字台

6 大字根岸

7 岡（1～3丁目、大字含む）

8 北原（1～2丁目）

9 幸町（1～3丁目）

10 栄町（1～5丁目）

11 泉水（1～3丁目）

12 田島（1～2丁目、大字含む）

13 仲町（1～2丁目）

14 西原（1～2丁目）

15 西弁財（1～2丁目）

16 根岸台（1～8丁目）

17 浜崎（1～4丁目、大字含む）

18 東弁財（1～3丁目）

19 膝折町（1～5丁目）

20 本町（1～3丁目）

21 溝沼（1～7丁目、大字含む）

22 三原（1～5丁目）

23 宮戸（1～4丁目、大字含む）

24 陸上自衛隊朝霞駐屯地

F 4 あなたは、生まれた時、または幼少の頃から朝霞市にお住まいですか。

1 はい

2 いいえ

F 5 F 4で「2 いいえ」と回答された方におうかがいします。朝霞市に住む以前はどちらにお住まいでしたか。

1 埼玉県内（志木市・和光市・新座市）

2 埼玉県内（1以外）

3 東京都内

4 その他（ ）

F 6 あなたは、朝霞市にお住まいになってどれくらいになりますか。

1 5年未満

2 5～9年

3 10年以上

朝霞市について日頃感じていることをお聞きします

問 1

あなたは「朝霞市のまちづくり」に興味や関心がありますか。次の中から 1 つ選んでください。

- | | |
|---------|----------|
| 1 とてもある | 2 少しある |
| 3 あまりない | 4 まったくない |

問 2

あなたは「朝霞市」が好きですか。次の中から 1 つ選んでください。

- | | | |
|--------------|---|-----------------|
| 1 好き | } | 1 または 2 を選んだ方は、 |
| 2 どちらかといえば好き | | 問 3 にお進みください |
| 3 あまり好きではない | } | 3 または 4 を選んだ方は、 |
| 4 好きではない | | 問 4 にお進みください |

問 3

問 2 で「1 好き」「2 どちらかといえば好き」と答えた方にお聞きします。その理由は何ですか。次の中から 3 つまで選んでください。

- | | |
|----------------------------|--------------------|
| 1 住んでいる環境やまちなみがよい | 2 緑などの自然が豊かである |
| 3 交通の便がよい | 4 まちが安全・安心である |
| 5 友だちや近所の人が親切である | 6 公園やスポーツ施設が充実している |
| 7 買い物が便利である | 8 イベントやお祭りが多い |
| 9 図書館、博物館、児童館、公民館などが充実している | |
| 10 その他（ ） | |

問 4

問 2 で「3 あまり好きではない」「4 好きではない」と答えた方にお聞きします。その理由は何ですか。次の中から 3 つまで選んでください。

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1 住んでいる環境やまちなみがよくない | 2 緑などの自然が少ない |
| 3 交通の便が悪い | 4 まちが安全・安心ではない |
| 5 親しい友人や近所付き合いがない | 6 公園やスポーツ施設が充実していない |
| 7 買い物が不便である | 8 イベントやお祭りが少ない |
| 9 図書館、博物館、児童館、公民館などが充実していない | |
| 10 その他（ ） | |

問5

大人になっても、朝霞市に住みつづけたいですか。次の中から1つ選んでください。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 住みつづけたい | 2 どちらかといえば住みつづけたい |
| 3 住みつづけたいとはあまり思わない | 4 住みつづけたくない |
| 5 わからない | |

これからのまちづくりについての考えをお聞きます

問6

あなたは、将来の朝霞市をどのようなまちにしていきたいと思いますか。あなたのイメージに近いものを、次の中から3つまで選んでください。

- | |
|------------------------------------|
| 1 子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち |
| 2 高齢者や障害者などを大切にする福祉の充実したまち |
| 3 医療や健康に暮らすための取組が充実しているまち |
| 4 だれもが安全に暮らせるまち |
| 5 快適なまちなみや美しい都市景観に満ちたまち |
| 6 鉄道・道路などの整備がさらに進んで、交通の便利なまち |
| 7 水辺や緑など自然環境のよいまち |
| 8 文化・芸術・スポーツに力を入れるまち |
| 9 歴史や伝統を大切にするまち |
| 10 産業が盛んで働く場所が多いまち |
| 11 おしゃれなまちなみやお店があって、買い物やグルメが楽しめるまち |
| 12 その他（ ） |

問7

あなたは、朝霞市のまちづくりに、どのように役立てると思いますか。あなたが現在または将来できると思う活動を、次の中からすべて選んでください。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 まちの美化・緑化活動 | 2 自然や環境を守る活動 |
| 3 家庭ごみの減量・リサイクル活動 | 4 防犯・防災活動 |
| 5 スポーツや健康づくり活動 | 6 お祭りなどのレクリエーション活動 |
| 7 文化・芸術活動 | 8 子育て支援の活動 |
| 9 高齢者・障害者への支援活動 | 10 人権を守る活動 |
| 11 その他（ ） | |

地域との関わりについてお聞きします

問 8

あなたは、日頃、地域とどのような関わりをもっていますか。次の中からあなたに当てはまるものをすべて選んでください。

- | |
|---------------------------------------|
| 1 近所の人と顔見知りである |
| 2 近所の人とあいさつをしている |
| 3 近所の子どもの世話やお年寄りの手助けをしている |
| 4 祭りやもちつき大会、運動会など、自治会や町内会の行事に参加している |
| 5 清掃活動や防犯パトロールなどの地域活動に地域の人と一緒に参加している |
| 6 スポーツ団体、ボランティア団体、趣味の団体など地域の団体に加入している |
| 7 その他（ ） |

問 9

あなたは、困ったときや悩んだときに誰に相談することが多いですか。次の中から最も相談することが多い人の番号を1つ選んでください。

- | | | |
|-----------------------------------|--------|--------|
| 1 親 | 2 祖父母 | 3 兄弟姉妹 |
| 4 学校の先生 | 5 友人 | 6 近所の人 |
| 7 加入している地域団体（スポーツ団体、ボランティア団体等）の大人 | | |
| 8 相談する人がいない | 9 その他（ | ） |

問 10

あなたは、平日の放課後（働いている方は仕事が終わった後）や休日は、どこで何を
して過ごしますか。次の中から、よく過ごす場所（1つ）と、よくしていること（3つまで）
を選んでください。

< 10-1 平日の放課後の過ごし方 >

よく過ごす場所（1つ）

- 1 朝霞市内
- 2 市外（埼玉県内）
- 3 東京都内

よくしていること（3つまで）

- 1 家でテレビをみたり、音楽をきいたり、スマートフォンで動画を見るなど一人で過ごす
- 2 家で勉強をして過ごす
- 3 家で友達と遊ぶ
- 4 公民館や図書館、児童館で過ごす
- 5 公園などでスポーツをして過ごす
- 6 塾や習い事、スポーツクラブに行く
- 7 学校でクラブ活動をする
- 8 買い物をする
- 9 何となく、ぶらぶらして過ごす
- 10 家族と過ごす
- 11 その他（ ）

< 10-2 休日の過ごし方 >

よく過ごす場所（1つ）

- 1 朝霞市内
- 2 市外（埼玉県内）
- 3 東京都内

よくしていること（3つまで）

- 1 家でテレビをみたり、音楽をきいたり、スマートフォンで動画を見るなど一人で過ごす
- 2 家で勉強をして過ごす
- 3 家で友達と遊ぶ
- 4 公民館や図書館、児童館で過ごす
- 5 公園などでスポーツをして過ごす
- 6 塾や習い事、スポーツクラブに行く
- 7 学校でクラブ活動をする
- 8 買い物をする
- 9 何となく、ぶらぶらして過ごす
- 10 家族と過ごす
- 11 その他（ ）

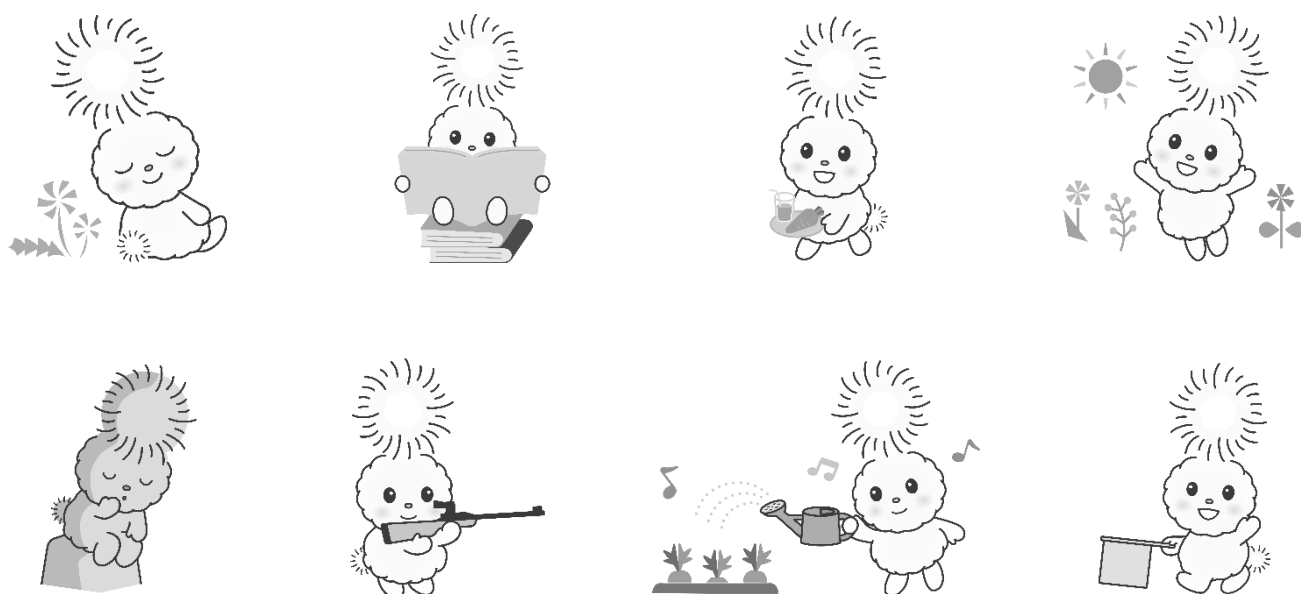
自由意見欄

最後に、これからのまちづくりについてご意見などがありましたらお書きください。

調査はこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。



朝霞市キャラクター ぽぽたん



むさし フロント ぬさか